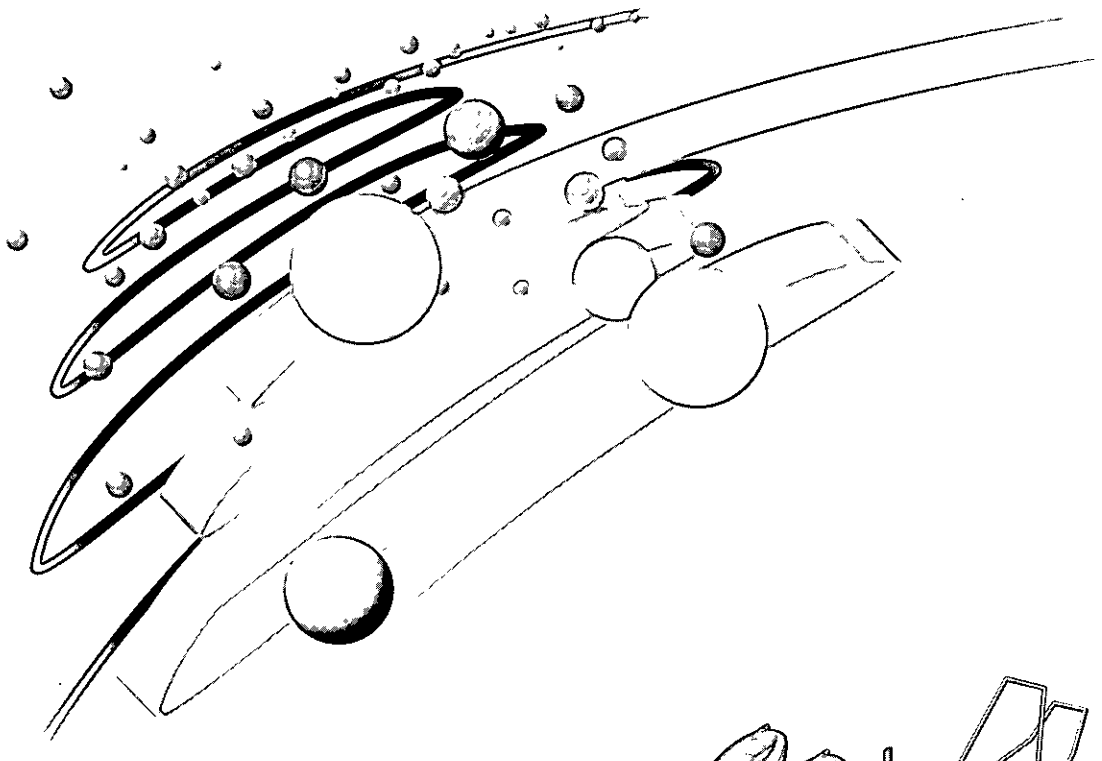
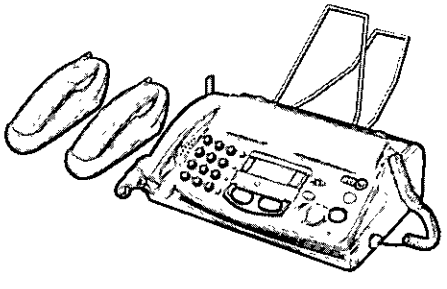
取扱説明書

NTTFAX T-241DCLw
NTTFAX T-241DCL





「NTTFAX T-241DCLw」

技術基準適合認定品
G3-〈32〉〈T241M〉-FAX

このたびは、NTTFAX T-241DCLw/T-241DCLをお買い求めいただきまして、まことにありがとうございます。
- ご使用の前に、この「取扱説明書」をよくお読みのうえ、内容を理解してからお使いください。
- お読みになったあとも、本商品のそばなどいつも手もとにおいてお使いください。

NTT

1 お使いになる前に
2 ファクスを使う
3 電話をかける／受ける
4 内線電話として使う
5 電話番号や名前を登録して使う
6 留守番電話として使う
7 リモコン操作する
8 ファクスをより便利に使う
9 電話をより便利に使う
10 こんなときには

安全にお使いいただくために必ずお読みください

この取扱説明書には、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防ぎ、本商品を安全にお使いいただくために、守っていただきたい事項を示しています。その表示と図記号の意味は次のようになっています。内容をよく理解してから本文をお読みください。本書を紛失または損傷したときは、NTT窓口等でお求めください。

本書中のマーク説明

⚠ 危険	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う危険が切迫して生じることが想定される内容を示しています。
⚠ 警告	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
⚠ 注意	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。
STOP お願い	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、本商品の本来の性能を発揮できなかったり、機能停止をまねく内容を示しています。
お知らせ	この表示は、本商品を取り扱ううえでの注意事項を示しています。
ワンポイント	この表示は、本商品を取り扱ううえで知っておくと便利な内容を示しています。

ご使用にあたってのお願い

本商品をご使用にあたって、NTTのレンタル電話機が不要となる場合は、NTTへご連絡ください。ご連絡いただいた日をもって「機器使用料」は、不要となります。
詳しくは、局番なしの116番へお問い合わせください。

注意
この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラスB情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。
取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

- ●本商品の仕様は国内向けとなっておりますので、海外ではご利用できません。
  This telephone system is designed for use in Japan only and cannot be used in any other country.
- ●本商品の故障、誤動作、不具合、あるいは停電等の外部要因によって、受信文書の全部または一部が消失したり、通話や録音などの機会を逸したために生じた損害等の純粋経済損害につきましては、当社は一切その責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。
- ●本商品の設置および修理には、工事担当者資格を必要とします。無資格者の工事は、違法となりまた事故のもととなりますので絶対におやめください。
- ●本商品を分解したり改造したりすることは、法律で禁止されていますので絶対に行わないでください。
- ●NTTの支店・営業所から遠距離の場合には、お使いになれないことがありますので当社のサービス取扱所へご相談ください。
- ●本商品は、お買い求め時には国内の相手の方と通信することを前提とした設定になっています。海外との通信を主に行われる方は、重要な通信を行う前に相手の方と正常に通信できるか確認をしてください。正常に通信できないときは、本商品の設定を変更することにより、通信できるようになる場合もありますので、NTT窓口等へご相談ください。
- ●本書の内容につきましては万全を期しておりますが、お気づきの点がございましたらNTT窓口等へお申しつけください。

⚠危険

●充電は、コードレス電話機専用の充電器を使用してください。その他の充電条件で充電すると、電池パックの漏液、発熱、破裂により、火災、感電、やけど、けがの原因となることがあります。

●電池パックは、赤（プラス）・黒（マイナス）の向きが決められています。コードレス電話機に接続するときは、コネクタの向きを確かめて正しく差し込んでください。電池パックの漏液、発熱、破裂により、火災、感電、やけど、けがの原因となることがあります。

●電池パックを単体では充電しないでください。電池パックの漏液、発熱、破裂により、火災、感電、やけど、けがの原因となることがあります。

●この電池パックは、NTTFAX T-241DCLw/T-241DCLに付属のコードレス電話機専用です。それ以外の機器には使用しないでください。電池パックの漏液、発熱、破裂により、火災、感電、やけど、けがの原因となることがあります。

●電池パックを使用する場合は、以下のことを必ず守ってください。電池パックの漏液、発熱、破裂により、火災、感電、やけど、けがの原因となることがあります。

- 火の中や水の中に投入したり、加熱しない。
- 直接はんだ付けしない。
- 赤（プラス）と黒（マイナス）を針金などの金属類で接触しない。
- 電池カバーを取り付けるとき、電池パックのコードをはさまない。
- 外装チューブ（被覆）をはがしたり、傷をつけない。
- 水や海水につけたり、ぬらさない。

●電池パックを分解、改造しないでください。電池パックの漏液、発熱、破裂により、火災、感電、やけど、けがの原因となることがあります。

●電池パック内部の液が眼に入ったときは、失明のおそれがありますので、こすらずにすぐきれいな水で洗ったあと、直ちに医師の治療を受けてください。

安全にお使いいただくために必ずお読みください

⚠ 警告

●万一、煙が出ている、へんな臭いがするなどの異常状態のまま使用すると、火災・感電の原因となることがあります。必ず電源プラグや電源アダプタをコンセントから抜き、煙が出なくなるのを確認してから当社のサービス取扱所へご連絡ください。お客様による修理は危険ですから絶対におやめください。

●万一、本商品を落としたり、キャビネットを破損した場合、電源プラグや電源アダプタをコンセントから抜いて、当社のサービス取扱所へご連絡ください。そのまま使用すると、火災・感電の原因となることがあります。

●万一、内部に水などが入った場合は、電源プラグや電源アダプタをコンセントから抜いて、当社のサービス取扱所へご連絡ください。そのまま使用すると、火災・感電の原因となることがあります。

●本商品のすきまなどから内部に金属類や燃えやすいものなど、異物を差し込んだり、落としたりしないでください。万一、異物が入った場合は、電源プラグや電源アダプタをコンセントから抜いて、当社のサービス取扱所へご連絡ください。そのまま使用すると、火災・感電の原因となることがあります。特にお子様のいるご家庭ではご注意ください。

●感熱記録紙の交換や原稿づまり、お手入れなどで、記録紙カバーや操作パネルなどを開けたときに、金属類や燃えやすいものなど、異物を差し込んだり、落としたりしないでください。異物を落とした場合は、電源プラグや電源アダプタをコンセントから抜いて、取り除いてご使用ください。そのまま使用すると、火災・感電の原因となることがあります。

●本商品を分解したり、改造したりしないでください。火災・感電の原因となることがあります。指定以外の内部の点検・調整・清掃・修理は、当社のサービス取扱所へご依頼ください。
コードレス電話機は、郵政省の技術基準に適合したものです。内部を改造したり、外部にアンテナを取り付けて電波を強くすることなどは、感電や故障の原因となるだけでなく、法律で禁じられています。

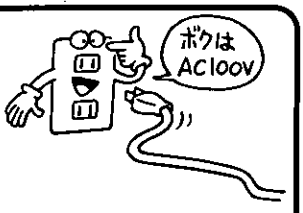
●本商品のそばに花びん、植木鉢、コップ、化粧品、薬品や水の入った容器、または小さな金属類を置かないでください。こぼれたり、中に入った場合、火災・感電の原因となることがあります。

●ふろ場や加湿器のそばなど、湿度の高いところでは使用しないでください。火災・感電の原因となることがあります。

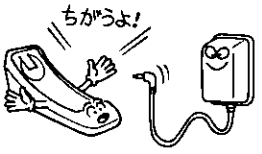
●航空機内や病院内などの使用を禁止された場所では、ご使用にならないでください。電子機器や医療用機器に悪影響を与え、事故の原因となることがあります。

⚠ 警告

●AC 100 Vの商用電源以外では、絶対に使用しないでください。火災・感電の原因となることがあります。



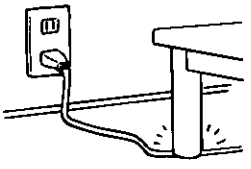
●電源アダプタは、付属のものをお使いになり、それ以外のものは絶対にお使いにならないでください。火災・感電の原因となることがあります。



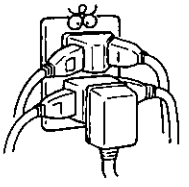
●電源アダプタをコンセントに差し込んでおくと振動でゆるみ、すきまができる場合があります。そのすきまにピンなどが入り込むとショートして、火災・感電の原因となることがあります。コンセントと電源アダプタの間にすきまができていないか、定期的に点検してください。

●コードレス電話機をねじったり、重いものを乗せたり、（ポケットに入れたままイスなどに）強く押しつけたりして、圧迫しないでください。破損して、火災・けが・やけどの原因となることがあります。

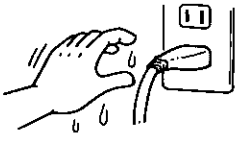
●電源コード、電源アダプタを傷つけたり、破損したり、加工したり、無理に曲げたり、引っ張ったり、ねじったり、束ねたりしないでください。また、重い物をのせたり、加熱したりすると電源コードが破損し、火災・感電の原因となることがあります。電源コード、電源アダプタが傷んだら当社のサービス取扱所に修理を依頼してください。



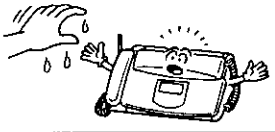
●テーブルタップや分岐コンセント、分岐ソケットを使用したタコ足配線はしないでください。火災・感電の原因となることがあります。



●ぬれた手で電源プラグや電源アダプタを抜き差ししないでください。感電の原因となることがあります。



●ぬれた手で本商品を操作しないでください。感電の原因となることがあります。



●本商品を〈構内交換機（PBX）等〉に接続してお使いになる場合は、あらかじめ当社のサービス取扱所に確認してください。確認できない場合は、絶対に接続してお使いにならないでください。火災・感電の原因となることがあります。

安全にお使いいただくために必ずお読みください

⚠ 警告

●万一、漏電した場合の感電事故防止のため、必ずアース線を付けてください。

・アース線が取り付けられるところは次の部分です。

▷ 電源コンセントのアース端子

▷ 銅片などを 65 cm以上地中に埋めたもの

▷ 接地工事（第3種）が行われている接地端子

・次のようなところには、絶対にアース線を取り付けないでください。

▷ ガス管

▷ 避雷針

▷ 水道管や蛇口

▷ 電話専用アース線

●電池パック内部の液が皮膚や衣服に付着した場合には、皮膚に障害を起こすおそれがありますので、直ちにきれいな水で洗い流してください。

●本商品は、高精度な制御や微弱な信号を取り扱う電子機器の近くに設置、および近くで使用しないでください。

・電子機器が誤動作したりするなどの原因となることがあります。

・使用を制限された場所では使用しないでください。

例：医療用電子機器など

●点検・清掃（お手入れ）は、必ず電源コードの電源プラグをコンセントから抜いて（記録ヘッドなど熱くなるものは冷えてから）始めてください。また、水滴がついたときは、乾いた布でふき取ってください。感電・やけどの原因となることがあります。

●歩行中にコードレス電話機を絶対に操作しない（見ない）でください。転倒、交通事故などの原因となることがあります。

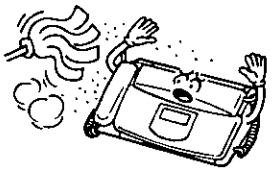
⚠ 注意

お使いになる前に

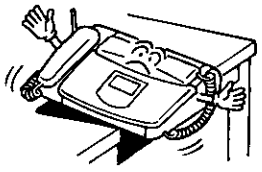
設置環境

●直射日光の当たるところや、暖房設備、ボイラーなどのために著しく温度が上昇するところに置かないでください。内部の温度が上がり、火災や故障の原因となることがあります。

●調理台のそばなど油飛びや湯気の当たるような場所、ほこりの多い場所に置かないでください。火災・感電の原因となることがあります。



●ぐらついた台の上や傾いたところなど、不安定な場所に置かないでください。また、本商品の上に重いものを置かないでください。バランスがくずれて倒れたり、落下してけがの原因となることがあります。



●ドアの近くやベニヤ板などの薄い板壁、ボード板（石膏板）などの壁にコードレス電話機の充電器を取り付けないでください。振動や自らの重みで落下して、けがの原因となることがあります。

●寒い場所や結露の発生しやすい場所に置かないでください。誤動作の原因となることがあります。

●ファクス本体の背面部には通風孔がありますので、必ず壁から5cm以上離してください。通風孔をふさぐとファクス本体の内部に熱がこもり、火災の原因となることがあります。

●ファクス本体のまわりには物を置かないでください。原稿づまりや感熱記録紙づまりの原因となることがあります。

●本商品の底面部は、放熱のため温度が上昇しますので、カーペットやソファーなどの上に放置しないでください。カーペットが変色したり、火災の原因となることがあります。

●本商品の底面部にはゴム製のすべり止めを使用していますので、ゴムとの接触面が、まれに変色するおそれがあります。

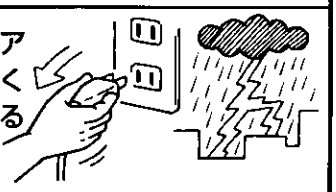
安全にお使いいただくために必ずお読みください

⚠ 注意

お使いのとき

●電源プラグや電源アダプタを抜くときは、必ず電源プラグまたは電源アダプタを持って抜いてください。電源コードを引っ張るとコードが傷つき、火災・感電や断線の原因となることがあります。

●近くに雷が発生したときは、電源プラグや電源アダプタをコンセントから抜いてご使用を控えてください。雷によっては、火災・感電の原因となることがあります。



●本商品や電源コードを熱器具に近づけないでください。キャビネットや電源コードの被覆が溶けて、火災・感電の原因となることがあります。

●長期不在時は、安全のため必ず電源プラグや電源アダプタをコンセントから抜いてください。また、コードレス電話機の電池パックも取り出してください。

●感熱記録紙の交換や原稿づまりなどで、記録紙カバーなどを開けるときには、突起物にご注意ください。引っかけてけがの原因となることがあります。

●充電器の端子の上にピンなどの金属類を置かないでください。発熱したり、やけどや故障の原因となることがあります。

●本商品に乗らないでください。特に、小さなお子様のいるご家庭ではご注意ください。倒れたり、こわしたりしてけがの原因となることがあります。

●小さなお子様が原稿挿入口から、手を入れないようご注意ください。けがの原因となることがあります。

●記録ヘッドは発熱している場合がありますので、手が直接記録ヘッドに触れないようにしてください。また、記録紙を交換するときなど、記録紙カバーを閉めるときに、指などをはさまないように注意してください。やけど・けがの原因となります。

●ハンドコピーは、落としたり、ぶつけたりしないでください。ガラスやミラーが割れてけがの原因となります。

●つまった感熱記録紙を取り除くときやお手入れのときなどカッターの刃の部分に指が触れないよう注意してください。けがの原因となります。

STOP お願い

取り扱いについて

●ベンジン、シンナー、アルコールなどでふかないでください。本商品の変色や変形の原因となることがあります。汚れがひどいときは、薄い中性洗剤をつけた布をよくしぼって汚れをふき取り、やわらかい布でからぶきしてください。

●落としたり、強い衝撃を与えないでください。故障の原因となることがあります。

●通信やコピーなどの動作中に、電源プラグを抜いたり、本商品のカバーを開けたりしないでください。故障の原因となることがあります。

●電源プラグや電源アダプタを抜いたままにしないでください。
- ファクスを送受信することができません。
- コードレス電話機が充電できません。
- 留守番機能やコードレス電話機が使用できません。

●コードレス電話機を汚れやすいところに置かないでください。

●停電のときはファクス本体の電話機を使用してください。
- ファクスを送受信することができません。
- 留守番機能やコードレス電話機が使用できません。
- ドアホンが使用できません。

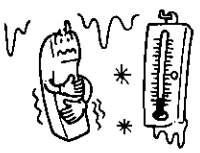
安全にお使いいただくために必ずお読みください

STOP お願い

置き場所について

こんな場合は、電話がつながらなかったり、雑音が入ることがあります。

●製氷倉庫など特に温度が下がるところに置かないでください。本商品が正常に動作しないことがあります。



●温度が急激に変化する場所、冷え切った部屋をストーブなどで急激に暖めたときなどは本商品の内部に水滴が付着し、部分的に写らないコピーが発生する原因となることがあります。

●金属製家具などの近くは避けてください。

・電波が飛びにくくなります。

●電気製品・AV・OA機器などの磁気を帯びているところや磁波が発生しているところに置かないでください（コンピュータ、電子レンジ、スピーカ、テレビ、ラジオ、蛍光灯、ワープロ、電気こたつ、インバータエアコンなど）。

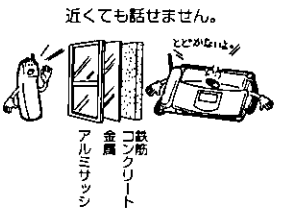
・磁気や電気雑音の影響を受けると雑音が大きくなったり、通話ができなくなることがあります（特に電子レンジ使用時には影響を受けることがあります）。

・テレビ、ラジオなどに近いと受信障害の原因となったり、テレビ画面が乱れることがあります。

・放送局や無線局などが近く雑音が大きいときは、ファクス本体の設置場所を移動してみてください。妨害電波が強すぎるときとはコードレス電話機が使用できないことがあります。

●周囲の環境（壁、家具など）によっては使用範囲が狭くなります。

・ファクス本体とコードレス電話機、またはコードレス電話機間の内線通話やトランシーバ通話をして、電波の強さを確認して通話できる範囲を確かめてください。



●ファクス本体のアンテナは床面に対して垂直に立ててください。電波の届く範囲が狭くなったり、雑音が入ることがあります。

・接続などの準備のあと、ファクス本体とコードレス電話機間で内線通話をして雑音の入らない場所かどうかを確かめてから設置してください。

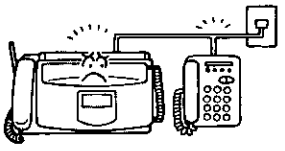
・コードレス電話機では、操作をする前に、電波の状態を確認して、なるべく電波の強い場所でかけてください。また、お話しは、なるべく電波の強い場所で行ってください。

STOP お願い

置き場所について

●自動車やオートバイが近くを通ったとき、雑音が入る場合があります。

●本商品を接続している電話回線に、他の電話機などは接続しないでください。正常に動作しない場合があります。



●本商品を2セット以上お使いになるときは、お互いの距離をとって設置してください。電波が相互に干渉しあって正常に動作しないことがあります。

●硫化水素が発生する場所（温泉地など）では、本商品の寿命が短くなることがあります。

STOP お願い

感熱記録紙について

●指定の感熱記録紙をご使用ください。指定品以外ですと、正常に印刷されなかったり、故障の原因となることがあります。

●直射日光に当てない、また、窓際に置かないようにしてください。変色の原因となることがあります。

●高温・多湿の場所には置かないでください。変色の原因となることがあります。

●硬いものでこすらないでください。変色、発色の原因となることがあります。

●薬品・油などを付けないでください。変色、記録消えの原因となることがあります。

●粘着テープ、のり、接着剤などを付けないでください。変色の原因となることがあります。

●塩化ビニール系プラスチックと重ねたりしないでください。変色、記録消えの原因となることがあります。

●青焼紙と重ねて保管しないでください。変色の原因となることがあります。

安全にお使いいただくために必ずお読みください

STOP お願い

その他

●本商品は、ディジタル信号を利用した傍受されにくい商品ですが、電波を使用している関係上、通常の手段を超える方法がとられた場合には、第三者が故意に傍受するケースもまったくないとはいえません。この点に十分配慮してご使用ください。

●キャッチホンサービスをご契約になる場合には、次の点にご注意ください。

・ファクスの送信や受信中に、他の方から電話がかかってくると、画像に線が入ったり、通信が中断してしまうことがあります。
・また上記の場合、電話がかかってきたことはこちらではわかりません。キャッチホンサービスの異常ではありませんのでご了承願います。
・キャッチホンⅡサービスをご利用になり、割り込み回数を「0」回に設定していただくと、通信中にキャッチホンが入っても異常なく通信できます。
・通話中にキャッチホン信号が入ってきたときは、必ずキャッチボタンを押して切り替えてください。他の方法ではうまく切り替わらないことがあります。

●本商品は、簡易生活防水が施されていません。以下のような使用はしないでください。

・浴室で使用したり、水の中につけたりしないでください。
・水滴が付いた場合は、なるべく早く乾いた布などでふき取ってください。
・受話口や送話口の穴などに水滴が付いたときは、水滴を取り除いてからお使いください。
・コードレス電話機に水滴が付いたまま、充電器に戻さないでください。

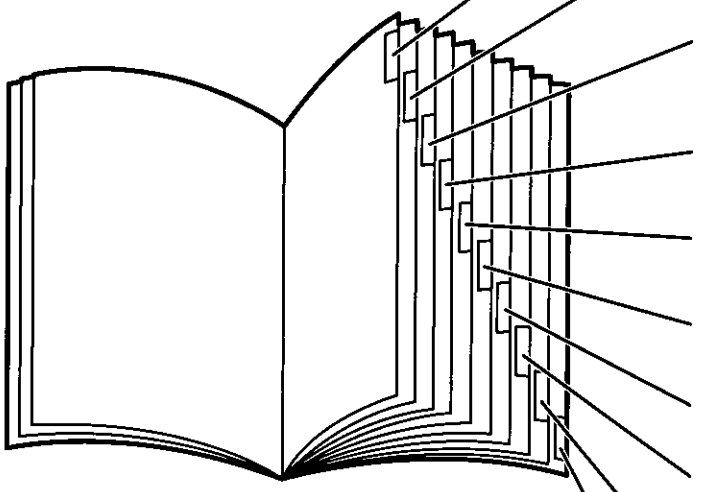
●法律によりコピーが禁止されているものもあります。コピーについての注意をよくお読みのうえ、ご使用ください。(☛P43)

●ハンズフリーでお話しのとき、以下の点にご注意してください。

・マイクの前には、ものなどを置かないでください。
また、マイクとの距離は約1m以内を目安としてお話しください。
・マイクを手でおおわないでください。「ピー」と鳴ることがあります。

この取扱説明書の見方

この取扱説明書の構成



1 お使いになる前に
お使いになる前に知っておいていただきたいことをまとめています。

2 ファクスを使う
ファクスを送ったり、受けたりする基本機能について説明しています。

3 電話をかける／受ける
電話をかけたり、受けたりする基本機能について説明しています。

4 内線電話として使う
内線電話として使う手順を説明しています。

5 電話番号や名前を登録して使う
電話番号や名前を登録する手順を説明しています。

6 留守番電話として使う
留守番電話を使うための手順を説明しています。

7 リモコン操作する
外出先からリモコン操作する手順を説明しています。

8 ファクスをより便利に使う
ファクスで利用できる便利な機能について説明しています。

9 電話をより便利に使う
電話で利用できる便利な機能について説明しています。

10 こんなときには
別売品・消耗品の説明、または故障かなと思ったときの確認方法などを説明しています。

操作説明のページの構成

章タイトル
この章のタイトルです。

タイトル
目的ごとにタイトルが付けられています。

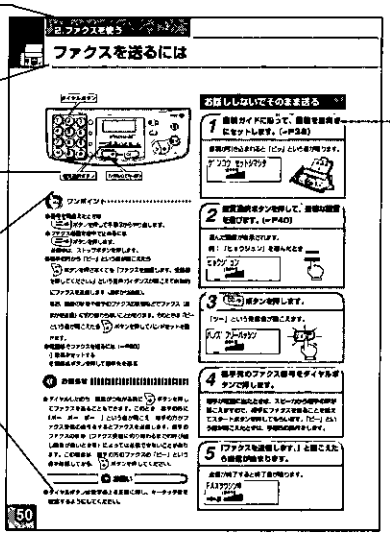
正面図
操作で使うボタンなどの位置を白抜きで示します。

ワンポイント
本商品を取り扱ううえで知っておくと便利な事項、操作へのアドバイスなどの補足説明です。

お願いまたはお知らせ

＜お願い＞
この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、本商品の本来の性能を発揮できなかったり、機能停止を招く内容を示します。

＜お知らせ＞
この表示は、本商品を取り扱ううえでの注意事項を示します。



操作手順説明
順番に操作を説明しています。

イラストについては、操作に直接関係ない部分（ディスプレイ、ランプ、その他）は省略していることもあります。

目　次

安全にお使いいただくために必ずお読みください‥ 2
この取扱説明書の見方 ‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥ 13

1 お使いになる前に

セットを確認してください ‥‥‥‥‥‥‥‥ 17
特　長 ‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥ 18
各部の名前 ‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥ 20
ファクス本体を接続します ‥‥‥‥‥‥‥‥‥26
電話回線の種別を合わせます ‥‥‥‥‥‥‥ 27
感熱記録紙をセットします ‥‥‥‥‥‥‥‥ 28
コードレス電話機の準備をします ‥‥‥‥‥ 30
日付と時刻を合わせます ‥‥‥‥‥‥‥‥‥ 33
自分の名前とファクス番号を登録するには ‥‥‥35
　自分の名前を登録する ‥‥‥‥‥‥‥‥‥ 35
　ファクス番号を登録する ‥‥‥‥‥‥‥‥ 36

2 ファクスを使う

原稿をセットするには ‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥ 38
原稿の画質を選ぶには ‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥ 40
コピーするには ‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥ 42
ハンドコピーするには ‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥ 44
ファクスを送るには ‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥ 48
　お話ししてから送る ‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥ 48
　お話ししないでそのまま送る ‥‥‥‥‥‥ 50
同じ相手にもう一度ファクスを送るには（再ダイヤル）‥ 51
ファクスの受け方 ‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥ 52
ファクスを受けるには ‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥ 54
コードレス電話機でファクスを受けるには ‥‥ 56

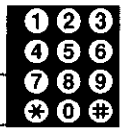
3 電話をかける／受ける

ファクス本体で電話をかけるには（発信） ‥‥ 58
　ハンドセットを取りあげてかける ‥‥‥‥‥ 58
　ハンドセットを置いたままかける
　　（ハンズフリー通話） ‥‥‥‥‥‥‥‥‥ 59
コードレス電話機で電話をかけるには
　（発信） ‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥ 60
　充電器から取りあげてかける ‥‥‥‥‥‥‥ 60
　充電器から外しているときにかける ‥‥‥‥ 61
同じ相手にかけ直すには（再ダイヤル） ‥‥‥ 62
　ファクス本体で再ダイヤルする ‥‥‥‥‥‥ 62
　コードレス電話機で再ダイヤルする ‥‥‥‥ 63
電話がかかってきたときは（着信） ‥‥‥‥‥ 64
　ファクス本体で受ける ‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥ 64
　コードレス電話機で受ける ‥‥‥‥‥‥‥‥ 66
相手の方に待っていただくには（保留） ‥‥‥ 68
　ファクス本体で保留にする ‥‥‥‥‥‥‥‥ 68
　コードレス電話機で保留にする ‥‥‥‥‥‥ 69
音量を調節するには ‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥ 70
　ファクス本体の受話音量を調節する ‥‥‥‥ 70
　コードレス電話機の受話音量を調節する ‥‥ 70
　ファクス本体のスピーカ音量を調節する ‥‥ 70
　ファクス本体の着信音量を調節する ‥‥‥‥ 71
　ファクス本体の着信音を
　　鳴らさないようにする ‥‥‥‥‥‥‥‥‥ 71
　コードレス電話機の着信音量を調節する ‥‥ 71

4 内線電話として使う

ファクス本体とコードレス電話機で
　お話しするには（内線通話） ‥‥‥‥‥‥‥ 72
　ファクス本体からコードレス電話機を
　　呼び出す ‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥ 72
　コードレス電話機からファクス本体を
　　呼び出す ‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥ 74
コードレス電話機どうしでお話しするには
　（内線通話） ‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥ 76
　コードレス電話機からコードレス電話機を
　　呼び出す ‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥ 76
かかってきた電話を取りつぐには
　（保留転送） ‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥ 78
　ファクス本体からコードレス電話機へ
　　取りつぐ ‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥ 78
　コードレス電話機から
　　ファクス本体へ取りつぐ ‥‥‥‥‥‥‥‥ 80
　コードレス電話機から
　　コードレス電話機へ取りつぐ ‥‥‥‥‥‥ 82

5 電話番号や名前を登録して使う

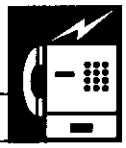


文字を入力するには …… 84
文字入力の例-「テンキ」を入力 …… 85
ファクス本体に電話番号を登録するには（電話帳） … 86
電話帳に登録する（電話帳） …… 86
コードレス電話機に電話番号を登録するには（ワンタッチダイヤル／短縮ダイヤル） …… 88
コードレス電話機のワンタッチダイヤルを登録する（ワンタッチダイヤル） …… 88
コードレス電話機の短縮ダイヤルを登録する（短縮ダイヤル） …… 89
登録した電話番号でファクスを送るには（電話帳） …… 90
電話帳でファクスを送信する …… 90
登録した電話番号で電話をかけるには（電話帳/ワンタッチダイヤル/短縮ダイヤル） … 91
電話帳で電話をかける …… 91
ワンタッチダイヤルで電話をかける …… 92
短縮ダイヤルで電話をかける …… 93

6 留守番電話として使う

留守番電話とは …… 94
留守番電話として使うには（一般留守録） …… 96
外出するときは …… 98
ファクス本体で留守をセットする …… 98
コードレス電話機で留守をセットする …… 99
帰宅したときは …… 100
ファクス本体で留守を解除する …… 100
個別に用件を消去する …… 100
コードレス電話機で留守を解除する …… 101
用件を転送するには …… 102
転送とは …… 102
ポケットベル呼び出しとは …… 103
コードレス電話機で用件転送をセットする … 104
一般留守録の用件転送をセットする …… 105
ポケットベルに送るデータを登録する …… 108
自分の声で応答メッセージを録音するには … 110
ファクスを受けたときに録音されたメッセージを聞くには（録音メッセージ付きファクス） …… 111
いろいろな機能を登録・設定するには（留守録モード） …… 112

7 リモコン操作する



リモコン操作とは …… 114
暗証番号を登録するには …… 116
外出先から用件を聞くには …… 118
外出先から留守セットするには …… 120

8 ファクスをより便利に使う

登録した内容を確認するには（プリントモード） …… 122
ハンドコピーした内容をファクスで送るには（ハンドコピーメモリ送信） …… 124
ファクスを送ったあとでお話しするには（あとからトーク） …… 126
ファクスを受けたあとでお話しするには（あとからトーク） …… 128
相手が留守のとき伝言メモを送るには（FAX伝言） …… 129
連絡先の電話/FAX番号を登録する …… 129
FAX伝言を送る …… 130
FAX伝言文を登録する …… 131
スタンプを押してファクスを送るには（スタンプ機能） …… 132
スタンプを押してファクスを送る …… 133
自分でスタンプを作るには（オリジナルスタンプ） …… 135
オリジナルスタンプを作る …… 135
オリジナルスタンプの印刷位置を選ぶ …… 136
着信音を鳴らさずにファクスを受けるには（ノンコール着信） …… 138
ファクシミリ情報サービスを利用するには … 140
ファクシミリ情報サービスを登録する …… 140
FAX情報を取り出す …… 142
相手側にセットされた原稿を受けるには（ポーリング受信） …… 143
海外へファクスを送るには（国際送信） …… 144
Fネット（ファクシミリ通信網サービス）を利用するには …… 146
ビデオなどの画面をプリント/ファクスを送るには（ビデオキャプチャユニット） … 147
画像を取り込む …… 147
プリントする …… 148
ファクスを送る …… 149

目　次

ビデオなどの画面と原稿を合成して
ファクスを送るには（絵はがきFAX）・・・・ 150
ファクス本体から離れた場所で
ハンドコピーするには
（ハンドスキャナキャリーパック）・・・・・・・ 152
パソコンに接続してプリンタやスキャナとして
使うには（プリンタ・スキャナ機能）・・・・・ 156
ファクス本体に接続する・・・・・・・・・・・・・・・ 156
プリンタやスキャナとして使う・・・・・・・・・・・ 156
いろいろな機能を登録・設定するには
（ユーザセレクト）・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 158

9 電話をより便利に使う

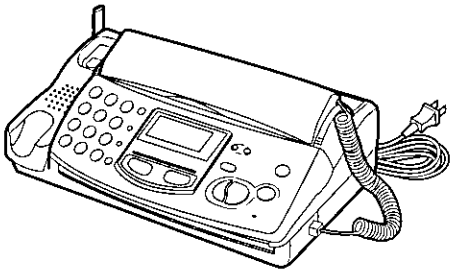
外の方とのお話しを録音するには
（通話録音）・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 164
伝言を録音するには（伝言メモ）・・・・・・・・・・・ 165
ファクス本体から伝言を録音する・・・・・・・・・ 165
コードレス電話機から伝言を
録音する・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 166
自分専用の留守録として使うには
（パーソナル留守録/音声伝言板）・・・・・・・・ 167
コードレス電話機から操作できるBOXを
設定する・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・168
外の相手の方からパーソナルBOXに
録音してもらう・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 171
パーソナルBOXにファクス本体で
伝言を録音する・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 172
ファクス本体でパーソナルBOXの
録音内容を聞く・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 173
外出先からパーソナルBOXの用件や
伝言を聞くには（リモコン操作）・・・・・・・・・ 174
ダイヤルインサービスを利用するには・・・・・・・ 176
ダイヤルイン番号を登録する・・・・・・・・・・・・ 178
ダイヤルインサービスを利用する・・・・・・・・・ 180
ダイヤルイン留守録をする・・・・・・・・・・・・・・ 182
ファクスに切り替わるまでの
コール回数を選ぶ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 184
ファクス番号にかかってきたときの
着信音を選ぶ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 185
プッシュホンのサービスを利用するには・・・・・ 186
キャッチホンサービスを利用するには・・・・・・・ 187
コードレス電話機をトランシーバとして
使うには（トランシーバ通話）・・・・・・・・・・・ 188
トランシーバの内線番号を登録するには ・・・・・190
受信側の設定・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 190
送信側の設定・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 190
コードレス電話機の機能を設定するには・・・・・ 192
クイック通話・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 192
エコーサプレス・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 192
着信音量を切り替える・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 193
着信音パターンを切り替える・・・・・・・・・・・・・ 193
いろいろな機能を登録・設定するには
（ユーザセレクト）・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 194

10 こんなときには

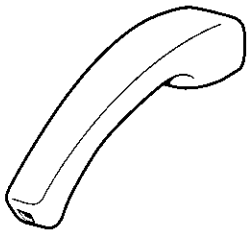
ドアホンを接続して使うには・・・・・・・・・・・・・・ 198
ファクス本体でドアホンの呼び出しに
応答する・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 198
コードレス電話機でドアホンの呼び出しに
応答する・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 199
付属品をご利用になるには・・・・・・・・・・・・・・・ 200
コードレス電話機を壁に掛けて使うには・・・・・ 201
お手入れするには・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 202
原稿がつまったら・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 204
感熱記録紙がつまったら・・・・・・・・・・・・・・・・・ 205
コードレス電話機の電池パックの取り扱い・・・ 206
停電になったときは・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 208
こんな表示や音がしたら・・・・・・・・・・・・・・・・・ 209
通信結果表が印刷されたら・・・・・・・・・・・・・・・ 211
故障かな？と思ったら・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 212
別売品・消耗品について・・・・・・・・・・・・・・・・・ 215
索 引・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 216
主な仕様・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 221
保守サービスのご案内・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 222
巻 末
操作ガイド
リモコン操作手順カード
オリジナルスタンプ登録用紙

セットを確認してください

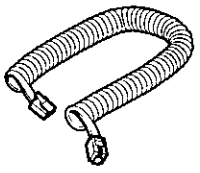
■本体（一式）



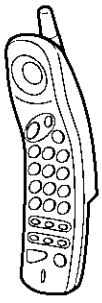
ファクス本体 1台



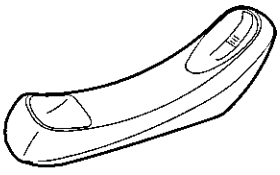
ハンドセット（受話器） 1個



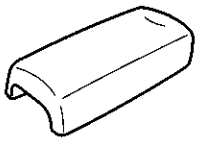
ハンドセット（受話器）コード 1本



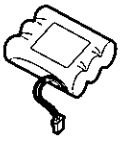
コードレス電話機
(T-241DCLw：2台)
(T-241DCL　：1台)



充電器（コードレス電話機用）
(T-241DCLw：2個)
(T-241DCL　：1個)



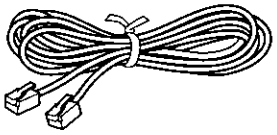
電池カバー
(T-241DCLw：2個)
(T-241DCL　：1個)



電池パック
(T-241DCLw：2個)
(T-241DCL　：1個)

■付属品

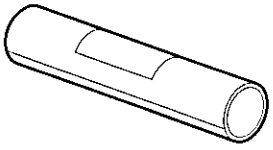
コードレス電話機充電器用
電源アダプタ(約 1. 8 m)
(T-241DCLw：2個)
(T-241DCL　：1個)



電話機コード（1本）
（約 3 m）

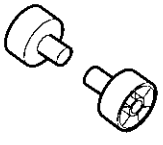
記録紙トレイ
（1個）

原稿ホッパー
（1個）



感熱記録紙
B4サイズ（257 mm× 30 m）
（1巻）

充電器
壁掛け用ネジ
(T-241DCLw：4本)
(T-241DCL　：2本)



A4記録紙アダプタ
（2個）

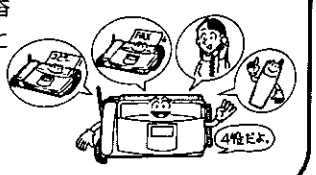
- 保証書　（1部）
- 取扱説明書（1冊）
- 工事説明書（1枚）
- アンケートはがき（1枚）
- NTT通信機器お取扱相談センタシール（1枚）
- 内線番号シール（1枚）
- ディジタルコードレス電話機対照表（1枚）
- ワンタッチ／短縮ダイヤルラベル
(T-241DCLw：4枚)
(T-241DCL　：2枚)

●セットに足りないものがあったり、取扱説明書に乱丁・落丁があった場合には、NTT窓口等へご連絡ください。

特　長

4通りの使い方ができます

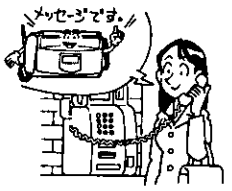
ファクス、コピー、留守番電話、コードレス電話機として使えます。



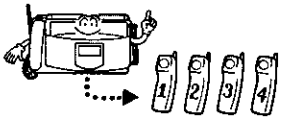
外出先から操作できます

●リモコン操作

外出先からリモコン操作で留守番電話をセットしたり、留守中に録音された用件を聞くことができます。
(☛P114)



コードレス電話機を増設して合計4台まで利用できます

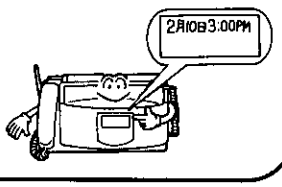


T-241DCLwの場合、コードレス電話機をあと2台加えて、最大4台で利用することができます。
(T-241DCLの場合、あと3台増設できます)。

- **コードレス電話機どうしでお話しすることができます。****(☛P77)**

わかりやすい液晶ディスプレイの表示

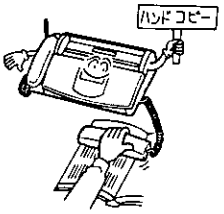
現在の時刻、留守番電話の用件の数などをわかりやすく表示します。登録操作、設定操作も簡単に行えます。



ハンドコピーが使えます

●ハンドコピー

本や厚い原稿でもコピーをとったりファクスで送ることができます。



ハンズフリー通話ができます

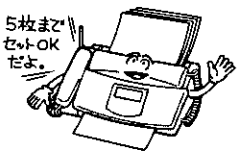
ハンドセットを持たずに話をすることができます。また周りの人の声などもバランス良く聞こえますので、家族みんなで相手の方とお話しできます。

■ファクスの特長

一度に5枚までの原稿をセットできます

●自動給紙

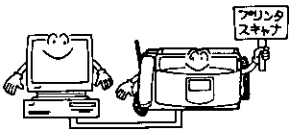
5枚までの原稿であれば一度にセットできます。
(☛P38)



パソコンなどに接続して使えます

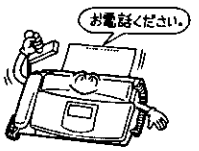
●プリンタ・スキャナ機能

パソコンなどに接続してプリンタとして使ったり、スキャナの代わりに使ったりすることができます。
(☛P156)



ファクスやコピーする原稿にスタンプを付けられます

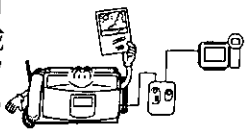
3種類のスタンプ機能（オリジナルスタンプ／メッセージスタンプ／おきまりスタンプ）により、ファクス送信やコピーする原稿にスタンプを付けて送信やコピーができます。
(☛P132)



テレビやビデオの画面が送れます

●絵はがきFAX機能

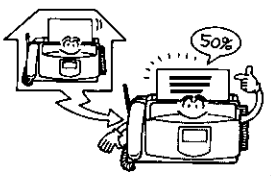
別売のビデオキャプチャユニットでビデオカメラなどで取り込んだ画像を、あらかじめメモリに読み込んでおいた原稿と合成して、絵はがきのようなファクスを送ることができます。
(☛P150)



感熱記録紙を節約できます

●ペーパーセーブ受信

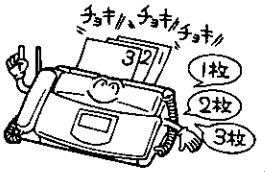
送信されてきた原稿を縦方向に約50%に縮小して受信することができます。
(☛P158)



感熱記録紙を自動でカットすることができます

●オートカット

受信したファクスをページごとにオートカットしたり、紙がなるべく丸まらないようにすること（ノンカール機能）ができます。(☛P158)

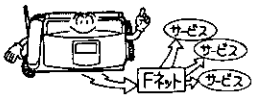


コードレス電話機でファクスの受信操作ができます

コードレス電話機からでもファクスを受信する操作ができます。(☛P56)

Fネット（ファクシミリ通信網サービス）をご利用になれます

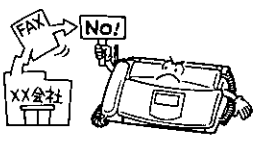
Fネットをご利用になると、無鳴動自動受信、不達通知、一斉同報通信など、さまざまなサービスが実現します。Fネットをご利用になるにはNTTとの利用契約が必要です。(☛P146)



相手を選んでファクスを受信することができます

●セレクト受信／迷惑FAX防止機能

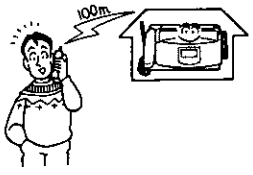
登録した番号からのファクスだけを受信することや、ファクスを受けたくない相手からのファクスを受信しないように設定することができます。(☛P158)



■電話の特長

半径100m程度の持ち運びが自由

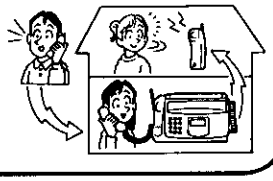
コードレス電話機は、ファクス本体から半径100m程度（見通し距離）の範囲で使用できますので、お話ししながらの移動もできます。また2台のコードレス電話機でトランシーバのように利用できます。



外との電話を他の電話機に転送できます

●保留転送

外との電話を他の電話機に転送することができます。(☛P78)



ディジタル留守録が使えます

用件を聞くのに巻き戻しが不要です。フラッシュメモリ採用のため、停電になっても録音内容は消えません。

補聴器がお使いになれます

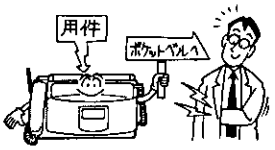
●ヒヤリングエイド対応ハンドセット

ファクス本体のハンドセットは、誘導コイルタイプの補聴器に対応しています。聞き取りにくい電話も補聴器を付けて聞くことができます。

用件が録音されたことを外出先にお知らせします

●ポケットベル呼び出し／用件転送

留守中に用件が録音されたことを外出先の電話などに知らせます。ポケットベルの呼び出しもできます。(☛P103)



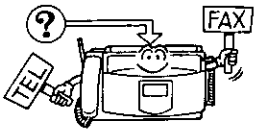
パーソナル留守録が使えます

家族ひとりひとりが留守番BOXを持つことで自分専用の留守録として使うことができます。録音された内容は、暗証番号を入力しないと聞けないので、プライバシーを守ることができます。(☛P94)

1本の回線で電話専用番号とファクス専用番号を登録できます

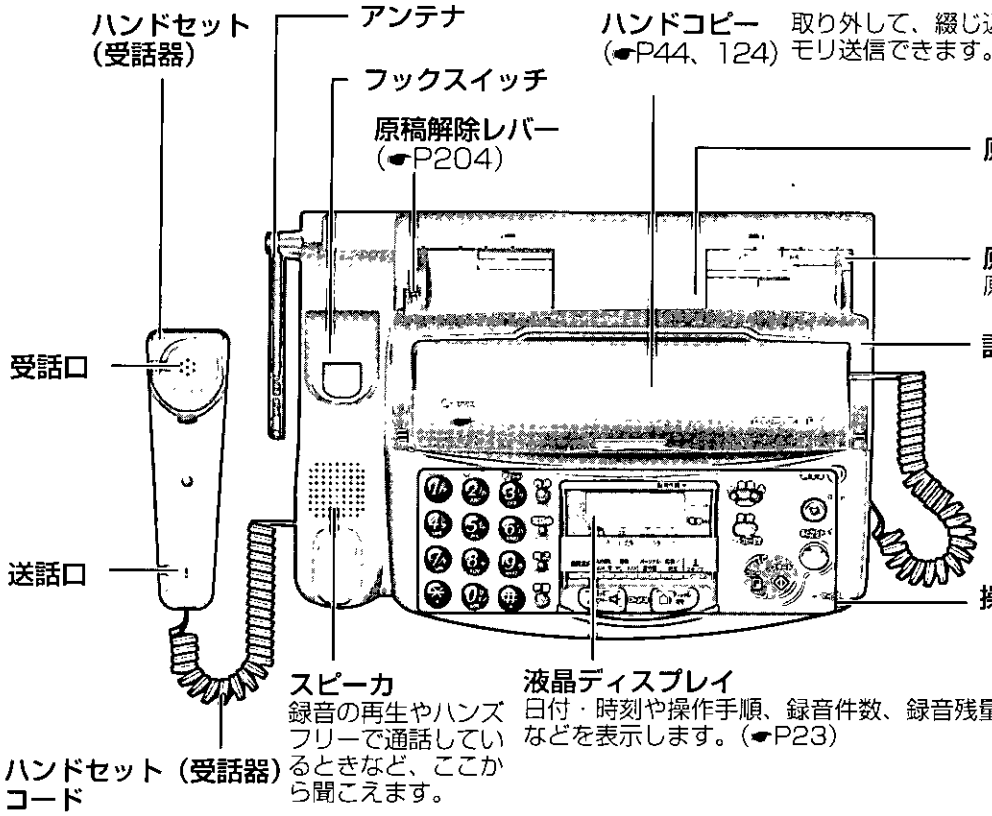
●ダイヤルインサービス

ダイヤルインサービスを利用すれば、1本の電話回線に電話用の番号5つ、ファクス用の番号1つの最大6つの番号を登録してそれぞれを使い分けることができます。(☛P176)

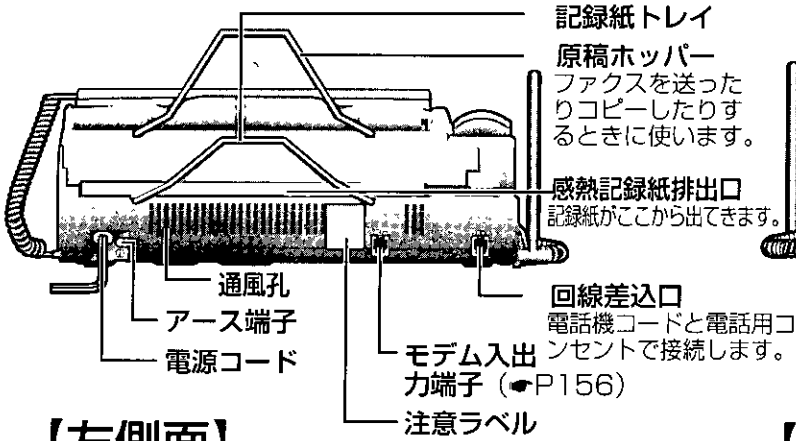


各部の名前

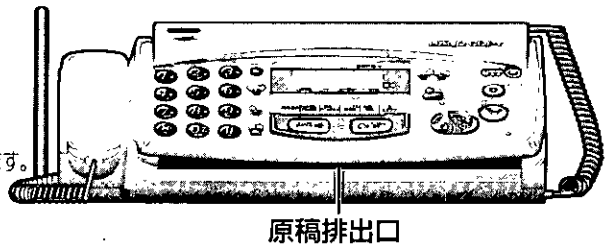
ファクス本体



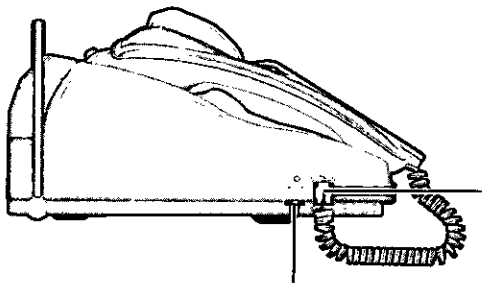
【背面】



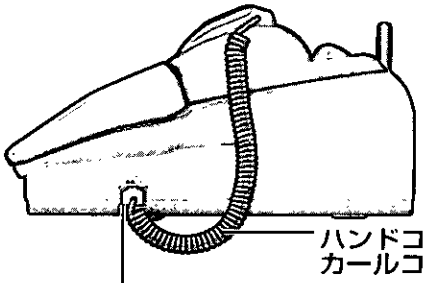
【前面】



【左側面】



【右側面】



【操作パネル】

ダイヤルボタン
電話をかけたり、文字を入力するときなどに使います。

1 戻しボタン
再生中に録音を聞き直したり、1つ前の録音を聞いたりするときに使います。(☛P100)

2 再生ボタン
録音を再生するときに使います。押すごとに、標準、早聞き(1.5 倍速)、遅聞き(0.5 倍速)に切り替わります。(☛P100)

3 送りボタン
再生中に次の録音をとばすときに使います。(☛P100)

＊ スター(PB)ボタン
ダイヤル回線を使用している場合、プッシュホンサービスを利用するときに使います。(☛P186)

 # シャープボタン
いろいろな項目を選んだり、通常のダイヤル発信以外の新しいサービスを利用するときなどに使います。

音量ボタン(大、小)
着信音量やスピーカの音量を変えるときに使います。(☛P70)

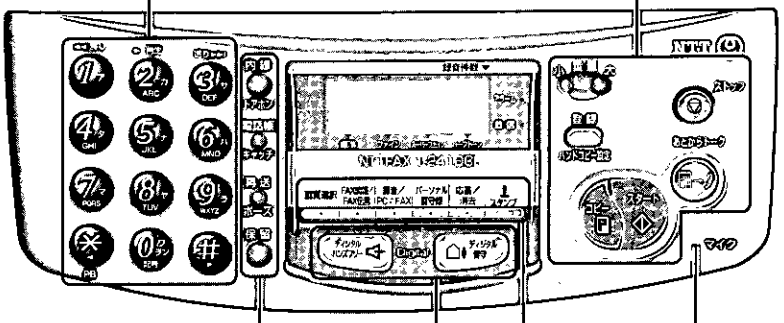
登録／ハンドコピー設定ボタン
いろいろな設定を登録するときやハンドコピーで拡大／縮小(☛P44)するときなどに使います。

コピーボタン
原稿をコピーするときに使います。

スタートボタン
ファクスの送受信または登録操作をするときに使います。

ストップボタン
操作を途中で止めるときやファクス送信を途中で止めるときなどに使います。

あとからトークボタン
相手とお話ししたあとファクスを送受信して、もう一度相手とお話しするときに使います。(☛P126、128)



内線／ドアホンボタン
コードレス電話機と内線通話をするときや、通話中にドアホンとお話しするときに使います。(☛P72)

電話帳／キャッチボタン
相手の名前を選んでファクスを送ったり電話をかけたりするときに使います。(☛P90、91) また、キャッチホンサービスを利用するときに使います。(☛P187)

再送／ポーズボタン
最後にダイヤルした相手にもう一度ダイヤルするとき、または電話番号の間に待ち時間(ポーズ)を入れるときに使います。(☛P51、62、86)

保留ボタン
お話しを保留するときに使います。(☛P68)

ディジタルハンズフリーボタン
ハンドセットを置いたまま電話やファクスを利用するときに使います。(☛P50、59)

ディジタル留守ボタン
外出時に留守セットするときに使います。(☛P98)

マイク
ハンズフリー通話をするとき(☛P59)に使います。

画質選択ボタン
原稿の文字の大きさや種類に合った画質を選ぶときに使います。(☛P40)

FAX情報／FAX伝言ボタン
ファクシミリ情報サービスを利用するときや、相手が留守のときFAX伝言を送るときに使います。(☛P129、140)

録音／PC⇄FAXボタン
電話の内容を録音するときなどに使います。(☛P164) また、パソコンに接続してプリンタやスキャナとして利用するときに使います。(☛P156)

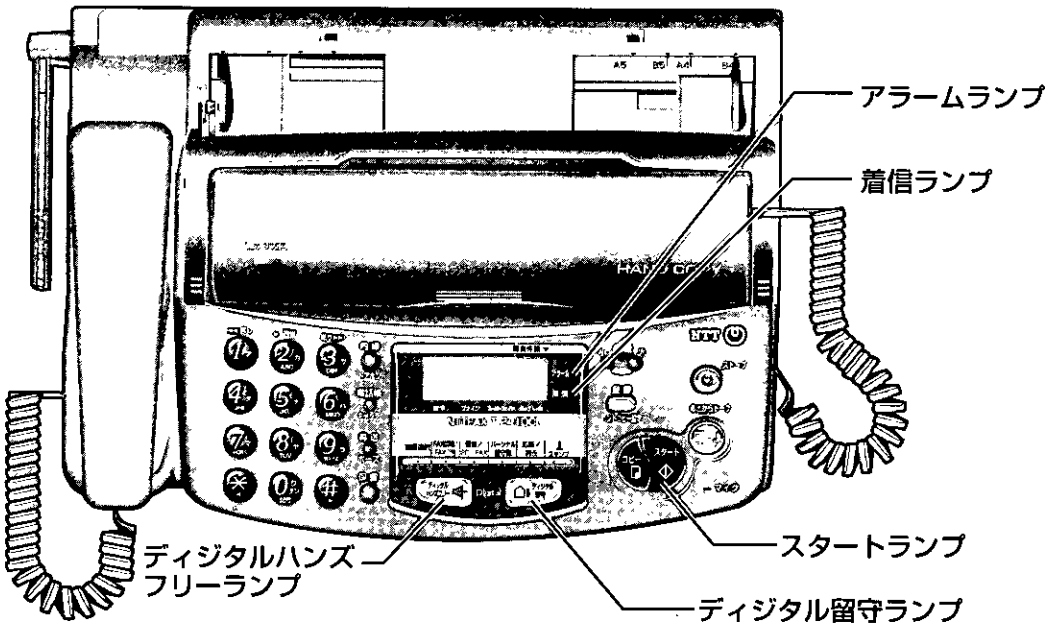
パーソナル留守録ボタン
自分専用の留守録として録音したり、録音を聞くときに使います。(☛P172)

応答／消去ボタン
応答メッセージを録音したり、用件を消去するときに使います。(☛P100、110)

スタンプボタン
メッセージなどを付けてファクスを送るときに使います。(☛P133、150)

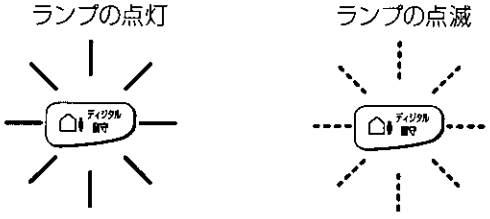
各部の名前

【ランプ表示】



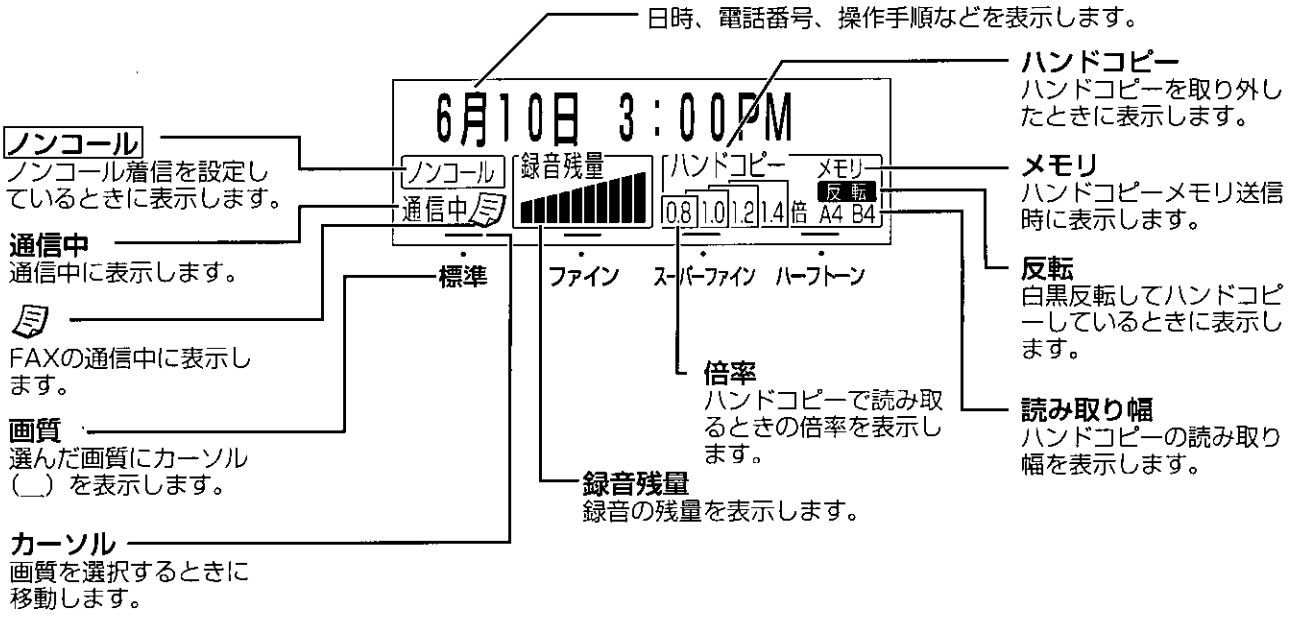
■ランプの表記について

この取扱説明書では、ランプについて以下のように表記します。



ランプの種類	ランプのつき方（色）	ファクス本体の状態
アラームランプ	点灯（赤）	感熱記録紙がなくなっているときや正しくセットされていないとき 記録紙カバーが開いているとき 通信エラーになったとき 記録部の温度が異常になったとき ハンドコピーをきちんとセットしていないとき オプションの接続に失敗したとき 原稿がつまっているとき
着信ランプ	点滅（緑）	着信があったとき
ディジタル留守ランプ	点灯（赤）	留守セットされているとき
	点滅（赤）	留守録に用件が録音されているとき 未再生の用件が残っているとき
スタートランプ	点灯（緑）	ファクスを送受信しているとき
	点滅（緑）	あとからトークしているとき
ディジタルハンズフリーランプ	点灯（橙）	ハンドセットを置いたまま、電話をかけているとき
	点滅（橙）	受話専用のとき

【液晶ディスプレイの見方】



■ボタンと表示の対応

ボタン	1	2	3	4	5	6	7	8	9	0	＊（スター）	#	ポーズ
表示	1	2	3	4	5	6	7	8	9	0	*	#	−

- ファクスの状態表示においては、相手機により表示しない場合があります。
- 表示される電話番号は16桁までです。16桁を超えてダイヤルボタンを押すと、左に繰り上がって表示されます。
- 取扱説明書の中で表示している液晶ディスプレイはイメージです。

■液晶ディスプレイとアラーム音

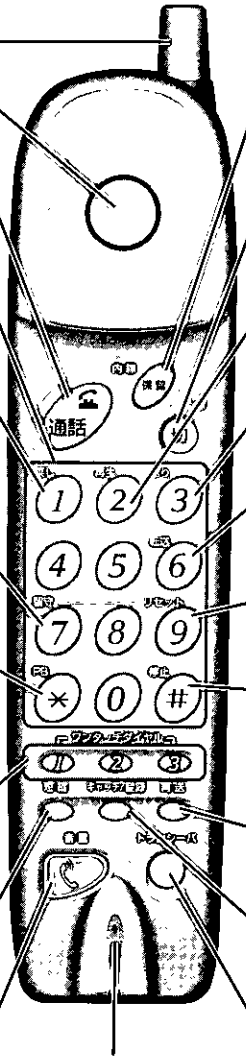
いろいろなアラーム音と液晶ディスプレイの関係については、「こんな表示や音がしたら」（☛P209）をご覧ください。

■液晶ディスプレイの表示切替時間

ユーザセレクトのディスプレイ操作表示切替時間で液晶ディスプレイ表示を何秒間隔で切り替えるかを設定することができます。お買い求め時は、液晶ディスプレイ表示を約3秒間隔で切り替えるように設定されています（☛P162）。

各部の名前

コードレス電話機



アンテナ

受話口

通話ボタン
電話をかけるときや受けるときに使います。

ダイヤルボタン
電話をかけるときなどに使います。

(1)戻しボタン
再生中に録音を聞き直したり、1つ前の録音を聞いたりするときに使います。(☛P101)

(7)留守ボタン
留守をセットするときに使います。(☛P99)

(*)スター（PB）ボタン
ダイヤル回線をご使用の場合、プッシュ信号を送るときなどに使います。(☛P186)

ワンタッチダイヤルボタン
電話番号を登録しておいて、ボタン1つで相手に電話をかけることができます。3件まで登録できます。(☛P88、92)

短縮ボタン
短縮ダイヤルで電話をかけたりするときに使います。(☛P89、93)

音量ボタン
着信音や受話音量を変えるときに使います。(☛P70)

送話口（マイク）

保留／内線ボタン
ファクス本体と内線でお話しするときやお話しを保留するときに使います。(☛P74、76、80、82)

切／電源ボタン
外との電話や内線通話を切るときに使います。約2秒以上押して、電源ON/OFFのときにも使います。

(2)再生ボタン
録音された内容を再生するときに使います。(☛P101)

(3)送りボタン
再生中に次の録音にとばすときに使います。(☛P101)

(6)転送ボタン
パーソナル留守録の設定時、転送をセットまたは解除するときに使います。(☛P104)

(9)リセットボタン
留守セットを解除するときに使います。(☛P101)

(#)シャープ（停止）ボタン
通常のダイヤル発信以外の新しいサービスを利用するときなどに使います。また、録音した内容の再生を停止するときに使います。

再送ボタン
最後にかけた相手にもう一度ダイヤルするときに使います。(☛P63)

キャッチ／登録ボタン
キャッチホンサービスを利用するとき(☛P187)やいろいろな登録をするときに使います。

トランシーバボタン
トランシーバ通話をするときに使います。(☛P188)

【背面】

リンガ

電池カバー
(☛P30、206)

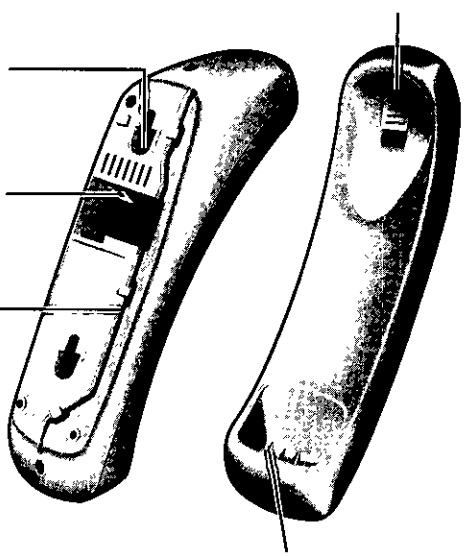
【充電器】

壁掛け用穴
コードレス電話機を壁に掛けるときに使います。(☛P201)

電源アダプタコード差込口
電源アダプタからのコードを差し込みます。

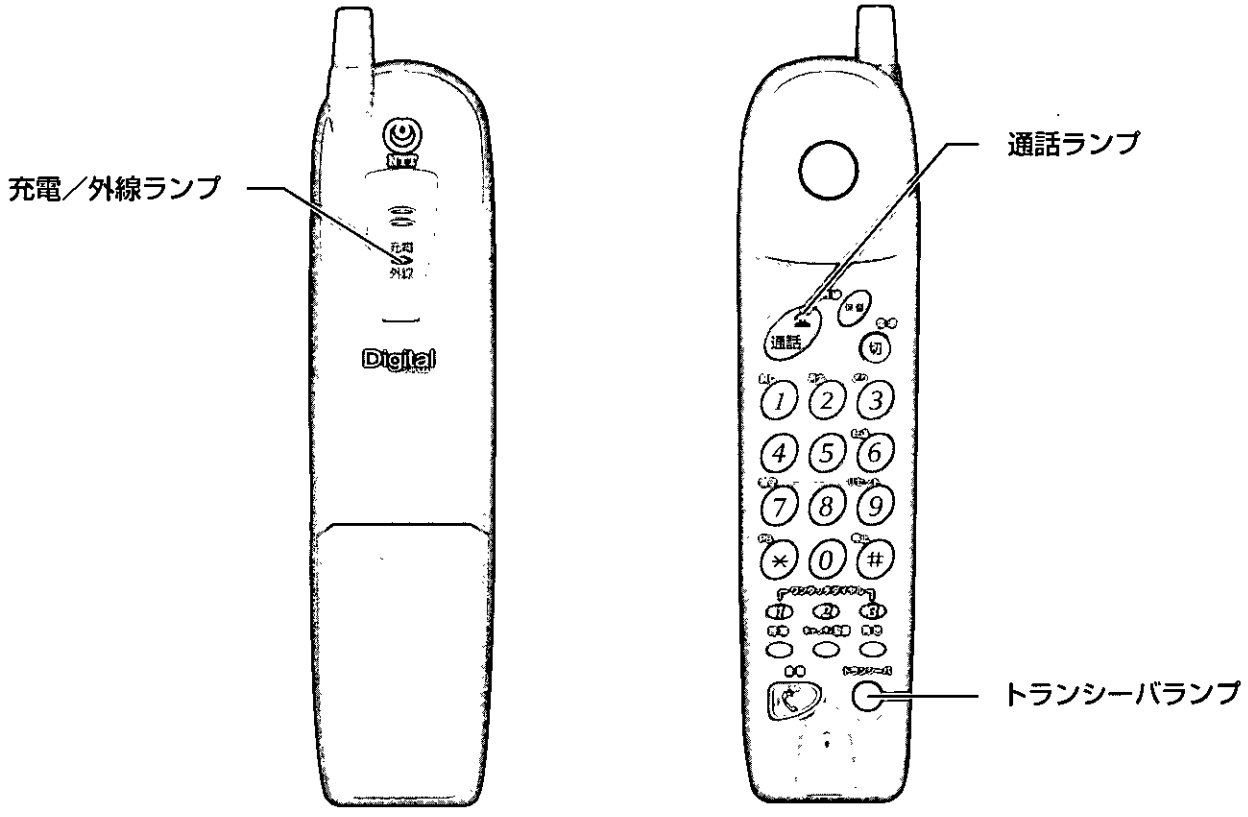
溝
充電器のコードを入れます(上下どちらでもコードを引き出せます)。(☛P31、201)

壁掛け用ツメ
コードレス電話機を壁に掛けるときに使います。(☛P201)



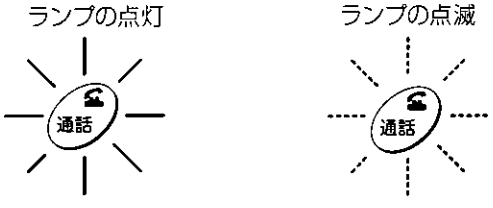
充電端子

【ランプ表示】



■ランプの表記について

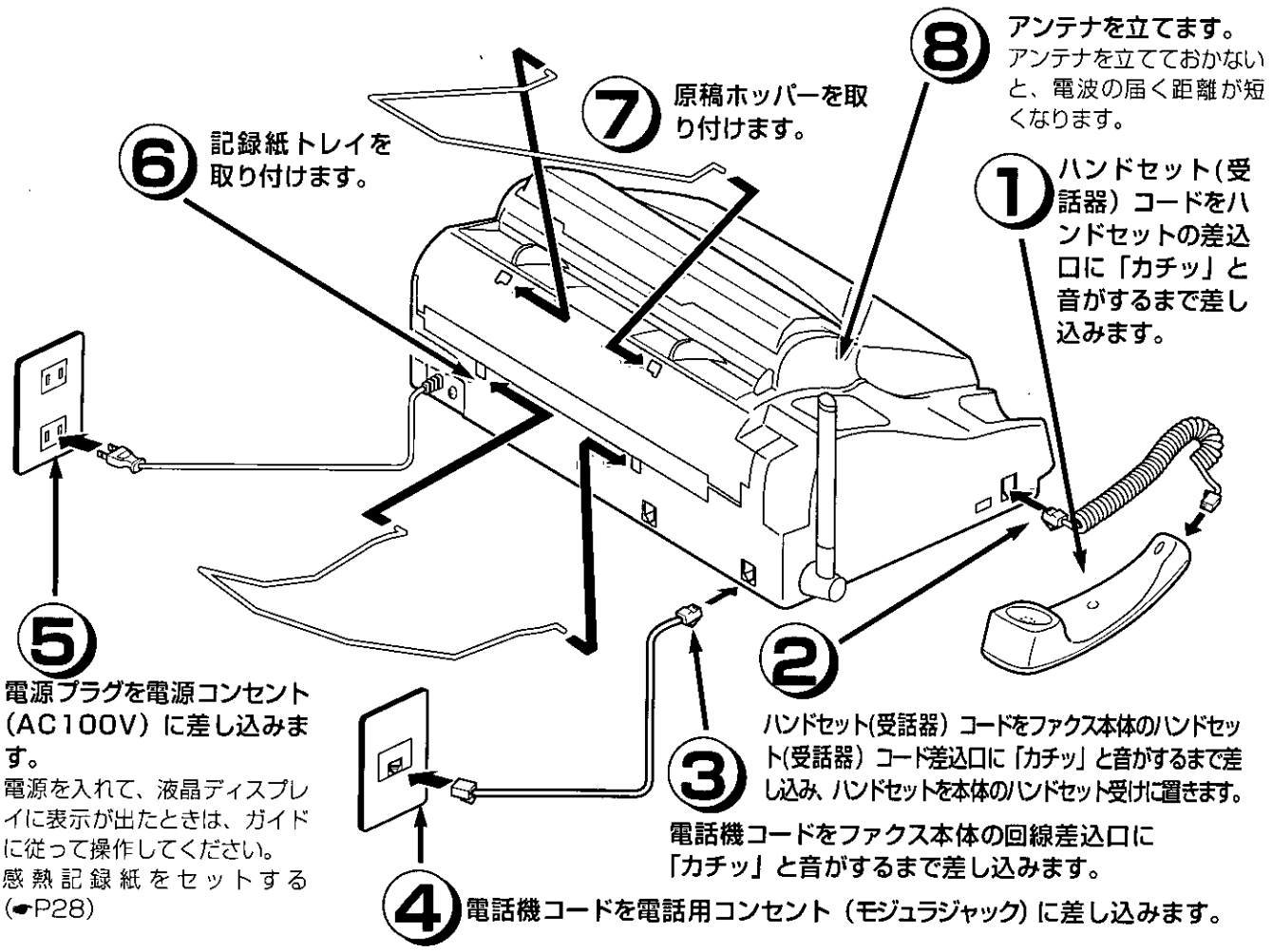
この取扱説明書では、ランプについて以下のように表記します。



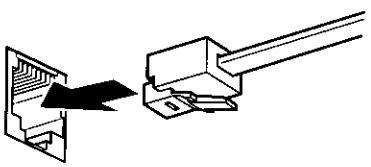
ランプの種類	ランプのつき方（色）	コードレス電話機の状態
充電／外線ランプ	点灯（緑）	充電が十分された状態で、通話中のときや充電器においているとき
	点灯（赤）	充電が不足ぎみの状態で、通話中のときや充電器においているとき
	点灯（橙）	ファクス本体で外の方とお話し中のとき 他のコードレス電話機で外の方とお話し中のとき
	点滅（赤）	外線／内線がかかってきたとき、ドアホンが鳴ったとき、保留中で充電器に置いているとき、充電が必要なとき（通話可能時間約1分以下）
通話ランプ	点灯（緑）	外線、内線、ドアホン、トランシーバ通話中のとき
	点滅（緑）	外線、内線、ドアホン、トランシーバがかかってきたとき、内線で呼び出すとき、内線リモコンで操作しているとき、保留しているとき
トランシーバランプ	点滅（赤）	トランシーバモードになっているとき

ファクス本体を接続します

電話回線のコンセントがモジュラジャック式でないときは工事が必要です。局番なしの116番またはNTT窓口等へご相談ください。

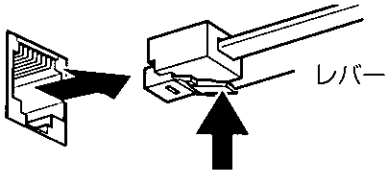


●ハンドセット(受話器)コードや電話機コードを差し込むとき



「カチッ」と音がするまで差し込んでください。

●ハンドセット(受話器)コードや電話機コードを引き抜くとき



レバーを押さえながら引き抜いてください。

お知らせ

●お使いになるホームテレホンや交換機などの種類によって接続方法が異なります。

●PBX(構内交換機)等に接続したときは、NTTのサービス取扱所へお問い合わせください。また、これらに接続した場合は、ダイヤルインサービスはご利用になれません。

●ビジネスホン、ホームテレホンプロセッサに接続した場合、ノンコール着信はできません。

●電源を入れると、ファクス本体の底面等が部分的にあたたかくなりますが故障ではありません。
放熱性が悪くなりますので、本体の下に布、マット、ビニール等を敷かないでください。

お願い

●同じ回線に他の電話機をブランチ接続しないでください。
正常に動作しない場合があります。

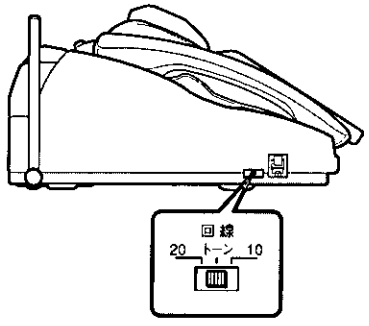
電話回線の種別を合わせます

ご利用になっている電話回線の種別、ダイヤル速度に合わせて、ファクス本体の左側面にある回線種別切替スイッチを設定します。
電話回線には、プッシュ（トーン）回線とダイヤル（パルス）回線があります。

177（天気予報）などに電話をかけてみます。

かかる

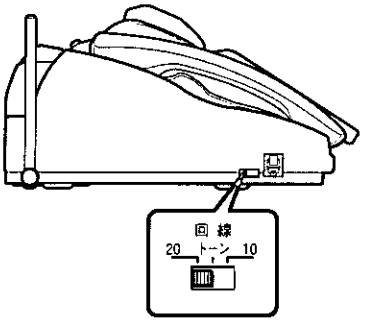
この図のようになっているかを確認してください。



そのままの設定でお使いください。

かからない

回線種別切替スイッチを20に合わせます。



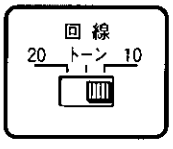
もう一度、177（天気予報）などに電話をかけてみます。

かかる

そのままの設定でお使いください。

かからない

回線種別切替スイッチを10に合わせてお使いください。



お知らせ

- 詳しくは、NTT 窓口等へお問い合わせください。
- 177 番に電話をかけると、通話料金がかかります。
- 電話回線の種別を間違えて設定されていても、電話を受けることはできます。
- PBX（構内交換機）に接続したときは、当社のサービス取扱所へお問い合わせください。

お願い

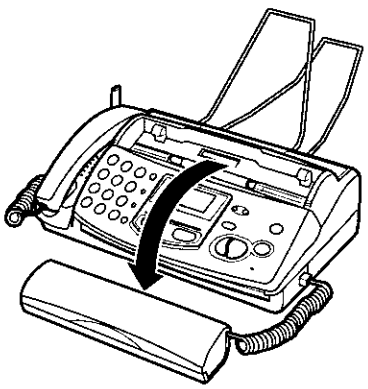
- 回線種別切替スイッチは正しく設定してください。回線種別切替スイッチを正しく設定しないと、電話がかからなかったり、違う相手にかかったりします。

感熱記録紙をセットします

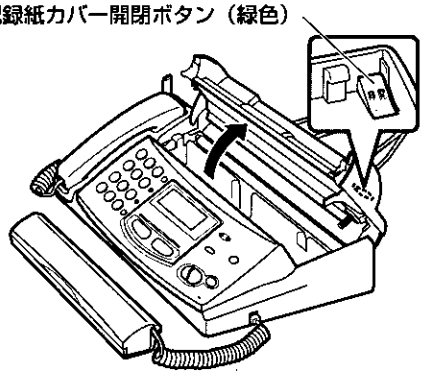
ファクス本体に感熱記録紙をセットします。お買い求め時はB4サイズの感熱記録紙をセットするようになっています。

■感熱記録紙をセットする

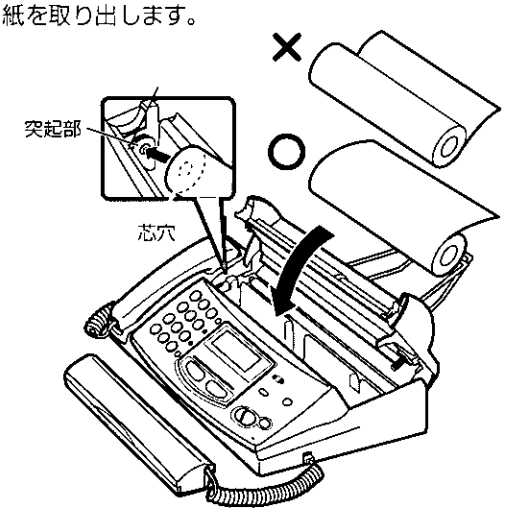
①ハンドコピーを取り外します。
ハンドコピーの後ろを少し持ち上げてから取り外します。



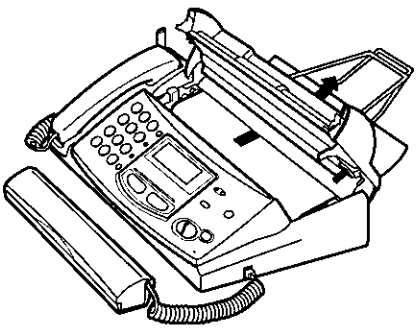
②記録紙カバー開閉ボタンを押して、記録紙カバーを開けます。



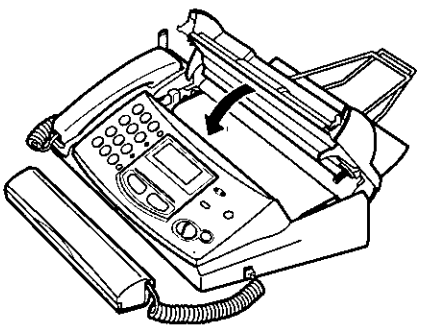
③感熱記録紙を入れます。
たるみをなくし、感熱記録紙の巻き方向に注意してください。感熱記録紙は向かって左側の芯穴をファクス本体の突起部にはめ込み、左側に感熱記録紙を押しながら同様に右側にはめ込みます。
感熱記録紙を交換するときは、残っている感熱記録紙を取り出します。



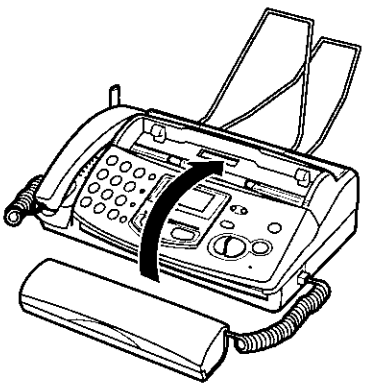
④感熱記録紙の先端を記録紙挿入口(金具の下)に差し込みます。先端を約5cm程度、外に引き出してください。
A4サイズの感熱記録紙の場合、矢印◀の幅に沿って感熱記録紙をまっすぐに引き出してください。



⑤記録紙カバーの両端を押して、「カチッ」と音がするまで閉めます。
感熱記録紙が自動的に切り取られます。



⑥ハンドコピーを元の位置に戻します。

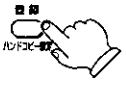


⑦ 記録紙サイズを設定するために登録ボタンを押します。

登録ボタンを押すと今までの感熱記録紙の使用量がクリアされます。

```
ｷﾛｸｼ ｻｲｽﾞ  (B4)
```

⑧ 登録ボタンを押します。

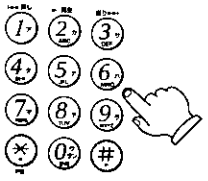


```
1:B4 2:A4
```

⑨ ＃ボタンまたは＊ボタンを押してサイズを選びます。

正しく設定されていないと両端が印刷されないことがあります。

```
1:B4 2:A4
```



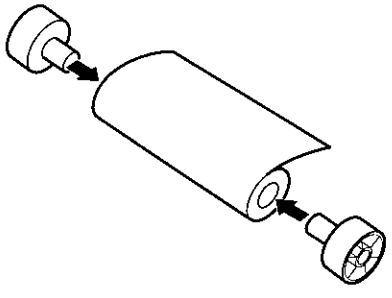
⑩ スタートボタンを押します。

```
B4 ニ ｼﾏｼﾀ
```

■A4感熱記録紙を使うとき

感熱記録紙にA4記録紙ガイドを取り付けます。

A4記録紙ガイド2個を感熱記録紙の左右に取り付けます。



⚠注意

- 記録紙カバーを閉めるときには、指などをはさまないように注意してください。
- 感熱記録紙の交換や原稿づまりなどで記録紙カバーを開けるときには、突起物にご注意ください。引っかけてけがの原因となることがあります。
- 感熱記録紙を交換するときは、記録ヘッドが発熱している場合がありますのでご注意ください。

ワンポイント

●感熱記録紙の使用量を確認するときは

ハンドセットを置いたまま原稿がセットされていないときにスタートボタンを押します。使用した長さの目安が表示されます。

```
ｷﾛｸｼ ｼﾖｳ  ﾔｸ25m
```

感熱記録紙がつまったときなど、感熱記録紙をセットし直して登録ボタンを押すと00 mに戻ります。登録ボタンを押さないときは続けて使用量をカウントします。

●感熱記録紙の端に赤い線が出てきたら

感熱記録紙が残り少なくなったときに出てきます。

●感熱記録紙がセットできないときや「キロクシガ ツマッテイマス」と表示されたときは

カッターから感熱記録紙の先端が出ているかどうか確認してください。また、レバーの位置が定位置にあるかどうか確認してください。

●感熱記録紙がなくなったら

「ピーピーピー」というアラーム音が鳴り（アラームランプ点灯）、液晶ディスプレイに「キロクシ ガ アリマセン」と表示されます。新しい感熱記録紙をセットしてください。

●感熱記録紙を交換したときは

コピーをして、感熱記録紙が正しく入っているかどうか確認してください。

●受信、コピー後の感熱記録紙を長期間保存するときは

複写機でコピーしたものを保存してください。

お知らせ

●使用できる感熱記録紙の最大寸法は以下のとおりです。

B4幅：257 mm × 30 m　外形53 mm
芯のサイズ 0.5インチ

A4幅：210 mm × 30 m　外形53 mm
芯のサイズ 0.5インチ

STOP お願い

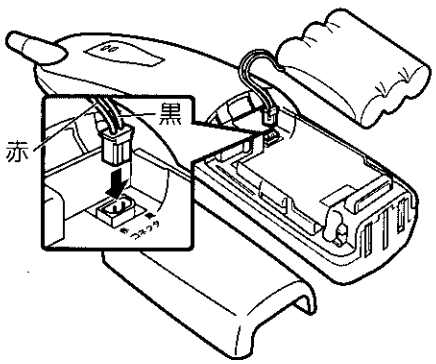
- 記録紙サイズの選択を誤って設定すると、両端が印刷されないことがあります。もう一度記録紙をセットし直して、記録紙サイズを正しく設定してください。
- ファクス本体を移動したときは、必ず感熱記録紙をきつく巻き直してください。ゆるくなったままでは、受信やコピーのとき、感熱記録紙が出てこない場合があります。
- 指定の感熱記録紙をお使いください。指定外の感熱記録紙を使うと、受信やコピーの記録が薄くなったり、故障の原因となることがあります。

コードレス電話機の準備をします

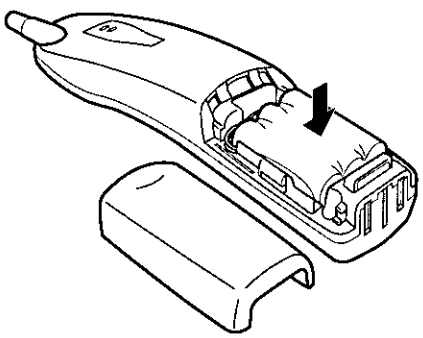
コードレス電話機を使うには、まず十分に充電します。お買い求めのあと初めてお使いになるときは、充電器に必ず5時間以上置いて充電してください。

■コードレス電話機の電源を入れる

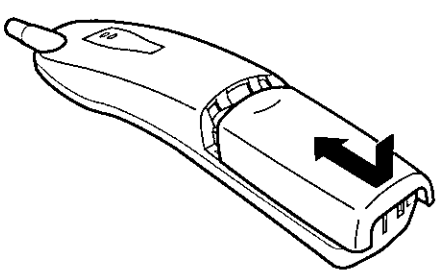
① 電池パックのコネクタを差し込みます。
コネクタは、赤いコードが左になるようにして、最後まで確実に差し込みます。



② 電池パックを入れます。
電池カバーを取り付けたとき、コードが電池カバーにあたらないように、コードをケース内へしっかり押し込んでください。



③ 電池パックのコードをはさまないように注意して、電池カバーを取り付けます。
コードをはさまないように注意して、「パチッ」と音がするまでしっかりと押してください。



④ 切 ボタンを2秒以上押します。
「ピッ」という音が鳴って、電源が「ON」になります。

⑤ 内線番号シールを貼ります。

ワンポイント

●通話時間について
コードレス電話機をいっぱいに（5時間以上）充電した状態で、通話できる時間は約5時間～約3時間です。また、連続待ち受け時間は約240時間（トランシーバモード時は約120時間）です。

●クイック通話とは
通話 ボタンを押さなくても充電器から取りあげるだけで電話をかけたり、受けたりすることができます（クイック通話）。お買い求め時はクイック通話が設定されています。（☛P192）

お知らせ

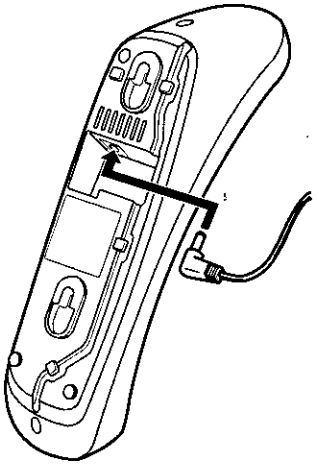
- コードレス電話機を使わないときは、いつも充電器に戻してください。
- 充電中は充電器やコードレス電話機が温かくなりますが、異常ではありません。
- お話し中や登録の操作中に電池残量がなくなると、充電／外線ランプが点滅して「ピー」と警報音が鳴り、約1分後に通話が切れます。このときは、いったん電話を切って充電するか、ファクス本体に転送してお話ししてください。

STOP お願い

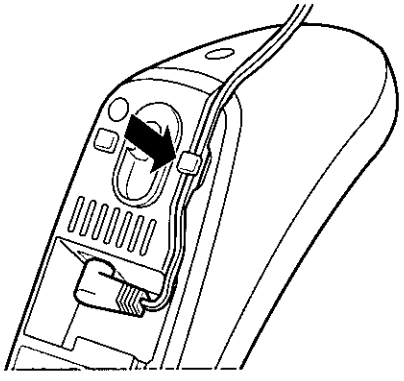
- **電池カバーはしっかりと閉めてください。不十分だとカバーが外れ電池パックが落下するおそれがあります。**

■コードレス電話機を充電する

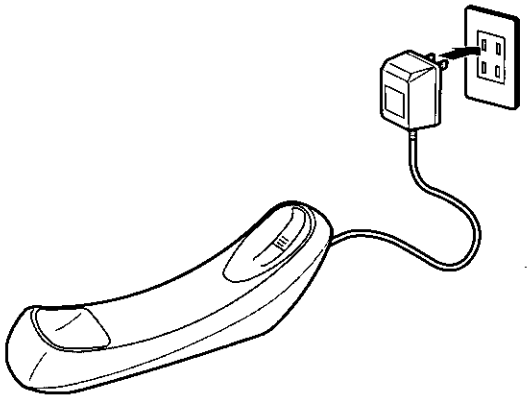
① 電源アダプタのプラグを充電器の電源アダプタ用コード差込口に差し込みます。



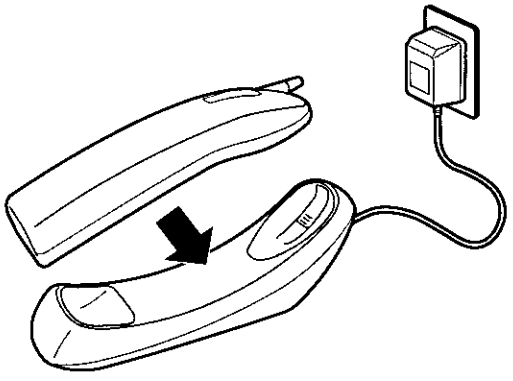
② 充電器の電源アダプタのコードを溝に埋め込みます。
上下どちらでもコードを引き出すことができます。



③ 電源アダプタを電源コンセント(AC100V)に差し込みます。



④ コードレス電話機を充電器に置き、約5時間以上充電します。
充電が開始されると充電ランプが点灯します。



お知らせ

- 充電中は、充電器やコードレス電話機の底面があたたかくなることがありますが、故障ではありません。
- 充電器、コードレス電話機がぬれているときは、必ず乾いた布でふきとってから充電してください。

STOP お願い

- はじめてお使いのときや電池パックを交換したときは、必ず約5時間以上充電してください。
- コードレス電話機をご使用にならないときは、常に充電器に置いて充電するようにしてください。
- 充電端子が汚れていたり、異物がついていると、コードレス電話機を充電器に置いても充電されないことがあります。いつもきれいにしておいてください。

⚠ 警告

- 電源アダプタは付属のものをお使いになり、それ以外のものは絶対に使用しないでください。火災、感電の原因になることがあります。

コードレス電話機の準備をします

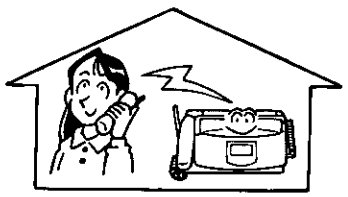
■モードを設定する

コードレス電話機は、使い方によってモードを切り替えます。

屋内モード

●屋内で利用する場合

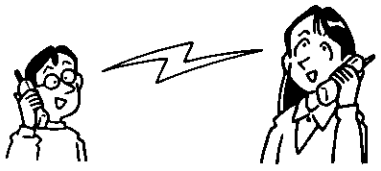
ファクス本体に接続されている電話回線を通じて電話をかけたり、受けたりすることができます。



トランシーバモード

●トランシーバ通話を利用する場合

コードレス電話機どうしでファクス本体を介さず直接お話しできます（通話料金はかかりません）。（T-241DCLの場合は、コードレス電話機を増設してご利用になれます。）



1 充電器から取りあげて、㊐ボタンを押します。

充電器から外しているときは、通話ランプが点灯していないことを確認します。

2 トランシーバボタンを2秒以上押します。

「ピー」という音が鳴って、モードが切り替わります。

屋内モード：トランシーバランプが点滅していない

トランシーバモード：トランシーバランプが点滅している

■電池残量を確認する

充電／外線ランプのつきかたで、通話可能時間の目安がわかります。ランプは通話中と充電中に表示されます。

ランプのつきかた		通話可能時間の目安
	点灯（緑）	約5時間～約3時間
	点灯（赤）	約3時間～約1分間 （早めに充電）
	点滅（赤）	（すぐに充電）
	消灯	（すぐに充電）

■お話しできる範囲を確認する

お話しできる圏内（電波の届く範囲）は、モードにより次のようになります。

〈屋内モード〉

ファクス本体から見通し距離で約100m以内

〈トランシーバモード〉

コードレス電話機どうしが見通し距離で約100m以内

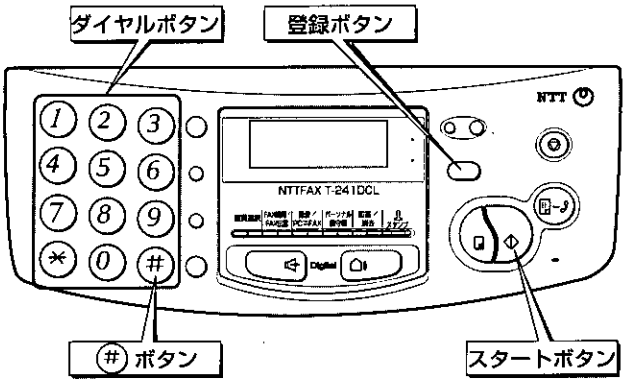
通話中にコードレス電話機を圏外に持ち出すと「ピーピーピー」という音が鳴りますので、すぐに圏内に戻ってください。

お知らせ

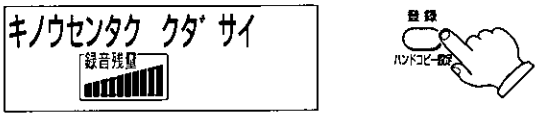
- ●コードレス電話機で通話中に「ピー」という音が鳴ったら、通話を終えるか、ファクス本体や他のコードレス電話機に転送してください。約1分後に電話が切れます。
- ●屋内モードでお使いのときは、ファクス本体から約100m以内の場所でも、周囲の環境によりお話しできないことがありますので、あらかじめ内線通話などによりファクス本体からの電波が弱い場所を確認しておくことをおすすめします。

日付と時刻を合わせます

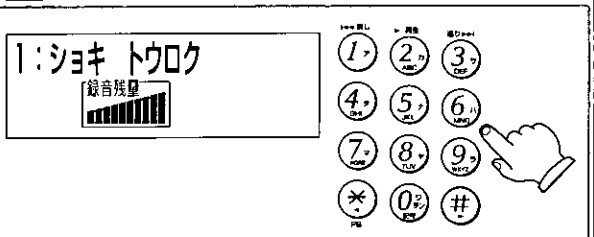
ファクス本体には、時計が内蔵されています。ファクスを送信するときには、送信した日付と時刻を相手の方の感熱記録紙に印刷させることができます。留守番電話では、録音された日付と時刻を自動的に記録します。ご使用になる前に、まず日付と時刻を合わせてください。



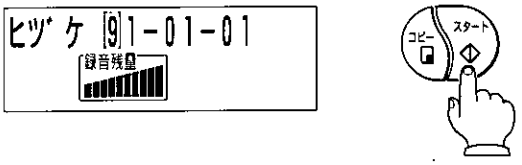
1 ハンドセットを置いたまま、登録ボタンを押します。



2 #ボタンを押します。



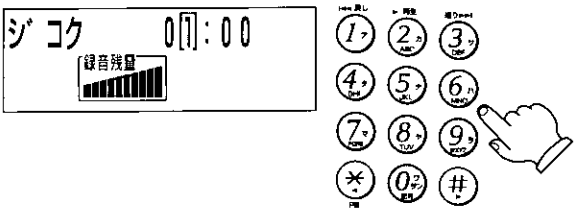
3 スタートボタンを2回押します。



時刻だけを修正するときはもう一度スタートボタンを押して手順5から操作します。

4 年月日をダイヤルボタンで入力します。

例：1997年6月10日のとき
97（西暦）0610（月日）と入力します。



ワンポイント

●入力を間違えたときには

ストップボタンを押すたびに後ろから1文字ずつ消えます。正しい年月日、時刻を入力し直します。

●入力の形式

・西暦は下2桁で入力します。
「92」と「93」を境にして次のように変わります。
93→1993年　00→2000年　10→2010年
92→2092年

・月日は月2桁、日2桁を入力します。

・時刻は24時間制で入力します。

●西暦と曜日の表示は

日付を入力すると、自動的に曜日が計算されます。液晶ディスプレイには西暦と曜日は表示されませんが、送信したファクスには印刷されます。

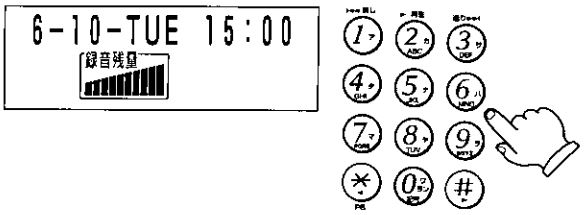
次ページに続きます。

日付と時刻を合わせます

前ページからの続きです

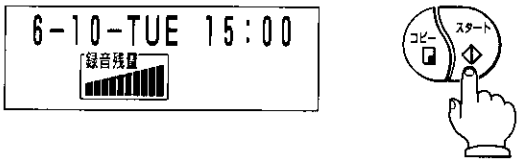
5 時刻をダイヤルボタンで入力します。

例：午後3時のとき
1500（時刻）と入力します。



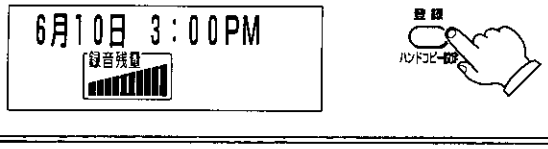
6 スタートボタンを押します。

登録が終了し、0秒から時計が動き始めます。



7 登録ボタンを押します。

日付・時刻表示になります。

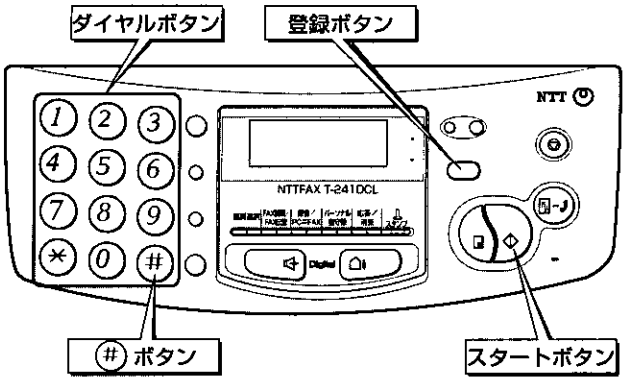


お知らせ

●時計表示はあくまで目安としてご利用ください。なお、誤差が生じたときは、設定し直してください（時間精度：平均月差±約60秒以内）。

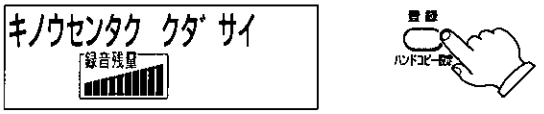
自分の名前とファクス番号を登録するには

自分の名前とファクス番号を登録します。ファクスの送受信のときに相手先に表示させることができます。

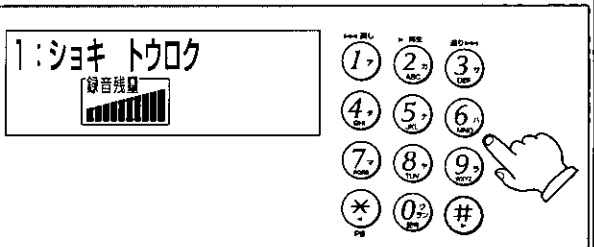


自分の名前を登録する

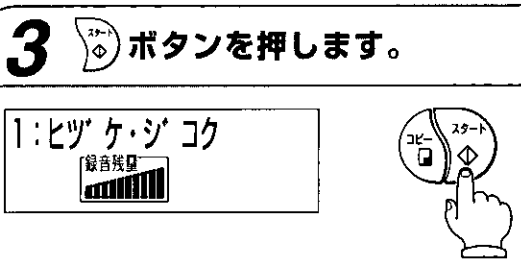
1 ハンドセットを置いたまま、登録ボタンを押します。



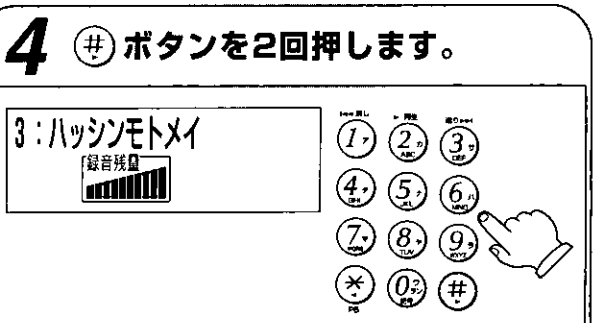
2 #ボタンを押します。



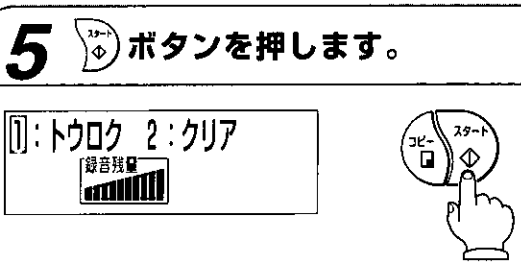
3 スタートボタンを押します。



4 #ボタンを2回押します。



5 スタートボタンを押します。



ワンポイント

●入力を間違えたときには

ストップボタンを押すたびに後ろから1字ずつ消えます。カーソル（■）位置を合わせ、正しい文字を入力します。

●登録した名前を変更するには

登録した名前をクリアして、登録し直します。

●登録した名前をクリアするには

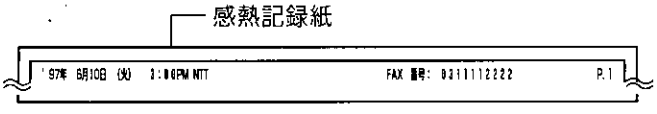
①手順1～5の操作をする
②#ボタンを押して「2:クリア」を選ぶ
③スタートボタンを2回押す
④登録ボタンを押す

●登録した内容を確認するには

プリントモードの登録設定リストを印刷します。（☛P122）

●発信元の印刷例

感熱記録紙



次ページに続きます。

自分の名前とファクス番号を登録するには

前ページからの続きです

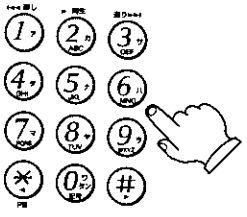
6 スタートボタンを押します。

ﾊｯｼﾝﾓﾄﾒｲ　　ｶﾅ
録音残量

7 あなたの名前をP84の手順に従って入力します。

最大24文字まで入力できます。

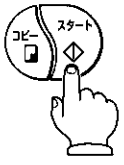
NTT□　　ABC
録音残量



8 名前の入力が終わったらスタートボタンを押します。

登録が終了します。

ﾄｳﾛｸ　ｼﾏｼﾀ
録音残量



9 登録ボタンを押します。

日付・時刻表示に戻ります。

6月10日 3:00PM
録音残量

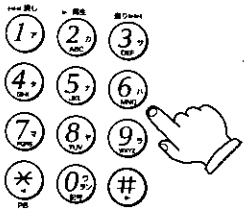
ファクス番号を登録する

1 ハンドセットを置いたまま、登録ボタンを押します。

ｷﾉｳｾﾝﾀｸ　ｸﾀﾞｻｲ
録音残量

2 #ボタンを押します。

1:ｼｮｷ ﾄｳﾛｸ
録音残量

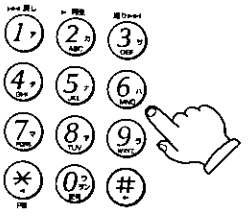


3 スタートボタンを押します。

1:ﾋﾂﾞｹ･ｼﾞｺｸ
録音残量

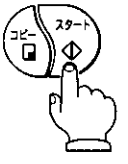
4 #ボタンを押します。

2:ﾊｯｼﾝﾓﾄ ﾊﾞﾝｺﾞｳ
録音残量



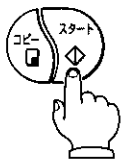
5 スタートボタンを押します。

[1]:ﾄｳﾛｸ　2:ｸﾘｱ
録音残量



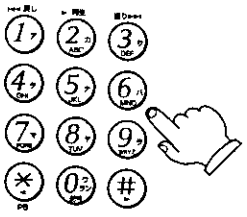
6 スタートボタンを押します。

NO. =
録音残量



7 ファクス番号（20桁以内）をダイヤルボタンで入力します。

NO. =0311112222
録音残量



8 番号の入力が終わったら、スタートボタンを押します。

登録が終了します。

トウロク シマシタ
録音残量

9 登録ボタンを押します。

日付・時刻表示に戻ります。

6月10日 3:00PM
録音残量

ワンポイント

●入力を間違えたときには

ストップボタンを押すたびに後ろから1文字ずつ消えます。正しい番号を入力します。

●登録したファクス番号を変更するには

登録したファクス番号をクリアして、登録し直します。

●登録したファクス番号をクリアするには

①手順1～5の操作をする
②(#)ボタンを押して「2:クリア」を選ぶ
③スタートボタンを2回押す
④登録ボタンを押す

●登録した内容を確認するには

プリントモードの登録設定リストを印刷します。(☛P122)

●発信元の印刷例

感熱記録紙

'97年 6月10日 (火) 3:00PM NTT　　FAX 番号: 0311112222　　P.1

●ファクス番号にスペース（空白）や+(プラス)を入れるには

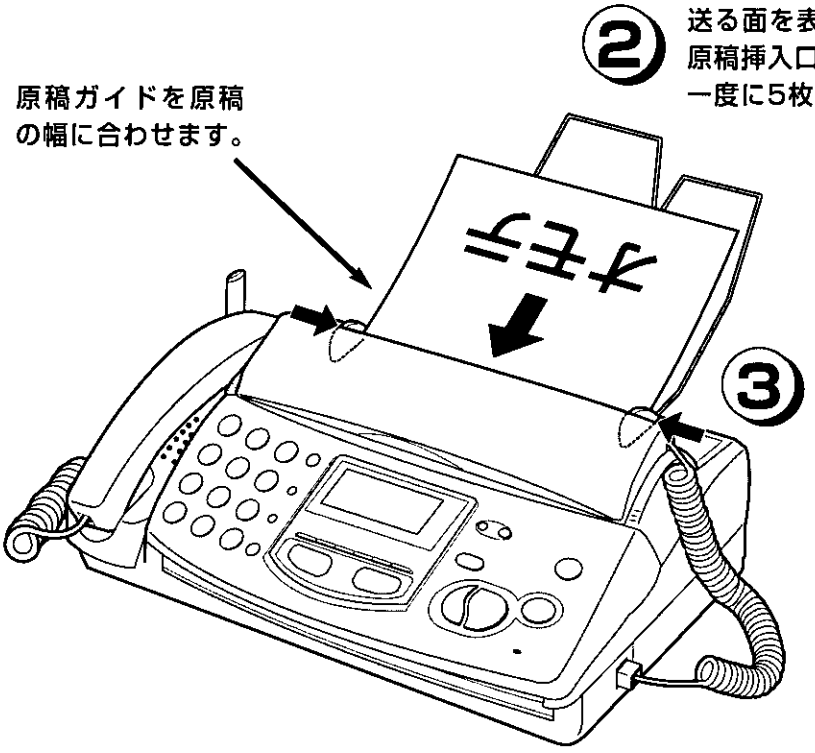
スペース（空白）　(#)ボタンを押す
＋（プラス）　(*)ボタンを押す

STOP お願い

●ファクス番号は必ず登録してください。登録しておかないと、ファクス送受信時に相手の方にファクス番号が表示されないことがあります。

原稿をセットするには

原稿は送る面を表向きにして原稿挿入口にセットします。一度に5枚までセットすることができます。
破れた原稿や薄い原稿もハンドコピー、または別売のキャリアシートを利用すればそのまま送ることができます。
キャリアシートはNTT窓口等で専用のものをお買い求めください。(☛P215)



ワンポイント

●セットした原稿を取り出すときには
原稿解除レバーを手前に引くと、原稿を取り出すことができます。(☛P204)

●自動給紙について
一度に5枚までの原稿をセットして、一回の操作で連続して送信できます。

●6枚以上の原稿をセットするときには
5枚をセットし、コピーやファクスが1枚終わるごとにセットされている原稿の下に次の原稿を追加してください。

お知らせ

●チラシやコピー原稿などの裏に文字を書いて送信すると、表の文字もファクスされて読みにくくなることがあります。チラシやコピー原稿の裏などに文字を書いて送信するときは、事前にコピーして確認してください。コピーされた状態のものが、相手に送信されます。

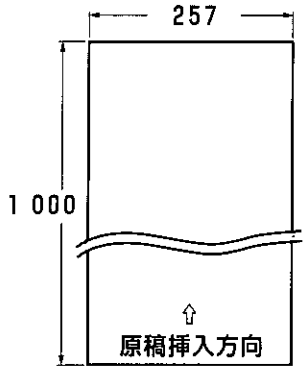
●異なったサイズや異なった紙質の原稿は、いっしょにセットしないでください。

●2枚以上の原稿をセットするときは、原稿の先端をそろえてください。

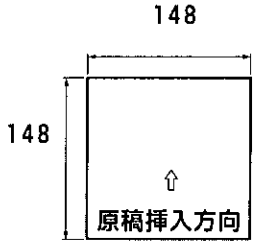
●原稿排出口の手前に物が置いてあったり、すべりにくい台などにファクス本体を置いている場合は、コピーやファクス送信した原稿が原稿排出口から完全に排出されない場合があります。「原稿がつまったら」(☛P204)をご覧になって取り出してください。

■原稿の大きさと読み取りできる範囲

●送信／コピーできる原稿の大きさ



最大257 mm× 1 000 mm



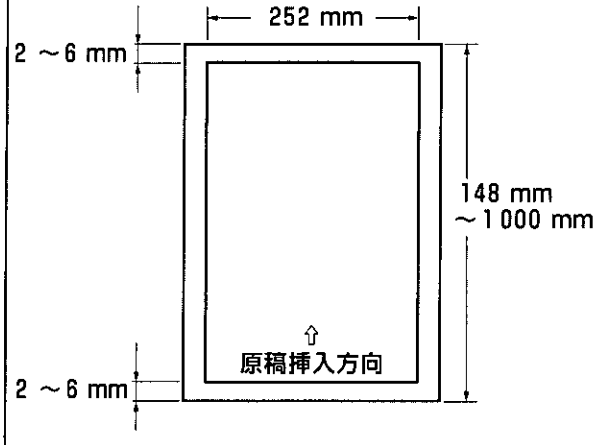
最小148 mm× 148 mm

●読み取りできる範囲

原稿の端の文字などは読み取れない可能性がありますので、ご注意ください。

・最大読み取り幅　252 mm

・最大読み取り長　送信原稿の長さ（148 mm ～ 1000 mm）から2 ～6 mmを引いた長さ

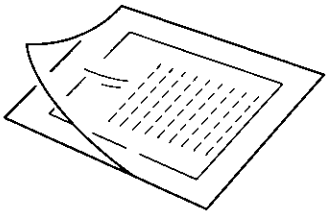


なお、これより長い原稿を送りたい場合は、NTT窓口にお問い合わせください。ただし、この場合は、原稿づまりを検出できなくなりますのでご注意ください。

ワンポイント

●原稿について

次のような原稿は、ハンドコピー、または別売のキャリアシートを使って送信するか、複写機でコピーしたものを送信原稿にしてください。



・サイズが規定より小さすぎるもの
・表面がツルツルしているもの
・フィルム状の原稿やトレーシングペーパーのような透明な原稿
・薄すぎる紙（0. 06 mm以下）
・しわ、破れ、折り目やソリのあるもの
・裏カーボン紙
・感熱記録紙
・コーティングされているもの
・写真や印画紙などの表面がツルツルしている原稿
・ボールペンなどのインクが付着している原稿

厚い原稿（0.2 mm以上）は複写機でコピーしたものを送信原稿にしてください。厚手の原稿を使った場合は、原稿端の影が出る場合があります。

●送信できる原稿の厚さ

1枚だけ送る場合	0.06 ～ 0.2 mm
2枚以上送る場合	0.06 ～ 0.12 mm

〈厚さの目安〉

はがきの厚さは約 0.22 mmです。
この取扱説明書の表紙の紙厚は約 0.14 mmです。
この取扱説明書の本文の紙厚は約 0.08 mmです。

●自動縮小機能について

送信する原稿サイズがB4で、相手側の感熱記録紙のサイズがA4サイズのときは、自動的にA4サイズに縮小して送信します（〈ペーパーセーブ受信〉の縮小（☛P158）とは異なります）。

STOP お願い

●クリップやホッチキスは、必ず取り外してください。故障の原因になります。

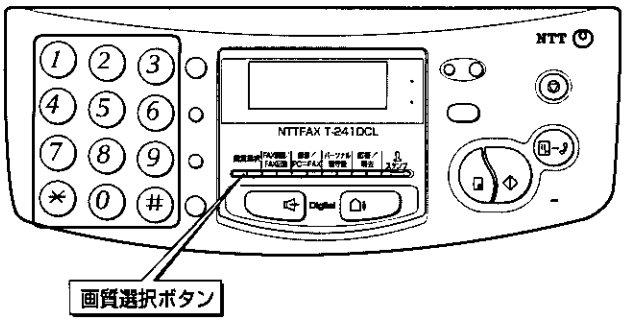
●のり、修正液、ボールペンのインクなどは、よく乾かしてください。乾いていない状態でセットすると読み取り部が汚れ、故障の原因になります。読み取り部が汚れた場合は、原稿送りローラと読み取り部のお手入れをしてください。（☛P202）

●原稿は無理に引き出さないでください。無理に引っ張ると読み取り部が傷つきます。「原稿がつまったら」を参照して取り出してください。（☛P204）

●次のような原稿は、2枚以上同時にセットできません。
・長さ364 mmを超える原稿
・キャリアシートにはさんだ原稿
・厚さ0.12 mmを超える原稿
・厚さや大きさの異なる原稿

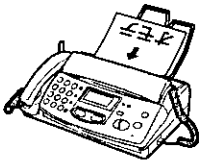
原稿の画質を選ぶには

ファクスをきれいに送信したりコピーするには、原稿の文字の大きさ、濃さ、写真が入っているかなどによって、適切な画質を選びます。



1 原稿ガイドに沿って、原稿を表向きにセットします。(☛P38)

原稿が引き込まれると「ピッ」という音が鳴ります。

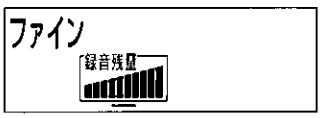


2 画質選択ボタンを押して適切な画質を選びます。

画質選択ボタンを押すたびに次の4種類の画質が表示されますので、適切な画質を選びます。

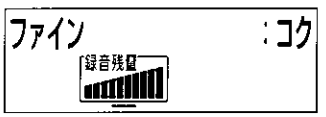
- 標準　：大きくはっきり見える文字の場合に選びます。
- ファイン　：もっと小さな文字の場合に選びます(「標準」の2倍の密度で読み取ります)。
- スーパーファイン：細い線を使った図面や、さらに小さな文字の場合に選びます(「標準」の4倍の密度で読み取ります)。
- ハーフトーン：濃淡のある原稿(カラーの原稿)や写真の場合に選びます。

例：「ファイン」を選んだとき



3 原稿が薄くて見えにくいときは画質選択ボタンを押して「：コク」を選びます。

例：「ファイン：コク」を選んだとき



ワンポイント

●いつも決まった画質で送りたいときは

ユーザセレクトの画質優先選択で登録しておくことができます。(☛P158)

●きれいな画質を送信したいときは

「ファイン」または「スーパーファイン」に設定してください。

お知らせ

- 「スーパーファイン」に設定して送信しても、相手先のファクスに「スーパーファイン」モードがないときは、自動的に「ファイン」に設定されます。
- コピーのときは、液晶ディスプレイのカーソル(_)が「標準」の場合でも、自動的に「ファイン」に設定されます。
- 送信やコピー中に画質選択を切り替えると、次の原稿から画質が変わります。
- ハンドコピーのときは、「ファイン」「ハーフトーン」のみ選ぶことができます。
- 画質表示カーソル(_)を解除するときは、ストップボタンを押します。
- 「ファイン」でカラーの原稿や写真をコピーすると、配色によっては部分的に写らなかったり、黒く写ったりすることがあります。
- 送信時間は、「標準」→「ファイン」→「スーパーファイン」→「ハーフトーン」の順に長くなります。
- 黄色い文字は読み取ることができません。また、薄い色で書いた文字は読み取りできないことがあります。
- 送信中で画質が表示されていないときに画質選択ボタンを押すと、画質が「標準」になります。表示が消える前に画質選択ボタンを押して適切な画質に切り替えてください。

■画質の選択（目安）

●標準

新聞活字より大きな文字

●ファイン

新聞活字程度の文字

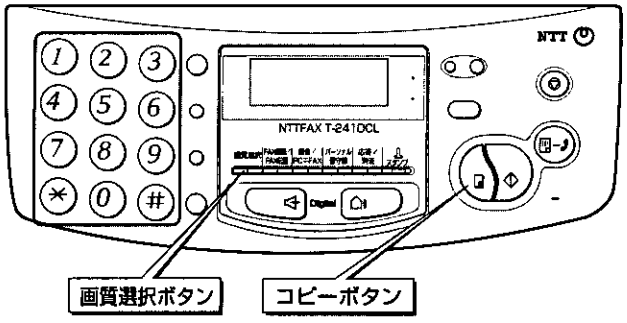
●スーパーファイン

新聞活字より小さな文字

●ハーフトーン

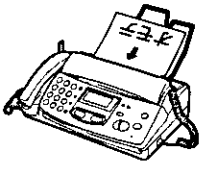
コピーするには

原稿を表向きにして原稿挿入口にセットしてコピーすることができます。
原稿は、一度に5枚までセットすることができます。
拡大・縮小・白黒反転コピーを利用する際は、ハンドコピーをご利用ください。(☛P44)



1 ハンドセットを置いたまま、原稿ガイドに沿って、コピーする面を表向きにセットします。(☛P38)

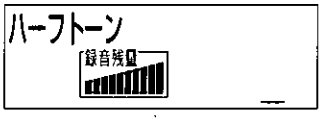
原稿が引き込まれると「ピッ」という音が鳴ります。



2 画質選択ボタンを押して、適切な画質を選びます。(☛P40)

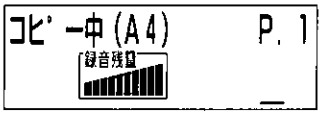
選んだ画質が表示されます。

例：「ハーフトーン」を選んだとき



3 コピーボタンを押します。

コピーが開始され、終了すると終了音が鳴り感熱記録紙が自動的に切り取られます。



ワンポイント

●A4サイズの感熱記録紙がセットされているときには
B4サイズの原稿をコピーしても端が切れて、A4幅のみが記録されます。

●6枚以上の原稿をコピーするときには
5枚をセットし、コピーが1枚終わるごとにセットされている原稿の下に次の原稿を追加してください。

●コピー中に電話がかかってきたら
着信音が鳴り、着信ランプが点滅します。ハンドセットを取りあげると通話できます。
コピー中の原稿はそのままコピーします。

●コピーを途中で止めるには
ストップボタンを押します。このあと原稿を取り出すときは、原稿解除レバーを手前に引いて原稿を取り出します。(☛P204)

●原稿がつまったら
スタートボタンまたはコピーボタンを押すと原稿排出口から原稿が排出されます。またはハンドコピーを取り外して原稿解除レバーを手前に引いて原稿を取り出します。(☛P204)

●感熱記録紙がつまったら
記録紙カバーを開けてつまった感熱記録紙を取り出します。(☛P205)

●感熱記録紙がなくなったら
「ピーピーピー」というアラーム音が鳴り(アラームランプ点灯)、液晶ディスプレイに「キロクシ ガ アリマセン」と表示されます。新しい感熱記録紙をセットしてください。

●終了音を変えるには
ユーザセレクトの通信／コピー終了音選択で、コピーを終了したときの音を「鳥の声」「アラーム」「なし」から選べます。(☛P160)

コピーについての注意

何でもコピーしてもよいということはありません。特に法規によってそのコピーをとるだけでも罰せられることがありますので、次の点に注意してください。

■法規により禁止されているもの

- ●紙幣、貨幣、政府発行の有価証券、国債証券、地方債証券はコピーすることを禁止されています。たとえ見本の印が押してあってもコピーすることはできません。
- ●外国において流通する紙幣、貨幣、証券類のコピーも禁止されています。
- ●政府発行の模造許可をとらない限り、未使用郵便切手、官製はがき類はコピーすることを禁止されています。
- ●政府発行の印紙、酒税法や物品税法で規制されている証券類のコピーも禁止されています。

■コピーに注意を要するもの

- ●政府発行のパスポート、公共機関や民間団体発行の免許証、許可証、身分証明書や通行券、食券などの切符類も勝手にコピーしないほうがよいと考えられます。
- ●民間発行の有価証券（株券、小切手、手形等）、定期券、回数券などは、事業所が業務に供するための最低必要部数をコピーする以外は、政府の指導によって注意が呼びかけられています。

■著作権にも注意してください

- ●著作の目的となっている書籍、絵画、写真、図面、地図、楽譜などの著作物は個人的または家庭内、その他これに準ずる限られた範囲内で使用する場合を除いてコピーは禁止されています。

感熱記録紙のオートカットについて

受信やコピーが終わったあと、感熱記録紙のオートカットを行わないように設定できます。お買い求め時は、「あり」に設定されています。

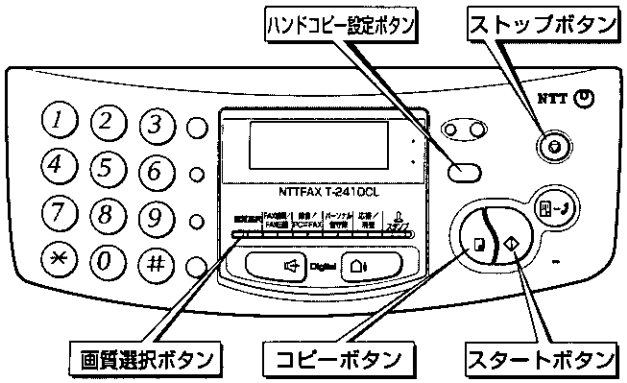
- ●感熱記録紙のオートカットの設定は、ユーザセレクトで設定できます。(☛P158)

お知らせ

- ●通話中にコピーすることはできません。
- ●コピー中、コピーボタンは点灯しません。
- ●コピー中に画質選択を切り替えると、次の原稿から画質が変わります。
- ●コピーのときは、液晶ディスプレイのカーソル（_）が「標準」の場合でも、「ファイン」になります。

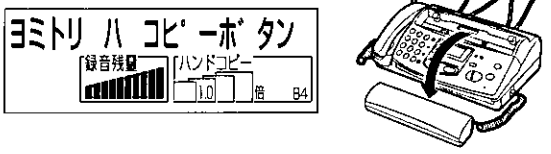
ハンドコピーするには

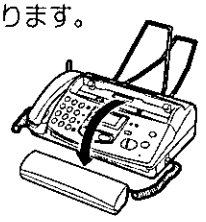
厚い本やノートなど、原稿挿入口にセットできないとじこみ原稿を、コピーすることができます。
また、拡大（1.2倍／1.4倍）、縮小（0.8倍）、白黒反転（原稿の白部分と黒部分を反転）もできます。
ハンドコピーした内容をファクスで送ることもできます（ハンドコピーメモリ送信）。（☛P124）



1 ハンドコピーを取り外します。

ハンドコピーの後ろを少し上げてから全体を持ち上げると取り外しやすくなります。

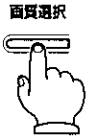




2 画質選択ボタンを押して、適切な画質を選びます。（☛P40）

画質選択ボタンを押すたびに「ファイン」→「ハーフトーン」→「ファイン：コク」→「ハーフトーン：コク」に変わります。

例：「ハーフトーン」を選んだとき



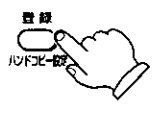
拡大、縮小、白黒反転の設定を変えないときは、手順12へ進みます。
ハンドコピーのときは「ファイン」「ハーフトーン」のみ選ぶことができます。

3 ハンドコピー設定ボタンを押します。

4 ハンドコピー設定ボタンを押して、倍率を選びます。

ハンドコピー設定ボタンを押すたびに「1.2バイ」→「1.4バイ」→「0.8バイ」→「1.0バイ」に変わります。

例：「1.2バイ」を選んだとき



ワンポイント

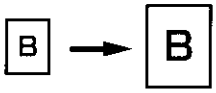
●A4サイズの感熱記録紙がセットされているときは

B4サイズの原稿をコピーしても端が切れて、A4幅のみが記録されます。

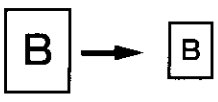
●拡大／縮小コピーするときの倍率の目安

- 0.8倍：B4サイズの原稿→A4サイズに縮小
- 1.2倍：A4サイズの原稿→B4サイズに拡大
- 1.4倍：B5サイズの原稿→B4サイズに拡大

拡大



縮小



白黒反転

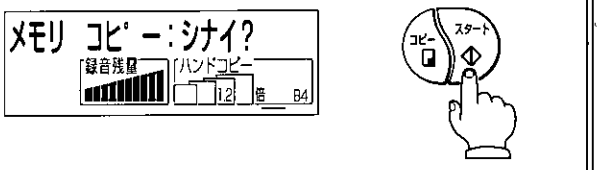
●ハンドコピー中に電話がかかってきたら

着信音が鳴り、着信ランプが点滅します。ハンドセットを取りあげると通話できます。
コピー中の原稿はそのままコピーします。

●ハンドコピーを途中で止めるには

ストップボタンを押します。

5 スタートボタンを押します。

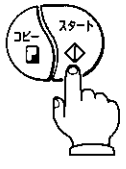


6 ハンドコピー設定ボタンを押して、「メモリ　コピー：シナイ？」を選びます。

ハンドコピー設定ボタンを押すたびに「メモリ　コピー：スル？」→「メモリ　コピー：シナイ？」に変わります。

ハンドコピーした内容をファクスで送る場合は、「メモリ　コピー：スル？」を選びます。(☛P124)

7 スタートボタンを押します。

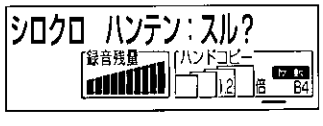


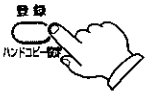
8 ハンドコピー設定ボタンを押して、白黒反転するかしないかを選びます。

ハンドコピー設定ボタンを押すたびに「シロクロ　ハンテン：スル？」→「シロクロ　ハンテン：シナイ？」に変わります。

「シロクロ　ハンテン：シナイ？」を選んだとき

「シロクロ　ハンテン：スル？」を選んだとき



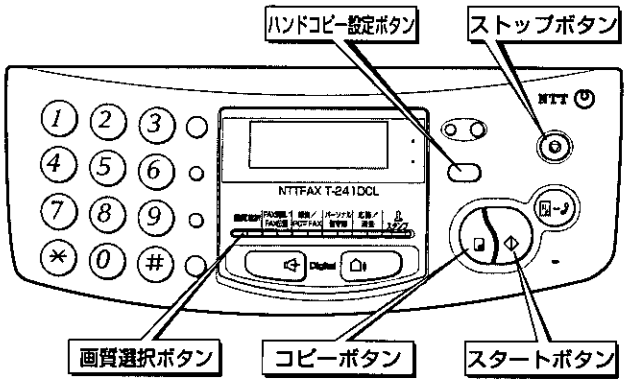


次ページに続きます。

お知らせ

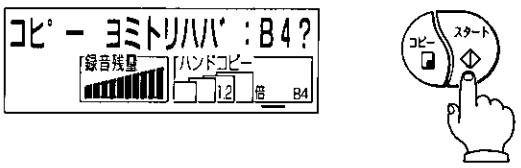
- 拡大コピーするときは、セットされている感熱記録紙のサイズに応じた読み取り幅で読み取ります。例えば、B4の感熱記録紙をセットしている場合、読み取り幅をB4に設定していても、倍率を1.2倍にすると、A4サイズの幅しか読み取りません。
- 1.2倍または1.4倍の拡大コピーをする場合、文字原稿でも「ハーフトーン」にすると美しくコピーできます。
- 白黒反転でコピーするときは、画質選択で「：コク」を設定すると、黒く印刷される部分が「淡く」なります。
- ハンドコピーを外した状態で約5分間何も操作しなかったときは、「ピピピピ」という音が鳴り、液晶ディスプレイに「ハンドコピーハズレテイマス」と表示されます。続いてハンドコピーする場合は、ハンドコピー設定ボタンを押してください。

ハンドコピーするには



前ページからの続きです。

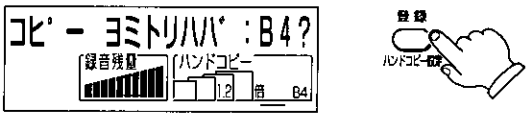
9 スタートボタンを押します。



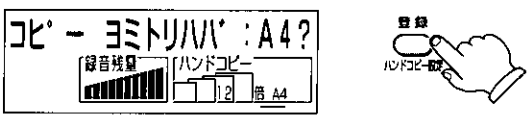
10 ハンドコピー設定ボタンを押して、読み取り幅を選びます。

ハンドコピー設定ボタンを押すたびに「コピーヨミトリハバ：A4？」→「コピーヨミトリハバ：B4？」に変わります。

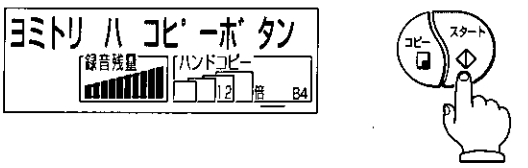
「コピーヨミトリハバ：B4？」を選んだとき



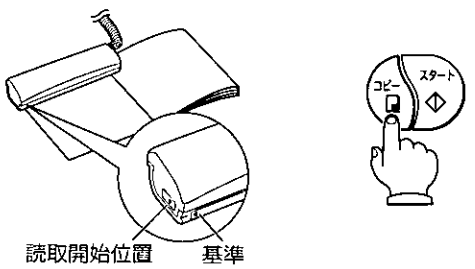
「コピーヨミトリハバ：A4？」を選んだとき



11 スタートボタンを押します。



12 読み取る原稿の左上端に基準位置を合わせて、コピーボタンを押します。



ワンポイント

●きれいにコピーするには

読み取る原稿の上に透明の下じきやクリアケースをのせて、その上をハンドコピーでなぞるようにすると、きれいにコピーできます。

●ハンドコピーがまっすぐに動かしにくいときは

厚手の定規などをハンドコピーの左端に添わせて動かすと曲がりにくくなります。

●読み取り中に「ピー」という音が鳴ったら

ハンドコピーをもう少しゆっくり動かしてください。動かす速度は、1秒間に約2.5 cm程度です。これより遅く動かしても問題ありません。

コピーボタンを押したあと、約15秒間何も操作をしないと、コピーが停止します。

●感熱記録紙がつまったら

記録紙カバーを開けてつまった感熱記録紙を取り出します。(☛P205)

●感熱記録紙がなくなったら

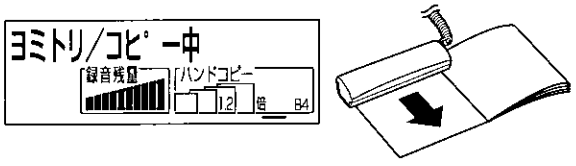
「ピーピーピー」というアラーム音が鳴り（アラームランプ点灯）、液晶ディスプレイに「キロクシ　ガ　アリマセン」と表示されます。新しい感熱記録紙をセットしてください。

●終了音を変えるには

ユーザセレクトの通信／コピー終了音選択で、コピーを終了したときの音を「鳥の声」「アラーム」「なし」から選べます。(☛P160)

13 ハンドコピーを原稿に押し当てて、ゆっくり手前に引きます。

原稿を読み取ります。

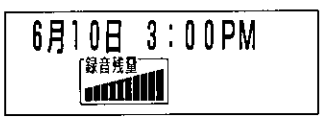


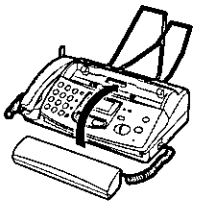
14 コピーが終わったらストップボタンを押します。

終了音が鳴り、感熱記録紙に印刷されます。

15 ハンドコピーをファクス本体に戻します。

ハンドコピーの手前を斜めに立てて置いてから、後ろを確実に押さえます。
メモリコピーを設定していた場合、ハンドコピーを戻すと液晶ディスプレイに「メモリ　ヲ　ショウキョ　シマシタ」と表示され、読み取った内容は消去されます。
日付・時刻表示に戻ります。
(留守セット時や原稿がつまっているときなどは、表示内容が異なる場合もあります。)





お知らせ

- 段差のある原稿や、とじこみ原稿の先端部分は、コピーできないことがあります。
- ハンドコピーを正しくファクス本体に戻さないと、音声で「ハンドコピーをセットし直してください。」と2回お知らせしたあと、液晶ディスプレイに「ハンドコピー　ヲ　サイセット」と表示されます。
  また、ハンドコピーが正しくセットされていないときは、ファクス送信やコピーはできません。この場合は液晶ディスプレイに「ハンドコピー ハズレテイマス」と表示され、ファクス送信やコピーはできません。

お願い

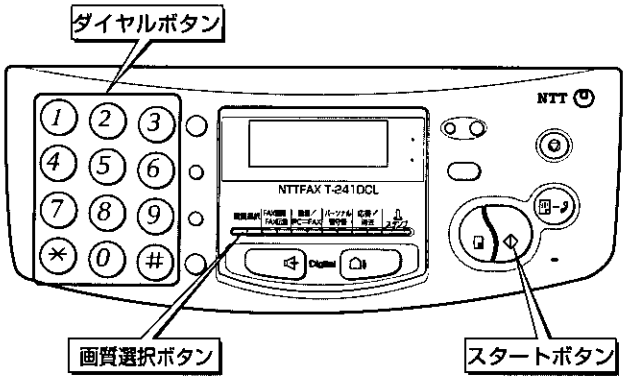
白黒反転で続けてコピーするとき、黒地の印刷部分が多い場合は、記録ヘッドの過熱保護が働いて動作しなくなることがありますが、故障ではありません。しばらく待ってから操作してください。

⚠ 注意

●ハンドコピーは絶対に落とさないでください。落下による衝撃で、ガラス等が割れる恐れがあります。

ファクスを送るには

お話ししてから送る方法と、お話ししないでそのまま送る方法があります。B4サイズまでの原稿を一度に5枚までセットして送ることができます。



ワンポイント

●番号を間違えたときは
ハンドセットを置いて、手順3からやり直します。

●ファクス送信を途中で止めるには
ハンドセットを取りあげてダイヤルしているときは、ハンドセットを置きます。送信中は、ストップボタンを押します。

●原稿がつまったら
スタートボタンまたはファンクションボタンを押すと原稿排出口から原稿が排出されます。またはハンドコピーを取り外して原稿解除レバーを手前に引いて原稿を取り出します。(☛P204)

●コードレス電話機で通話終了後にファクスを送るには
コードレス電話機で通話中にファクス本体に原稿をセットして、電話帳ボタン→スタートボタンを押します。液晶ディスプレイに「ハッシン　マチ中」と表示され、コードレス電話機での通話が終わると、送信が開始されます。**(リザーブ送信)**

●相手の方から「ピー」という音が聞こえたら
スタートボタンを押さなくても「ファクスを送信します。受話器を戻してください。」という音声ガイダンスが聞こえて自動的にファクスを送信します（おまかせ送信)。音声ガイダンスが聞こえると、すぐにハンドセットを戻してもファクスを送信することができます。なお、回線の状態や相手のファクスの状態などでファクス（おまかせ送信）に切り替わらないことがあります。そのときは「ピー」という音が聞こえたらスタートボタンを押してハンドセットを置きます。

●終了音を変えるには
ユーザセレクトの通信／コピー終了音選択で、通信を終了したときの音を「鳥の声」「音声」「アラーム」「なし」から選べます。(☛P160)

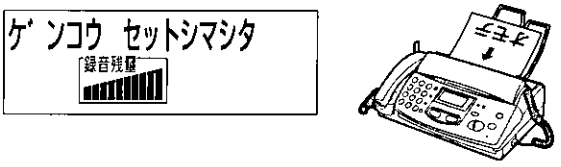
●音声ガイダンスを聞こえないようにするには
ユーザセレクトの設定で音声ガイダンス（☛P160）を「なし」に設定します。

●電話帳でファクスを送るには（☛P90)
①原稿をセットする
②電話帳ボタンを押して相手先を選ぶ
③スタートボタンを押す

お話ししてから送る

1 原稿ガイドに沿って、原稿を表向きにセットします。(☛P38)

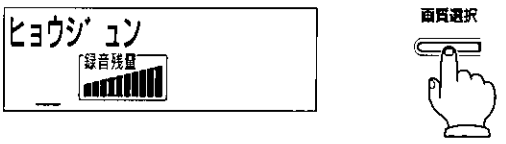
原稿が引き込まれると「ピッ」という音が鳴ります。



2 画質選択ボタンを押して、適切な画質を選びます。(☛P40)

選んだ画質が表示されます。

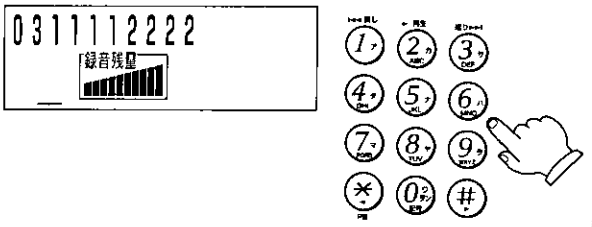
例：「ヒョウジュン」を選んだとき



3 ハンドセットを取りあげます。

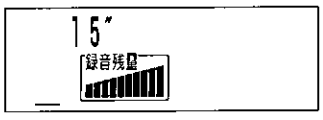
「ツー」という発信音が聞こえます。

4 相手先のファクス番号をダイヤルボタンで押します。

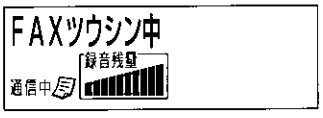


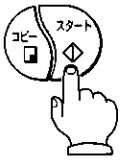
5 相手の方とお話ししたあと、ファクスを送ることを伝え、ファクス受信に切り替えてもらいます。

ファクスに切り替わると「ピー」という音が聞こえます。



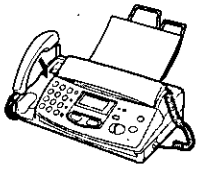
6 スタートボタンを押します。





7 ハンドセットを置きます。

送信が終了すると終了音が鳴ります。



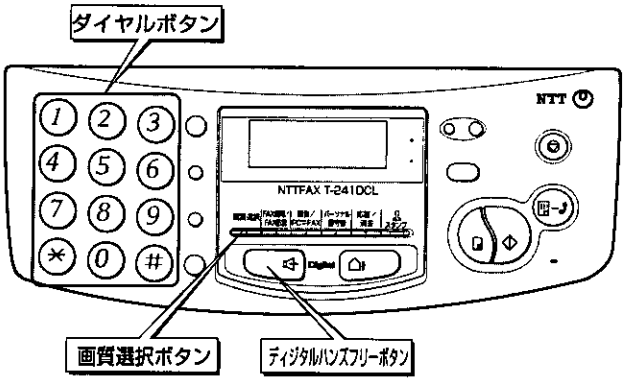
お知らせ

- ダイヤルしたのち、電話がつながる前にスタートボタンを押してファクスを送ることもできます。このとき、相手の方に「ポー・ポー・ポー…」という音が聞こえ、相手の方がファクス受信の操作をするとファクスを送信します。ただし、相手のファクスの状態（ファクス受信に切り替わるまでの呼び出し回数が長いとき等）によっては送信できないことがあります。この場合は、相手の方のファクスの「ピー」という受信音を確認してから、スタートボタンを押してください。
- ダイヤルした番号と表示される番号が違うとき、ファクス送信中に液晶ディスプレイに表示される番号は、相手の方のファクスに登録されている番号です。実際にダイヤルした番号と異なる場合がありますので、相手の方に確認してください。
- 「通信エラーがありました。」という音声ガイダンスが聞こえたら、ファクスが正しく届いていないことがあります。相手の方に確認して、もう一度送信してください。

STOP お願い

- **ダイヤルボタンは数字の上を正確に押し、キータッチ音を確認するようにしてください。**

ファクスを送るには



ワンポイント

●**番号を間違えたときは**
ディジタルハンズフリー ボタンを押して手順3からやり直します。

●**ファクス送信を途中で止めるには**
ディジタルハンズフリー ボタンを押します。
送信中は、ストップボタンを押します。

●**相手の方から「ピー」という音が聞こえたら**
スタート ボタンを押さなくても「ファクスを送信します。受話器を戻してください。」という音声ガイダンスが聞こえて自動的にファクスを送信します（おまかせ送信）。
なお、回線の状態や相手のファクスの状態などでファクス（おまかせ送信）に切り替わらないことがあります。そのときは「ピー」という音が聞こえたら スタート ボタンを押してハンドセットを置きます。

●**電話帳でファクスを送るには**（☛P90）
①原稿をセットする
②電話帳ボタンを押して相手先を選ぶ
③ スタート ボタンを押す

お知らせ

●ダイヤルしたのち、電話がつながる前に スタート ボタンを押してファクスを送ることもできます。このとき、相手の方に「ポー・ポー・ポー…」という音が聞こえ、相手の方がファクス受信の操作をするとファクスを送信します。相手のファクスの状態（ファクス受信に切り替わるまでの呼び出し回数が長いとき等）によっては送信できないことがあります。この場合は、相手の方のファクスの「ピー」という音を確認してから、 スタート ボタンを押してください。

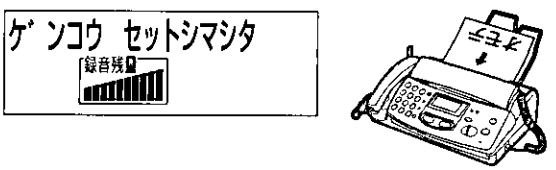
STOP お願い

●**ダイヤルボタンは数字の上を正確に押し、キータッチ音を確認するようにしてください。**

お話ししないでそのまま送る

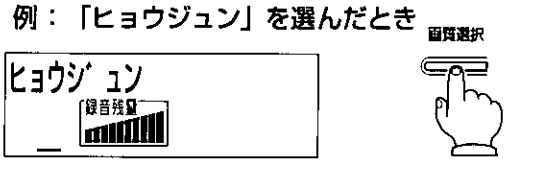
1 原稿ガイドに沿って、原稿を表向きにセットします。（☛P38）

原稿が引き込まれると「ピッ」という音が鳴ります。



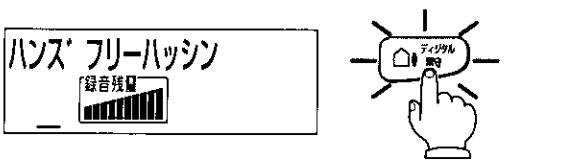
2 画質選択ボタンを押して、適切な画質を選びます。（☛P40）

選んだ画質が表示されます。
例：「ヒョウジュン」を選んだとき



3 ディジタルハンズフリー ボタンを押します。

「ツー」という発信音が聞こえます。

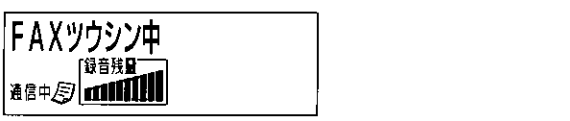


4 相手先のファクス番号をダイヤルボタンで押します。

相手が電話に出たときは、スピーカから相手の声が聞こえますので、相手にファクスを送ることを伝えてスタートボタンを押してもらいます。「ピー」という音が聞こえたときは、手順5の操作をします。

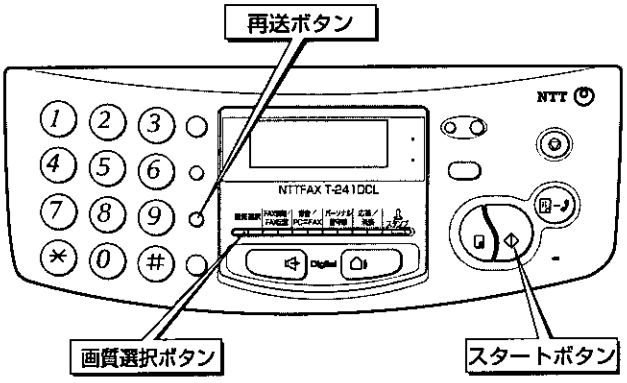
5 「ファクスを送信します。」と聞こえたら送信が始まります。

送信が終了すると終了音が鳴ります。



同じ相手にもう一度ファクスを送るには（再ダイヤル）

最後にダイヤルした相手に、もう一度ファクスを送ることができます。



ワンポイント

●ファクス送信を途中で止めるには

ストップボタンを押します。

●ハンドセットを取りあげて再ダイヤルするときは

ハンドセットを取りあげて再送ボタンを押します。「ピー」という音が聞こえたら、スタートボタンを押します。

●相手先がお話し中などでつながらなかったときは

ハンドセットを置いたまま再送ボタンを押すと約3分間隔で5回まで自動的に再ダイヤルします（自動再ダイヤル送信）。

●再ダイヤルを消去するには

ハンドセットを置いたまま再送ボタンを押してから、消去ボタンを押します。

●原稿がつまったら

スタートボタンまたはコピーボタンを押すと原稿排出口から原稿が排出されます。またはハンドコピーを取り外して原稿解除レバーを手前に引いて原稿を取り出します。
（☛P204）

●コードレス電話機で通話終了後にファクスを送るには

コードレス電話機で通話中に、ファクス本体に原稿をセットして、再送ボタン→スタートボタンを押します。液晶ディスプレイに「ハッシン　マチ中」と表示され、コードレス電話機での通話が終わると、送信が開始されます。**（リザーブ送信）**

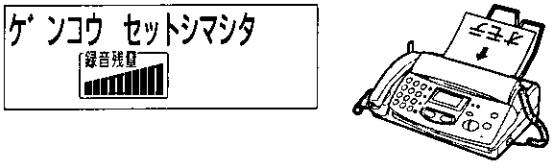
お知らせ

●再ダイヤルできる番号は、32桁までです。

●ファクス本体でかけた電話番号をコードレス電話機で再ダイヤルしたり、コードレス電話機でかけた電話番号をファクス本体で再ダイヤルすることはできません。

1 原稿ガイドに沿って、原稿を表向きにセットします。（☛P38）

原稿が引き込まれると「ピッ」という音が鳴ります。



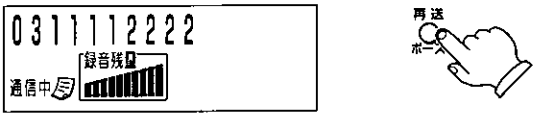
2 画質選択ボタンを押して、適切な画質を選びます。（☛P40）

選んだ画質が表示されます。

例：「ヒョウジュン」を選んだとき

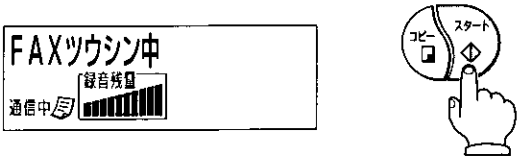
3 ハンドセットを置いたまま、再送ボタンを押します。

ファクス番号が表示されます。



4 スタートボタンを押します。

表示されたファクス番号に、自動的に送信されます。送信が終了すると終了音が鳴ります。



ファクスの受け方

相手先から送信されたファクスを受けます。

在宅モードのとき

相手の方の送信方法	こちらの操作
手動送信	着信音が鳴っている間にハンドセットを取りあげます。 または ディジタルハンズフリー ボタンを押します。
	着信音が10回鳴っても電話に出ないと、応答メッセージが流れます。
自動送信	着信音が鳴っている間にハンドセットを取りあげます。
	ディジタルハンズフリー ボタンを押します。

留守モードのとき

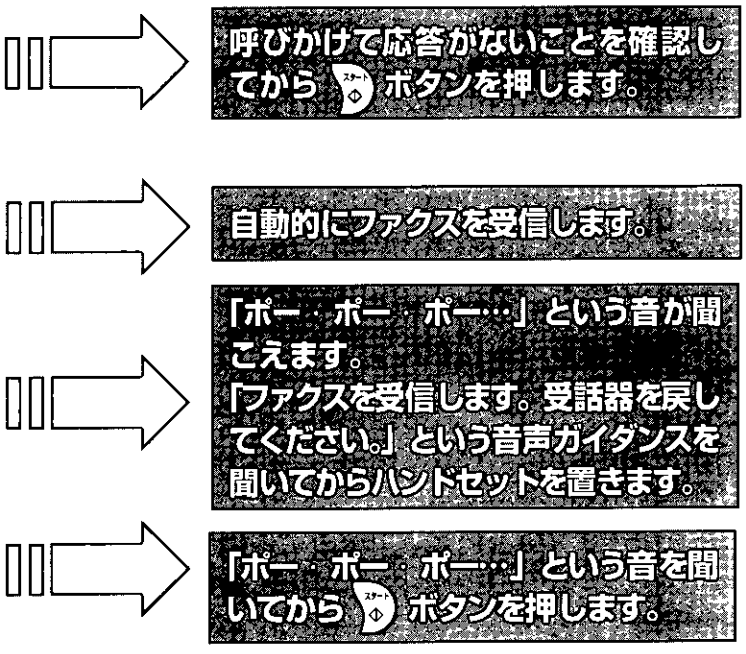
応答メッセージを流して、自動的に受信します。

お知らせ

- ファクス専用にすることができます。(☛P162)
  ただしこの場合、電話がかかってきたときすぐにファクス受信になりますので、相手の方とお話しできません。
- 通常の留守モードの場合、着信音が4回鳴ってから応答メッセージが流れます。
- 相手の方から自動送信で送られてきたときは、着信音（7回目～10回目）が鳴っている間に、相手が電話を切ってしまうことがあります。このときは在宅モード時のコール回数を6回以下に設定してください。
- 手動送信で送られてきたときは、ハンドセットをとっても無音の場合があります。応答がないことを再度確認してから、スタート ボタンを押してください。
- 感熱記録紙がセットされていない場合は、ノンコール着信はできません。
- ノンコール着信（☛P160）や留守セット（☛P98）しているときは、動作が異なります。

ワンポイント

- **ファクス受信を拒否するには**
  ユーザセレクトの迷惑FAX防止でファクスを受信したくない相手の番号を登録して、その番号からのファクス受信を拒否することができます。(☛P158)
- **セレクト受信するには**
  ユーザセレクトのセレクト受信で、電話帳に登録した番号からのファクスだけを受信することができます。(☛P158)
- **感熱記録紙のオートカットを解除するには**
  ユーザセレクトの設定でオートカッター（☛P158）を「なし」にします。
- **着信音のコール回数を変えるには**
  ユーザセレクトの在宅モード時のコール回数で、着信音のコール回数を1～25回の間で自由に設定することができます。お買い求め時は10回になっています。(☛P158)
- **おまかせ受信するには**
  ユーザセレクトのおまかせ受信で自動送信で送られてきたファクスを自動的にファクス受信に切り替えることができます。(☛P162)
- **着信音を変えるには**
  ユーザセレクトの着信音選択で、着信音の音色を「電話ベル音」「鳥の声」「電子音」から選ぶことができます。(☛P160)



■固定応答メッセージの内容

●在宅時の留守録なしの場合

着信音が10回鳴ると固定応答メッセージ①が流れてファクスを受信します。

①感熱記録紙がセットされている場合

「ただ今近くにおりません。ファクスを送られる方はスタートボタンを押してください。電話の方はおそれ入りますが、のちほどおかけ直しください。」

②感熱記録紙がない場合

暗証番号が登録されているときは、着信音が25回鳴ったあと「ただ今近くにおりません。おそれ入りますが、のちほどおかけ直しください。」という固定応答メッセージが流れます。

●在宅時の留守録ありの場合

着信音が10回鳴ると固定応答メッセージ①～④のいずれかが流れてファクスを受信します。

①感熱記録紙がセットされていて、録音残量がある場合

「ただ今近くにおりません。ピーと鳴りましたら、お名前とご用件をお話しください。ファクスを送られる方は、スタートボタンを押してください。」

②感熱記録紙がセットされていて、録音残量がない場合

「ただ今近くにおりません。ファクスを送られる方は、スタートボタンを押してください。電話の方は、おそれ入りますが、のちほどおかけ直しください。」

③感熱記録紙がなく、録音残量がある場合

「ただ今近くにおりません。ピーと鳴りましたら、お名前とご用件をお話しください。」

④感熱記録紙がなく、録音残量もない場合

暗証番号が登録されているときは、着信音が25回鳴ったあと「ただ今近くにおりません。おそれ入りますが、のちほどおかけ直しください。」という固定応答メッセージが3回流れます。

セレクト受信「あり」に設定しているときは、感熱記録紙がセットされていても、次の固定応答メッセージが流れます。

●在宅時の留守録なしの場合

「ただ今近くにおりません。電話の方はおそれ入りますが、のちほどおかけ直しください。」

●在宅時の留守録ありの場合

「ただ今近くにおりません。ピーと鳴りましたら、お名前とご用件をお話しください。」

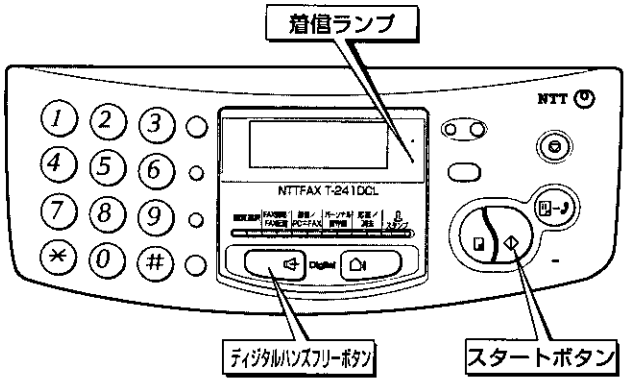
ワンポイント

●ファクスを受信することが多いときは

自動送信されたファクスのときは着信音を鳴らさずに受信し、電話のときだけ着信音を鳴らすこともできます（ノンコール着信）。(☛P138、160)

ファクスを受けるには

着信音が鳴っている間に電話を取って相手の方とお話したあと、ファクスに切り替えて受信します（手動受信）。着信音が鳴っているときに電話に出なかったときは、自動的にファクス受信に切り替わります（自動受信）。
原稿をセットしたままでは受信できません。原稿を取り除いてください。



ワンポイント

●ファクス受信を拒否するには
ユーザセレクトの迷惑FAX防止で、ファクスを受信したくない相手の番号を登録して、その番号からのファクス受信を拒否することができます。(☛P158)

●着信音のコール回数を変えるには
ユーザセレクトの在宅モード時のコール回数で、着信音のコール回数を1～25回の間で自由に設定することができます。お買い求め時は10回になっています。(☛P158)

●着信音を変えるには
ユーザセレクトの着信音選択で、着信音の音色を「電話ベル音」「鳥の声」「電子音」から選ぶことができます。(☛P160)

●「ポー・ポー・ポー…」という音が聞こえたときは（相手がファクスを自動送信しているとき）
「ファクスを受信します。受話器を戻してください。」という音声ガイダンスが聞こえたらハンドセットを戻します（回線の状態で、「ポー・ポー・ポー…」という音が聞こえてもファクス受信に切り替わらないことがあります。また、ディジタルハンズフリーボタンで電話に出たときはファクス受信には切り替わりません。そのときはスタートボタンを押してください）。

●電話に出なかったときは（在宅モード）
応答メッセージが流れて、自動的にファクスを受信できます。
応答メッセージの内容については「ファクスの受け方」を参照してください。(☛P52)

●受信を途中で止めるには
ストップボタンを押します。ページ単位で受信が止まります。

●感熱記録紙がつまったら
記録紙カバーを開けてつまった感熱記録紙を取り出します。(☛P205)

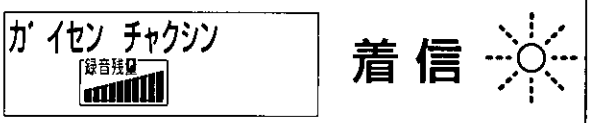
●感熱記録紙がなくなったら
「ピーピーピー」というアラーム音が鳴り（アラームランプ点灯）、液晶ディスプレイに「キロクシ　ガ　アリマセン」と表示されます。新しい感熱記録紙をセットしてください。

●感熱記録紙のオートカットを解除するには
ユーザセレクトの設定でオートカッター（☛P158）を「なし」にします。

●感熱記録紙を節約するには
ユーザセレクトのペーパーセーブ受信で、縦方向に約50%縮小してファクスを受信することができます。(☛P158)

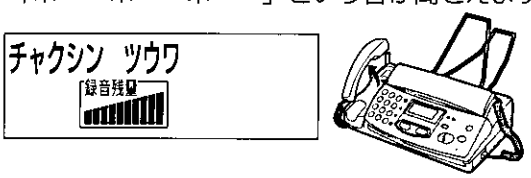
1 着信音が鳴ります。

着信ランプが点滅します。



2 ハンドセットを取りあげます。

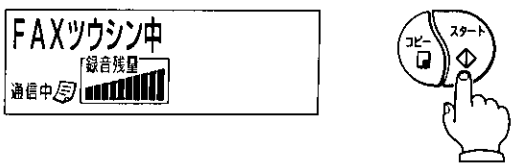
「ポー・ポー・ポー…」という音が聞こえます。



またはハンドセットを置いたまま、ディジタルハンズフリーボタンを押します。

3 スタートボタンを押して、ハンドセットを置きます。

受信が終了すると終了音が鳴り、感熱記録紙が自動的に切り取られます。また、およその通信時間が表示されます。



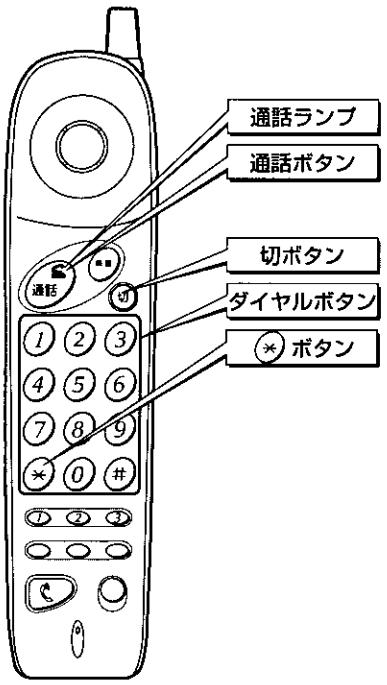
スタートボタンを押してすぐにハンドセットを戻しても受信できます。
ディジタルハンズフリーボタンを押したときは、ファクスに切り替えることを相手に伝えてスタートボタンを押して、ファクスを受信します。

お知らせ

- ファクス専用に設定することができます。（☛P162）
- 留守セットしなくても、メッセージの録音（在宅時の留守録）をすることもできます。（☛P112）
- 電話帳に登録している相手からのみ、ファクスを受信できるように設定できます。相手側に登録されている電話番号（発信元番号）と電話帳に登録されている番号（下4桁）が一致したときだけファクスを受信します（セレクト受信）。この場合、下4桁の番号を照合して受信するため、登録していない相手でも下4桁の番号が同じときは受信されます。ただし、セレクト受信を設定してもハンドセットをとって（スタート）ボタンを押すと、どの相手からでも受信できます。
- 原稿をセットしたままでは受信できません。必ず原稿を取り除いてください。ただし、相手が原稿をセットしてスタートボタンを押し、本商品がおまかせ受信をした場合は受信できます。
- 相手の方が自動送信のとき、着信音（7回目～10回目）が鳴っている間に、相手が電話を切ってしまうことがあります。このときは、在宅時のコール回数を6回以下に設定してください。（☛P194）
- 相手の方が手動送信のとき、ハンドセットを取りあげても無音の場合があります。呼びかけて応答がないことを再度ご確認のうえ、（スタート）ボタンを押してください。
- キャッチホンサービスをご利用の場合は、ファクス通信中、回線からの信号で通信ができなかったり、画像に線が入ったりすることがあります。
- ノンコール着信（☛P160）や留守セットしているとき（☛P98）は、動作が異なります。
- 登録ボタンを押して設定操作中に着信があった場合でもファクス受信できます。
- 内線やドアホンとお話し中にＦネットから無鳴動着信があっても、ファクスを受信することはできません。
- 感熱記録紙が終わり頃になりますと、切り取られたあとまるまって記録紙トレイから落ちることがあります。
- キャッチボタンをご使用になった場合に、ファクスを受信するときは、（スタート）ボタンを押してください。

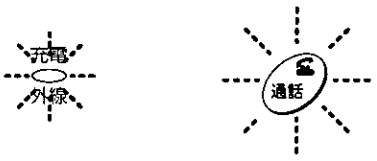
コードレス電話機でファクスを受けるには

コードレス電話機を使って、離れたところからでもファクスの受信操作ができます（リモート操作）。ファクス本体に原稿をセットしていない状態で操作します。



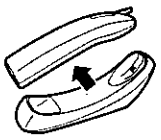
1 着信音が鳴ります。

外線ランプと通話ランプが点滅します。



2 コードレス電話機を充電器から取りあげます。

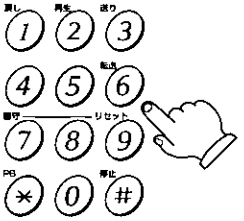
外線ランプと通話ランプが点灯に変わります。



充電器から外しているときは、(通話)ボタンを押します。

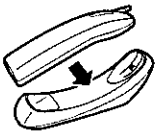
3 相手にファクスへ切り替えることを伝えて、(5)、(*)ボタンを押します。

ファクスを受信します。



4 コードレス電話機を充電器に置きます。

ファクスを受信します。受信が終了すると終了音が鳴り、感熱記録紙が自動的に切り取られます。



ワンポイント

●「ポー・ポー・ポー…」という音が聞こえたときは

相手の方から「ポー・ポー・ポー…」という音が聞こえたら、(5)(*)ボタンを押さなくても自動的に「ファクスを受信します。」という音声ガイダンスが聞こえて受信を開始します。（おまかせ受信）。音声ガイダンスが聞こえ始めるとすぐ戻しても受信できます。

なお、回線の状態や相手のファクスの状態などでファクス（おまかせ受信）に切り替わらないことがあります。そのとき「ポー・ポー・ポー…」という音が聞こえたら(5)(*)ボタンを押してからコードレス電話機を充電器に戻します。

●受信できなかったときは

コードレス電話機の着信音が鳴り、コードレス電話機を取ると「通信エラーがありました。」と2回聞こえます。ユーザセレクトの子機インフォメーション（☛P162）を「なし」に設定しているときは、音声ガイダンスは聞こえません。

●ファクス受信するときに押すボタンを変えるには

手順3で押すボタンを(5)以外に変更することができます。ユーザセレクトのリモート受信番号で設定します。（☛P160）

●ファクス受信が終了したことを確認するには

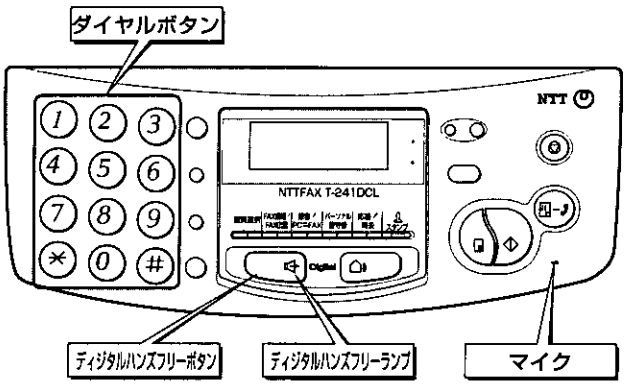
ユーザセレクトの子機インフォメーションで、コードレス電話機を使って受信したときに終了時の音声ガイダンスを聞くことができます。（☛P162）

お知らせ

- 相手が手動送信の場合、コードレス電話機を取っても無音の場合がありますので、呼びかけて応答がないことを再度ご確認のうえ、(5) (✱)ボタンを押してください。
- ダイヤルインサービスをご利用されている場合でファクス番号にファクスが送られてきたときは、コードレス電話機の呼出音は鳴りません。

ファクス本体で電話をかけるには　（発信）

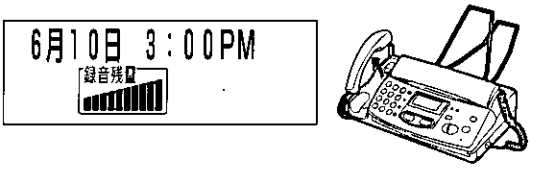
ファクス本体ではハンドセットを取りあげて電話をかける方法と、ハンドセットを置いたまま電話をかける方法があります。



ハンドセットを取りあげてかける

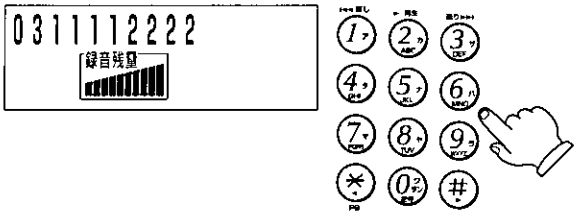
1 ハンドセットを取りあげます。

「ツー」という発信音が聞こえます。



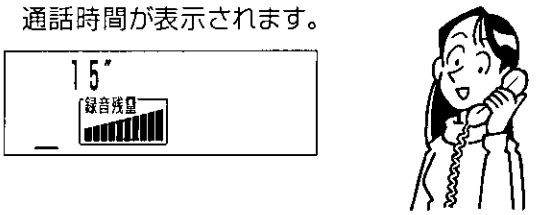
2 相手先の電話番号をダイヤルボタンで押します。

電話番号が表示されます。



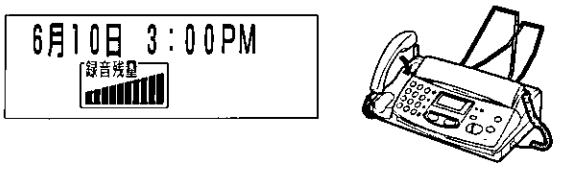
3 相手の方が出たら、お話しください。

通話時間が表示されます。



4 お話しが終わったら、ハンドセットを置きます。

日付・時刻表示に戻ります。



ワンポイント

●番号を間違えたときは

ハンドセットを置いて、最初からやり直します。

●受話音量を調節するには

受話音量は3段階に切り替えることができます。（☛P70）

●通話中にファクス受信に切り替わってしまうときには

ユーザセレクトの設定でおまかせ受信（☛P162）を「なし」に設定すると、通話中や相手側が保留にしているときに自動的にファクス受信に切り替わってしまうのを防ぐことができます。このときファクスを受信したい場合は、スタートボタンを押してください。

●ハンドセットからの通話をハンズフリー通話に切り替えるには

ハンドセットからの通話中にディジタルハンズフリーボタンを押すと、ハンズフリー通話に切り替わります。

切り替え直後は少し音量が変化する場合があります。

お知らせ

●ファクス本体のハンドセットは、補聴器をお使いの方に通話の声が聞き取りやすい「補聴器対応ハンドセット」（ヒアリングエイド対応）です（お使いいただけるのは、誘導コイルタイプの補聴器です）。

STOP お願い

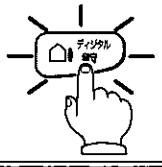
●ダイヤルボタンは数字の上を正確に押し、キータッチ音を確認するようにしてください。

●電話がかからないときは、電話回線切替スイッチが正しい位置に合っているか確かめてください。（☛P27）

ハンドセットを置いたままかける（ハンズフリー通話）

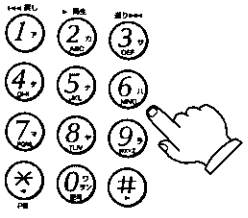
1 （ディジタルハンズフリー）ボタンを押します。

ディジタルハンズフリーランプが点灯し、「ツー」という発信音が聞こえます。



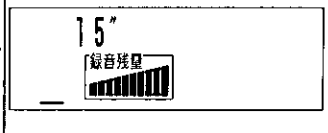
2 相手先の電話番号をダイヤルボタンで押します。

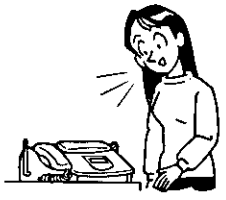
電話番号が表示されます。



3 相手の方の声がスピーカから聞こえたら、マイクに向かってお話しください。

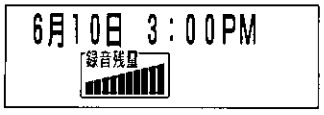
通話時間が表示されます。





4 お話しが終わったら、（ディジタルハンズフリー）ボタンを押します。

ディジタルハンズフリーランプが消え、日付・時刻表示になります。



ワンポイント

●スピーカ音量を調節するには

スピーカ音量は5段階に切り替えることができます。（☛P70）

●番号を間違えたときは

（ディジタルハンズフリー）ボタンを押して、最初からやり直します。

●スピーカから「ポー・ポー・ポー…」という音が聞こえたときは

（スタート）ボタンを押してファクス受信に切り替えます。

●通話中にファクス受信に切り替わってしまうときには

ユーザセレクトの設定でおまかせ受信（☛P162）を「なし」に設定すると、通話中や相手側が保留にしているとき、自動的にファクス受信に切り替わってしまうのを防ぐことができます。このときファクスを受信したい場合は、（スタート）ボタンを押してください。

●お話ししないで電話を切るには

時報（117）や天気予報（177）、プッシュホンサービスなどは、ハンドセットを取りあげずにそのままお聞きになれます。電話を切るときには、（ディジタルハンズフリー）ボタンを押します。

●周囲の音によってスピーカからの音声が聞き取りにくいときには

天気予報や時報、ファクシミリ情報サービスなどは、周囲の音によってスピーカからの音声が聞き取りにくくなる場合があります。このようなときは、はじめに（ディジタルハンズフリー）ボタンを「ピッ」という音が鳴るまで押し続けてください（約2秒以上）。ディジタルハンズフリーランプが点滅して受話専用になりますので、スピーカからの音声が聞き取りやすくなります（このときこちらの声は相手の方に聞こえなくなります）。

●ハンズフリー通話中にこちらの声が相手に聞こえにくかったり、相手の声が聞き取りにくかったりするときは

ハンドセットを取りあげてお話しください。

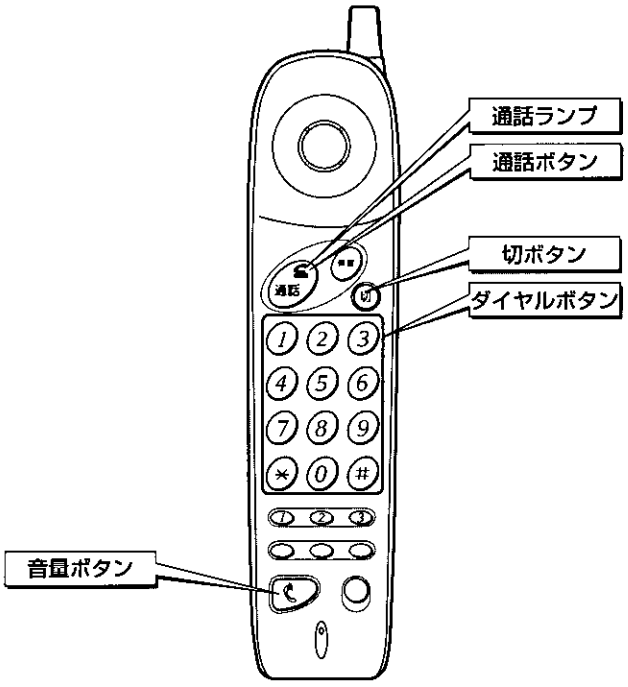
STOP お願い

●ハンズフリー通話はマイクから約1m以内を目安としてお話しください。

●（ディジタルハンズフリー）ボタンを押して、すぐに相手の方からの電話がつながったときは、こちらの声が相手の方に聞こえないときがあります。この場合は、ハンドセットを取りあげてお話しください。

コードレス電話機で電話をかけるには（発信）

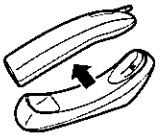
コードレス電話機では充電器から取りあげてかける方法（クイック通話）と、外しているときのかけ方があります。



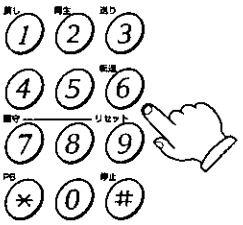
充電器から取りあげてかける

1 充電器から取りあげます。

通話ランプが点灯し、「ツー」という発信音が聞こえます。

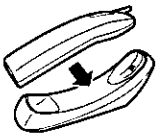


2 相手先の電話番号をダイヤルボタンで押します。



3 相手の方が出たら、お話しください。

4 お話しが終わったら、充電器に置きます。



充電器に置かないときは、(切)ボタンを押します。

ワンポイント

●番号を間違えたときは

充電器に置くか、(切)ボタンを押して（一度通話ランプを消灯させて）最初からやり直します。

●相手の声が聞き取りにくいときには（受話音量）

お話し中に音量ボタンを押すと音量が「大」になり、再度、音量ボタンを押すと「標準」に戻ります。「大」に設定すると、次にお話しするときも「大」のままです。

●通話中にファクス受信に切り替わってしまうときには

ユーザセレクトの設定でおまかせ受信（☛P162）を「なし」に設定すると、通話中や相手側が保留にしているときに自動的にファクス受信に切り替わってしまうのを防ぐことができます。このときファクスを受信したい場合は、(5)(＊)ボタンを押してください。

●クイック通話とは

(通話)ボタンを押さなくても充電器から取りあげるだけで、電話をかけたり、受けたりすることができます（クイック通話）。お買い求め時はクイック通話が設定されています。（☛P192）

●エコーサプレスとは

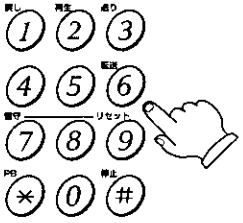
通話中に受話口から自分の声が少し遅れて聞こえ、お話しづらくなるときがあります。このようなとき、お話しする前にエコーサプレスを設定することができます。（☛P192）

充電器から外しているときにかける

1 通話ボタンを押します。

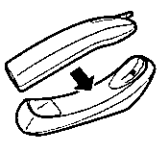
通話ランプが点灯し、「ツー」という発信音が聞こえます。

2 相手先の電話番号をダイヤルボタンで押します。



3 相手の方が出たら、お話しください。

4 お話しが終わったら、充電器に置きます。



充電器に置かないときは、切ボタンを押します。

お知らせ

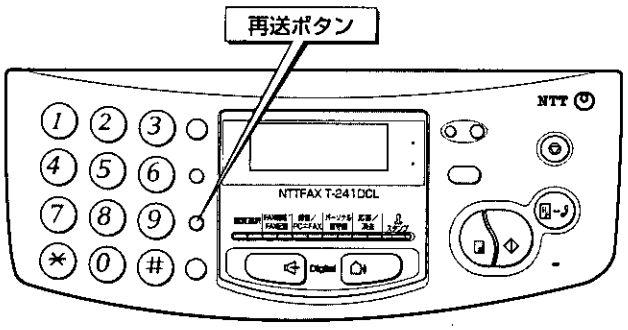
- ファクス本体でお話し中のときは、「ピーピー」という音が鳴り、電話をかけることができません。また、ファクス本体で録音、再生中のときもコードレス電話機から電話をかけることができません。
- ファクス本体から離れすぎたり、他のコードレス電話機が使用中のときなどは「ピーピー」という音が鳴り、電話をかけることができません。
- 電池残量がなくなると、お話し中に「ピー」という音が鳴ります。お話しをすぐに終えて充電器に置いて充電してください。
- 通話中にコードレス電話機を圏外に持ち出すと「ピーピーピー」という音が鳴りますので、すぐに圏内に戻ってください。

STOP お願い

- **ダイヤルボタンは数字の上を正確に押し、キータッチ音（「ピッ」という音）を確認するようにしてください。**

同じ相手にかけ直すには　（再ダイヤル）

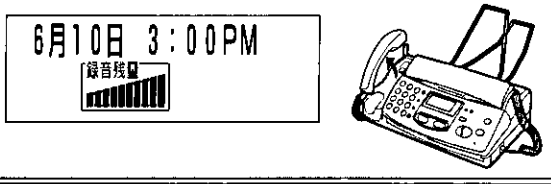
ファクス本体とコードレス電話機は、それぞれ最後にかけた相手の方に再送ボタンでもう一度かけ直すことができます。お話し中などでかけ直すときなどに便利です。



ファクス本体で再ダイヤルする

1 ハンドセットを取りあげます。

「ツー」という発信音が聞こえます。

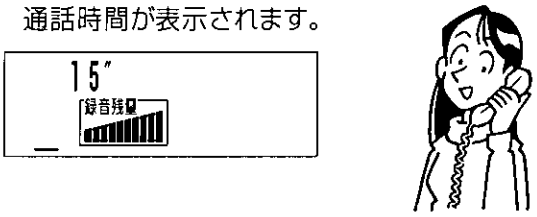


2 再送ボタンを押します。

表示された電話番号に自動的にダイヤルされます。

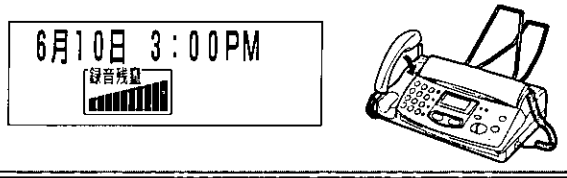
3 相手の方が出たら、お話しください。

通話時間が表示されます。



4 お話しが終わったら、ハンドセットを置きます。

日付・時刻表示に戻ります。



ワンポイント

●通話中にファクス受信に切り替わってしまうときには

ユーザセレクトの設定でおまかせ受信（☛P162）を「なし」に設定すると、通話中や相手側が保留にしているときに自動的にファクス受信に切り替わってしまうのを防ぐことができます。このときファクスを受信したい場合は、スタートボタンを押してください。

●ハンドセットを置いたまま再ダイヤルするには（ハンズフリー通話）

①ディジタルハンズフリーボタンを押す
②再送ボタンを押す
③相手の方の声がスピーカから聞こえたらお話しをする
④お話しが終わったらディジタルハンズフリーボタンを押す

●再ダイヤルを中止するには

ハンドセットを置きます（ハンズフリー通話のときはディジタルハンズフリーボタンを押します）。

●電話帳ダイヤルや短縮ダイヤルのあとでは

電話帳ダイヤルや短縮ダイヤルでかけた電話番号も再ダイヤルすることができます。そのとき、液晶ディスプレイには登録してある名前か電話番号が表示されます。

●再ダイヤルの内容を消去するには

ハンドセットを置いたまま、再送ボタンを押してから消去ボタンを押します。

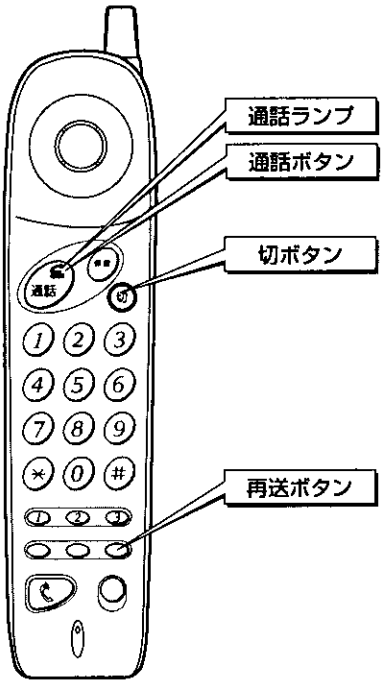
●自動再ダイヤルするには

ユーザセレクトの電話の自動再ダイヤル選択を「あり」にします。お買い求め時は「なし」に設定されています。

①ハンドセットを置いたまま、再送ボタンを押す
②スタートボタンを押す
相手の方が通話中のときに、約1分おきに最大10回まで自動的に再ダイヤルします。
③相手の方が出たら、ハンドセットを取りあげてお話しします。

STOP お願い

●再ダイヤル中には他のボタンを押さないでください。正しくダイヤルできないことがあります。



コードレス電話機で再ダイヤルする

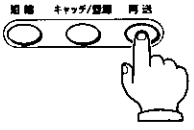
1 充電器から取りあげます。

通話ランプが点灯し、「ツー」という発信音が聞こえます。

充電器から外しているときは、通話ボタンを押します。

2 再送ボタンを押します。

最後にかけた電話番号に自動的にダイヤルされます。



3 相手の方が出たら、お話しください。

4 お話しが終わったら、充電器に置きます。

通話ランプが消えます。

充電器に置かないときは、切ボタンを押します。

ワンポイント

●相手の声が聞き取りにくいときには（受話音量）

お話し中に音量ボタンを押すと音量が「大」になり、再度、音量ボタンを押すと「標準」に戻ります。「大」に設定すると、次にお話しするときも「大」のままです。

●再ダイヤルを中止するには

充電器に置くか、切ボタンを押します。

●「ピピピピ」という音が鳴ったら

再ダイヤルに電話番号が登録されていません。ダイヤルボタンを押して電話をかけてください。

●ワンタッチダイヤルや短縮ダイヤルのあとでは

ワンタッチダイヤルや短縮ダイヤルでかけた電話番号も再ダイヤルすることができます。

●再ダイヤル内容を消去するには

コードレス電話機の切ボタンを2秒以上押して電源を切り、再度電源を入れます。

●クイック通話とは

通話ボタンを押さなくても充電器から取りあげるだけで、電話をかけたり、受けたりすることができます（クイック通話）。お買い求め時はクイック通話が設定されています。（☛P192）

●エコーサプレスとは

通話中に受話口から自分の声が少し遅れて聞こえ、お話しづらくなるときがあります。このようなとき、お話しする前にエコーサプレスを設定することができます。（☛P192）

●通話中にファクス受信に切り替わってしまうときには

ユーザセレクトの設定でおまかせ受信（☛P162）を「なし」に設定すると、通話中や相手側が保留にしているときに自動的にファクス受信に切り替わってしまうのを防ぐことができます。このときファクスを受信したい場合は、5、＊ボタンを押してください。

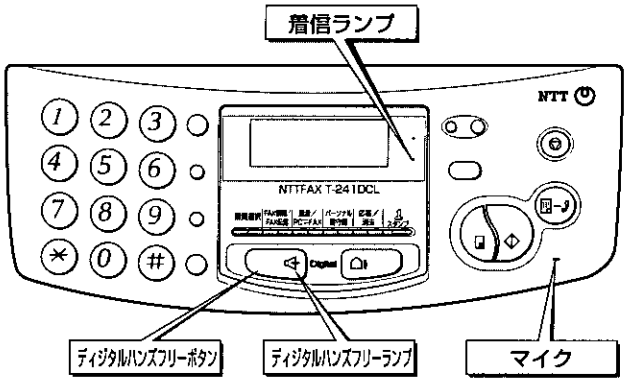
お知らせ

●ファクス本体でかけた電話番号をコードレス電話機で再ダイヤルしたり、コードレス電話機でかけた電話番号をファクス本体で再ダイヤルすることはできません。

●コードレス電話機では、24桁までの再ダイヤルができます。25桁以上ダイヤルボタンを押したときは、最初の24桁まで再ダイヤルします。

電話がかかってきたときは　（着信）

電話がかかってくるとファクス本体とコードレス電話機から着信音が鳴り、ファクス本体では着信ランプ、コードレス電話機では通話ランプと外線ランプが点滅します。どちらからでも受けることができます。そのまま受けないでいると、応答メッセージが流れて自動的にファクス受信となります。（☛P52）

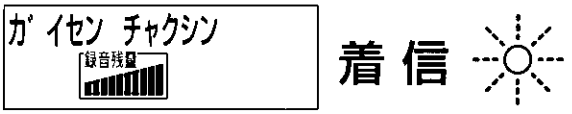


ファクス本体で受ける

ハンドセットを取りあげて受ける

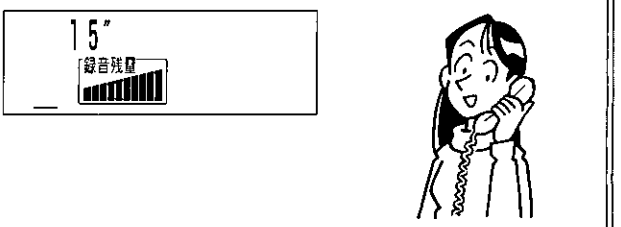
1 着信音が鳴ります。

着信ランプが点滅します。



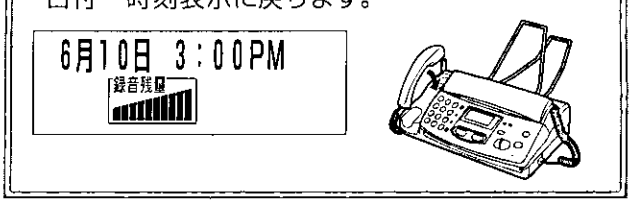
2 ハンドセットを取りあげて、相手の方とお話しください。

着信通話の表示がされたあと、通話時間が表示されます。



3 お話しが終わったら、ハンドセットを置きます。

日付・時刻表示に戻ります。



ワンポイント

●通話中にファクス受信に切り替わってしまうときには

通話中のときや相手の方が保留にしているとき、留守録のリモート操作で録音・再生内容に「ポー・ポー・ポー…」という音があるときなど、ファクス受信に切り替わってしまうことがあります。この場合、「ファクスを受信します。受話器を戻してください。」という音声ガイダンスが聞こえている最中にストップボタンを押すと、ファクスには切り替わりません。頻繁に起きているときは、ユーザセレクトの設定でおまかせ受信（☛P162）を「なし」にしてください。また、このときにファクスを受けるときは（スタート）ボタンを押して受信してください。（相手の方から自動送信で送られているときで、「ポー・ポー・ポー…」という音が聞こえていてもファクス受信には切り替わりません。）

●着信音量を調節するには

着信音量は5段階（ファクス本体）に切り替えることができます。（☛P71）

着信音を鳴らさないように設定することもできます。

●電話に出なかったときは（在宅モード）

応答メッセージが流れて、自動的にファクスを受信できます。応答メッセージの内容については「ファクスの受け方」をご覧ください。（☛P52）

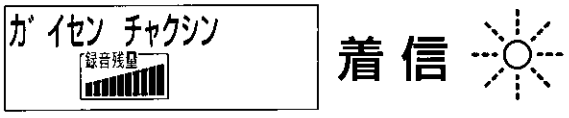
お知らせ

●ファクス本体のハンドセットは、補聴器をお使いの方に通話の声が聞き取りやすい「補聴器対応ハンドセット」（ヒアリングエイド対応）です（お使いいただけるのは、誘導コイルタイプの補聴器です）。

ハンドセットを置いたまま受ける（ハンズフリー通話）

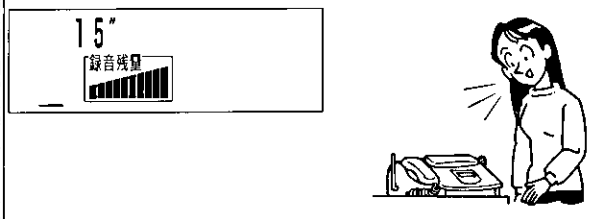
1 着信音が鳴ります。

着信ランプが点滅します。



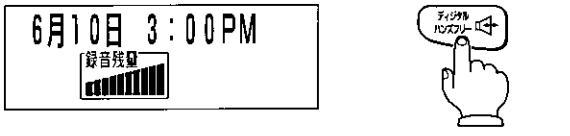
2 ディジタルハンズフリーボタンを押して、マイクに向かってお話しください。

着信通話の表示のあと、通話時間が表示されます。



3 お話しが終わったら、ディジタルハンズフリーボタンを押します。

ディジタルハンズフリーランプが消えます。



ワンポイント

●**スピーカ音量を調節するには**

スピーカ音量は5段階に切り替えることができます。（☛P70）

●**電話に出なかったときは（在宅モード）**

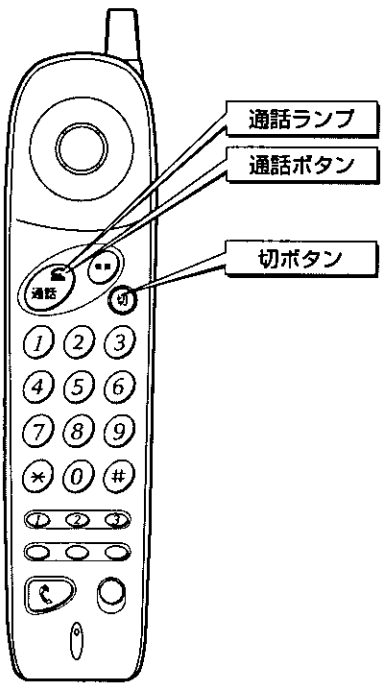
応答メッセージが流れて、自動的にファクスを受信できます。応答メッセージの内容については「ファクスの受け方」をご覧ください。（☛P52）

お願い

●ハンズフリー通話はマイクから約1m以内を目安としてお話しください。

●ハンズフリー通話中にこちらの声が相手に聞こえにくかったり、相手の声が聞き取りにくかったりするときは、ハンドセットを取りあげてお話しください。

電話がかかってきたときは　（着信）



コードレス電話機で受ける

1 着信音が鳴ります。

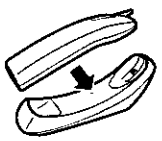
外線ランプと通話ランプが点滅します。

2 充電器から取りあげて、相手の方とお話しください。

充電器から外しているときは、通話ボタンを押します。

3 お話しが終わったら、充電器に置きます。

通話ランプが消えます。



充電器に置かないときは、切ボタンを押します。

ワンポイント

●相手の声が聞き取りにくいときには（受話音量）

お話し中にコードレス電話機の音量ボタンを押すと音量が「大」になり、再度コードレス電話機の音量ボタンを押すと「標準」に戻ります。「大」に設定すると、次にお話しするときも「大」のままです。

●着信音量を調節するには

着信音量は「大」、「標準」に切り替えることができます。（☛P71）

●通話中にファクス受信に切り替わってしまうときには

ユーザセレクトの設定でおまかせ受信（☛P162）を「なし」に設定すると、通話中や相手側が保留にしているときに自動的にファクス受信に切り替わってしまうのを防ぐことができます。このときファクスを受信したい場合は、5、＊ボタンを押してコードレス電話機を充電器に置いてください。

●「ポー・ポー・ポー…」という音が聞こえたら

相手先ファクスの送信音です。5、＊ボタンを押してコードレス電話機を充電器に置くとファクスを受信できます。

●コードレス電話機を外線着信できないようにするには（着信規制）

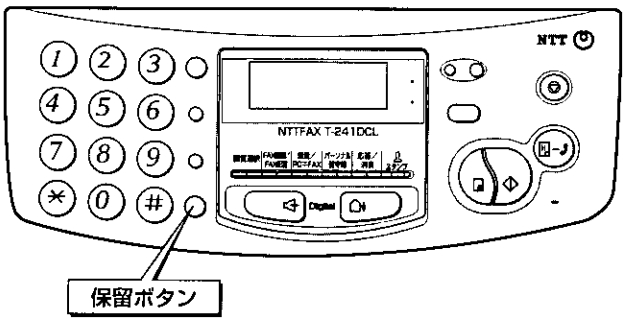
ユーザセレクトの設定で着信規制を「あり」にすると、すべてのコードレス電話機で外線の着信ができなくなります。（☛P196）

お知らせ

- コードレス電話機の着信音は、ファクス本体より少し遅れて鳴ります。コードレス電話機で受けるときは、必ずコードレス電話機の着信音が鳴り始めてから充電器から取りあげてください。
- コードレス電話機を2台以上接続している場合は、呼出音が鳴って1つのコードレス電話機を取り上げると、他のコードレス電話機の呼出音は2～3秒鳴ってから止まります。
- コードレス電話機の電源を切っていると、電話がかかってきても受けることはできません。
- クイック通話（☛P192）を解除しているときは、通話ボタンを押してからお話しください。
- トランシーバモード（☛P32）になっていると、電話がかかってきても着信音は鳴らず、受けることはできません。

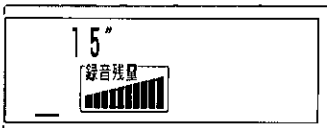
相手の方に待っていただくには　（保留）

お話しを一時中断して、相手の方に待っていただくときに保留します。保留中は、相手の方へは保留メロディが流れます。また保留にしたあと、他の電話機で電話に出ることもできます。



ファクス本体で保留にする

1 お話し中に、相手の方に待っていただくように伝えます。



2 保留ボタンを押して、ハンドセットを置きます。

保留メロディが流れます。

コードレス電話機で電話に出る

3 口頭で電話を取りつぐことを伝えます。

4 充電器から取りあげてお話しください。

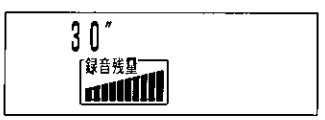
通話ランプが点灯します。

充電器から外しているときは、通話ボタンを押します。

ファクス本体で電話に出る

3 ハンドセットを取りあげてお話しください。

着信通話の表示がされたあと、通話時間が表示されます。



ハンドセットを置かなかったときは、保留ボタンを押します。

お知らせ

●ファクス本体で保留にしてコードレス電話機で出るときは、必ずファクス本体のハンドセットを置いてください。ハンドセットを置いていないと、コードレス電話機で「ピーピー」という音が鳴り、お話しすることができません。

ワンポイント

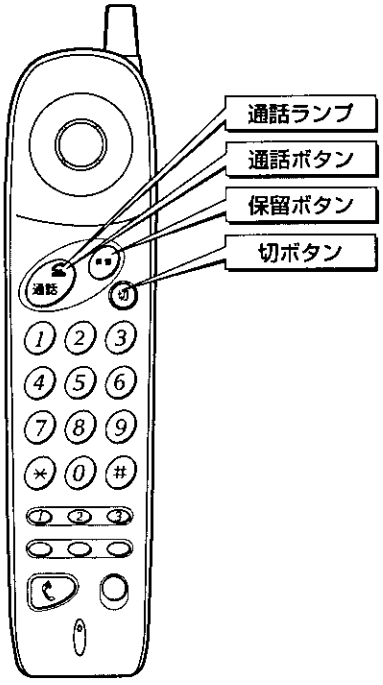
●コードレス電話機にとられたくないとき

手順2でハンドセットを置かないでください。お話しを再開するときは、再度保留ボタンを押します。

●保留メロディを変えるには

ユーザセレクトの保留メロディ（☛P194）で「ます」または「ジュ・トゥ・ヴ」を選ぶことができます。

コードレス電話機で保留にする



1 お話し中に、相手の方に待っていただくように伝えます。

2 (保留)ボタンを押して、通話ランプが点滅しているのを確認してから充電器に置きます。

ファクス本体では、呼出音が鳴り相手の方には保留メロディが流れます。

充電器に置かないときは、(切)ボタンを押します。

ファクス本体で電話に出る

3 口頭で電話を取りつぐことを伝えます。

4 ハンドセットを取りあげてお話しください。

外線通話の表示のあと通話時間が表示されます。

コードレス電話機で電話に出る

3 充電器から取りあげてお話しください。

充電器から外しているときは、(通話)ボタンまたは(保留)ボタンを押します。

お知らせ

- 保留中はコードレス電話機を充電器に戻しても電話は切れません。コードレス電話機を充電器に戻すと、ファクス本体で呼出音が「プルル‥‥、プルル‥‥」と鳴ります。
- コードレス電話機で保留にしてファクス本体で出るときは、必ずコードレス電話機を充電器に置くか(切)ボタンを押してください。充電器に置くか(切)ボタンを押さないとファクス本体でお話しすることができません。
- コードレス電話機で約3分以上保留の状態が続くと「ピーピーピーピー…」という音（保留警報）が約30秒間鳴ります。そのあと、手順2で(切)ボタンを押すかコードレス電話機を充電器に置いたときと同じ状況になります。これを約1分30秒おきに繰り返します。

ワンポイント

- **ファクス本体または、他のコードレス電話機にとられたくないとき**

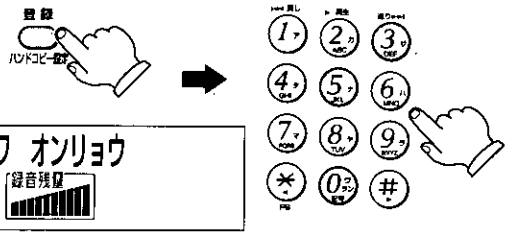
  手順2で充電器に置かないでください。また、(切)ボタンも押さないでください。お話しを再開するときは、再度(保留)ボタンまたは(通話)ボタンを押します。

音量を調節するには

通話中に受話器から聞こえる音量を調節したり（受話音量）、ハンズフリー通話中や録音再生時にスピーカから聞こえる音量を調節したり（スピーカ音量）、外線の着信音量とドアホン、内線の呼出音量を調節（着信音量）することができます。
受話音量と着信音量は、ファクス本体とコードレス電話機ともに調節することができます。
ファクス本体のハンドセットは、補聴器をお使いの方に通話の声が聞き取りやすい「補聴器対応ハンドセット」（ヒアリングエイド対応）です（お使いいただけるのは、誘導コイルタイプの補聴器です）。

ファクス本体の受話音量を調節する

1 登録ボタン、5、0、3の順に押します。

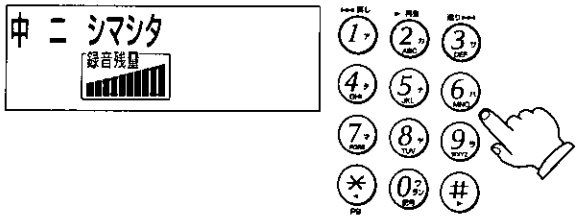


通話中でも調節できます。

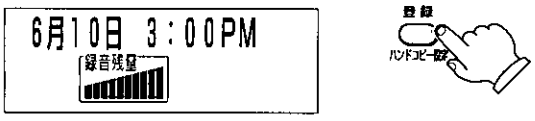
2 1～3のいずれかを押します。

1：音量 小　2：音量 中　3：音量 大

例：2（音量 中）を押したとき



3 登録ボタンを押します。



コードレス電話機の受話音量を調節する

1 通話中に音量ボタンを押して、音量を調節します。

音量ボタンを押すたびに「標準」→「大」→「標準」の順に切り替わります。

ファクス本体のスピーカ音量を調節する

1 ディジタルハンズフリーボタンを押します。

ディジタルハンズフリーランプが点灯し、「ツー」という発信音が聞こえます。

2 音量ボタン（小）、（大）を押して、音量を調節します。

音量ボタン（小）：音量が小さくなります。
音量ボタン（大）：音量が大きくなります。

スピーカ音量は5段階に切り替えることができます。

3 ディジタルハンズフリーボタンを押します。

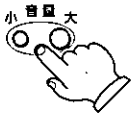
お知らせ

●ユーザセレクトの受話音量切替に従って、受話音量を設定することもできます。（☛P194）

ファクス本体の着信音量を調節する

1 ハンドセットを置いたまま、音量ボタン（小）、（大）を押して音量を調節します。

音量ボタン（小）：音量が小さくなります。
音量ボタン（大）：音量が大きくなります。



着信音量は5段階に切り替えることができます。

ファクス本体の着信音を鳴らさないようにする

1 ハンドセットを置いたまま、音量ボタン（小）を押して音量を最小にします。

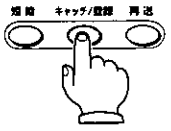
2 音量ボタン（小）を約3秒以上押します。

「ピー」という音が鳴り、着信音量が「切」に設定されます。

再び着信音を鳴らすようにするには、音量（小）または音量（大）ボタンを押します。

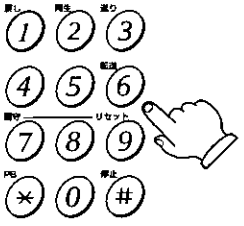
コードレス電話機の着信音量を調節する

1 通話ランプが消えている状態で、登録ボタンを押します。



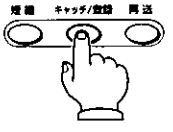
2 音量ボタンを押します。

3 ①ボタンを押して、音量を調節します。



①ボタンを押すたびに「標準」→「大」→「標準」の順に切り替わります。

4 登録ボタンを押します。



お知らせ

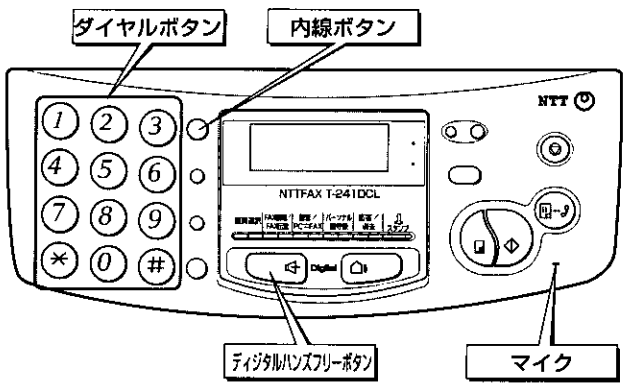
- ファクス本体では音量ボタンを押すたびに、液晶ディスプレイに表示されているカーソルが移動します。カーソル（■）の位置が現在の音量を示します。「小」に近ければ音は小さく、「大」に近ければ音は大きくなります。
- 着信音の設定を「切」にしていると、外の方から電話がかかっても着信音は鳴りません。ただし、ドアホンや内線電話で呼び出されたときの呼出音は鳴ります。

ワンポイント

- **コードレス電話機の着信音パターンを変更するには**
  コードレス電話機の着信音の鳴りかたを3種類の中から選ぶことができます。（☛P193）

ファクス本体とコードレス電話機でお話しするには（内線通話）

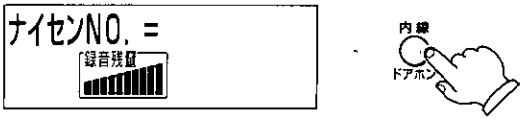
ファクス本体からコードレス電話機を、またはコードレス電話機からファクス本体を呼び出してお話しすることができます。



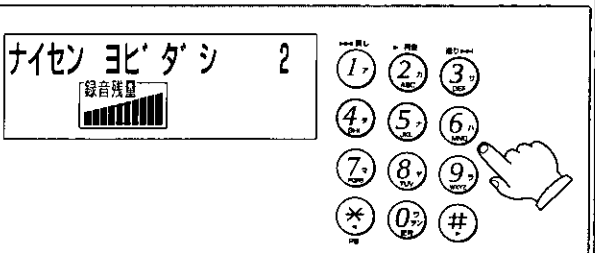
ファクス本体からコードレス電話機を呼び出す

ファクス本体側

1 ハンドセットを置いたまま、内線ボタンを押します。



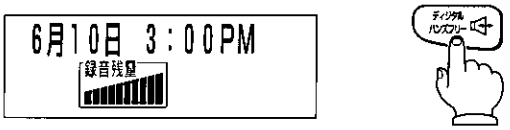
2 呼び出したいコードレス電話機の内線番号（2〜5）を、ダイヤルボタンで押します。



3 相手の方の声がスピーカから聞こえたら、マイクに向かってお話しください。

ハンドセットを取りあげてお話しすることもできます。

4 お話しが終わったら、ディジタルハンズフリーボタンを押します。



ハンドセットを取りあげてお話ししたときはハンドセットを置きます。

ワンポイント

●内線番号の割り当ては

内線番号は以下のとおりです。

内線番号	電話機
1	ファクス本体
2	コードレス電話機
3	増設したコードレス電話機 （T-241DCLwの場合は、増設済みです。）
4	増設したコードレス電話機
5	増設したコードレス電話機

●コードレス電話機を一斉に呼び出すには

手順2で内線番号のかわりに（#）ボタンを押します。すべてのコードレス電話機で一斉に呼出音が鳴ります。

●呼び出しを中止するには

内線ボタンを押します。

●内線呼出中にかかってきた電話にファクス本体で出るには

着信音が鳴ったら、ハンドセットを取りあげます。

●内線通話中にかかってきた電話にファクス本体で出るには

着信音が鳴ったらディジタルハンズフリーボタンを押して（ハンドセットを取りあげてお話ししているときはハンドセットを置く）、ハンドセットを取りあげます（またはディジタルハンズフリーボタンを押す）。

●ダイヤルインサービスをご利用のときは

①ファクス本体のハンドセットを取り上げ。
②内線ボタンを押す。
③呼び出したい内線番号（2〜5）を押す。
④相手の方の声が聞こえたらそのままお話しができます。
⑤お話しが終わったら、ハンドセットを置きます。

コードレス電話機側

1 呼出音が鳴ったら、充電器から取りあげてお話しください。

通話ランプが点灯します。

充電器から外しているときは内線ボタンまたは(通話)ボタンを押します。

2 お話しが終わったら、充電器に置きます。

充電器に置かないときは、(切)ボタンを押します。

ワンポイント

●内線呼出中にかかってきた電話にコードレス電話機で出るには

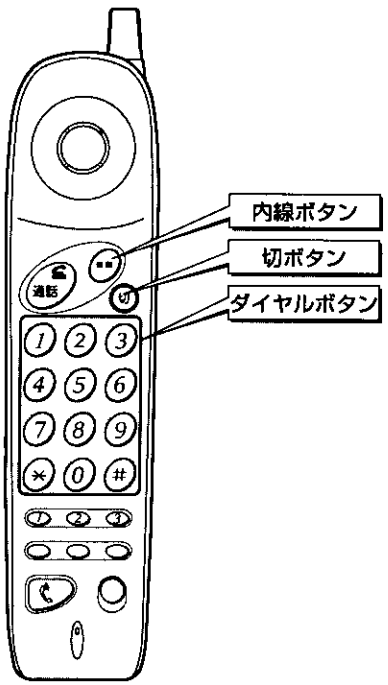
着信音が鳴ったら充電器から取りあげます（充電器から外しているときは(通話)ボタンを押す）。

●内線通話中にかかってきた電話にコードレス電話機で出るには

受話口から着信音が聞こえたら、充電器に置くか、または(切)ボタンを押します。着信音が鳴ったら充電器から取りあげます（充電器から外しているときは(通話)ボタンを押す）。

内線通話中にかかってきた電話に、キャッチボタンを押して、外の方とお話しすることもできます。ただし、ユーザセレクトのコードレス電話機着信規制を「あり」に設定した場合、またはダイヤルインサービスを利用している場合は、電話に出ることはできません。

ファクス本体とコードレス電話機でお話しするには（内線通話）



コードレス電話機からファクス本体を呼び出す

コードレス電話機側

1 充電器から取りあげます。

2 内線ボタンを押します。

3 ①を押します。

4 相手の方が出たら、お話しください。

5 お話しが終わったら、充電器に置きます。

充電器に置かないときは、切ボタンを押します。

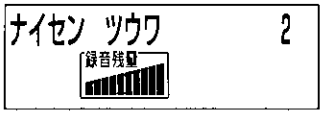
ワンポイント

- 内線呼出中にかかってきた電話にコードレス電話機で出るには
  通話ボタンを押します。
- 内線通話中にかかってきた電話にコードレス電話機で出るには
  受話口から着信音が聞こえたら充電器に置くか、または切ボタンを押します。リンガーから着信音が鳴ったら充電器から取りあげます（充電器から外しているときは通話ボタンを押す）。
- 呼び出しを中止するには
  切ボタンを押すかコードレス電話機を充電器に置きます。

ファクス本体側

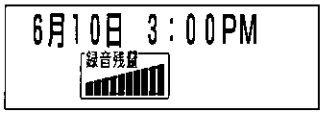
1 呼出音が鳴ったら、ハンドセットを取りあげてお話しください。

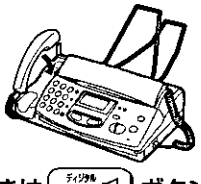
かかってきた内線番号が表示されます。



ハンドセットを取りあげたあと、(ディジタルハンズフリー)ボタンを押してお話しすることもできます。

2 お話しが終わったら、ハンドセットを置きます。





ハンズフリー通話をしていたときは(ディジタルハンズフリー)ボタンを押す。

ワンポイント

●**内線呼出中にかかってきた電話にファクス本体で出るには**
着信音が鳴ったらハンドセットを取りあげます。

●**内線通話中にかかってきた電話にファクス本体で出るには**
着信音が鳴ったらハンドセットを置いてもう1度ハンドセットを取り上げます。（ハンズフリー通話をしているときは、(ディジタルハンズフリー)ボタンを押してもう1度(ディジタルハンズフリー)ボタンを押すか、ハンドセットを取りあげる。）

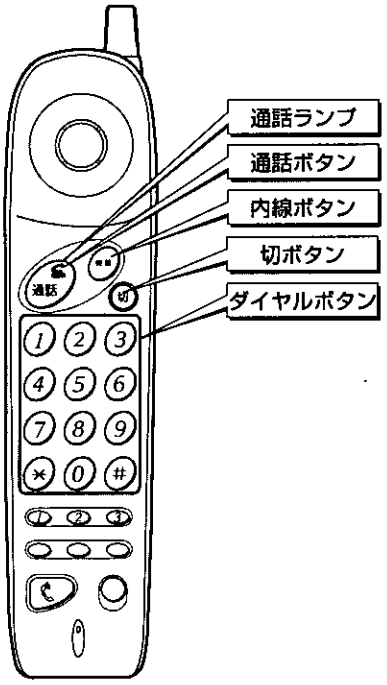
●**ダイヤルインサービスをご利用のときは**
呼出音が鳴ったらファクス本体のハンドセットを取りあげてお話しします（(ディジタルハンズフリー)ボタンを押してお話しすることはできません）。

お知らせ

●他の電話機（ファクス本体、コードレス電話機）で外線通話中の場合、コードレス電話機背面の充電／外線ランプが橙色に点灯します。

コードレス電話機どうしでお話しするには　（内線通話）

コードレス電話機を2台以上でお使いのときは、コードレス電話機からコードレス電話機を呼び出してお話しすることができます。



コードレス電話機からコードレス電話機を呼び出す

呼び出す方

1 充電器から取りあげます。

2 内線ボタンを押します。

3 呼び出したいコードレス電話機の内線番号（②～⑤）を、ダイヤルボタンで押します。

4 相手の方が出たら、お話しください。

5 お話しが終わったら、充電器に置きます。

充電器に置かないときは、切ボタンを押します。

ワンポイント

●内線番号の割り当ては

内線番号は以下のとおりです。

内線番号	電話機
1	ファクス本体
2	コードレス電話機
3	増設したコードレス電話機 (T-241DCLwの場合は付属されています。)
4	増設したコードレス電話機
5	増設したコードレス電話機

●呼び出しを中止するには

切ボタンを押します。

●内線呼出中にかかってきた電話にコードレス電話機で出るには

着信音が鳴ったら充電器から取りあげます（充電器から外しているときは通話ボタンを押す）。

●内線通話中にかかってきた電話にコードレス電話機で出るには

受話口から着信音が聞こえたら充電器に置くか、または切ボタンを押します。着信音が鳴ったら充電器から取りあげます（充電器から外しているときは通話ボタンを押す）。

呼び出される方

1 呼出音が鳴ったら、充電器から取りあげてお話しください。

通話ランプが点灯します。

充電器から外しているときは内線ボタンまたは(通話)ボタンを押します。

2 お話しが終わったら、充電器に置きます。

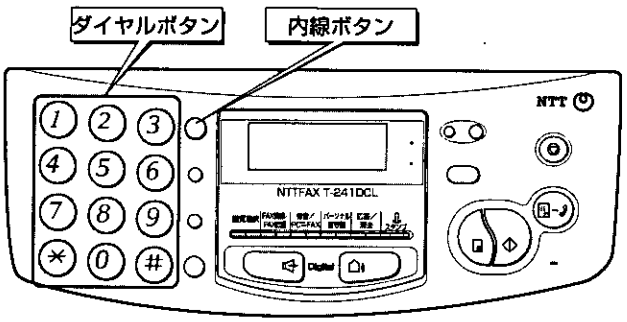
充電器に置かないときは、(切)ボタンを押します。

お知らせ

- 他の電話機（ファクス本体、コードレス電話機）で外線通話中の場合、コードレス電話機背面の充電／外線ランプが橙色に点灯します。
- コードレス電話機が2台以上ないとコードレス電話機からコードレス電話機は呼び出せません。T-241DCLの場合、コードレス電話機を増設する必要があります（☛P215）。
- 通話できる範囲は、それぞれのコードレス電話機とファクス本体の見通し距離が約 100 m以内のときです。
- コードレス電話機間で通話した直後は、内線の呼び出しができない場合があります。

かかってきた電話を取りつぐには　（保留転送）

ファクス本体で受けた電話をコードレス電話機へ、コードレス電話機で受けた電話をファクス本体へ取りつぐことができます。また、コードレス電話機を2台以上でお使いのときは、コードレス電話機で受けた電話をコードレス電話機に取りつぐことができます。



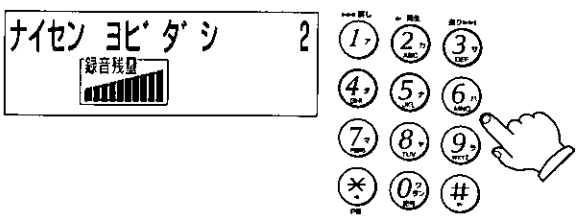
ファクス本体からコードレス電話機へ取りつぐ

ファクス本体側

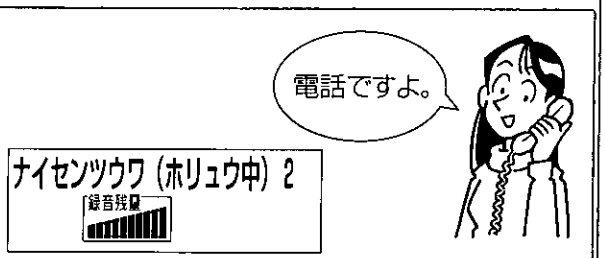
1 お話し中に、相手の方に待っていただくように伝え、内線ボタンを押します。

2 呼び出したいコードレス電話機の内線番号（2〜5）を、ダイヤルボタンで押します。

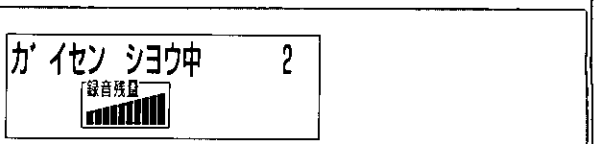
外の相手の方には保留メロディが流れます。



3 コードレス電話機から応答があったら、電話を取りつぐことを伝えます。



4 ハンドセットを置きます。



ワンポイント

●**コードレス電話機を一斉に呼び出すには**

手順2で内線番号のかわりに(#)ボタンを押します。すべてのコードレス電話機で一斉に呼出音が鳴ります。

●**コードレス電話機が呼び出しに応答しないときは**

コードレス電話機を呼び出し中に、内線ボタンを押すと保留になります。このあと再度保留ボタンを押すと、外の方との通話に戻ります。

お願い

●ハンズフリー通話中は保留転送できませんので、ハンドセットを取りあげて転送の操作を行ってください。

コードレス電話機側

1 呼出音が鳴ったら、充電器から取りあげてお話しください。

通話ランプが点灯します。

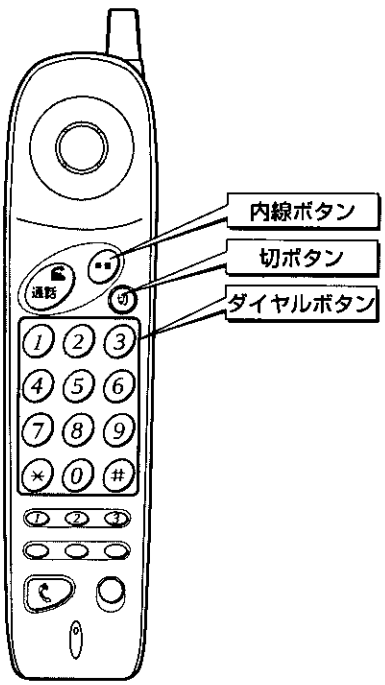
充電器から外しているときは内線ボタンまたは(通話)ボタンを押します。

2 ファクス本体が電話を切ると、外の方からの電話がつながりますから、お話しください。

3 お話しが終わったら、充電器に置きます。

充電器に置かないときは、(切)ボタンを押します。

かかってきた電話を取りつぐには　（保留転送）



コードレス電話機からファクス本体へ取りつぐ

コードレス電話機側

1 お話し中に、相手の方に待っていただくように伝え、内線ボタンを押します。

外の方には保留メロディが流れます。

2 ①を押します。

3 ファクス本体から応答があったら、電話を取りつぐことを伝えます。

4 充電器に置きます。

充電器に置かないときは、切ボタンを押します。

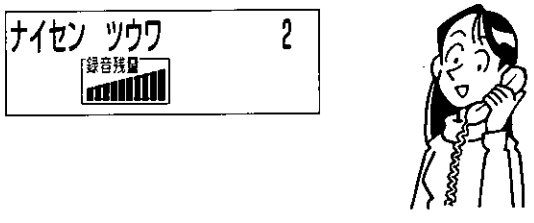
ワンポイント

●ファクス本体が呼び出しに応答しないときは

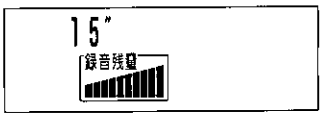
ファクス本体を呼び出し中に、保留ボタンを押すと、保留になりますので、通話ボタンか再度保留ボタンを押すと、外の方との通話に戻ります。

ファクス本体側

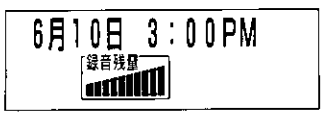
1 **呼出音が鳴ったら、ハンドセットを取りあげてお話しください。**



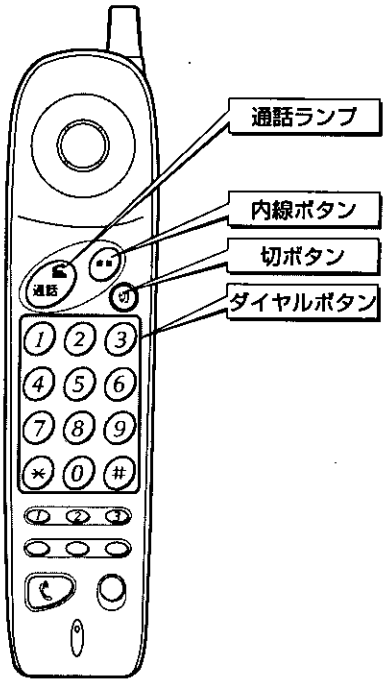
2 **コードレス電話機が電話を切ると、外の方からの電話がつながりますから、お話しください。**



3 **お話しが終わったら、ハンドセットを置きます。**



かかってきた電話を取りつぐには　（保留転送）



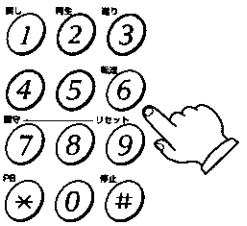
コードレス電話機からコードレス電話機へ取りつぐ

呼び出す方

1 お話し中に、相手の方に待っていただくように伝え、内線ボタンを押します。

外の相手の方には保留メロディが流れます。

2 呼び出したいコードレス電話機の内線番号（②～⑤）を、ダイヤルボタンで押します。



3 コードレス電話機から応答があったら、電話を取りつぐことを伝えます。

4 充電器に置きます。

充電器に置かないときは、切ボタンを押します。

ワンポイント

●コードレス電話機が呼び出しに応答しないときは

コードレス電話機を呼び出し中に、保留ボタンを押すと保留になります。このあと保留ボタンを押すと、外の方との通話に戻ります。

呼び出される方

1 呼出音が鳴ったら、充電器から取りあげてお話しください。

通話ランプが点灯します。

充電器から外しているときは内線ボタンまたは(通話)ボタンを押します。

2 コードレス電話機が電話を切ると、外の方からの電話がつながりますから、お話しください。

3 お話しが終わったら、充電器に置きます。

充電器に置かないときは、(切)ボタンを押します。

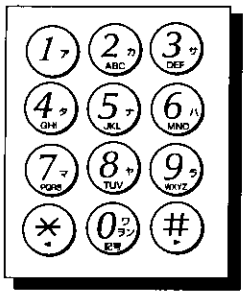
お知らせ

●NTTFAX T-241DCLの場合、コードレス電話機からコードレス電話機へ取りつぐには、コードレス電話機を増設する必要があります。(☛P215)

文字を入力するには

ダイヤルボタン（12キー）を使って、カタカナや数字、アルファベット、記号などを入力します。電話帳／短縮ダイヤルの登録で文字を入力するときも同じ方法で入力します。

文字の入力には、ダイヤルボタンの0、1～9、#、＊を使います。
次の文字を入力できます。



■入力できる文字の表

●押すボタン	●カナのとき	●英字のとき	●数字のとき
1	アイウエオ	□（スペース）	1
2	カキクケコ	ABC	2
3	サシスセソ	DEF	3
4	タチツテト	GHI	4
5	ナニヌネノ	JKL	5
6	ハヒフヘホ	MNO	6
7	マミムメモ	PQRS	7
8	ヤユヨ゛゜ー□（スペース）	TUV	8
9	ラリルレロ	WXYZ	9
0	ワヲン	!"#$%&'()＊+,-/:;<=>?[¥]^_`{|}→←@.	0
＊	カナ、英字の小文字を入力するときに押します。1回押すごとに、小文字入力のセット、解除ができます。		
#	文字の種類（カナ、英字、数字）を切り替えます。		

ワンポイント

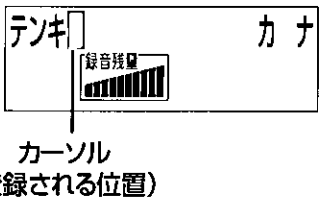
●入力を間違えたときには

ストップボタンを押すたびに後ろから1文字ずつ消えます。カーソル（■）位置を合わせ、正しい文字を入力します。

お知らせ

●操作を約1分間中断すると、登録されずに日付・時刻表示画面に戻ります。

文字の入力中は次のように表示されます。

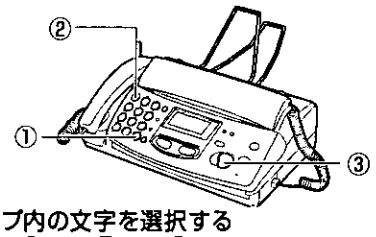


カーソル
（登録される位置）

カーソルは、選んだ文字が入力される位置を示します。

■文字入力の手順

①#ボタンで文字グループを「カナ」、「英字」、「数字」から選択する



②グループ内の文字を選択する

0、1～9、＊で文字を選択します。

カナのとき

1を押すたびに ア→イ→ウ→エ→オ と切り替わる

2を押すたびに カ→キ→ク→ケ→コ と切り替わる

⋮

英字のとき

2を押すたびに A→B→C と切り替わる

3を押すたびに D→E→F と切り替わる

⋮

数字のとき

1を押すと1

2を押すと2

⋮

カナの小文字、英字の小文字を入力するときは＊ボタンを押します。

③選んだ文字を入力する

スタートボタンを押して文字を入力します。

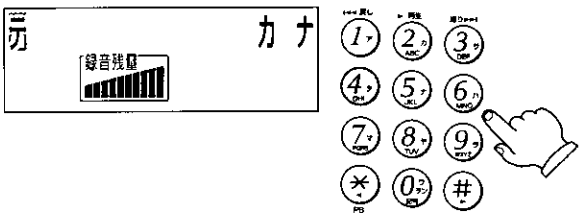
④すべての文字入力が終わったら登録する

スタートボタンを押して入力した文字を登録します。

文字入力の例－「テンキ」を入力

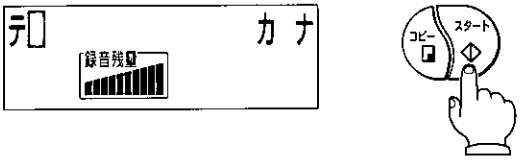
1 ④ボタンを4回押して、「テ」を選びます。

「テ」が表示されます。



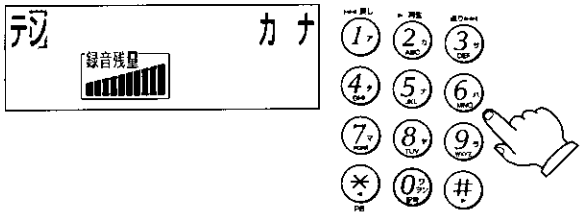
2 スタートボタンを押して、「テ」を入力します。

「テ」が入力されて、カーソルが右に移動します。



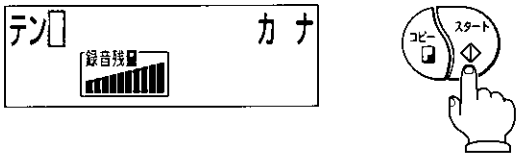
3 ⓪ボタンを3回押して、「ン」を選びます。

「ン」が表示されます。



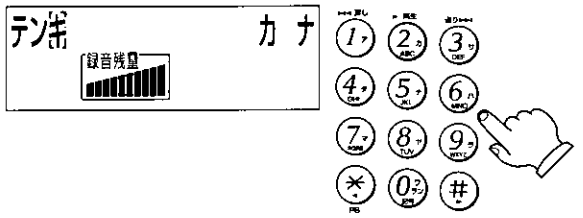
4 スタートボタンを押して、「ン」を入力します。

「ン」が入力されて、カーソルが右に移動します。



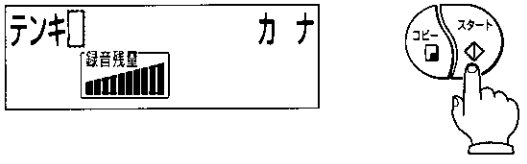
5 ②ボタンを2回押して、「キ」を選びます。

「キ」が表示されます。



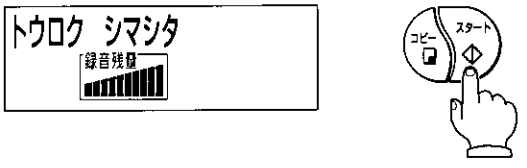
6 スタートボタンを押して、「キ」を入力します。

「キ」が入力されて、カーソルが右に移動します。



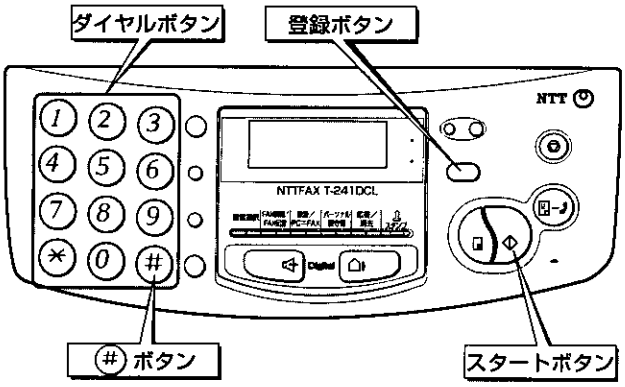
7 スタートボタンを押して、入力した文字を登録します。

「テンキ」が登録されます。



ファクス本体に電話番号を登録するには　（電話帳）

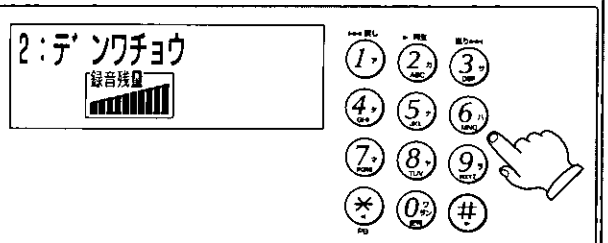
ファクス本体でよく利用する電話番号は、あらかじめ電話帳（20か所）に登録しておくと便利です。相手の名前は最大16文字まで、電話番号は最大32桁まで登録できます。



電話帳に登録する（電話帳）

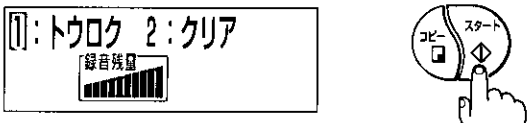
1 ハンドセットを置いたまま、登録ボタンを押します。

2 #ボタンを2回押します。



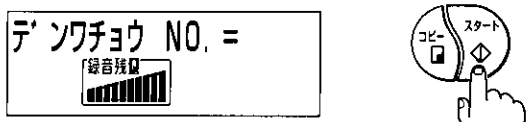
3 スタートボタンを押します。

電話帳を選択します。



4 スタートボタンを押します。

登録を選択します。



ワンポイント

●番号を入れ間違えたときは

ストップボタンを押すたびに後ろから1文字ずつ消えます。カーソル（■）位置を合わせ、正しい番号を入力します。

●登録内容を変更するには

登録内容を一度消してからもう一度登録します。

●登録内容を取り消すには

①手順1～3の操作をする
②#ボタンを押して「クリア」を選ぶ
③スタートボタンを押す
④電話帳ボタンを押して消したい相手先を選ぶ
（0 1～2 0の電話帳番号を入力して選ぶこともできます。）
⑤スタートボタンを押す（②③を繰り返して複数の登録内容を消すこともできます）
⑥登録ボタンを押す

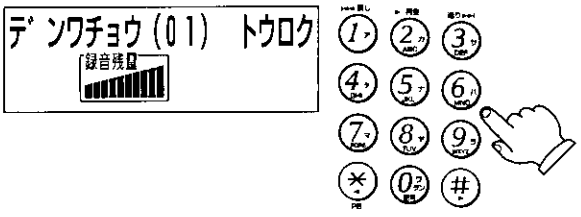
●電話番号にポーズ（待ち時間）を入れて登録するには

ポーズ（待ち時間）を入れたいときは、ポーズボタンを押します。1回目のポーズボタンを押すと、約4秒間（2回目以降から約2秒間）のポーズが入力されます。

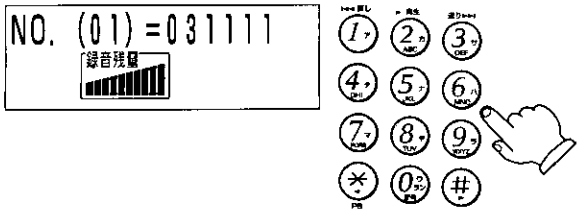
●液晶ディスプレイに名前を表示しないようにするには

手順7の操作のあと、手順9に進みます。このとき液晶ディスプレイには電話番号やファクス番号が表示されます。

5 電話帳番号（01～20の2桁の数字）を、ダイヤルボタンで押します。

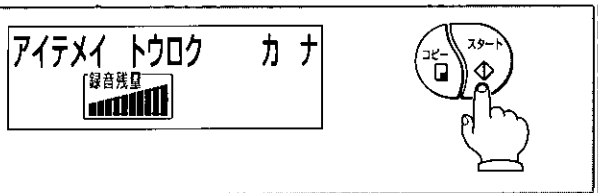


6 相手先の電話番号（32桁以内）を、ダイヤルボタンで押します。

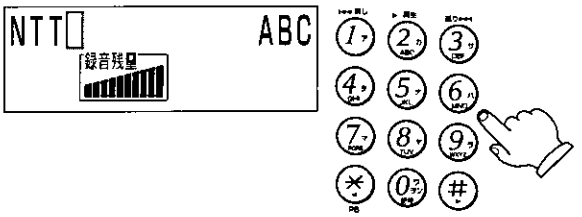


電話番号の間にスペースを入れることはできません。

7 スタートボタンを押します。

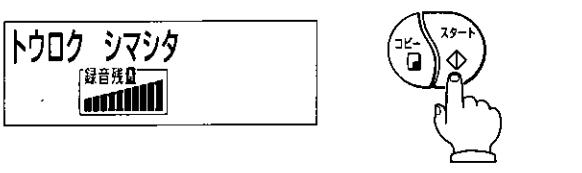


8 相手先の名前をP84の手順に従って入力します。



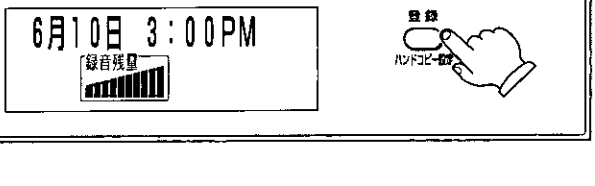
最大16文字まで入力できます。
カタカナ・英数字・記号が使えます。

9 名前の入力が終わったら、スタートボタンを押します。



続けて登録するときは、手順5から操作します。

10 登録ボタンを押します。

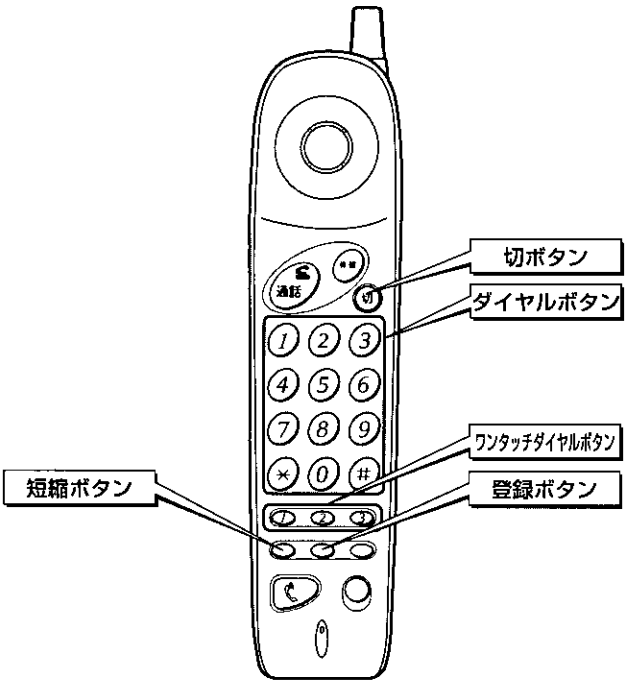


STOP お願い

- 電話番号の登録にはポーズや＊（PB）を入れることもできますが、構内交換機から0発信する場合や、海外の電話番号を登録する以外でポーズを入力すると正しく電話がかからないことがあります。
- 間違い電話や誤送信を防ぐために、電話帳に電話番号を登録するときは番号間違いのないよう正確に行ってください。また、登録後は電話番号リスト（☛P122）で正しく登録されていることを確認してください。

コードレス電話機に電話番号を登録するには（ワンタッチダイヤル／短縮ダイヤル）

コードレス電話機でよく利用する電話番号は、あらかじめワンタッチダイヤル（3か所）短縮ダイヤル（10か所）に登録しておくと便利です。電話番号は、それぞれ最大24桁まで登録できます。



ワンポイント

●**ワンタッチダイヤルを続けて登録するには**
手順5の操作のあと手順2の操作から繰り返します。

●**登録を中止するには**
(切) ボタンを押します。

●**登録内容を変更するには**
上書きすることで登録内容を変更することができます。

●**登録内容を取り消すには**
手順3の操作のあと、手順5の操作をします。

●**電話番号にポーズ（待ち時間）を入れて登録するには**
ポーズ（待ち時間）を入れたいときは、再送ボタンを押します。1回目の再送ボタンを押すと、約4秒間（2回目以降から約2秒間）のポーズが入力されます。

お知らせ

●登録ができなかったときは「ピピピピ」という音が鳴ります。
●操作を約10秒間中断すると登録されずにもとの状態に戻ります。

STOP お願い

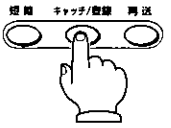
●**電話番号の登録にはポーズや (＊) (PB) を入れることもできますが、構内交換機から0発信する場合や、海外の電話番号を登録する以外でポーズを入力すると正しく電話がかからないことがあります。**

●**間違い電話や誤送信を防ぐために、ワンタッチダイヤルに電話番号を登録するときは番号間違いのないよう正確に行ってください。**

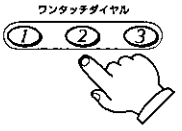
コードレス電話機のワンタッチダイヤルを登録する（ワンタッチダイヤル）

1 **充電器から取りあげて、(切) ボタンを押します。**

2 **登録ボタンを押します。**



3 **ワンタッチダイヤルボタン（①～③）を、押します。**



4 **相手先の電話番号（24桁以内）を、ダイヤルボタンで押します。**

5 **登録ボタンを押します。**

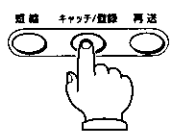
正しく登録されると「ピー」という音が聞こえます。

6 **コードレス電話機を充電器に置きます。**

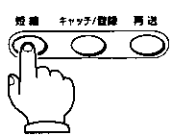
コードレス電話機の短縮ダイヤルを登録する（短縮ダイヤル）

1 充電器から取りあげて、(切)ボタンを押します。

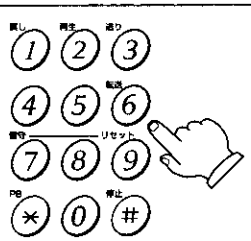
2 登録ボタンを押します。



3 短縮ボタンを押します。



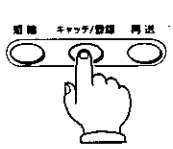
4 短縮番号（(0)～(9)の1桁の数字）を、ダイヤルボタンで押します。



5 相手先の電話番号（24桁以内）を、ダイヤルボタンで押します。

6 登録ボタンを押します。

正しく登録されると「ピー」という音が聞こえます。



7 コードレス電話機を充電器に置きます。

ワンポイント

- **短縮ダイヤルを続けて登録するには**
  手順6の操作のあと、手順2の操作から繰り返します。
- **登録を中止するには**
  (切)ボタンを押します。
- **登録内容を変更するには**
  上書きすることで登録内容を変更することができます。
- **登録内容を取り消すには**
  手順4の操作のあと、手順6の操作をします。
- **電話番号にポーズ（待ち時間）を入れて登録するには**
  ポーズ（待ち時間）を入れたいときは、再送ボタンを押します。1回目の再送ボタンを押すと、約4秒間（2回目以降から約2秒間）のポーズが入力されます。

お知らせ

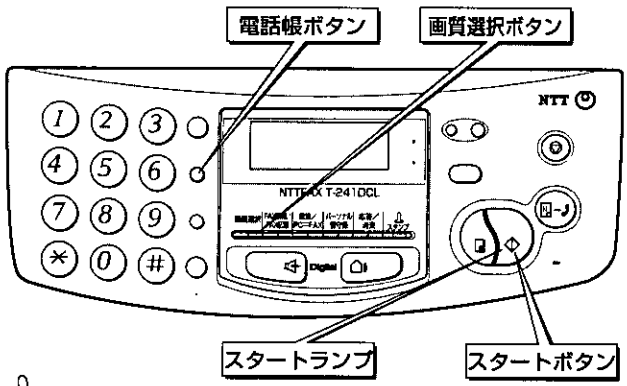
- 登録ができなかったときは「ピピピピ」という音が鳴ります。
- 操作を約10秒間中断すると登録されずにもとの状態に戻ります。

お願い

- **電話番号の登録にはポーズや(*)（PB）を入れることもできますが、構内交換機から0発信する場合や、海外の電話番号を登録する以外でポーズを入力すると正しく電話がかからないことがあります。**
- **間違い電話や誤送信を防ぐために、短縮ダイヤルに電話番号を登録するときは番号間違いのないよう正確に行ってください。**

登録した電話番号でファクスを送るには　（電話帳）

ファクス番号と名前を登録してある相手先には、液晶ディスプレイで相手先の名前を確認してファクスを送ることができます。また、電話帳番号（01～20）をダイヤルボタンで押してファクスを送信することができます。



ワンポイント

●お話しをしてから送信するには

①ハンドセットを取りあげる
②手順１～4の操作をする
③相手の方と話す
④相手の方にファクスに切り替えてもらう
（「ピーヒョロロ」という音が聞こえる）
⑤ スタート を押す。
⑥ハンドセットを置く（送信する）

●送信を中止するには

ストップボタンを押します。

●「通信エラーがありました。」と聞こえたら

ファクスが正しく届いていないことがあります。相手先に確認してもう一度送信します。

●電話帳番号を選ぶには

電話帳ボタンを押したあと、＊ボタン／＃ボタンで順または逆順に表示できます。
電話帳ボタンを押したあと、0 1 ～ 2 0 の番号を押して相手先を選ぶこともできます。

●コードレス電話機で通話終了後にファクスを送るには

コードレス電話機で通話中にファクス本体に原稿をセットして、電話帳ボタン→ スタート ボタンを押します。液晶ディスプレイに「ハッシン　マチ中」と表示され、コードレス電話機での通話が終わると、送信が開始されます。**（リザーブ送信）**

お知らせ

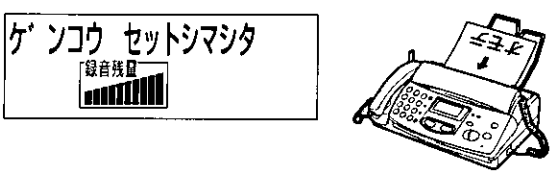
●登録されていない電話帳番号を押すと、「ピピピピ」という音が鳴り、液晶ディスプレイに「トウロク　サレテイマセン」と表示されます。

●ファクス送信中に液晶ディスプレイに表示される番号は相手先のファクスに登録されている番号ですので、実際にダイヤルした番号と異なる場合があります。

電話帳でファクスを送信する

1 原稿ガイドに沿って、原稿を表向きにセットします。（☛P38）

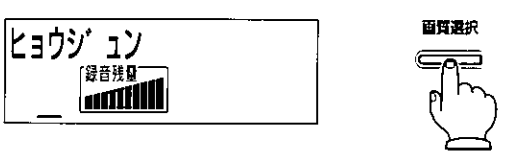
原稿が引き込まれると「ピッ」という音が聞こえます。



2 画質選択ボタンを押して、適切な画質を選びます。（☛P40）

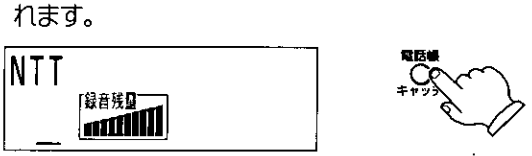
選んだ画質が表示されます。

例：「ヒョウジュン」を選んだとき



3 電話帳ボタンを押して、相手先の名前を確認します。

電話帳ボタンを押すごとに、相手先の名前（名前を登録していないときはファクス番号）が順に表示されます。

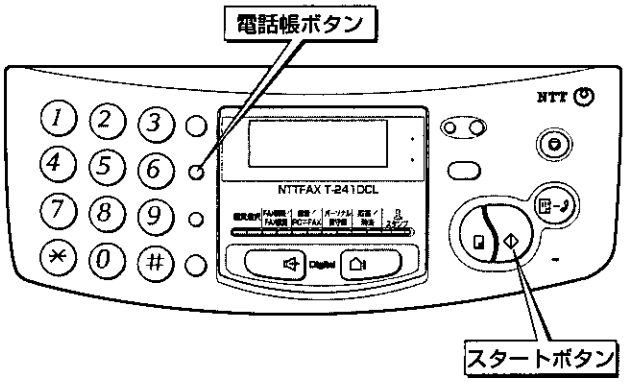


4 スタート ボタンを押します。

スタートランプが点灯し、自動的にファクスを送信します。
相手先のファクスに登録している番号が表示されます。
送信が終了すると終了音が鳴ります。

登録した電話番号で電話をかけるには（電話帳／ワンタッチダイヤル／短縮ダイヤル）

電話番号と名前を登録してある相手先には、液晶ディスプレイで相手先の名前を確認して電話をかけることができます。また、電話帳番号（01～20）をダイヤルボタンで押すだけで電話をかけることができます。



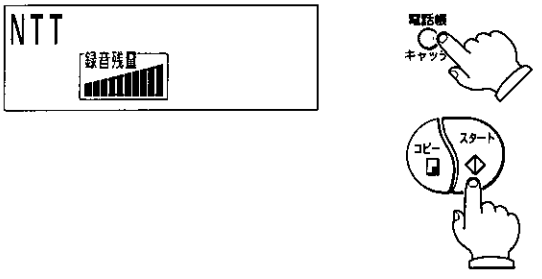
電話帳で電話をかける

1 ハンドセットを取りあげます。

「ツー」という発信音が聞こえます。

2 電話帳ボタンを押して、相手先の名前を確認してから、スタートボタンを押します。

電話帳ボタンを押すごとに、相手先の名前（名前を登録していないときは電話番号）が順に表示されます。



3 相手の方が出たら、お話しください。

通話時間が表示されます。

4 お話しが終わったら、ハンドセットを置きます。

ワンポイント

●**ファクス本体のハンドセットを置いたままかけるには**

①（ディジタルハンズフリー）ボタンを押す
②電話帳ボタンを押す
③相手先を選ぶ
④（スタート）ボタンを押す（スピーカから相手の方の声が聞こえる）
⑤マイクに向かって話す
⑥お話しが終わったら（ディジタルハンズフリー）ボタンを押す

●**操作の途中で中止するには**

ハンドセットを置きます。（ディジタルハンズフリー）ボタンを押してダイヤルしているときは、（ディジタルハンズフリー）ボタンを押します。

●**電話帳番号を選ぶには**

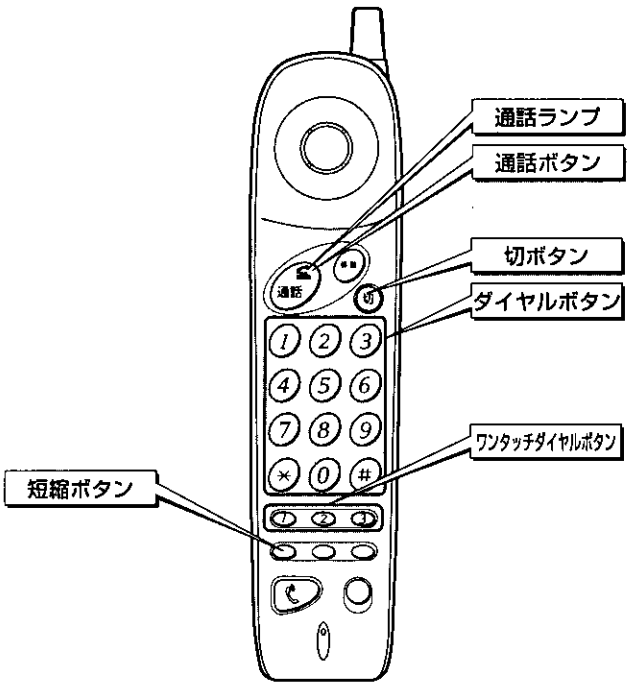
電話帳ボタンを押したあと、（＊）ボタン／（＃）ボタンで順または逆順に表示できます。

電話帳ボタンを押したあと、（0）（1）～（2）（0）の番号を押して相手先を選ぶこともできます。

お知らせ

●登録されていない電話帳番号を押すと、「ピピピピ」という音が鳴り、液晶ディスプレイに「トウロク　サレテイマセン」と表示されます。

登録した電話番号で電話をかけるには（電話帳／ワンタッチダイヤル／短縮ダイヤル）

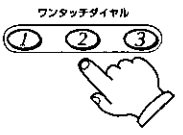


ワンタッチダイヤルで電話をかける

1 充電器から取りあげます。

通話ランプが点灯し、「ツー」という発信音が聞こえます。
充電器から外しているときは（通話）ボタンを押します。

2 ワンタッチダイヤルボタン（①～③）を押します。



3 相手の方が出たら、お話しください。

4 お話しが終わったら、充電器に置きます。

充電器に置かないときは、（切）ボタンを押します。

ワンポイント

●相手の声が聞き取りにくいときには（受話音量）

お話し中に音量ボタン（☛P70）を押すと音量が「大」になり、再度、音量ボタンを押すと「標準」に戻ります。「大」に設定すると、次にお話しするときも「大」のままです。電池パックが消耗すると、「標準」に戻ります。

●通話中にファクス受信に切り替わってしまうときには

ユーザセレクトの設定でおまかせ受信（☛P162）を「なし」に設定すると、通話中や相手側が保留にしているときに自動的にファクス受信に切り替わってしまうのを防ぐことができます。このときファクスを受信したい場合は、⑤（✱）ボタンを押してください。

●クイック通話とは

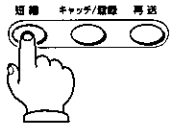
（通話）ボタンを押さなくても充電器から取りあげるだけで、電話をかけたり、受けたりすることができます（クイック通話）。お買い求め時はクイック通話が設定されています。（☛P192）

短縮ダイヤルで電話をかける

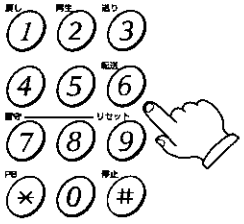
1 充電器から取りあげます。

通話ランプが点灯し、「ツー」という発信音が聞こえます。
充電器から外しているときは 通話 ボタンを押します。

2 短縮ボタンを押します。



3 短縮番号（0～9）の1桁の数字を、ダイヤルボタンで押します。



4 相手の方が出たら、お話しください。

5 お話しが終わったら、充電器に置きます。

充電器に置かないときは、切 ボタンを押します。

お知らせ

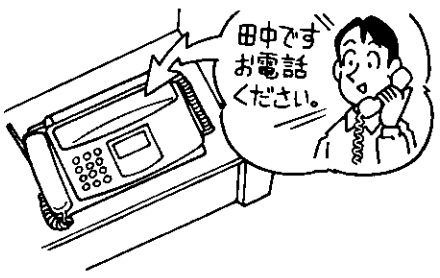
- ファクス本体から離れすぎたり、ファクス本体でお話し中のときは、「ピーピー」という音が鳴り、電話をかけることができません。また、ファクス本体で録音、再生中のときもコードレス電話機から電話をかけることができません。
- 「ピピピピ」という音が聞こえたら短縮ダイヤルに番号が登録されていません。
- 「ピピピピ」という音が聞こえたらワンタッチダイヤルに番号が登録されていません。
- 電池残量がなくなると、「ピー」という音が鳴ります。お話しをすぐに終えて充電器に置いて充電してください。（約1分後に切れます。）
- コードレス電話機では、登録した相手の番号を確かめることができません。必ずメモしておいてください。
- 通話中にコードレス電話機を圏外に持ち出すと「ピーピーピー」という音が鳴りますので、すぐに圏内に戻ってください。

留守番電話とは

一般留守録とは

留守中に電話をかけてきた方に用件を録音してもらいます。

こんなときにつかいます



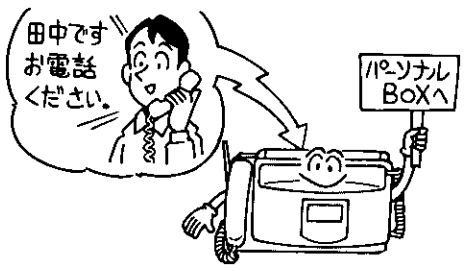
留守中に電話をかけてきた方に用件を録音してもらいます。

帰宅したら用件を聞きます。
コードレス電話機でも用件を聞くことができます。

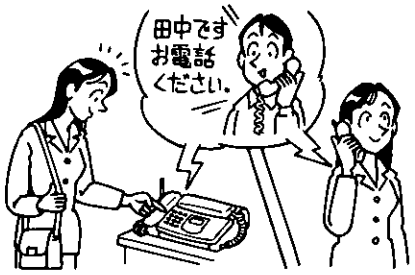
パーソナル留守録とは

留守中に電話をかけてきた方に個別のパーソナルBOXへ用件を録音してもらいます。
パーソナルBOXとは、一般留守録と同じように留守中の用件を録音することができる機能です。パーソナルBOXにはBOX番号2～5までの4つのBOXがあり、個別に用件を録音することができます。
パーソナルBOXの用件は暗証番号を入れないと聞くことができないので、プライバシーを守ることができます。

こんなときにつかいます



パーソナルBOXの番号を指定して用件を録音してもらいます。
※パーソナル留守録の詳しい使い方は、「第9章　自分専用の留守録として使うには」をご覧ください

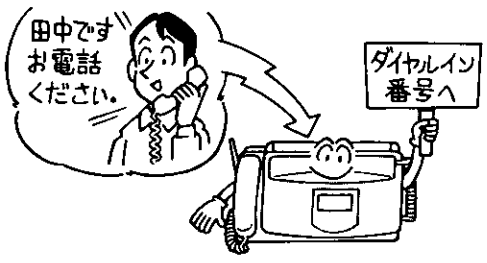


帰宅したら、パーソナルBOXの番号と暗証番号を指定して用件を聞きます。
あらかじめ設定されたコードレス電話機の場合、暗証番号を入力しないで用件を聞くことができます。

ダイヤルイン留守録とは

NTTのダイヤルインサービス（有料）を契約している場合は、ダイヤルイン留守録を利用できます。
ダイヤルイン留守録はダイヤルイン番号に電話をかけてきた方が、直接パーソナルBOXに用件を録音するこができます。
パーソナルBOXに録音された用件は、ファクス本体で暗証番号を入力して聞くことも、あらかじめ設定されたコードレス電話機から暗証番号を入力せずに聞くこともできます。（☛P101）ダイヤルインサービスはNTTとの契約が必要です。

こんなときにつかいます



ダイヤルイン番号に対応したパーソナルBOXに用件が録音されます。

帰宅したらパーソナルBOXの番号と暗証番号を指定して用件を聞きます。
専用のコードレス電話機の場合、暗証番号を入力しないで用件を聞くことができます。

一般留守録を利用するには

留守セットして外出します。
↓
留守中に電話がかかると、応答メッセージが流れます。
↓
一般録音に用件が録音されます。
↓
帰宅したら用件を聞きます。

パーソナル留守録を利用するには

パーソナルBOXに暗証番号を設定します。
↓
留守セットして外出します。
↓
留守中に電話がかかると、応答メッセージが流れます。
↓
パーソナルBOXの番号を指定して用件を録音してもらいます。
↓
帰宅したらパーソナルBOXの番号と暗証番号を指定して用件を聞きます。

ダイヤルイン留守録を利用するには

パーソナルBOXに暗証番号を設定します。
↓
ダイヤルイン番号に電話がかかってきた場合、着信音が鳴る電話機を設定します。
↓
留守セットして外出します。
↓
留守中にダイヤルインに電話がかかると、応答メッセージが流れます。
↓
ダイヤルイン番号に対応したパーソナルBOXに用件が録音されます。
↓
帰宅したらパーソナルBOXと暗証番号を指定して録音を聞きます。

留守番電話として使うには（一般留守録）

留守セットすると、外出中に電話をかけてきた方に対して外出の旨を伝え（応答メッセージ）、用件を録音していただくことができます。ファクス本体にあらかじめ内蔵されている固定応答メッセージを利用すれば、すぐに留守番電話として使えます。また、オリジナルの応答メッセージを利用することもできます。なお、留守中にファクスが送信されてきたときは、自動的に受信します。

外出するとき

留守セットします

ファクス本体の（ディジタル 留守）ボタンを押して、留守セットします。応答メッセージを選んでセットすることもできます。

■利用できる応答メッセージ

●固定応答メッセージ
あらかじめ何種類かの応答メッセージが登録されています。（☛P139）

●オリジナル応答メッセージ
自分の声で応答メッセージを録音できます。（☛P110）

■応答するまでの着信音の回数を変更（トールセイバ）（☛P112）

ワンポイント

●固定応答メッセージ
設定された着信コール回数が鳴ると固定応答メッセージ①～④のいずれかが流れます。

①感熱記録紙がセットされていて、録音残量がある場合
「ただ今留守にしております。ピーと鳴りましたら、お名前とご用件をお話しください。ファクスを送られる方は、スタートボタンを押してください。」

②感熱記録紙がセットされていて、録音残量がない場合
「ただ今留守にしております。ファクスを送られる方は、スタートボタンを押してください。電話の方は、おそれ入りますが、のちほどおかけ直しください。」

③感熱記録紙がなく、録音残量がある場合
「ただ今留守にしております。ピーと鳴りましたら、お名前とご用件をお話しください。」

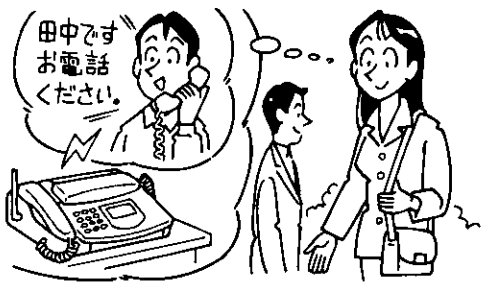
④感熱記録紙がなく、録音残量もない場合
「ただ今留守にしております。おそれ入りますが、のちほどおかけ直しください。」というメッセージが3回流れます。
※ただし、暗証番号が登録されている場合に応答します。

セレクト受信「あり」に設定しているときは、感熱記録紙がセットされていても、次の固定応答メッセージが流れます。

●在宅時の留守録なしの場合
「ただ今近くにおりません。電話の方はおそれ入りますが、のちほどおかけ直しください。」

●在宅時の留守録ありの場合
「ただ今近くにおりません。ピーと鳴りましたら、お名前とご用件をお話しください。」

外出中



用件が録音されます

留守中でも自動的に電話がつながり、用件が録音されます。用件が録音されるとポケットベルを呼び出したり、外出先へ転送させることもできます。また、ファクスを自動的に受信することもできます。

■相手の方の用件録音

着信音（プルルル音）などが聞こえます。

↓

自動的に電話がつながり、「ただ今留守にしております。ピーと鳴りましたらお名前とご用件をお話しください。」などの応答メッセージが流れます。コードレス電話機側でもアラーム音が鳴ります。

↓

「ピー」という音のあとに話した用件が録音されます。

↓

電話を切ると、録音された日付と時刻が自動的に録音されます。

■ファクスが送られてきたとき
留守モードに設定されていると、相手先がファクスのときは自動的にファクスを受信します。

■ポケットベル呼び出し（☛P103）

■用件転送（☛P102）

お知らせ

●用件の録音中、何も話さない（無音）状態が約6秒続くと、自動的にファクス受信に切り替わります。（☛P112）
●在宅時の留守録音でも転送することができます。

帰宅したら

用件を聞きます

外出中に用件が録音されていると、ディジタル留守ランプが点滅しています。

(ディジタル留守) ボタンを押して録音された用件を聞きます。(☛P100)

外出先からのリモコン操作

リモコン操作できます

外出先から録音された用件を聞くことができます。
留守セットを忘れて外出したときは、リモコン操作でセットすることができます。

■リモコン操作 (☛P114)
外出先から録音された用件を聞く方法 (☛P118)
外出先から留守セットする方法 (☛P120)

ワンポイント

●着信音の回数を変えるには
ユーザセレクトの留守セット時のコール回数 (☛P112) で、着信音の回数を変えることができます。

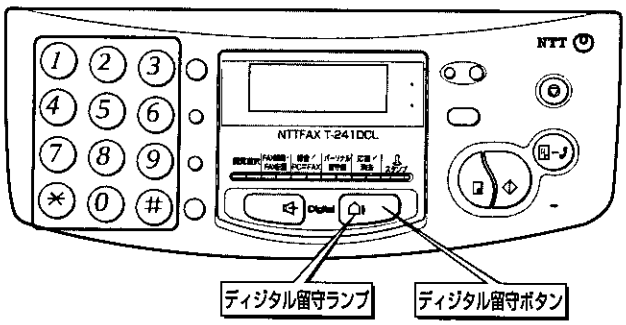
●用件が録音できる時間を変えるには
ユーザセレクトの用件録音時間 (☛P112) で、「20秒」「1分」「3分」から選ぶことができます。

●用件を録音しているときは
用件を録音しているときは、スピーカから相手の声が聞こえます (留守モニタ)。相手の声を確かめてからハンドセットを取りあげ、お話しすることができます。また、相手の声を聞こえないようにすることもできます。(☛P112)
ただし、パーソナル留守録のときは、用件を録音しているときに、スピーカから相手の声は聞こえません。

●自分の声で応答メッセージを録音するには (☛P110)

外出するときは

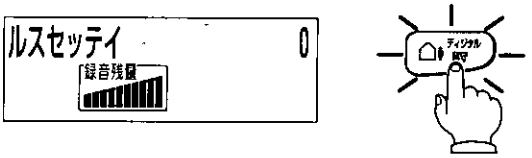
ファクス本体の(ディジタル留守)ボタンを押すだけで留守セットすることができます。固定応答メッセージのほか、自分の声で録音したオリジナル応答メッセージでも留守セットできます。



ファクス本体で留守をセットする

1 ハンドセットを置いたまま、(ディジタル留守)ボタンを押します。

応答メッセージが聞こえます。



ディジタル留守ランプが点灯しているときは、すでに留守がセットされています。

お知らせ

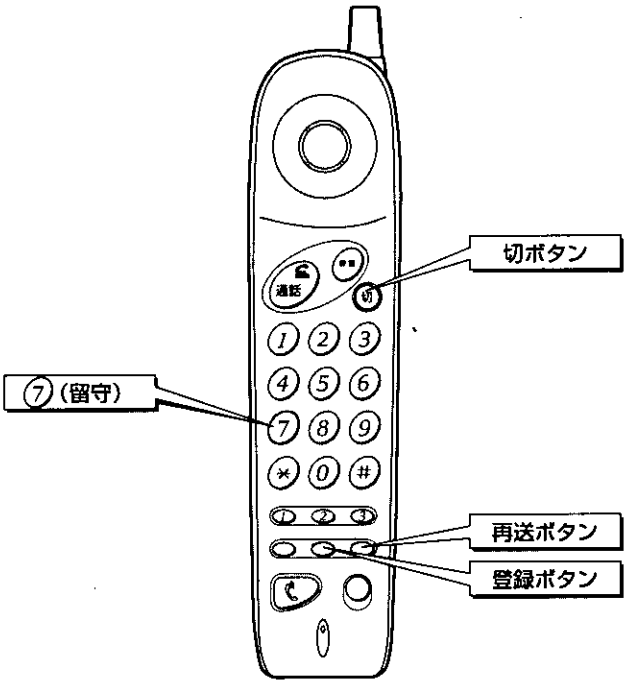
- 用件の録音中、何も話さない（無音）状態が約6秒続くと、自動的にファクス受信に切り替わります。(☛P112)
- 感熱記録紙や残りの録音時間がないときは、ファクスを受けることや録音することができませんので、応答メッセージが自動的に切り替わります。
- 留守セットしたときは、在宅モードやノンコール着信は使うことができません。(☛P160、194)
- 録音できる残量（時間）が約5分以下のときは、その残り時間が「残り約△△分、録音できます。」と流れます。メモリの内容を消去してから留守をセットし直してください。
- 選択した応答メッセージは次に設定を変えるまで有効です。ただし、感熱記録紙がなくなったときや録音ができなくなった場合は、自動的に固定応答メッセージに切り替わることがあります。(☛P158)
- 留守をセットしているときに電話がかかってきて留守応答が始まると、コードレス電話機から「ピー」という音が聞こえます。充電器からコードレス電話機を取りあげるか、または、(通話)ボタンを押すと、相手の声が受話口から聞こえます（こちらの声は相手の方には聞こえません）。もう一度(通話)ボタンまたはキャッチボタンを押すと、相手の方とお話することができます。(☛P112)

お願い

- **オリジナル応答メッセージはあらかじめ録音しておかないと再生することはできません。(☛P110)**

ワンポイント

- **オリジナルのメッセージに設定するには**
  ファクス本体の(ディジタル留守)ボタンを押したあと応答メッセージが流れている間に(1)（戻し）、(3)（送り）で選択します。(☛P110)
- **応答専用で使うときは**
  応答専用で使うこともできます。あらかじめ、応答メッセージ（オリジナル3）を録音したあと（☛P110）、オリジナル3に設定しておくと、着信音が鳴ったあと応答メッセージ（オリジナル3）が流れて、ファクス受信に切り替わります。
- **応答メッセージの再生を省略するには**
  応答メッセージの再生中にストップボタンを押すと、応答メッセージが途中で終了して留守に設定されます。
- **録音できる時間と件数**
  すべての用件を合わせて、時間は約14分（オリジナル応答メッセージ、通話録音含む）、件数は約30件です。
- **用件の録音時間を変更するには**
  1件の録音時間を変更することができます。お買い求め時は、「1分」に設定されています。(☛P112)

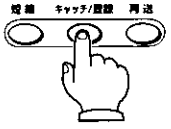


コードレス電話機で留守をセットする

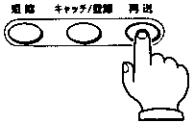
1 充電器から取りあげて、㊐ボタンを押します。

充電器から外しているときは、通話ランプが消えていることを確認します。

2 登録ボタンを押します。

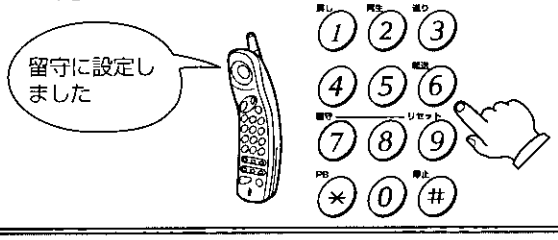


3 再送ボタンを押します。



4 ⑦（留守）を押します。

「留守に設定しました。」という音声ガイダンスが聞こえます。



5 コードレス電話機を充電器に置きます。

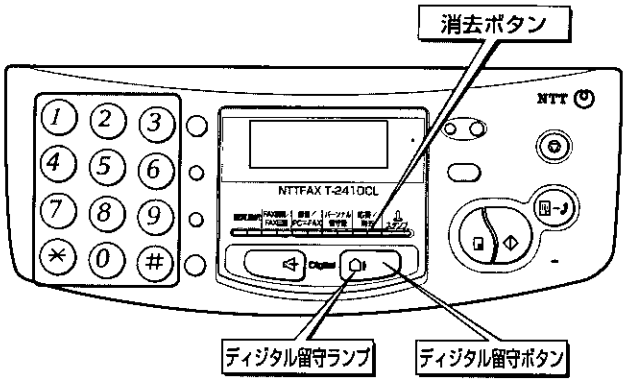
充電器に置かないときは、㊐ボタンを押します。

お知らせ

- 手順3の操作のあと操作を約1分間中断すると、留守セットされずにもとの状態に戻ります。
- 増設したコードレス電話機の機種によっては、内線リモコン操作をすることができません。詳しくは、当社のサービス取扱所へお問い合わせください。

帰宅したときは

外出中に用件が録音されていると、ファクス本体のディジタル留守ランプが点滅し、液晶ディスプレイに用件の件数が表示されます。



ファクス本体で留守を解除する

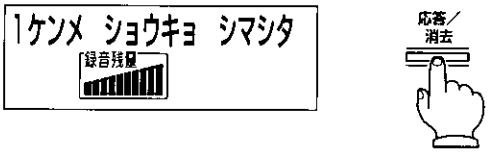
1 ハンドセットを置いたまま、ディジタル留守ボタンを押します。

留守セット中にかかってきた用件を自動的に1回再生します。

ディジタル留守ランプが消えます。

個別に用件を消去する

1 消したい用件を再生中に消去ボタンを2回押します。



ワンポイント

●再生を中止するには

ストップボタンを押します。

●用件再生中に電話がかかってきたら

再生が止まり、着信音が鳴りますので、ハンドセットを取りあげてお話しできます。

●一般録音の用件をすべて消すには

消去ボタンを押してからスタートボタンを押します。

すべての用件を消去しても、パーソナル留守録やダイヤルイン留守録（BOX2～BOX5）は消去されません。

●ディジタル留守ランプが点滅しているときは

留守セット中に1回点滅しているときは、新しく入った用件があります。メモ録音／通話録音がパーソナルBOXに録音されたときも点滅します。

留守を解除したあとで、2回点滅しているときは、まだ再生していない用件があります。

約3秒以上再生した録音は再生済みになり、すべて再生すると消灯します。

●録音状況を確認するときは

録音リストを印刷します。（☛P122）

●ファクス本体で用件を聞くには

ハンドセットを置いたまま、2（再生）を押して用件を聞く

●用件再生中にできる操作は

再生速度を変える　2（再生）を押す

早聞き→遅聞き→元に戻る→早聞き→遅聞き・・・・

次の用件に移る　3（送り）を押す

今聞いている用件を聞き直す　1（戻し）を押す

前の用件に戻る　1（戻し）を2回押す

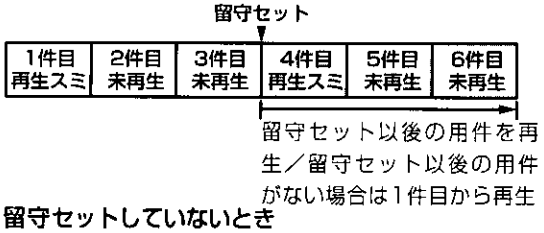
お知らせ

●応答メッセージ（固定、オリジナルともに）は再生されません。

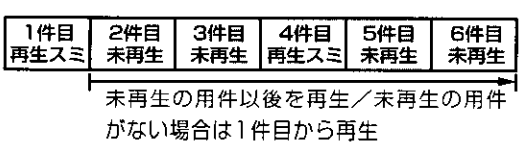
●用件を消去しないかぎり何度でも聞くことができます。

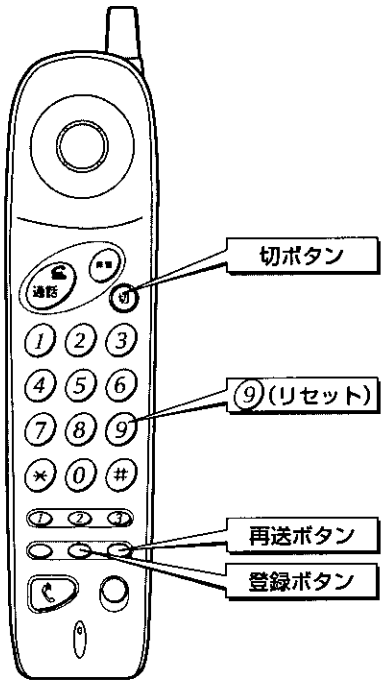
●留守セットしているときと、していないときでは再生する内容が変わります（約3秒以上再生した内容は再生済みとなります）。

・留守セットしているとき



・留守セットしていないとき



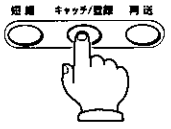


コードレス電話機で留守を解除する

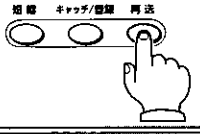
1 充電器から取りあげて、㊐ボタンを押します。

充電器から外しているときは通話ランプが消えていることを確認します。

2 登録ボタンを押します。



3 再送ボタンを押します。



4 ⑨（リセット）を押します。

「留守設定を解除しました。」という音声ガイダンスが聞こえます。

5 コードレス電話機を充電器に置きます。

充電器に置かないときは、㊐ボタンを押します。

ワンポイント

●コードレス電話機で用件を聞くには

①充電器から取りあげて、㊐ボタンを押す
②登録ボタンを押す
③再送ボタンを押す
④(2)（再生）を押す
⑤用件を聞く
⑥コードレス電話機を充電器に置く

●用件再生中にできる操作は

次の用件に移る　(3)（送り）を押す
今聞いている用件を聞き直す　(1)（戻し）を押す
前の用件に戻る　(1)（戻し）を2回押す

●再生を中止するには

(#)（停止）ボタンを押します。

●コードレス電話機で用件を消去するには

再生中に(8)を押します。

●用件再生中に電話がかかってきたら

再生を停止して着信音が鳴りますので、通話ボタンを押すとお話しできます。

●受信したファクスの下段に［このFAXには、一般録音に録音メッセージがあります］と印刷しているときは、ファクス受信と合わせて応答メッセージが録音されています。（☛P111）

お知らせ

●録音内容を1件再生するごとに、録音された日時を音声でお知らせします（タイムスタンプ）。
●増設したコードレス電話機の機種によっては、内線リモコン操作をすることができません。詳しくは当社のサービス取扱所へお問い合わせください。
●用件再生できるのは内線操作BOX設定で設定した録音内容のみです。

用件を転送するには

転送とは、一般留守録に用件が録音されたことを自動的にポケットベルや外出先に電話をかけて知らせる機能です。転送を行うには、用件転送をセットしておかなければなりません。また、外出先から用件を聞くにはあらかじめ暗証番号を登録しておかなければなりません。転送先は、パーソナルBOXを含めて最大5件まで登録することができます。

転送とは

用件転送のセット

暗証番号を登録します。(☛P116)

転送先の電話番号（32桁以内）を登録します。(☛P106)

外出時

用件転送をセットします。(☛P105)

留守セットします。

外出します。

外出中

用件が録音されます。

録音終了後約10秒後に転送を開始します。

転送先で電話を受けます。「録音を転送します。シャープを押してください。」という音声ガイダンスが聞こえます（約40秒間）。

プッシュホンかプッシュ信号を送ることができる電話機で(#)ボタンを押したあと、暗証番号を使って用件を聞きます。(☛P118)

ワンポイント

●転送先で用件を聞くことができる電話機は

外出先で用件を聞くには、プッシュホンかプッシュ信号を送ることができる電話機をご使用ください。ダイヤル回線に接続されている電話機でも、プッシュ信号を送る機能があれば用件を聞くことができます。(☛P118)

お知らせ

- ●ポケットベルへ送るデータを登録するとポケットベル呼び出し専用となり、電話への転送は出来ません。
- ●一度用件転送機能をセットすると、転送を解除しない限り用件が転送されます。
- ●パーソナルBOXごとに転送先の電話番号を登録することができます。(☛P170)
- ●転送先の電話番号を間違えて登録すると、用件が録音されるたびに違う相手の方に繰り返し電話がかかりますのでご注意ください。
- ●短い留守録音の場合は転送されないことがあります。また、転送発信待ち中に留守録音が入った場合は、転送されないことがあります。
- ●転送先につながらないときは、いったん呼び出しをとめて、約3分間隔で3回まで呼び出します。呼び出す間隔や回数は留守録モードの再転送条件（☛P112）で変更することができます。

ポケットベル呼び出しとは

ポケットベル呼び出しのセット

暗証番号を登録します。(☛P116)

↓

転送先（ポケットベル）の電話番号（32桁以内）を登録します。(☛P106)

↓

ポケットベルに送るデータ（32桁以内）を登録します。(☛P108)

外出時

用件転送をセットします。(☛P104、105)

↓

留守セットします。

↓

外出します。

外出中

用件が録音されます。

↓

録音終了後約10秒後にポケットベル呼び出しを開始します。

↓

ポケットベルが鳴ります。(ディスプレイ付きポケットベルの場合は登録したデータが表示されます。)

↓

プッシュホンかプッシュ信号を送ることができる電話機で外出先から自宅に電話をかけます。

↓

暗証番号を使って用件を聞きます。(☛P118)

ワンポイント

●転送先で用件を聞くことができる電話機は

外出先で用件を聞くには、プッシュホンかプッシュ信号を送ることができる電話機をご使用ください。ダイヤル回線に接続されている電話機でも、プッシュ信号を送る機能があれば用件を聞くことができます。(☛P118)

暗証番号を書き込んだリモート操作手順カード（巻末）を持ってお出かけください。

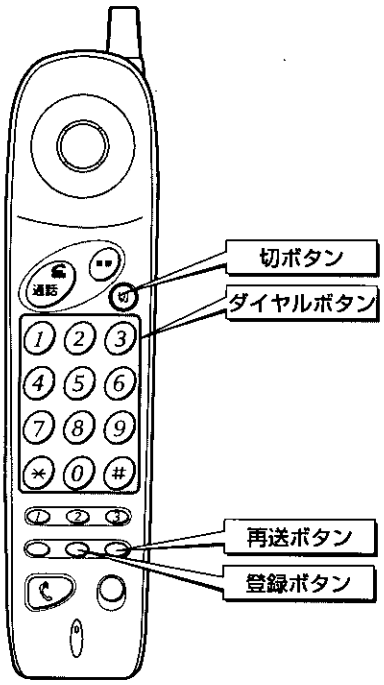
お知らせ

- ポケットベルへ送るデータを登録するとポケットベル呼び出し専用となり、電話への転送は出来ません。
- 一度ポケットベル呼び出しをセットすると、解除しないかぎりポケットベルを呼び出します。
- パーソナルBOXごとにポケットベル電話番号を登録することができます。(☛P170)
- 短い留守録音の場合は転送されないことがあります。また、転送発信待ち中に留守録音が入った場合は、転送されないことがあります。
- ポケットベルにつながらないときは、いったん呼び出しをとめて、約3分間隔で3回まで呼び出します。呼び出す間隔や回数は留守録モードの再転送条件（☛P112）で変更することができます。

お願い

●ポケットベルをお使いになるには利用契約が必要です。NTT DoCoMoへお問い合わせください。

用件を転送するには



ワンポイント

●**外出するときは**

①充電器から取りあげて、(切)ボタンを押す
②登録ボタンを押す
③再送ボタンを押す
④(7)(留守)を押す
⑤コードレス電話機を充電器に置く

●**用件転送を解除するには**

手順3の操作のあと(6)、(2)を押します。
帰宅したときや転送の必要がないときは、必ず解除してください。

●**転送は**

一般用件とBOX2～5を各々セットできます。

●**「転送先の電話番号が登録されていません」という音声ガイダンスが聞こえたら**

転送先の電話番号を登録してください。(☛P106)

お知らせ

●一般留守録の転送機能の設定は、ファクス本体やコードレス電話機で行います。また、コードレス電話機の内線操作BOXの設定で、各パーソナルBOXの転送設定・解除ができるように設定することもできます。

●各パーソナルBOXへの転送設定・解除は、あらかじめ内線操作BOXの設定で決められたコードレス電話機で行ってください。(☛P168)
ファクス本体では設定できません。

●一度用件転送をセットすると、転送を解除しないかぎり、用件が転送されます。

STOP お願い

●**転送先の電話番号を登録していないと、転送をセットすることはできません。**

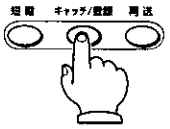
コードレス電話機で用件転送をセットする

用件転送のセット

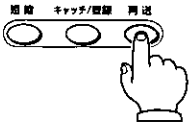
1 用件転送をセットするコードレス電話機を、充電器から取りあげて、(切)ボタンを押します。

充電器から外しているときは、通話ランプが消えていることを確認します

2 登録ボタンを押します。

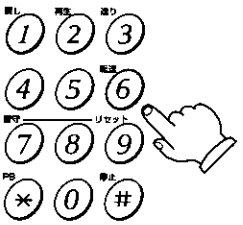


3 再送ボタンを押します。



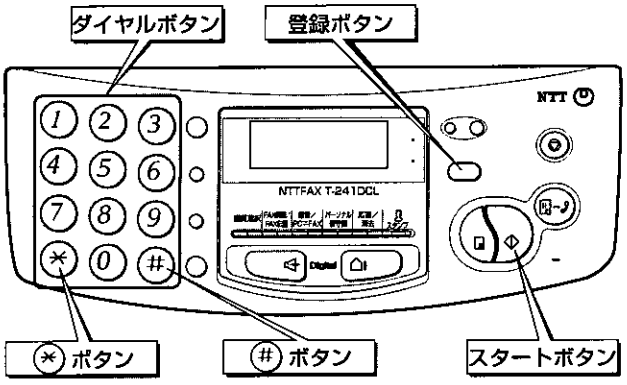
4 (6)、(1)を押します。

転送がセットされます。



5 コードレス電話機を充電器に置きます。

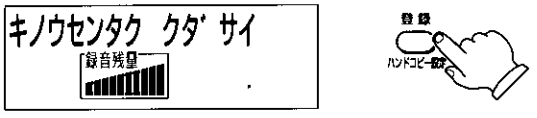
充電器に置かないときは、(切)ボタンを押します。



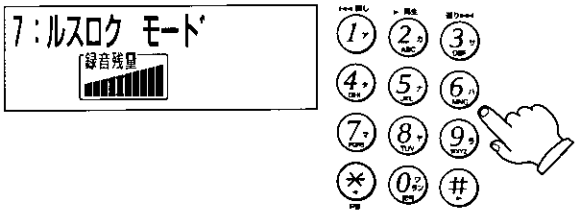
一般留守録の用件転送をセットする

用件転送のセット

1 ハンドセットを置いたまま、登録ボタンを押します。

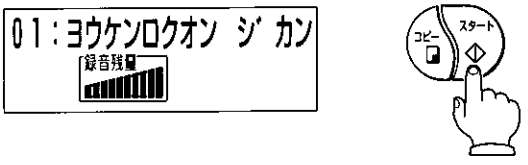


2 ✱ボタンを4回押します。

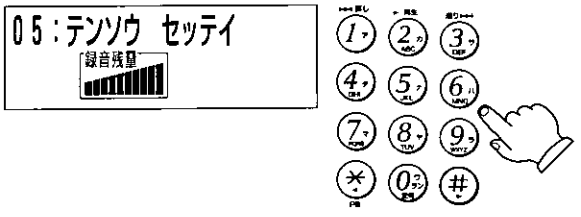


3 スタートボタンを押します。

留守録モードになります。



4 #ボタンを4回押します。



次ページに続きます。

ワンポイント

●外出するときは

ディジタル留守ボタンを押して（点灯させて）外出します。

●用件転送を解除するには

①P106の手順5の操作のあと✱ボタン／#ボタンで「ナシ」を選択する

②スタートボタンを押す

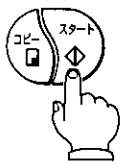
③登録ボタンを押す

用件を転送するには

前ページからの続きです。

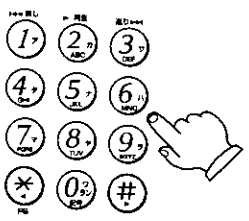
5 スタートボタンを押します。

転送設定モードが選択されます。



6 ＊ボタン／＃ボタンで「アリ」を選択します。

例：「アリ」を選んだとき



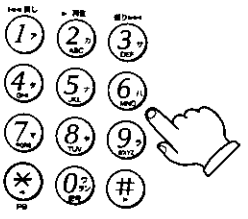
7 スタートボタンを押します。

8 登録ボタンを押します。

転送先電話番号の登録

1 ハンドセットを置いたまま、登録ボタンを押します。

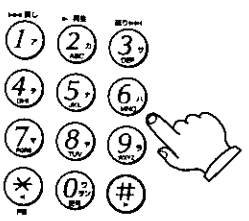
2 ＊ボタンを4回押します。



3 スタートボタンを押します。

留守録モードになります。

4 ＃ボタンを2回押します。



STOP お願い

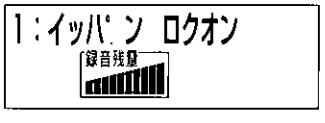
●電話番号の登録にはポーズや＊（PB）を入れることもできますが、構内交換機から0発信する場合や、海外の電話番号を登録する以外でポーズを入力すると正しく電話がかからないことがあります。

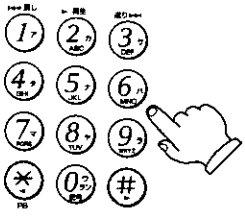
5 スタートボタンを押します。

転送先電話番号の入力が選択されます。

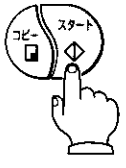
6 一般録音またはパーソナルBOXを、＊ボタン／＃ボタンで選択します。

例：「イッパン　ロクオン」を選んだとき



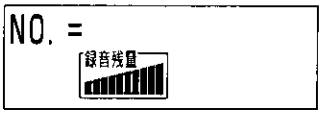


7 スタートボタンを押します。



8 スタートボタンを押します。

転送先電話番号の登録モードになります。

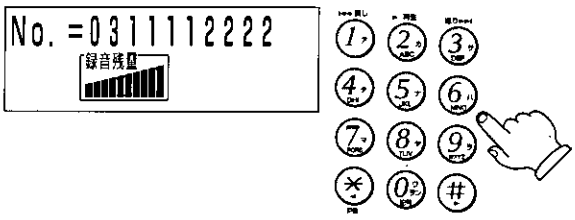


お知らせ

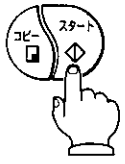
●転送先の電話番号をクリアにすると、すでに登録してあるポケットベルに送るデータ（☛P108）もクリアされます。

9 転送先の電話番号（32桁以内）をダイヤルボタンで押します。

例：0311112222のとき



10 スタートボタンを押します



続けて登録するときは、手順6から操作します。

11 登録ボタンを押します。

日付・時刻表示に戻ります。

ワンポイント

●**番号を間違えたときには**

ストップボタンを押すたびに後ろから1文字ずつ消えます。正しい番号を入力します。

●**登録内容を取り消すには**

①手順1～7の操作をする

②＃ボタンを押して「クリア」を選ぶ

③スタートボタンを2回押す

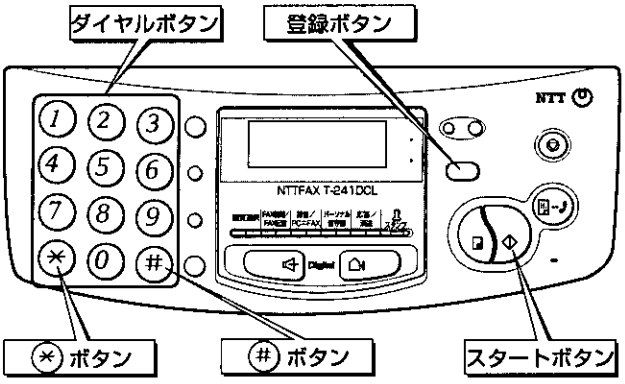
④登録ボタンを押す

●**登録内容を変更するには**

登録した番号を一度消してからもう一度登録します。

●**ディスプレイポケットベルへ送るデータを登録することもできます。**（☛P108）

用件を転送するには



ワンポイント

●番号を間違えたときには

ストップボタンを押すたびに後ろから1文字ずつ消えます。正しい番号を入力します。

●登録内容を取り消すには

①手順1～7の操作をする

②(#)ボタンを押して「クリア」を選ぶ

③(スタート)ボタン2回を押す

④登録ボタンを押す

●登録内容を変更するには

登録した番号を一度消してから、もう一度登録します。

●NTT DoCoMoのポケットベルへ転送するときは

手順9で最後に(#)ボタン→(#)ボタンと押す

ディスプレイのないポケットベルへ転送するときは手順9でポーズボタンを押します。

他の会社のポケットベルに転送するにはポケットベルにより操作が異なりますので、ポケットベルの取扱説明書をご覧になるか、ご利用のポケットベル会社にお問い合わせください。

●ポケットベルへ転送されないときは

ディスプレイポケットベルへディスプレイ番号が正しく送られないことがあります。このようなときは、手順9の操作でディスプレイ番号を入れる前にポーズ（－）を数回入れてください。1回目のポーズボタンを押すと、約4秒間（2回目以降から約2秒間）のポーズが入力されます。

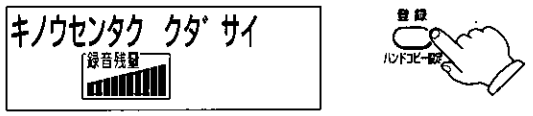
お知らせ

●転送先の電話番号を登録していないと、ディスプレイ番号を登録することはできません。

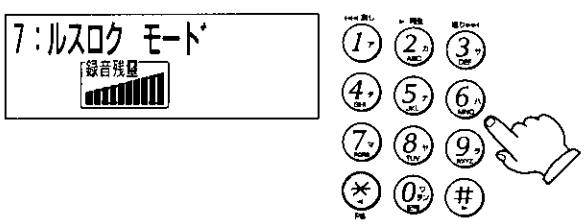
●転送先の電話番号（☛P106）をクリアすると、転送内容もクリアされます。

ポケットベルに送るデータを登録する

1 ハンドセットを置いたまま、登録ボタンを押します。

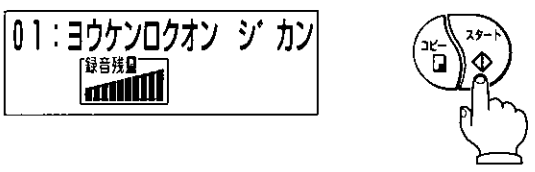


2 (✱)ボタンを4回押します。

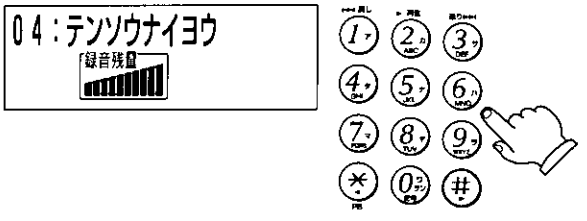


3 (スタート)ボタンを押します。

留守録モードになります。



4 (#)ボタンを3回押します。

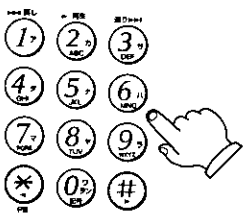


5 スタートボタンを押します。

転送内容の入力が選択されます。

6 一般録音またはパーソナルBOXを、＊ボタン／＃ボタンで選択します。

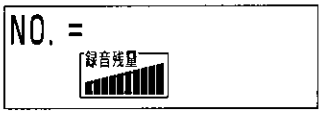
例：「イッパン　ロクオン」を選んだとき



7 スタートボタンを押します。

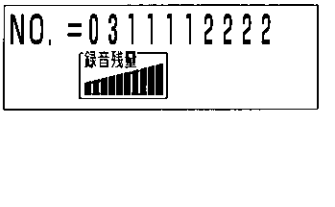
8 スタートボタンを押します。

転送先番号の登録モードになります。



9 ディスプレイ番号（32桁以内）をダイヤルボタンで押します。

例：0311112222のとき



ディスプレイのないポケットベルへ転送するときはポーズボタンを押します。

10 スタートボタンを押します。

続けて登録するときは、手順6から操作します。

11 登録ボタンを押します。

日付・時刻表示に戻ります。

ワンポイント

●**ポケットベルに転送されたときは**

外出先から録音内容を聞くときは、プッシュホンの公衆電話またはトーン信号が発信できる電話機からリモート操作します。

●**ポケットベルに転送するには**

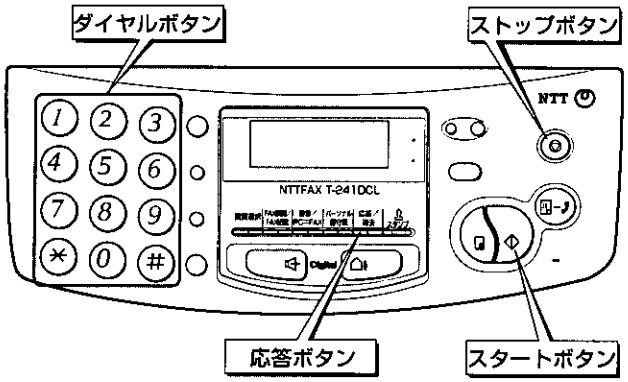
ポケットベルにより操作が異なりますので、ポケットベルの取扱説明書をご覧ください。

お願い

●**登録したあと、ご自分のポケットベルに転送して、呼び出せるかどうか確認してください。**

自分の声で応答メッセージを録音するには

あらかじめ用意されている固定応答メッセージの代わりに、自分の声で録音したオリジナル応答メッセージを使用することができます。録音できる時間は約14分以内（用件、通話録音の録音時間も含む）です。
録音できる応答メッセージは3種類（オリジナル1～3）です。



ワンポイント

●**オリジナル応答メッセージの例**
・オリジナル1、2の録音例
「はい、△△です。ただいま留守にしておりますので、ピーという音が鳴りましたら、メッセージをお話しください。ファクスを送られるときは、スタートボタンを押してください。」
・オリジナル3（応答専用）の録音例
「はい、△△です。本日の営業は終了しましたので、おそれ入りますが、明日おかけ直しください。」

●**応答メッセージの内容を聞くには**
固定応答メッセージ、オリジナル1～3を順に再生します。
応答ボタンを4回押す→スタートボタンを押す→再生が終わったらストップボタンを押す

●**録音内容を消去するには**
消去ボタンを3回押す→1～3を押す
→スタートボタンを押す

●**録音内容を変更するには**
録音した内容を消去してから、もう一度録音します。

●**オリジナル応答メッセージにするときは**
ディジタル留守ボタンを押したあと応答メッセージが流れている間に、1（戻し）／3（送り）ボタンで選択します。

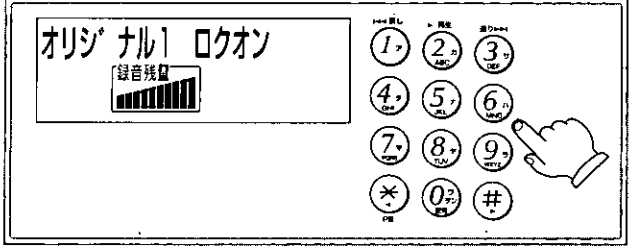
●**固定応答メッセージに戻すときは**
ディジタル留守ボタンを押したあと応答メッセージが流れている間に、1（戻し）ボタンで「コテイ オウトウ メッセージ」を選択します。

お知らせ

●録音中に録音時間がいっぱいになると録音を停止し、液晶ディスプレイに「メモリ ガ イッパ イデ ス」と表示されます。
●留守セットされているとき、録音時間がいっぱいになるか感熱記録紙がなくなると自動的に固定応答メッセージに切り替わります。
●オリジナル3（応答専用）を選んだ場合は留守録音は行いません。また、感熱記録紙がなくなったり、録音できなくなったりしたときでも、固定応答メッセージには切り替わりません。

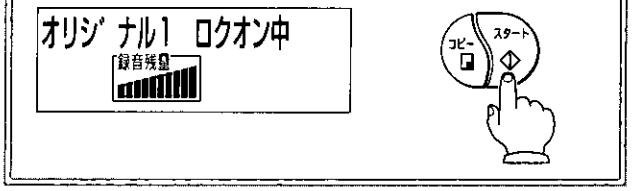
1 ハンドセットを置いたまま、応答ボタンを2回押します。

2 ダイヤルボタン（1～3）を押します。



3 ハンドセットを取りあげます。

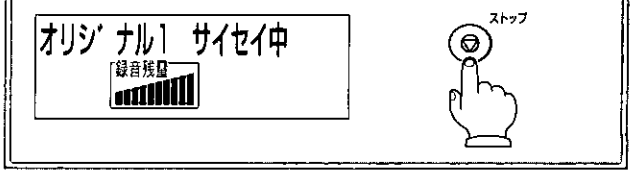
4 スタートボタンを押します。



5 応答メッセージを録音します。

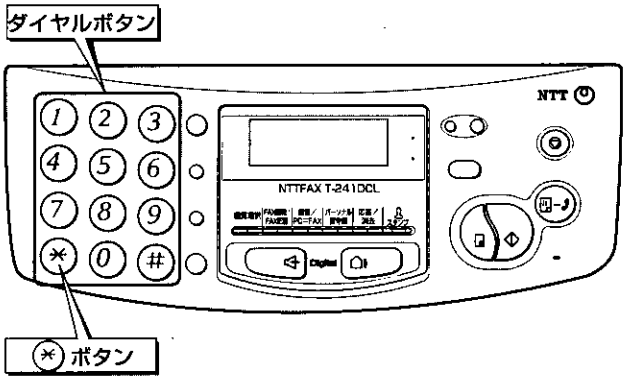
6 録音が終了したらストップボタンを押して、ハンドセットを置きます。

録音した応答メッセージが再生され、続いて「ピーッ」という音が鳴ります。

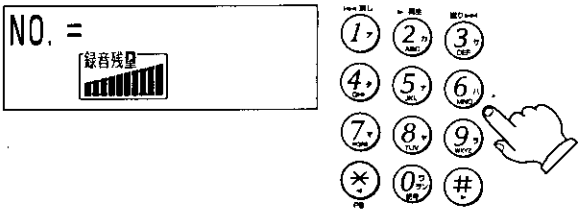


ファクスを受けたときに録音されたメッセージを聞くには（録音メッセージ付きファクス）

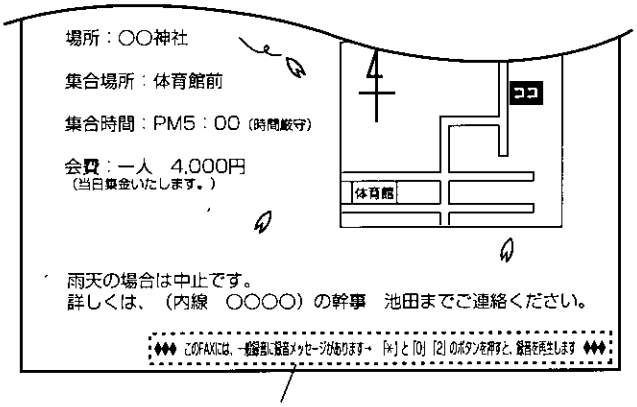
留守セット中に用件が録音されたあとファクス受信すると、受信したファクスの１ページ目にお知らせスタンプが印刷されます。録音されたメッセージを再生して聞くことができます。



1 ハンドセットを置いたまま、(*)ボタンを押します。

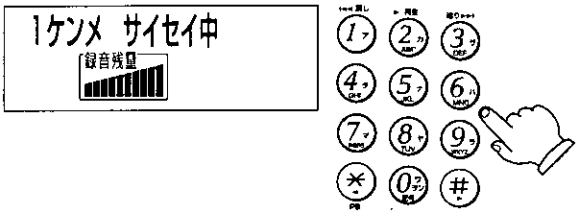


■お知らせスタンプの印刷例（イメージ）

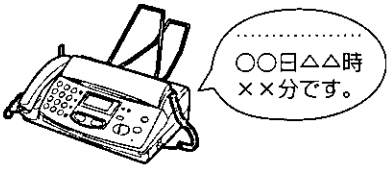


お知らせスタンプ

2 受け取ったファクスの下に印刷されている2桁の番号を、ダイヤルボタンで押します。



3 用件を聞きます。



録音メッセージ付きファクスの用件を聞き終わると停止します。

ワンポイント

●応答メッセージの録音例

次のような応答メッセージを録音しておくと便利です。

「はい、△△です。ただいま出かけています。ピーという音のあとにメッセージをどうぞ。ファクスの方はメッセージを録音したあとスタートボタンを押すと、メッセージ付きファクスとして受信します。」

お知らせ

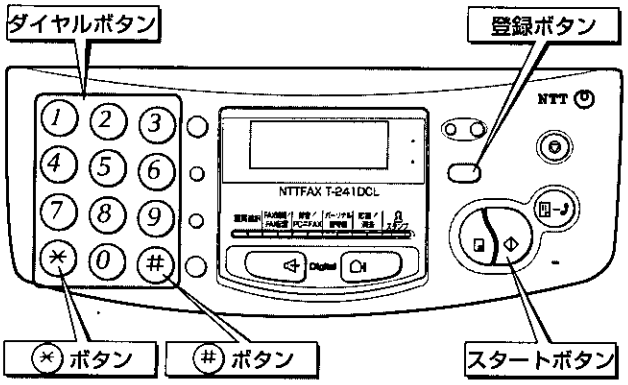
●通常の操作で再生したり早聞きや遅聞きしたりすることもできます（☛P100）。ただし、次の用件を聞いたり、今聞いている用件を聞き直したり、前の用件に戻ることはできません。

●録音メッセージ付きファクスの用件は、コードレス電話機で番号を入力して再生することはできません。

●番号を入力して再生しているときは、消去ボタンを押しても録音内容を消去できません。

いろいろな機能を登録・設定するには　（留守録モード）

留守録モードでの用件録音時間や着信回数などを選ぶことができます。暗証番号、転送先番号、転送内容、転送設定、内線操作BOX設定の項目は各ページをご覧ください。お買い求め時は［　　］に設定されています。



設定項目	操作手順
＜用件録音時間＞ 用件が録音できる時間を設定します。	登録 → ✳（4回押す） → スタート → 01：ヨウケンロクオン ジ カン → スタート
＜暗証番号＞	☛P116
＜転送先番号＞	☛P106
＜転送内容＞	☛P108
＜転送設定＞	☛P104、105
＜再転送条件＞ 転送（着信お知らせ）を設定したときに、転送で呼び出しがあっても、電話に出なかった時に再度、呼び出します。	登録 → ✳（4回押す） → スタート → #（5回押す） → 06：サイテンソウ → スタート
＜内線操作BOX設定＞	☛P168
＜在宅時の留守録＞ 留守に設定しなくても、設定した回数の着信音が鳴ったあとメッセージを録音できます。	登録 → ✳（4回押す） → スタート → ✳（5回押す） → 08：ザ イタクジ ノ ルスロク → スタート
＜留守セット時コール回数＞ 用件録音を開始するまでの、着信音の回数を設定します。録音が入ったあと、着信音の回数を自動的に変えることもできます。	登録 → ✳（4回押す） → スタート → ✳（4回押す） → 09：ルスモード コールカイスウ → スタート
＜応答メッセージ／発信音の間隔＞ 応答メッセージが流れ終わってから、録音開始音（「ピーッ」という音）が流れるまでの時間を設定します。	登録 → ✳（4回押す） → スタート → ✳（3回押す） → 10：ハッシンオン マチジ カン → スタート
＜無音検出時間＞ 録音中に相手が話さなかったとき（無音が続いたとき）にファクス受信に切り替わります。	登録 → ✳（4回押す） → スタート → ✳（2回押す） → 11：ムオンケンシュツ ジ カン → スタート
＜居留守応答（留守モニタ）＞ 用件録音中に相手の方の声がスピーカから聞こえます。留守応答すると、コードレス電話機でもアラーム音が鳴ります。コードレス電話機を充電器から取りあげるか、または 通話 ボタンを押すと相手の方の声が受話口から聞こえます（こちらの声は相手の方には聞こえません）。もう一度 通話 ボタン、またはキャッチボタンを押せば、相手の方とお話しできます。	登録 → ✳（4回押す） → スタート → ✳ → 12：ルス モニタ → スタート

ワンポイント

●トールセイバとは

用件が登録されているときと、録音されていないときとで、留守番電話が応答するまでの着信音の回数を変えることで、外出先から電話をかけたとき用件録音の有無を確かめることができます。

●PHSや携帯電話に転送するときは

再転送する間隔と回数を長くすると便利です（再転送条件）。

●登録した内容を確認するには

プリントモードの登録設定リストを印刷します。（☛P122）

	はたらき
➡ (#) で選ぶ 1：20秒 [2：1分] 3：3分 ➡ スタート ➡ 登録 ハンドコピー設定	20秒：最大20秒録音できます。 1分　：最大1分録音できます。 3分　：最大3分録音できます。
➡ (#) で選ぶ 1：再転送間隔 2：再転送回数 ➡ スタート 1を選んだとき：(#) で選ぶ [1：3分] 2：15分 3：30分 ➡ スタート ➡ 登録 ハンドコピー設定 2を選んだとき：(#) で選ぶ [1：3回] 2：5回 3：10回 ➡ スタート ➡ 登録 ハンドコピー設定	再転送間隔　3分：3分おきに再転送します。 15分：15分おきに再転送します。 30分：30分おきに再転送します。 再転送回数　3回：最大3回まで再転送します。 5回：最大5回まで再転送します。 10回：最大10回まで再転送します。
➡ (#) で選ぶ 1：あり [2：なし] ➡ スタート ➡ 登録 ハンドコピー設定	あり：呼び出し音が鳴り終わったら、留守録とファクス受信ができます。 なし：呼び出し音が鳴り終わったら、ファクス受信に切り替わります。
➡ (#) で選ぶ 1：トールセイバ ➡ スタート ➡ 登録 ハンドコピー設定 2：回数選択 ➡ スタート ➡ ○○（回数を入れる（01～25回）） ➡ スタート ➡ 登録 ハンドコピー設定	トールセイバ：留守セット中に用件録音があると、着信音が2回（通常5回）に変わります。 回数選択　：着信音の回数（01～25）を設定します。設定回数の着信音が鳴ったあと、応答メッセージを流します。お買い求め時は、4回に設定されています。
➡ (#) で選ぶ 1：1秒 [2：2秒] 3：4秒 ➡ スタート ➡ 登録 ハンドコピー設定	1秒：1秒後に、録音開始音（「ピーッ」という音）が流れます。 2秒：2秒後に、録音開始音（「ピーッ」という音）が流れます。 4秒：4秒後に、録音開始音（「ピーッ」という音）が流れます。
➡ (#) で選ぶ 1：3秒 [2：6秒] 3：10秒 4：検出なし ➡ スタート ➡ 登録 ハンドコピー設定	3秒　：用件録音中、3秒以上無音が続いたらファクス受信になります。 6秒　：6秒で切り替わります。 10秒　：10秒で切り替わります。 検出なし：無音が続いても切り替わりません。
➡ (#) で選ぶ [1：あり] 2：なし ➡ スタート ➡ 登録 ハンドコピー設定	あり：用件録音中に相手の方の声がスピーカから聞こえます。 なし：留守セット中でも応答メッセージと相手の方の声は聞こえません。

リモコン操作とは

リモコン操作とは、外から電話をかけてボタン操作で用件を聞いたり、留守セットするなどの操作をすることです。リモコン操作を利用するためには、あらかじめ暗証番号を登録しておいてください。

暗証番号を登録します。

暗証番号を知っている人だけがリモコン操作できるように、4桁の数字をファクス本体に登録します。
暗証番号を登録する方法（☛P116）

⇩

留守セットします。

外出するとき、ファクス本体で留守セットします。
留守セットする方法（☛P98）

⇩

外出先から自宅に電話をかけます。

プッシュホンまたはプッシュ信号を送ることができる電話機から自宅に電話をかけます。
応答メッセージが聞こえたら(#)ボタンを押します。応答メッセージが止まったら、暗証番号と(#)ボタンを押します。パーソナルBOXの場合はBOX番号、BOXの暗証番号と(#)ボタンを押します。

⇩

外出先から留守中の用件を聞くなど、留守番電話の操作を行うことができます。

外出先から用件を聞くには（☛P118）
外出先から留守セットするには（☛P120）

■リモコン操作一覧表

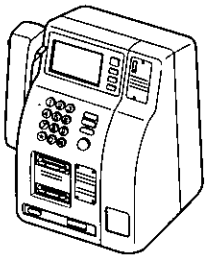
操作したい項目	操作手順
用件を再生する	②、＃ボタンを押す
再生を止める	⓪、＃ボタンを押す
再生速度を変える	②、＃ボタンを押すたびに早聞き→遅聞き→元に戻る→早聞き→遅聞き…
次の用件に移る	③、＃ボタンを押す
今聞いている用件を聞き直す	①、＃ボタンを押す
前の用件に戻る	①、＃、①、＃ボタンを押す
転送をセットする	⑥、①、＃ボタンを押す
転送を解除する	⑥、②、＃ボタンを押す
留守をセットする	⑦、＃ボタンを押す
留守を解除する	⑨、＃ボタンを押す
別のパーソナルBOXのリモコン操作へ切り替える（一般録音とBOXの切り替え操作もできる）	⑦、②、＃ボタンを押す
用件録音をする	⑤、＃ボタンを押す
全用件を消去する（停止中に）	⑧、①、＃ボタンを押す

ワンポイント

●リモコン操作できる電話機

リモコン操作ができる電話機は、プッシュホンかプッシュ信号を送ることができる電話機です。ダイヤル回線に接続されている電話機でもプッシュ信号を送る機能があれば、リモコン操作ができます。

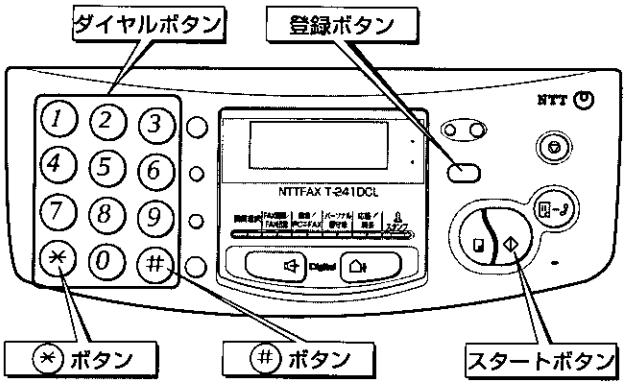
プッシュ式公衆電話機



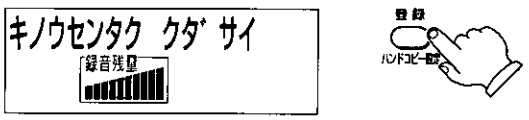
プッシュ信号を送ることができる電話機

暗証番号を登録するには

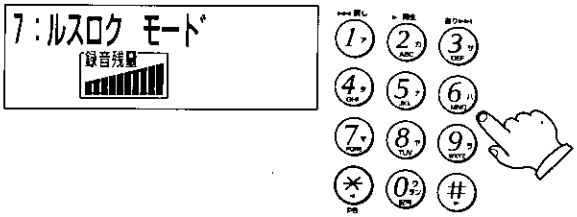
リモコン操作をするための暗証番号を4桁の数字で登録します。



1 ハンドセットを置いたまま、登録ボタンを押します。

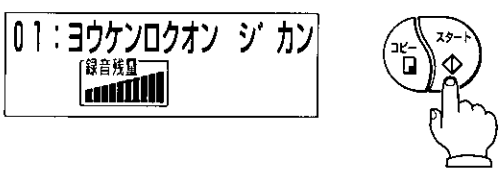


2 (*)ボタンを4回押します。

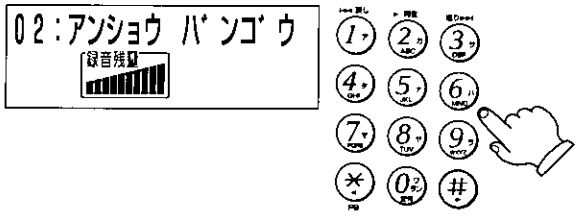


3 スタートボタンを押します。

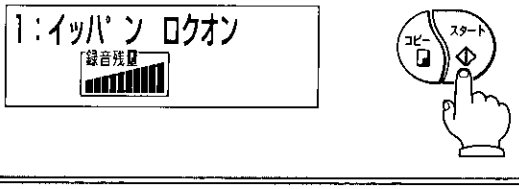
留守録モードになります。



4 (#)ボタンを押します。



5 スタートボタンを押します。



ワンポイント

●番号を間違えたときには

ストップボタンを押すたびに後ろから1文字ずつ消えます。正しい番号を入力します。

●登録した暗証番号を消すには

①手順1～7の操作をする
②(#)ボタンを押して「クリア」を選ぶ
③スタートボタンを2回押す
④登録ボタンを押す
暗証番号を消すと登録内容が消えます。また、対応するBOXの録音も消えます（一般録音は暗証番号をクリアしても録音内容は消えません）。

●録音内容を消去しないで暗証番号を変更するには

新たに暗証番号を登録（上書き）します。録音内容は消えません。

●パーソナルBOXの暗証番号を登録するには

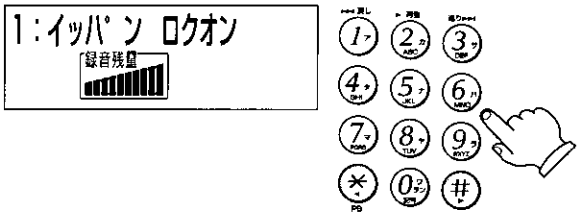
手順6の操作で(*)ボタン／(#)ボタンを押してパーソナルBOXを選択します。
パーソナルBOXの暗証番号を消去すると録音内容も消去されますので、ご注意ください。

お願い

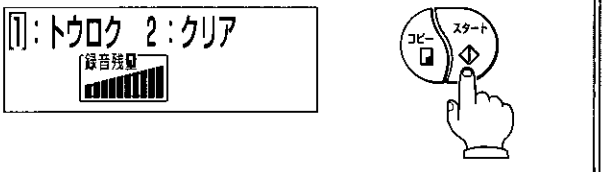
●暗証番号を知らない人でも、偶然番号が合い盗聴されることがあります。「1111」といった簡単な番号は設定しないようにしてください。

6 一般録音またはパーソナルBOXを、＊ボタン／＃ボタンで選択します。

例：「イッパン　ロクオン」を選んだとき

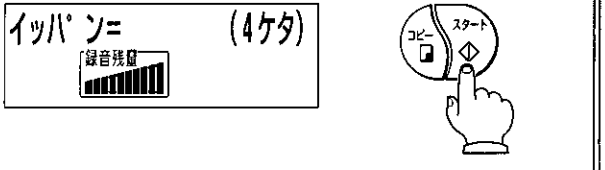


7 スタートボタンを押します。

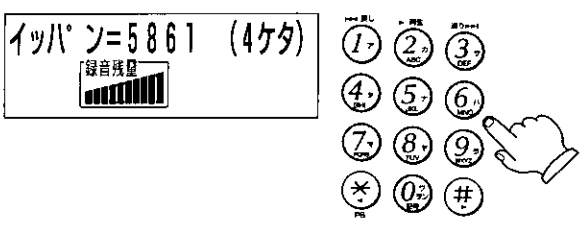


8 スタートボタンを押します。

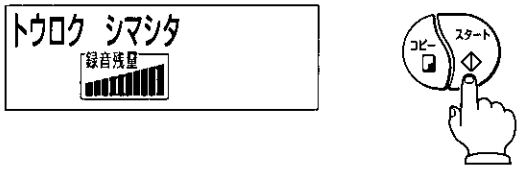
暗証番号の登録モードになります。



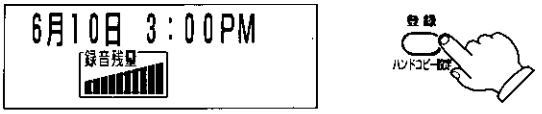
9 暗証番号（4桁の数字）をダイヤルボタンで押します。



10 スタートボタンを押します。



11 登録ボタンを押します。

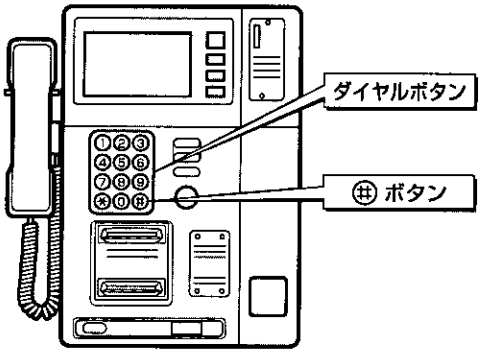


お知らせ

●暗証番号は一般録音用に1件とパーソナルBOX用に4件（BOX2～BOX5）の合計5件登録することができます。

外出先から用件を聞くには

外出先から暗証番号を使って、留守中に録音されている用件を聞きます。続けて、用件を消去するなどのリモコン操作もできます。



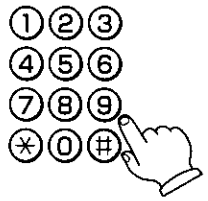
一般留守録の用件を聞く

1 自宅に電話をかけます。

電話がつながると応答メッセージが聞こえます。

2 応答メッセージが聞こえている間に#ボタンを押します。

応答メッセージが止まるまで押し続けます。

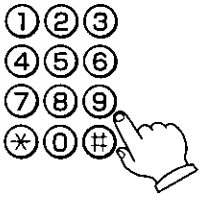


「暗証番号とシャープを押してください。」という音声ガイダンスが聞こえます。

3 音声ガイダンスが終わったら、暗証番号（4桁の数字）をダイヤルボタンで押します。

4 #ボタンを押します。

音声ガイダンスが聞こえます。



ワンポイント

●トールセイバとは

用件が録音されているときと、録音されていないときとで、留守番電話が応答するまでの着信音の回数を変えることで、外出先から電話をかけたとき用件録音の有無を確かめることができます。

お知らせ

●トールセイバを設定しているときで着信音が2回鳴ってもつながらないときは、新しく録音されていないことがわかります。このとき、3回目の着信音が鳴ったらすぐに電話を切ると通話料金がかかりません。

●暗証番号を押すときに約10秒以上間を空けると「ピピピピ」という音が聞こえます。手順3からやり直してください。

●暗証番号を2回間違えると、「暗証番号が間違っています。」という音声ガイダンスが聞こえ、「ピー」という音のあと自動的に電話が切れます。

●ファクス受信に切り替わったあとではリモコン操作はできません。

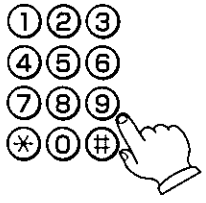
お願い

●暗証番号を知らない人でも、偶然番号が合い盗聴されることがあります。機密の連絡用としてではなく、便利な伝言板としてお使いになることをおすすめします。

●各操作は1分未満に行ってください（約1分以上操作を続けると電話が切れます。その場合は手順1からやり直してください）。

5 音声ガイダンスが終わったら、②、#ボタンを押します。

録音されている用件が再生されます。



続けてリモコン操作を行うことができます。

6 リモコン操作が終わったら電話を切ります。

ワンポイント

●用件再生中にできる操作は

再生を止める　0、#ボタンを押す
再生速度を変える　2、#ボタンを押す
　早聞き→遅聞き→元に戻る→早聞き→遅聞き‥‥
次の用件に移る　3、#ボタンを押す
今聞いている用件を聞き直す
　1、#ボタンを押す
前の用件に戻る　1、#、1、#ボタンを押す

●そのほかにリモコン操作でできること

転送をセットする　6、1、#ボタンを押す
転送を解除する　6、2、#ボタンを押す
留守をセットする　7、#ボタンを押す
留守を解除する　9、#ボタンを押す
パーソナルBOXの
リモコン操作をする　7、2、#ボタンを押す
用件録音をする　5、#ボタンを押す
全用件を消去する
(停止中に)　8、1、#ボタンを押す

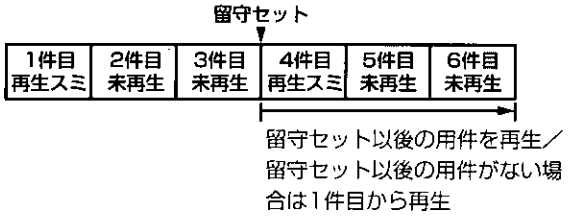
●再生した用件を一度に全部消去するには

①8、1、#ボタンを押すと、「すべての録音を消去しました。」という音声ガイダンスが聞こえる。
②電話を切る

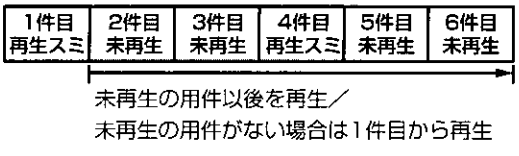
●一般録音の内容を聞くときは

本体が留守セットされているときに再生すると、留守セット以降に録音された用件を一番古いものから順番に再生します。また、留守セットされていないときは、未再生の一番古い用件から、それ以降の用件を順番に再生します。

・留守セットしているとき



・留守セットしていないとき



●外出先からパーソナル留守録の用件を聞くには

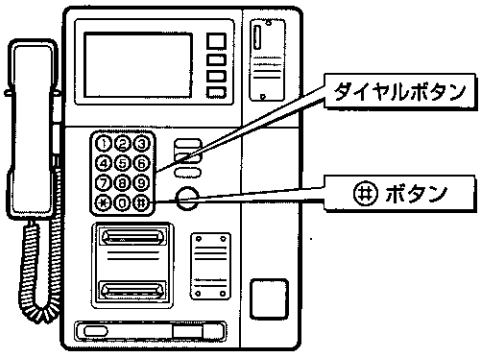
手順3でパーソナルBOX番号とパーソナルBOXの暗証番号をダイヤルボタンで押します。

●パーソナル留守録のリモコン操作方法を確認するには

プリントモードのパーソナル留守録リモコン方法を印刷します。(☛P122)

外出先から留守セットするには

留守セットし忘れた場合、外出先の公衆電話などから、自宅に電話をかけて留守セットすることができます。



1 自宅に電話をかけます。

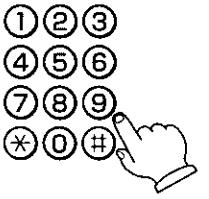
電話がつながると応答メッセージが聞こえます。

2 応答メッセージが聞こえている間に(#)ボタンを押します。

応答メッセージが止まるまで押し続けます。

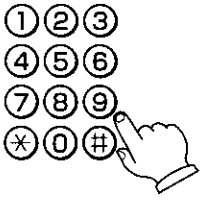
「暗証番号とシャープを押してください。」という音声ガイダンスが聞こえます。

3 音声ガイダンスが終わったら、4桁の暗証番号をダイヤルボタンで押します。



4 (#)ボタンを押します。

音声ガイダンスが聞こえます。



ワンポイント

●セットされる応答メッセージの種類は

最後にセットされた応答メッセージになります。

●留守を解除するには

①手順1～4の操作をする

②(9)、(#)ボタンを押す（「留守設定を解除しました。」が聞こえる）

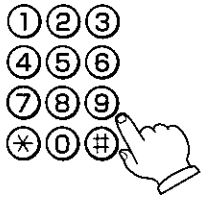
③電話を切る

●録音時間の残量がないときは

いったん用件を聞いてから用件を消去します。電話を切って最初からやり直します。

用件を消去するには（☛P119）

5 音声ガイダンスが終わったら、⑦、㊕ボタンを押します。



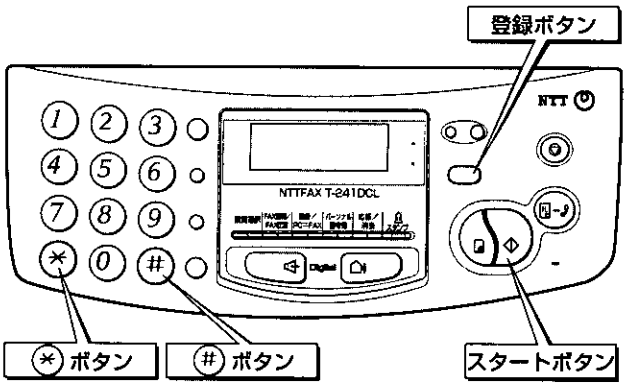
「留守に設定しました。」という音声ガイダンスが聞こえます。

6 電話を切ります。

お知らせ

- 暗証番号を押すときに約10秒以上間をあけると「ピピピピ」という音が聞こえます。手順3からやり直してください。
- 暗証番号を2回間違えると、「暗証番号が間違っています。」と聞こえ、「ピー」という音のあと自動的に電話が切れます。
- ファクス受信に切り替わったあとではリモコン操作はできません

登録した内容を確認するには　（プリントモード）



設定項目	印刷させる手順
<電話番号リスト>	登録 ハンドコピー設定 ➡ ✱ 5回押す ➡ スタート
<登録設定リスト>	登録 ハンドコピー設定 ➡ ✱ 5回押す ➡ スタート ➡ #
<文字入力リスト>	登録 ハンドコピー設定 ➡ ✱ 5回押す ➡ スタート ➡ # 2回押す
<FAX伝言内容リスト>	登録 ハンドコピー設定 ➡ ✱ 5回押す ➡ スタート ➡ # 3回押す
<録音リスト>	登録 ハンドコピー設定 ➡ ✱ 5回押す ➡ スタート ➡ ✱ 3回押す
<パーソナル留守録リモコン方法>	登録 ハンドコピー設定 ➡ ✱ 5回押す ➡ スタート ➡ ✱ 2回押す
<オリジナルスタンプ確認リスト>	登録 ハンドコピー設定 ➡ ✱ 5回押す ➡ スタート ➡ ✱

ワンポイント

●**登録メニューを印刷するには**

登録ボタンを押してから（メニュー）ボタンを押すと、登録メニューを印刷することができます。

お知らせ

●コードレス電話機のワンタッチダイヤル、短縮ダイヤルに登録した内容は印刷できません。

	印刷（確認）できる内容
➡ 1:ﾃﾞﾝﾜﾊﾞﾝｺﾞｳﾘｽﾄ ➡ (スタート) 印刷が始まります。	電話帳、情報サービスの登録内容を印刷します。
➡ 2:ﾄｳﾛｸ ｾｯﾃｲ ﾘｽﾄ ➡ (スタート) 印刷が始まります。	発信元名・発信元番号・発信元記録・ユーザセレクト・留守録モード・ダイヤルイン番号等の登録内容を印刷します。
➡ 3:ﾓｼﾞﾆｭｳﾘｮｸ ﾘｽﾄ ➡ (スタート) 印刷が始まります。	文字の入力方法のリストを印刷します。
➡ 4:FAXﾃﾞﾝｺﾞﾝﾅｲﾖｳ ➡ (スタート) 印刷が始まります。	FAX伝言送信時の内容を印刷します。
➡ 5:ﾛｸｵﾝ ﾘｽﾄ ➡ (スタート) 印刷が始まります。	録音を開始した時刻や録音時間を印刷します。
➡ 6:ﾊﾟｰｿﾅﾙﾙｽﾛｸﾘﾓｺﾝ ➡ (スタート) 印刷が始まります。	パーソナル留守録のリモコン操作方法を印刷します。
➡ 7:ｽﾀﾝﾌﾟ ｶｸﾆﾝ ➡ (スタート) 印刷が始まります。	登録されているオリジナルスタンプを印刷します。

ハンドコピーした内容をファクスで送るには（ハンドコピーメモリ送信）

ハンドコピーで読み取った内容をメモリしてからファクスで送ることができます。また、相手の方とお話し中のときでも、ハンドコピーで読み取った内容をそのままファクスで送ることができます。

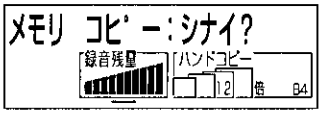
1 ハンドコピーを取り外します。

ハンドコピーの後ろを少し上げてから全体を持ち上げると取り外しやすくなります。

2 拡大／縮小するときは、ハンドコピー設定ボタンを押して適切な倍率を選んだあと、スタートボタンを押します。

ハンドコピー設定ボタンを押すたびに「1.0バイ」→「1.2バイ」→「1.4バイ」→「0.8バイ」に変わります。

例：「1.2バイ」を選んだとき

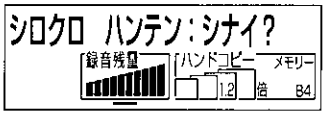


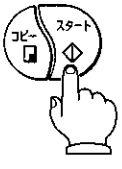
拡大／縮小しないときは、スタートボタンを押します。

3 ハンドコピー設定ボタンを押して、「メモリコピー:スル?」を選びます。

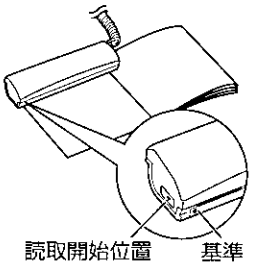
ハンドコピー設定ボタンを押すたびに「シナイ?」→「スル?」に変わります。

4 スタートボタンを押します。



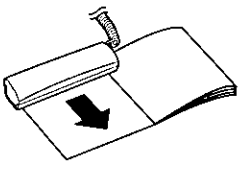


5 読み取る原稿の左上端に基準位置を合わせて、コピーボタンを押します。



6 ハンドコピーを原稿に押し当てて、ゆっくり手前に引きます。

原稿を読み取ります。



7 コピーが終わったらストップボタンを押します。

終了音が鳴り、メモリに内容が記憶され、感熱記録紙に印刷されます。

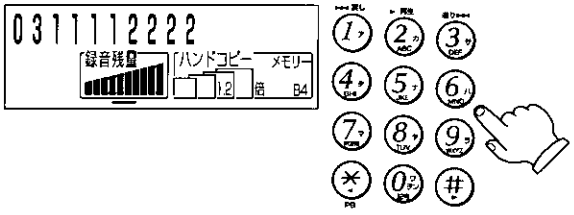
8 ハンドコピーを外したままハンドセットを取りあげます。

「ツー」という発信音が聞こえます。

またはハンドセットを置いたまま、ディジタルハンズフリーボタンを押します。

9 相手先のファクス番号をダイヤルボタンで押します。

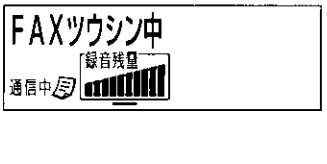
ファクス番号が表示されます。



相手の方が電話に出たときは、スタートボタンを押してもらいます。

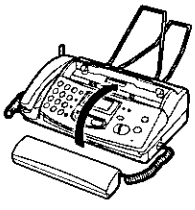
10 「ピー」という音が聞こえたら、スタートボタンを押してから、ハンドセットを置きます。

ファクスを送信します。
送信が終了すると、終了音が鳴ります。



11 ハンドコピーをファクス本体に戻します。

読み取った内容は消去され、日付・時刻表示に戻ります。



お知らせ

- 相手にダイヤルするときは必ずハンドコピーを外したままダイヤルボタンを押してください。ハンドコピーをファクス本体に戻した時点で、メモリした内容は消えてしまいます。
- A4幅の感熱記録紙を使っているときは、B4幅の原稿を読み取ってもA4幅だけを印刷します。
- メモリコピーできるのは、1件のみです（用件録音や応答メッセージの録音がないときでA4サイズ約1枚分です）。

ワンポイント

●相手の方とお話し中に送信するには
通話中に手順1から操作します。この場合、手順7のあと、手順10の操作に進みます。

●メモリ送信する原稿幅は印刷したサイズです。（たとえば、B4幅読み取り、等倍、A4記録紙印刷のときは、A4幅がメモリに入ります。）

●画質を選択するには
手順1のあとに画質選択ボタンを押して適切な画質を選びます。ハンドコピーのときは「ファイン」「ハーフトーン」のみ選ぶことができます。
原稿の画質を選ぶには（☛P40）

●「メモリ　ガ　イッパイデス」と表示されたら
メモリにコピーされた分だけをファクス送信、コピーするか、消去ボタンを押してメモリを消去し、もう一度はじめから操作します。

●「メモリ　ザンリョウ　フソク」と表示されたら
ハンドコピーをファクス本体に戻して、留守録の不要な用件を消去してください（☛P100）（メモリコピー、留守録、オリジナルスタンプは同じメモリを使用しています）。また、長い応答メッセージが録音されている場合もメモリコピーできない場合があります。

●メモリコピーした内容をクリアするには
手順7の操作のあと、ハンドコピーを外したまま消去ボタンを押します。

●白黒反転して送信するには
①手順1～4の操作をする
②ハンドコピー設定ボタンを押して、「シロクロ　ハンテンスル？」を選ぶ
③ スタート ボタンを押す

●読み取り幅を変えるには
①手順1～4の操作のあと、白黒反転を選択する
②ハンドコピー設定ボタンを押して、適切なサイズを選ぶ
③ スタート ボタンを押す

●相手の方から「ピー」という音が聞こえたときは
相手の方から「ピー」という音が聞こえたら、スタートボタンを押さなくても自動的に「ファクスを送信します。受話器を戻してください。」という音声ガイダンスが流れて送信を開始します（おまかせ送信）。音声ガイダンスが流れ始めるとすぐハンドセットを戻しても送信できます。なお、回線の状態や相手のファクスの状態などでファクス（おまかせ送信）に切り替わらないことがあります。そのときは「ピー」という音が聞こえたらスタートボタンを押してからハンドセットを戻します。

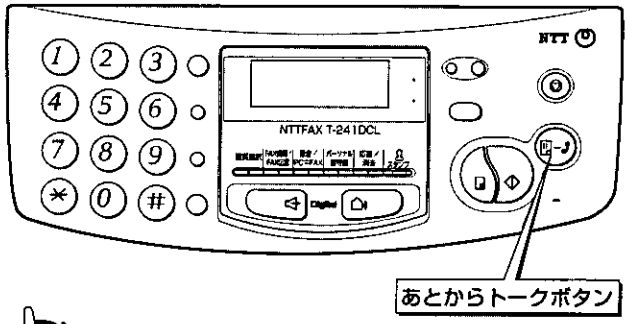
●きれいにハンドコピーするには
ハンドコピーを使うとき、原稿の上に透明の下じきやクリアケースをのせ、その上をなぞるようにすると、きれいにコピーできます。

●ハンドコピーがまっすぐに動かしにくいときには
厚手の定規などをハンドコピーの左端に添わせて動かすと曲がりにくくなります。

●メモリコピーした内容をコピーするには
手順7の操作のあと、コピーボタンを押すと、押すたびにメモリした内容を印刷できます。

ファクスを送ったあとでお話しするには（あとからトーク）

ファクスを送ったあとに自動的に電話に切り替わり、送ったファクスの内容を見ながら相手の方とお話しできます。また、ファクスを送っている途中で相手の方が電話を置いても、こちらから電話をかけた場合はファクスを送り終わったあと、自動的に再ダイヤルします。



ワンポイント

●**画質を選択するには**

手順1のあとに画質選択ボタンを押して適切な画質を選びます。

原稿の画質を選ぶには（☛P40）

●**メモリコピーした内容を送るには**

手順1で原稿をセットする代わりに、ハンドコピーで原稿をメモリコピーすることもできます。（☛P124）

●**相手の方がNTTFAX T-241DCLw/T-241DCLをお使いの場合は**

手順2で音声ガイダンスが流れたあと、スタートボタンの代わりにあとからトークボタンを押してもらうこともできます。

お知らせ

●ファクスを送信したあと相手の方がハンドセットをあげたままのときで、電話がかかってきたときは手順4で音声ガイダンスが聞こえずに着信音が鳴ります。

●ファクスを送信したあと相手の方がハンドセットをあげたままのときは、相手の方とお話しするときに、ファクシミリによっては相手側で「ピーピー…」という音（約35秒）が聞こえる場合があります。そのときは相手の方にストップボタンを押してもらってください。

●相手の方のファクスによっては、相手の方がハンドセットをあげたままのときは、通信が終わったあと通話に戻れないことがあります。

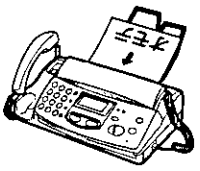
この場合は、通話中に相手の方にハンドセットを戻すように伝えてください。こちらからかけた電話のときは、このあと自動的に再ダイヤルして相手の方とお話しできます。ただし、相手の方からかかってきた電話のときは、再ダイヤルしません。

●ファクスを送信したあと相手の方がハンドセットを置いているときは、自動的に再ダイヤルしますが、コードレス電話機から電話をかけたり、相手の方からかかってきた電話を受けたときは再ダイヤルしません。

●Fネットのときは、あとからトークはできません。

1 通話中に、原稿ガイドに沿って、原稿を表向きにセットします。（☛P38）

原稿が引き込まれると「ピッ」という音が鳴ります。



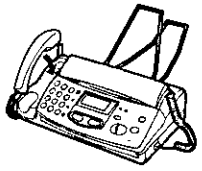
2 相手の方にスタートボタンを押したあとハンドセットを置かないように伝えてから、あとからトークボタンを押します。

「ファクスが終わったあと、電話に切り替わり、お話しができます。受話器を戻してください。」という音声ガイダンスが聞こえます。

相手の方には「ファクスが終わったあと、電話に切り替わり、お話しができます。スタートボタンを押してください。」という音声ガイダンスが聞こえます。

相手の方が先にスタートボタンを押した場合でも通話中にあとからトークボタンを押しておきます。

3 ハンドセットを置きます。

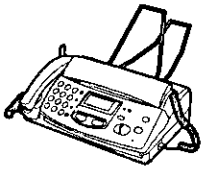


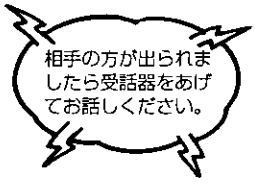
相手の方がスタートボタンを押すと、ファクスを送信します。

相手の方がハンドセットをあげたままのとき

4 終了音が鳴ったあとメッセージが聞こえます。

「相手の方が出られましたら受話器をあげてお話しください。」という音声ガイダンスです。相手の方には「電話に切り替えます。」という音声ガイダンスが聞こえます。



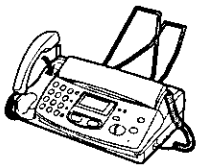


5 相手の方の声が聞こえたら、ハンドセットを取りあげてお話しします。

またはハンドセットを置いたまま、ディジタルハンドフリー ボタンを押します。

6 お話しが終わったら、ハンドセットを置きます。

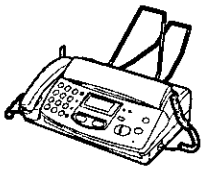
日付・時刻表示に戻ります。

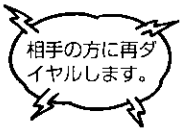


相手の方がハンドセットを置いているとき

4 自動的に再ダイヤルします。

「相手の方に再ダイヤルします。」という音声ガイダンスが聞こえます。





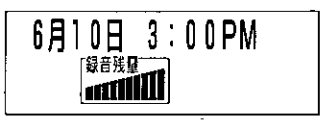
相手の方からかかってきたときは再ダイヤルしません。

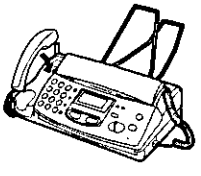
5 相手の方の声が聞こえたら、ハンドセットを取りあげてお話しします。

またはハンドセットを置いたまま、ディジタルハンドフリー ボタンを押します。

6 お話しが終わったら、ハンドセットを置きます。

日付・時刻表示に戻ります。





ファクスを受けたあとでお話しするには（あとからトーク）

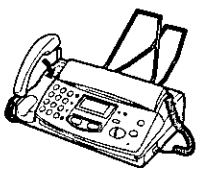
ファクスを受けたあとに自動的に電話に切り替わり、受け取ったファクスの内容を見ながら相手の方とお話しできます。

1 通話中に、相手の方に通信が終わったあとにお話しするので、スタートボタンを押したあとハンドセットを戻さないように伝えて、あとからトークボタンを押します。

「ファクスが終わったあと、電話に切り替わり、お話しができます。受話器を戻してください。」という音声ガイダンスが聞こえます。

2 ハンドセットを置きます。

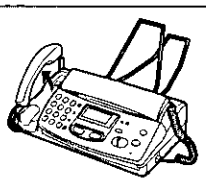
相手の方に「ファクスが終わったあと電話に切り替わりお話しができます。スタートボタンを押してください。」という音声ガイダンスが聞こえます。



3 ファクスを受信します。

ファクス受信が終わると終了音が鳴ります。
相手の方にも着信音が聞こえます。

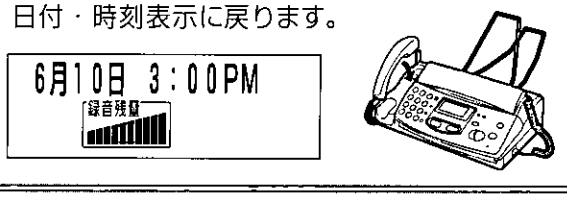
4 ハンドセットを取りあげて、相手の方とお話しします。



またはハンドセットを置いたまま、ディジタルハンズフリーボタンを押します。

5 お話しが終わったら、ハンドセットを置きます。

日付・時刻表示に戻ります。



ワンポイント

●あとからトークを受けたときは

着信音が鳴っている間にハンドセットを取りあげます。

●相手の方がNTTFAX T-241DCLw/T-241DCLをお使いの場合は

手順1で音声ガイダンスが聞こえたあと、スタートボタンの代わりにあとからトークボタンを押してもらうこともできます。

お知らせ

●こちらから電話をかけたときは、手順3で終了音が鳴ったあとスピーカから「相手の方が出られましたら受話器を上げてお話しください。」という音声ガイダンスが聞こえます。相手の方には「電話に切り替わります。」という音声ガイダンスが聞こえます。

●こちらから電話をかけて、相手の方がファクスを送るときにスタートボタンを押したあとハンドセットを戻したときは、ファクスを受けたあとこちらから自動的に再ダイヤルします。ただし、コードレス電話機から電話をかけると再ダイヤルしません。

●手順4でハンドセットを取りあげたとき、ファクシミリによっては相手の方に「ピーピー…」という音（約35秒）が聞こえる場合があります。そのときは相手の方にストップボタンを押してもらってください。

●相手機種によっては、相手の方がハンドセットをあげていると通信が終わったあと通話に戻れないことがあります。この場合は、通話中に相手の方にハンドセットを戻すように伝えてください。こちらからかけた電話のときは、このあと自動的に再ダイヤルして相手の方とお話しできます。ただし、相手の方からかかってきた電話のときは、再ダイヤルしません。

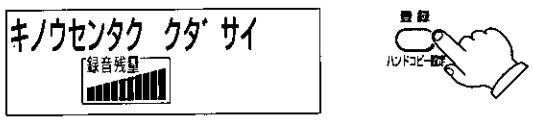
●Fネットのときは、あとからトークはできません。

相手が留守のとき伝言メモを送るには（FAX伝言）

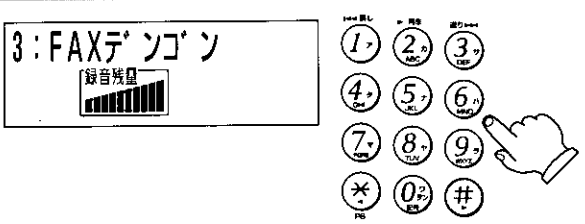
相手の方が留守のときでファクス受信に切り替わったときなど、伝言をファクスで送ることができます。また、FAX伝言のメッセージを自由に変えることもできます。（☛P131）

連絡先の電話／ファクス番号を登録する

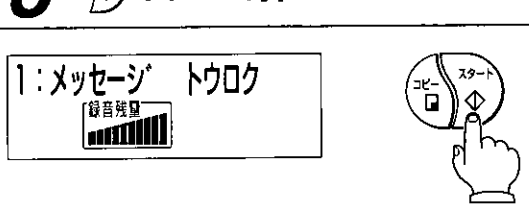
1 ハンドセットを置いたまま、登録ボタンを押します。



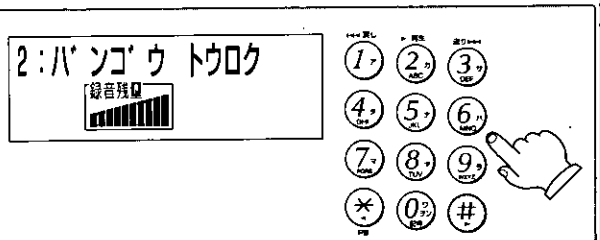
2 #ボタンを3回押します。



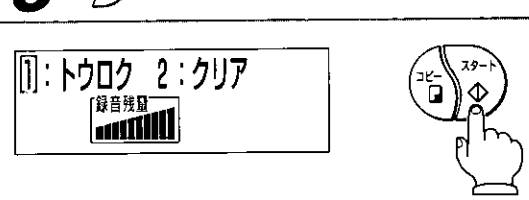
3 スタートボタンを押します。



4 #ボタンを押します。

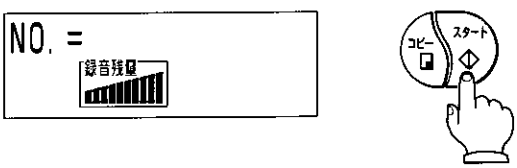


5 スタートボタンを押します。



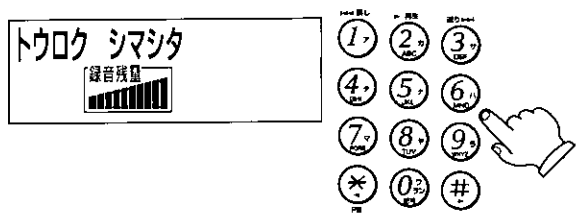
6 スタートボタンを押します。

番号を登録する画面が表示されます。



7 連絡先の電話／ファクス番号をダイヤルボタンで入力し、スタートボタンを押します。

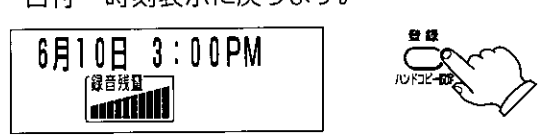
電話／ファクス番号が表示されます。



最大20桁まで入力できます。

8 登録ボタンを押します。

日付・時刻表示に戻ります。



お知らせ

●連絡先の番号を登録していないときは、発信元番号が印刷されます。

ワンポイント

●**番号を間違えたときには**
ストップボタンを押すたびに、後ろから1文字ずつ消えます。正しい番号を入力します。

●**電話／ファクス番号を変更するには**
登録した番号を一度消してから、もう一度登録します。

●**登録内容をクリアするには**
①手順1～5の操作をする
②#ボタンを押して「2:クリア」を選ぶ
③スタートボタンを2回押す
④登録ボタンを押す

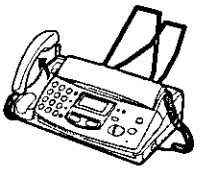
●**登録した電話／ファクス番号を確認するには**
FAX伝言内容リストを印刷します。（☛P122）

相手が留守のとき伝言メモを送るには（FAX伝言）

FAX伝言を送る

1 ハンドセットを取りあげます。

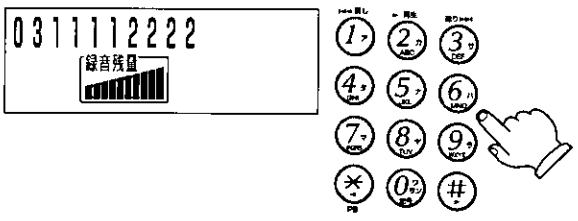
「ツー」という発信音が聞こえます。



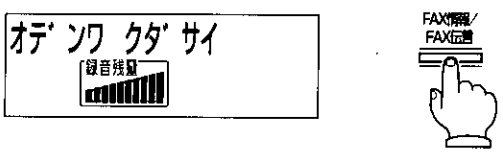
またはハンドセットを置いたまま、ディジタルハンズフリー ボタンを押します。

2 相手先のファクス番号をダイヤルボタンで押します。

ファクス番号が表示されます。



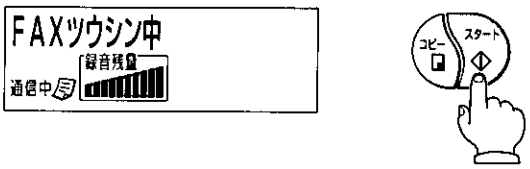
3 相手先のファクスの留守応答メッセージや、「ピー」という音が聞こえたらFAX伝言ボタンを押します。



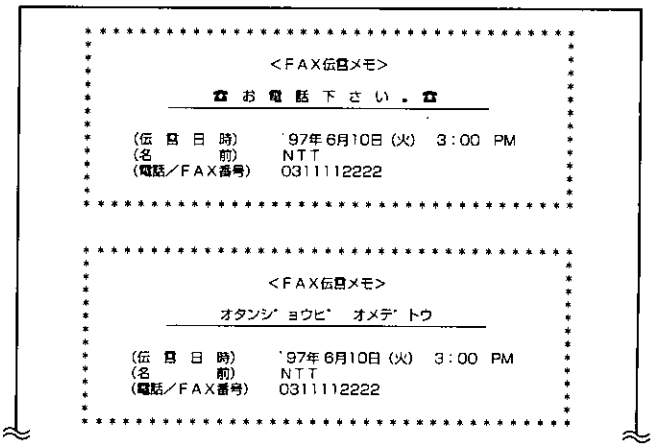
FAX伝言ボタンを1回押すと「お電話下さい。」というFAX伝言文になります。2回押すと自分で登録したFAX伝言文になります。

4 スタート ボタンを押してから、ハンドセットを置きます。

FAX伝言を送信します。
送信が終了すると、終了音が鳴ります。



■FAX伝言メモの印刷例（イメージ）



ワンポイント

●相手の方に送られる名前は

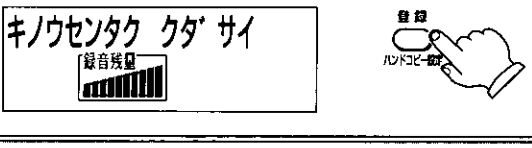
「自分の名前とファクス番号を登録するには」（☛P35）で登録した内容です。

お知らせ

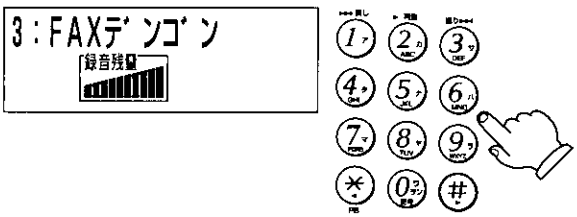
連絡先の電話/FAX番号の登録（☛P129）、発信元名の登録（☛P35）を行ったあとで操作してください。相手の方には、これらの内容が送信されます。

FAX伝言文を登録する

1 ハンドセットを置いたまま、登録ボタンを押します。

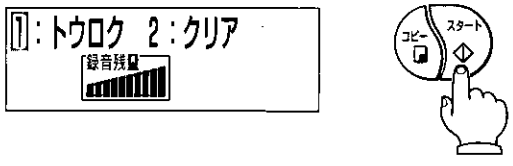


2 #ボタンを3回押します。

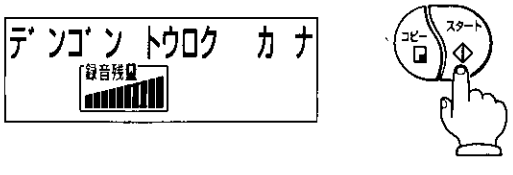


3 スタートボタンを押します。

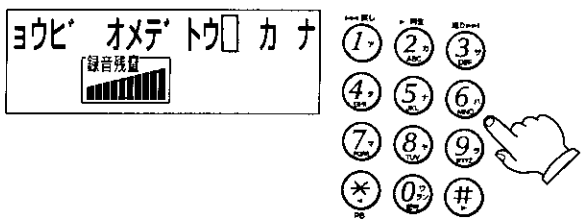
4 スタートボタンを押します。



5 スタートボタンを押します。

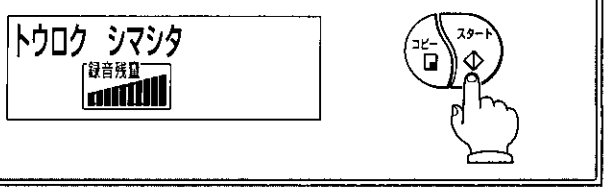


6 FAXの伝言文をP84の手順に従って入力します。



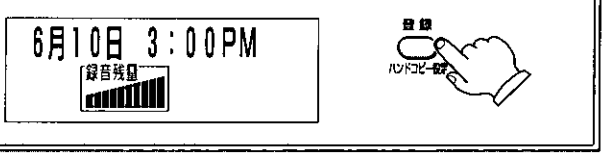
最大32文字まで入力できます。
カタカナ・英数字・記号が使えます。

7 伝言文を入力したら、スタートボタンを押します。



8 登録ボタンを押します。

日付・時刻表示に戻ります。



ワンポイント

●文字の入力を間違えたときは

ストップボタンを押すたびに、後ろから1文字ずつ消えます。
カーソル（■）位置を合わせ、正しい文字を入力します。

●FAX伝言文を変更するには

登録した伝言文を一度クリアしてから、最初からやり直します。

●登録内容をクリアするには

①手順1～4の操作をする
②#ボタンを押して「2:クリア」を選ぶ
③スタートボタンを2回押す
④登録ボタンを押す

●FAX伝言文の内容を確認するには

プリントモードのFAX伝言内容リストを印刷します。
（☛P122）

スタンプを押してファクスを送るには　（スタンプ機能）

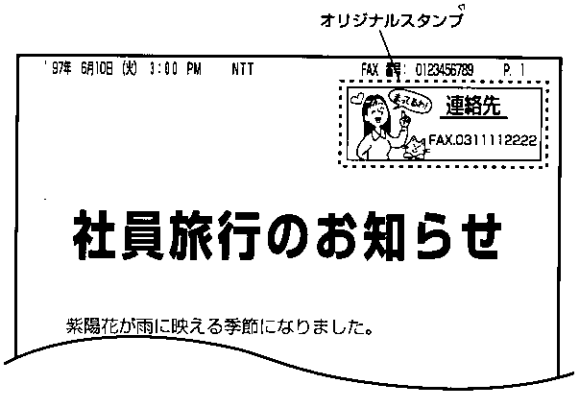
原稿にメッセージを直接記入しなくても、相手の感熱記録紙にメッセージ（スタンプ）を付けてファクスを送ることができます。
スタンプには、「オリジナルスタンプ」、「メッセージスタンプ」、「おきまりスタンプ」の3種類があります。原稿を送ったとき、1枚目の感熱記録紙にスタンプが印刷されます。

スタンプとは

オリジナルスタンプ

自分でイラストやメッセージなどを登録して自由にスタンプを作ることができます（4種類まで登録できます）。また、印刷する位置を選んだり、メッセージスタンプやおきまりスタンプと合成することもできます。（☛P135）

●オリジナルスタンプの印刷例（イメージ）

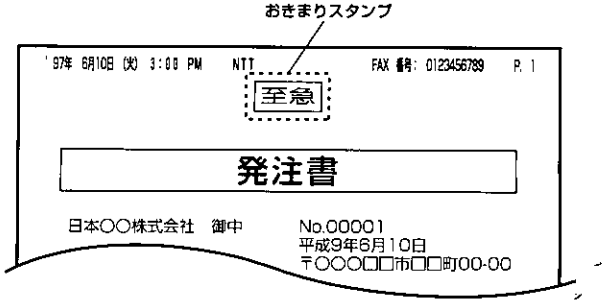


おきまりスタンプ

あらかじめ次の5種類が登録されています。

至急　重要　回覧
極秘　保管

●おきまりスタンプの印刷例（イメージ）

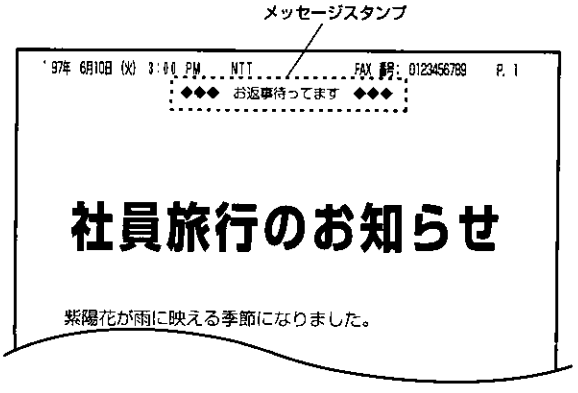


メッセージスタンプ

あらかじめ次の7種類が登録されています。

◆◆◆ お電話ください ◆◆◆
◆◆◆ あとで電話します ◆◆◆
◆◆◆ お返事待ってます ◆◆◆
◆◆◆ すぐ見てください ◆◆◆
◆◆◆ 返事はＦＡＸで ◆◆◆
◆◆◆ 手渡してください ◆◆◆
◆◆◆ 見たら捨ててください ◆◆◆

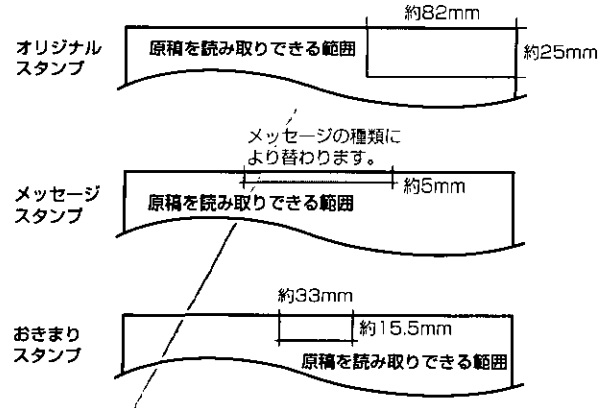
●メッセージスタンプの印刷例（イメージ）



ワンポイント

●原稿の画像が印刷されない範囲

原稿を読み取りできる範囲の中で（☛P39）、□の部分はスタンプが印刷される範囲ですので、その部分の原稿は印刷されません。



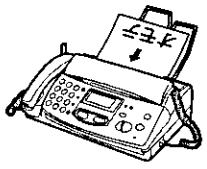
お知らせ

●オリジナルスタンプを作成するには登録が必要です。（☛P135）

スタンプを押してファクスを送る

1 原稿ガイドに沿って、原稿を表向きにセットします。(☛P38)

原稿が引き込まれると「ピッ」という音が鳴ります。



2 スタンプボタンを押します。

3 ボタンを押します。

4 スタンプボタンを押し、スタンプの種類を選びます。

スタンプボタンを押すたびに「オリジナル　スタンプ」→「メッセージ　スタンプ」→「オキマリ　スタンプ」に変わります。

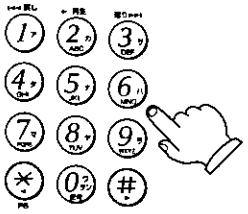
例：「メッセージ　スタンプ」を選んだとき

5 ボタンを押します。

例：「オデンワ　クダサイ」を選んだとき

6 ボタン／ボタンを押してスタンプの内容を選びます。

例：「オデンワ　クダサイ」を選んだとき

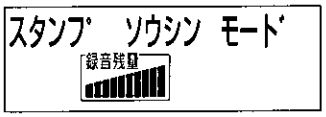


それぞれのスタンプの内容については、P132をご覧ください。

7 ボタンを押します。

8 ハンドセットを取りあげます。

「ツー」という発信音が聞こえます。



またはハンドセットを置いたまま、ボタンを押します。

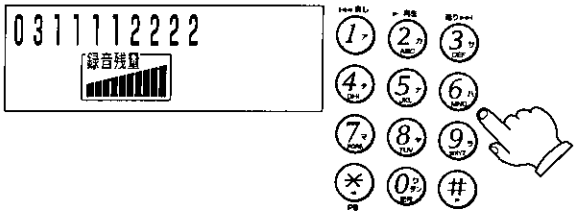
次ページに続きます。

スタンプを押してファクスを送るには　（スタンプ機能）

前ページからの続きです。

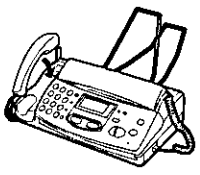
9 相手先ファクス番号をダイヤルボタンで押します。

ファクス番号が表示されます。



10 「ピー」という音が聞こえたら、スタートボタンを押してから、ハンドセットを置きます。

1枚目の原稿にスタンプをつけて送信します。送信が終了すると、終了音が鳴ります。



ワンポイント

●画質を選択するには

手順1のあとに画質選択ボタンを押して適切な画質を選びます。

原稿の画質を選ぶには（☛P40）

●内容を確認するには

手順7でスタートボタンを押したあとカラーボタンを押してコピーするとスタンプを印刷した原稿がコピーされ、内容を確認することができます。

●スタンプを合成するには

手順7でオリジナルスタンプの内容を選んだあと、手順2に戻り、続けてメッセージスタンプ、またはおきまりスタンプを選んでスタンプを合成することもできます。

お知らせ

●手順4で「オリジナル　スタンプ」を選択した場合、オリジナルスタンプが「ハーフトーン」の画質で登録されているときは、ファクスを送るときに「標準」を選んでも、最初の1ページは自動的に「ファイン」になります。

●原稿を上下逆にセットしたときや、横向きにセットした場合は、スタンプが原稿に対して逆に印刷されたり横に印刷されてしまいます。

自分でスタンプを作るには（オリジナルスタンプ）

手書きやワープロやパソコンなどで、名前や住所、電話番号／ファクス番号を記入したオリジナルのスタンプを作ることができます。イラストや写真なども入れることができます。オリジナルスタンプは4種類まで登録できます。

●オリジナルスタンプの印刷例（イメージ）

オリジナルスタンプ1

ワンポイント

●**画質を選択するには**

手順3のあとに画質選択ボタンを押して適切な画質を選びます。「ファイン」または「ハーフトーン」のみ選ぶことができます。「ファイン」または「ハーフトーン」以外の画質を選んだときはすべて「ファイン」になります。

●**オリジナルスタンプを変更するには**

登録したスタンプを一度消してから、もう一度登録します。

●**登録したオリジナルスタンプをクリアするには**

①ハンドセットを置いたまま、手順4～7の操作をする

②（スタート）ボタンを押す

③（#）ボタンを押して「2:オリジナル　クリア」を選ぶ

④（スタート）ボタンを2回押す

⑤登録ボタンを押す

●**オリジナルスタンプの内容を確認するには**

プリントモードのオリジナルスタンプ確認リストを印刷します。（☛P122）

お知らせ

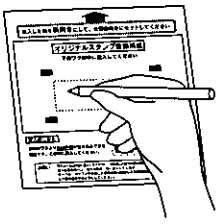
●オリジナルスタンプ登録用紙に写真やイラストを貼り付けて読み込ませるときは、別売のキャリアシート（☛P215）をご使用ください。このとき、登録用紙をキャリアシートの中央にセットしてください。

●オリジナルスタンプを1件登録すると、録音時間が約28秒短くなります。また、録音時間が残り少ないと、オリジナルスタンプを登録することはできません。

オリジナルスタンプを作る

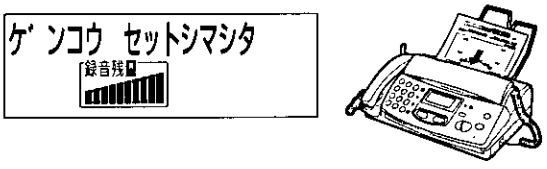
1 取扱説明書（本書）の巻末にある「オリジナルスタンプ登録用紙」を、切り取り線に沿ってまっすぐに切り取ります。

2 「オリジナルスタンプ登録用紙」に記入します。

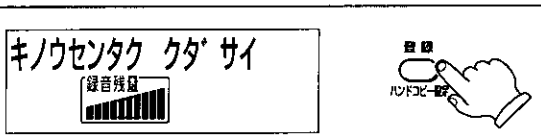


3 原稿ガイドに沿って、記入した面を表向きにして、「オリジナルスタンプ登録用紙」をセットします。

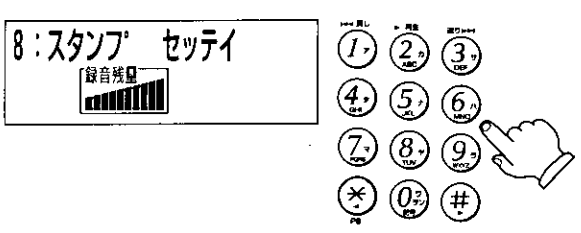
原稿が引き込まれると「ピッ」という音が鳴ります。



4 登録ボタンを押します。



5 ✳ボタンを3回押します。



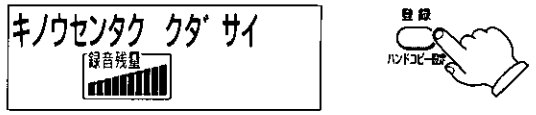
次ページに続きます。

自分でスタンプを作るには（オリジナルスタンプ）

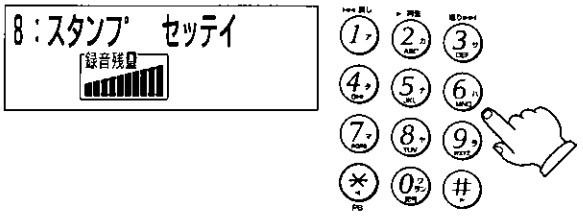
オリジナルスタンプの印刷位置を選ぶ

前ページからの続きです。

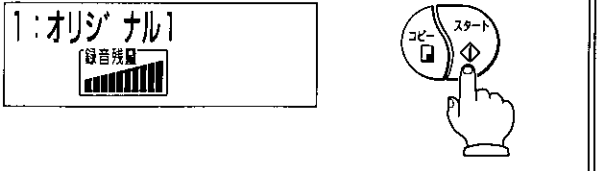
1 ハンドセットを置いたまま、登録ボタンを押します。



2 ＊ボタンを3回押します。

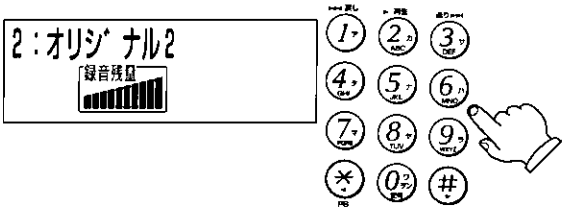


3 スタートボタンを押します。

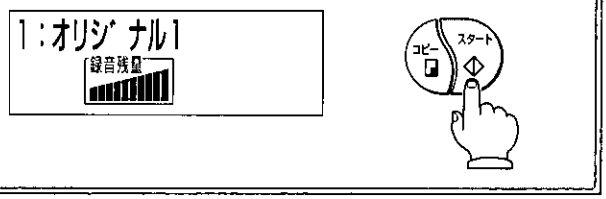


4 ＊ボタン／＃ボタンを押して、オリジナル番号を選びます。

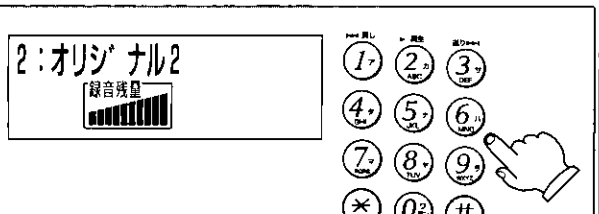
例：「オリジナル2」を選んだとき



6 スタートボタンを押します。



7 ＊ボタン／＃ボタンを押して、オリジナル番号を選びます。



8 スタートボタンを3回押します。

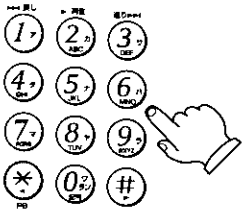
登録したオリジナルスタンプが印刷されます。

5 スタートボタンを押します。

1:オリジナル トウロク
録音残量

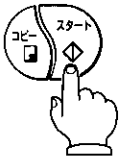
6 ＊ボタンを押します。

3:オリジナル イチ
録音残量



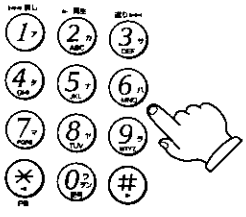
7 スタートボタンを押します。

1:ミギ ウエ 2:ミギ シタ
録音残量



8 ＊ボタン／＃ボタンを押して、印刷位置を選びます。

1:ミギ ウエ 2:ミギ シタ
録音残量



9 スタートボタンを押します。

例：「ミギシタ」を選んだとき

ミギ シタ ニ シマシタ
録音残量

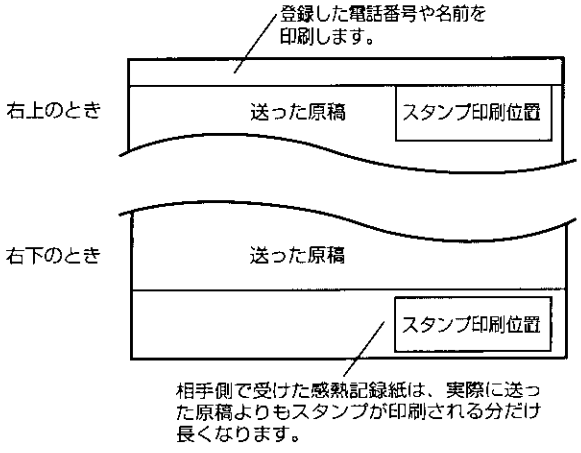
10 登録ボタンを押します。

日付・時刻表示に戻ります。

6月10日 3:00PM
録音残量

お知らせ

- オリジナルスタンプを右下に付けて送信する場合、相手が普通紙FAXなどカット紙で受信すると、2枚の紙に分かれて印刷することがあります。
- オリジナルスタンプは次の位置に印刷されます。



着信音を鳴らさずにファクスを受けるには（ノンコール着信）

いったん電話を自動的に着信して、自動送信されたファクスのときは着信音を鳴らさずに受信し、電話のときだけ着信音を鳴らします。ファクスを頻繁に受信するときなどに電話にでる手間がなくなります。ノンコール着信はユーザセレクトで設定します。（☛P160）

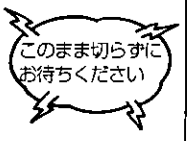
ノンコール着信の流れ

相手側

1.電話をかけます。

（電話をかけたあとファクスを送ろうとしています。）

2.着信音が1回鳴ったあと「このまま切らずにお待ちください。」という音声ガイダンスが流れます。
音声ガイダンスは相手の方にしか聞こえません。相手が手動送信や電話をかけてきたときでも、音声ガイダンスが流れます。



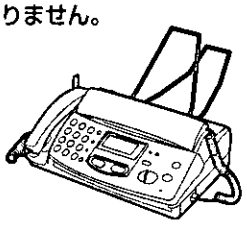
3.着信音が3回鳴ったあと音声ガイダンスが流れます。

4.在宅時の留守録「あり」の場合はメッセージを話します。

5.スタートボタンを押します。

こちら側

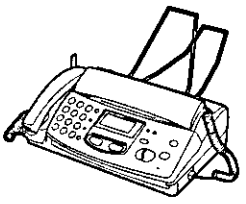
1.着信音は鳴りません。



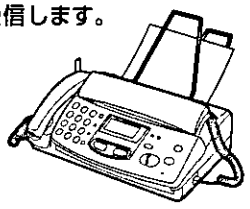
2.相手の方に「このまま切らずにお待ちください。」という音声ガイダンスが流れ始める約2秒前から、相手の方に電話料金がかかります。

3.相手側で音声ガイダンスが流れている間こちら側では着信音が鳴ります。
着信音が鳴っている間にハンドセットを取りあげると通話できます（このあとファクスを受けるときは スタート ボタンを押します）。

4.在宅時の留守録「あり」の場合は留守録音が始まります。



5.ファクスを受信します。



相手がワンタッチダイヤルなどでファクスを送っている場合（ダイヤルしたあとすぐスタートボタンを押している場合）は、音声ガイダンスが流れずにすぐにファクスを受信します。

応答メッセージの内容は、いろいろな条件によって変わります。

感熱記録紙があり、録音もできるとき (在宅時の留守録「あり」のとき)	「ただ今近くにおりません。ピーと鳴りましたら、お名前とご用件をお話しください。ファクスを送られる方は、スタートボタンを押してください。」
感熱記録紙がなく、 録音はできるとき (在宅時の留守録「あり」のとき)	ノンコール着信を設定していても着信音が10回鳴ります。 「ただ今近くにおりません。ピーと鳴りましたら、お名前とご用件をお話しください。」
感熱記録紙がなく、 録音もできないとき	ノンコール着信を設定していても着信音が25回鳴ります。 「ただ今近くにおりません。おそれ入りますがのちほどおかけ直しください。」が3回流れます。 ただし、暗証番号が登録されていないとリモコン操作（☛P114）ができないので応答しません。
セレクト受信が「あり」のとき (在宅時の留守録「なし」のとき)	「ただ今近くにおりません。電話の方はおそれ入りますが、のち程おかけ直しください。」
セレクト受信が「あり」のとき (在宅時の留守録「あり」のとき)	「ただ今近くにおりません。ピーと鳴りましたら、お名前とご用件をお話しください。」

ワンポイント

●着信音の回数を変更するには

ユーザセレクトのノンコールモード時のコール回数で、電話がかかってきたときの着信音の回数を4～25回の間で設定することができます。お買い求め時は7回に設定されています。（☛P160）

●相手の方のメッセージを録音するには

在宅時の留守録設定（☛P98）で、相手の方のメッセージを録音できます。

お知らせ

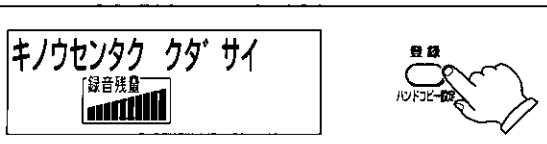
- 相手の方が手動送信や電話をかけてきたときには、「このまま切らずにお待ちください。」というメッセージが流れますが、ユーザセレクトの在宅モード／ノンコールモード時の音声応答メッセージを「なし」に設定しているときは流れません。（☛P158）
- ノンコール着信を設定すると、液晶ディスプレイの「ノンコール」が表示されます。
- 回線の状態や相手機種によっては、相手が自動送信のファクスでも着信音が鳴る場合があります。
- 留守に設定されているときや、ビジネスホン、ホームテレホンプロセッサに接続したときは、ノンコール着信はできません。
- ノンコール着信が設定されているときは、ファクス受信の終了音は鳴りません。

ファクシミリ情報サービスを利用するには

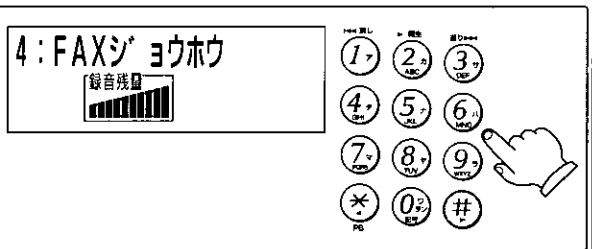
ファクシミリ情報サービスを利用して、さまざまな情報を手に入れることができます。NTTの「Fネット」(☛P146) のようにあらかじめ加入契約が必要なものと、誰にでもすぐに取り出せるものがあります。
ファクシミリ情報サービスの番号を1～3のダイヤルボタンに登録しておけば、簡単な操作で情報を取り出すことができます。

ファクシミリ情報サービスを登録する

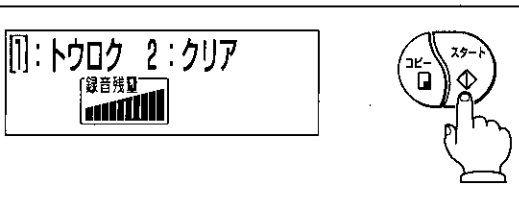
1 ハンドセットを置いたまま、登録ボタンを押します。



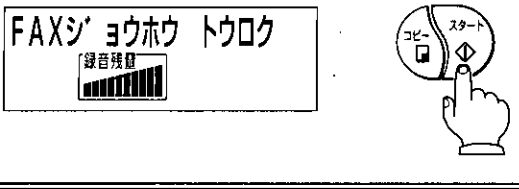
2 #ボタンを4回押します。



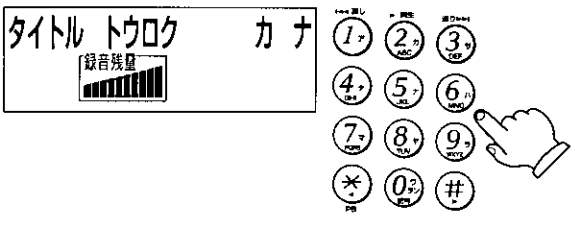
3 スタートボタンを押します。



4 スタートボタンを押します。

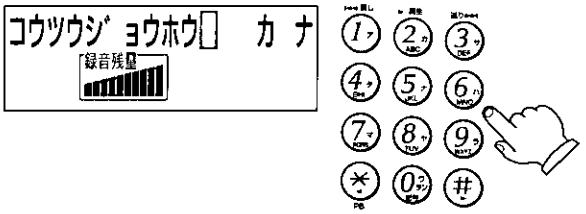


5 登録させたい番号（1～3）のいずれかを押します。



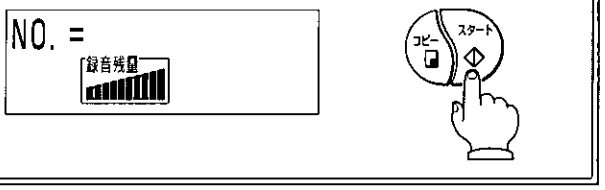
6 タイトル名をP84の手順に従って入力します。

最大16文字まで入力できます。



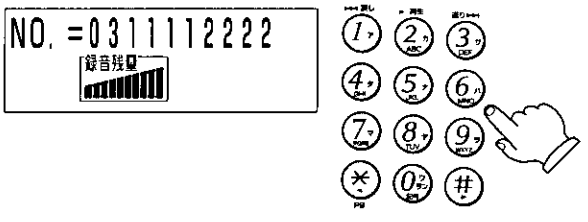
入力しないときは、この手順はとばします。

7 タイトルを入力したら、スタートボタンを押します。



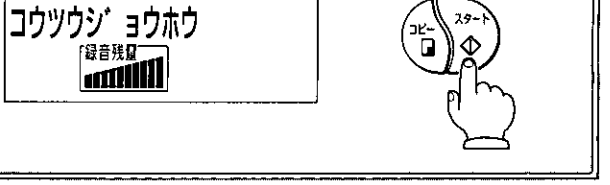
8 ファクシミリ情報サービスの番号をダイヤルボタンで押します。

ファクス番号が表示されます。
最大32桁まで入力できます。



9 スタートボタンを押します。

タイトル名が表示され、ファクシミリ情報サービスへ自動的にダイヤルされます。
例：「コウツウジョウホウ」にダイヤルした場合



10 音声ガイダンスに従って操作します。

- **スタートボタンを押して受信する場合**
  ガイダンスされたボタンを押すと登録が終わります。
- **「受話器を戻してお待ちください」という音声ガイダンスが流れ、折り返しファクスを送信してくる場合**
  デジタルハンズフリーボタンを押して電話を切ります。そのあと、登録するときは、スタートボタンを押します。登録しないときはストップボタンを押します。ファクスが送られてきたら受信の操作をしてください。

お知らせ

- 間違い電話を防ぐために、ファクシミリ情報サービス番号を登録するときは間違えのないように液晶ディスプレイを見ながら正確に行ってください。また登録後は、プリントモードの電話番号リストで正しく登録されていることを確認してください。(☛P122)
- 電話番号の登録には、ポーズや✳(PB)を入れることもできますが、構内交換機から0発信する場合や、海外の電話番号を登録する場合以外でポーズを入力すると、正しく電話がかからないことがあります。
- 音声ガイダンスが流れ終わったあと、すぐ操作してください。ただし、音声ガイダンスが流れている途中で操作しないでください。
- 登録の操作の途中で、着信があった場合や、約1分以上何も操作しなかった場合、登録がすべてキャンセルされます。最初からやり直してください。

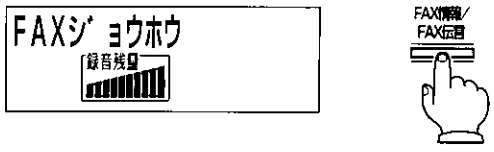
ワンポイント

- **ポーリング方式のファクシミリ情報サービスを登録するときは**
  手順1の操作の前に登録ボタン、0、1を押してポーリングモードにしてから登録します。
- **番号を間違えたときは**
  ストップボタンを押すたびに、後ろから1文字ずつ消えます。正しい番号を入力します。
- **登録した内容を変更するには**
  登録した内容を一度クリアしてから、もう一度登録します。
- **登録した内容をクリアするときは**
  ①手順1～3の操作をする
  ②#ボタンを押して「2:クリア」を選ぶ
  ③スタートボタンを押す
  ④消したい番号 1～3 のいずれかを押す
  ⑤スタートボタンを押す
  ⑥登録ボタンを押す
- **ファクシミリ情報を取り出すには**
  次の3つの方法があります。
  - 〈ポーリング方式〉
    ポーリング受信の操作をしなくとも、FAX情報ボタンを使って簡単にファクシミリ情報を取り出すことができます。
  - 〈ガイダンス方式〉
    FAX情報ボタンと 1～3 のいずれかを押すだけで、音声ガイダンスに従ってファクシミリ情報を取り出すことができます。
  - 〈Fネット方式〉
    Fネットを利用するための操作をしなくとも、ファクシミリ案内サービス（Fネット）にあるファクシミリ情報を、FAX情報ボタンを使って簡単に取り出すことができます。

ファクシミリ情報サービスを利用するには

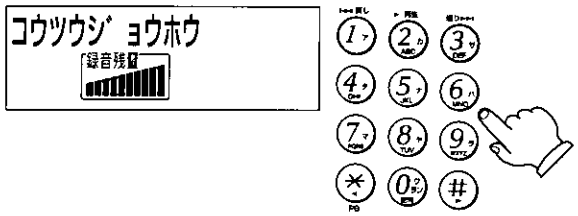
FAX情報を取り出す

1 **FAX情報ボタンを押します。**



2 **取り出したいFAX情報の番号（1～3）を押します。**

指定したサービス情報が受信されます。



ワンポイント

●**途中で操作を止めるには**
ストップボタンを押します。

お知らせ

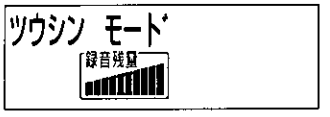
- 回線の状態や提供先によっては、FAX情報を取り出せないことがあります。
- FAX情報の提供先や種類によっては、季節や時刻によりサービスを行っていないことがあります。また、登録時には取り出せた情報が、FAX情報ボタンを押しても取り出せないときは、各サービス提供局にお問い合わせください。
- 途中でいったん電話を切ってから送られてくる情報サービスをご利用のときは、ユーザセレクトのセレクト受信を「あり」にすると受けられません。（☛P158）
- FAX情報を取り出すときは、原稿をセットしてない状態で操作してください。

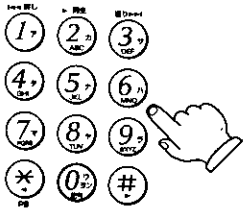
相手側にセットされた原稿を受けるには（ポーリング受信）

相手側であらかじめセットされている原稿やファクス情報を，受信側の操作で取り出すことができます。

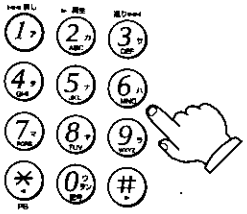
1 ハンドセットを置いたまま、登録ボタンを押します。

2 0を押します。





3 1を押します。

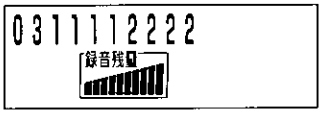


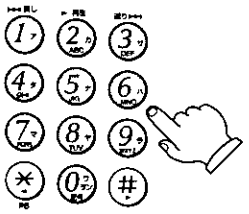
4 ディジタルハンズフリーボタンを押します。

「ツー」という発信音が聞こえます。

5 相手先のファクス番号をダイヤルボタンで押します。

ファクス番号が表示されます。





6 「ピー」という音が聞こえたらスタートボタンを押します。

自動的に受信され、相手先のファクスに登録している番号が表示されます。

ワンポイント

●ファクス番号を間違えたときは

いったんディジタルハンズフリーボタンを押してから、もう一度ディジタルハンズフリーボタンを押して入力し直します。

●途中でやめるときは

ダイヤル中はディジタルハンズフリーボタンを押します。
受信中はストップボタンを押します。

お知らせ

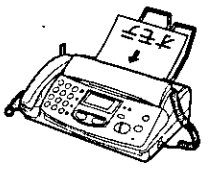
- ファクス本体に原稿をセットしない状態で操作してください。
- 相手の方のファクスによっては、この機能はご利用になれないことがあります。
- 本商品は、ポーリング送信機能（相手側の操作で自動的にこちらの原稿を送信すること）はありません。
- FAX情報を取り出す場合、サービスによっては操作の異なる場合があります。各種サービスの音声ガイダンスや取扱説明書に従って操作してください。
- ファクシミリ情報サービスの提供先や種類によっては、季節や時刻によりサービスを行っていないことがあります。取り出せないときは、各サービス提供局にお問い合わせください。
- ポーリング受信できるのは、相手の方のファクスがポーリング送信機能を備えている場合に限ります。
- ポーリング受信するときの電話料金は、受信する側にかかります。

海外へファクスを送るには　（国際送信）

海外へファクス送信するときは、回線の状態によって画像が乱れたり、通信が中断してしまうことがあります。
海外通信モードを使うと、そのような通信障害を軽減することができます。

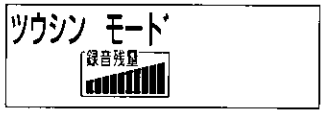
1 原稿ガイドに沿って、原稿を表向きにセットします。（☞P38）

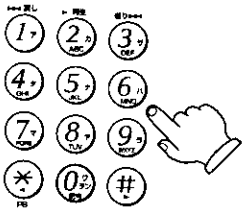
原稿が引き込まれると「ピッ」という音が鳴ります。



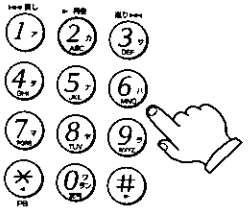
2 登録ボタンを押します。

3 0を押します。



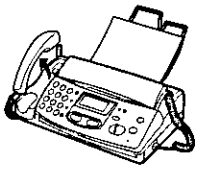


4 2を押します。



5 ハンドセットを取りあげます。

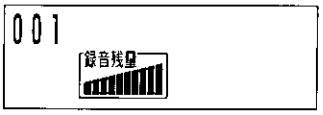
「ツー」という発信音が聞こえます。

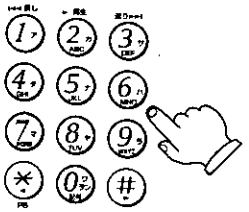


またはハンドセットを置いたまま、ディジタルハンズフリー ボタンを押します。

6 国際通信識別番号（001など）をダイヤルボタンで押します。

例：001のとき



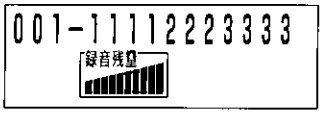


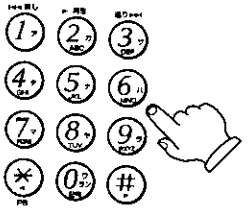
7 ポーズボタンを押します。

1回押すと、約4秒の待ち時間となります。

8 相手先の国番号、局番とファクス番号をダイヤルボタンで押します。

国番号、局番、ファクス番号の順に表示されます。





9 相手の方が電話に出たら、スタートボタンを押してもらいます。

「ピー」という音が聞こえたら手順10の操作をします。

10 スタートボタンを押して、ハンドセットを置きます。

ワンポイント

●画質を選択するには

手順1のあとに画質選択ボタンを押して適切な画質を選びます。

原稿の画質を選ぶには（☛P40）

●途中で操作を止めるには

ストップボタンを押します。

ハンドセットを取りあげてダイヤルしているときはハンドセットを置きます。ハンズフリー通話でダイヤルしているときは、ディジタルハンズフリーボタンを押します。

●ポーズ（待ち時間）は

ポーズの1回目は約4秒、2回目以降は約2秒に設定されています。

お知らせ

- 海外通信モードで原稿を送信すると、通信速度を落として送信するため、通話料金が高くなることがあります。
- 海外通信モードは、送信が終了すると自動的に解除されます。

Fネット（ファクシミリ通信網サービス）を利用するには

Fネットは、NTTのファクシミリ専用ネットワークです。いったん文書をFネット内に蓄積してから送信するシステムにより、さまざまなサービスが実現できます。スピーディで確実なファクシミリ通信をさらに経済的かつ効率的にお使いいただけます。

2段階制の明確料金

Fネットなら、送信に時間のかかる文字の細かい文書でも、B4判1ページ25円（夜間・100km以内）で日本国内どこへでも送れます。昼間でも40円とお得です。さらに、100kmを超える場合は夜間30円、昼間は50円と低価格の一定料金です（標準モードの場合）。

無鳴動自動受信

Fネットで送ると相手のファクスの着信音を鳴らさず受信させることができます。受信側では電話と間違えてハンドセットをとる手間がありません。また夜でも静かにファクスを受けることができます。

再コール

相手先がお話し中の場合、Fネットが2分間隔で5回、自動的に再コールします。

不達通知

再コールしても送信できなかった場合、送信できなかった理由と送信内容の一部をFネットからお知らせします。

Fネット親展通信

暗証番号を使って通信できるサービスです。暗証番号を知っている人以外には原稿が取り出せないので、重要な書類も安心してやり取りできます。

ファクシミリボックス（※）

Fネットから送信された原稿を、Fネット側で一時お預かりするサービスです。ファクシミリや電話を長時間使っていても、ファクシミリボックスに蓄積された原稿を後で受け取ることができます。

一斉同報通信

1回のダイヤル操作で、10か所までの宛先に同一原稿を同時に送信できます。サークルやクラブなどの連絡に便利です。Fネット短縮ダイヤルを利用すると、簡単な操作で最大10,000か所までの同報通信ができます。

夜間配送指定通信

昼間Fネットへ原稿を送信し、夜間の料金割引時間帯（午後7時～翌朝8時まで）にFネットから相手先へ送信させることができます。約40%の割引になります。

ファクシミリ案内サービス

Fネットを契約していると、ホットな情報が簡単に取り出せます。しかも、料金がFネットの通信料のみと低価格で明確化していますので安心です。このサービスには、レジャー・スポーツ・観光・金融・くらしにかかわるさまざまな情報がいっぱいです。

ファクス番号　162　・・・（プップップッ）　#284―○○―○○○○―○○○○―△△#（情報案内番号）

（取り出し方法）

1. ハンドセットを取りあげ、162をダイヤルします。
2. 「プップップッ」という音が聞こえます（ダイヤル回線の場合は「プップップッ」という音の後に(*)（PB）ボタン等を押してプッシュ信号に切りかえてから次の操作をしてください）。
3. #284（または#287）―○○―○○○○―○○○○―△△#とダイヤルします。
4. 「サービスを受け付けました。」という音声ガイダンスが聞こえます。
5. ハンドセットを戻し、しばらく待つと情報が送られてきます。

☆短縮ダイヤルや（※）印のサービスには、別途ご契約が必要です。

Fネットのご利用については利用契約が必要ですので、NTT窓口等へお問い合わせください。なお、記載しているサービス内容および料金については1997年3月現在のものです。

Fネットをご利用の場合、セレクト受信（☛P158）、ポーリング受信（☛P143）はご利用できません。
（セレクト受信の設定を「あり」にすると受信できない場合があります。）
Fネットのご利用については利用契約が必要ですので、NTT窓口へお問い合わせください。

ビデオなどの画面をプリント／ファクスを送るには（ビデオキャプチャユニット）

別売のビデオキャプチャユニットを使って、テレビやビデオの画面をプリントしたり、ファクス送信できます。
詳しくは、ビデオキャプチャユニットの取扱説明書をご覧ください。

画像を取り込む

1 ビデオキャプチャユニットと映像機器を接続します。

接続のしかたは、ビデオキャプチャユニットの取扱説明書を参照してください。
ファクス本体と映像機器が近くにある場合は、ビデオキャプチャユニットとファクス本体を接続します。

2 テレビなどを見ながら、ビデオキャプチャユニットの濃度調節つまみで、取り込む画像の濃度を調節します。

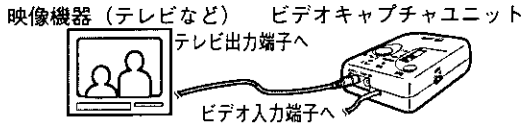
見ているモニタ画像の濃度は変化しません。

3 テレビなどで画像を見ながら、とりこみボタンを押します。

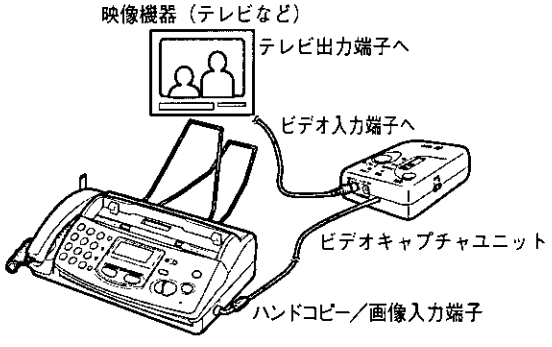
画像がメモリに取り込まれ、メモリランプが点滅します。
ファクス本体とビデオキャプチャユニットを接続したときは、取り込んだ画像がプリントされます。
続けてとりこみボタンを押すと、印刷中でも次の画像を取り込むことができます。

【テレビから画像を取り込むときの接続例】

■ファクス本体と映像機器が離れている場合



■ファクス本体と映像機器が近くにある場合



ワンポイント

●**取り込んだ画像をプリント、またはファクスで送るときには**（☛P148、149）
ファクス本体とビデオキャプチャユニットが接続されていないときは、手順3の操作のあと、ビデオキャプチャユニットの電源を「入」の状態で移動させ、ファクス本体と接続してください。

●**メモリランプについて**

メモリ件数	メモリランプ（緑色）の点滅数
0 件	○ 消灯
1 件	☼ ☼
2 件	☼☼ ☼☼
3 件	☼☼☼ ☼☼☼
4 件（取込不可能）	☼ 点灯

取り込んだ画像のメモリ件数をメモリランプの点滅の仕方で確認できます。

●**取り込んだ画像を消去するには**
ビデオキャプチャユニットの取消ボタンを押すと、一番最後に取り込んだ画像が消去されます。
例：メモリ3件の場合
①メモリランプが3回点滅している
②取消ボタンを押す
③メモリランプが2回点滅する
例：全部のメモリを消去する場合（メモリ4件の場合）
①メモリランプが点灯している
②取消ボタン4回を押す
③メモリランプが消灯する

お知らせ

●ビデオケーブルは、一般のビデオ機器に添付または別売されているものを使用してください。
（ビデオ専用ケーブル、またはコードの両端が黄色のピンコードです。）

●画像の取り込みは4件までです。5件以上取り込むことはできません。

お願い

●**ビデオキャプチャユニットをご使用にならない場合は、必ず電源スイッチを「切」にしておいてください。電源スイッチが「入」だと電池を消耗してしまいます。**

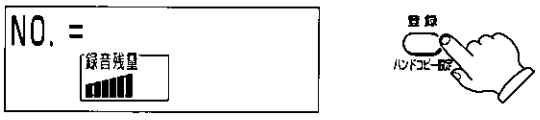
ビデオなどの画面をプリント／ファクスを送るには（ビデオキャプチャユニット）

プリントする

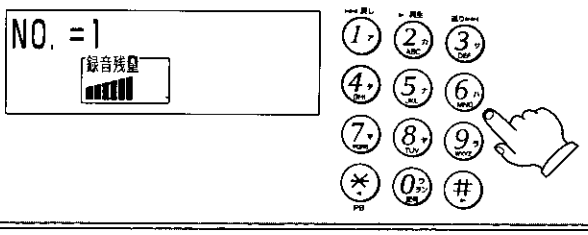
1 ビデオキャプチャユニットとファクス本体を接続します。

接続のしかたは、ビデオキャプチャユニットの取扱説明書を参照してください。
ビデオキャプチャユニットに取り込んだ画面を全部プリントする場合は、手順6に進みます。

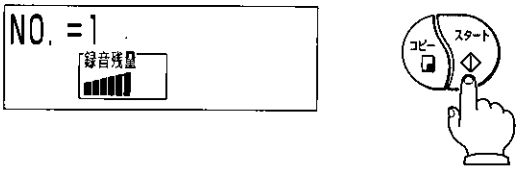
2 登録ボタンを押します。



3 メモリ番号（1～4）をダイヤルボタンで押します。

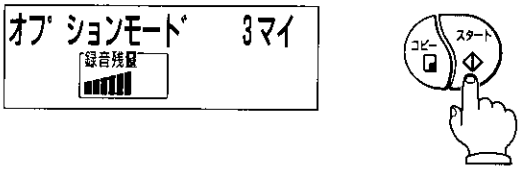


4 スタートボタンを押します。

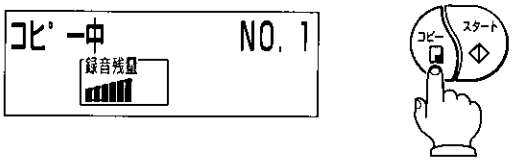


複数のページをプリントする場合は、手順3と手順4を繰り返します。

5 スタートボタンを押します。



6 コピーボタンを押します。



お知らせ

- ビデオキャプチャユニットの電源を「切」にしないかぎり、取り込んだ画像メモリは消えませんので、何度でもプリントすることができます。また、ファクスと接続しているときは、ビデオキャプチャの電源を「切」にしても取り込んだ画像メモリは消えません。

お願い

- プリント中に、ビデオ入力端子、モニタ出力端子のケーブルを抜いたり差したり触ったりすると、プリント画像にノイズが入ることがあります。
- 放送の方式やテレビまたはビデオカメラの種類によっては、印刷した画面の上下に黒帯が入ったり、画面が圧縮されたり、あるいは画面の一部または全体が見ている画面と異なる内容で印刷されることがあります。

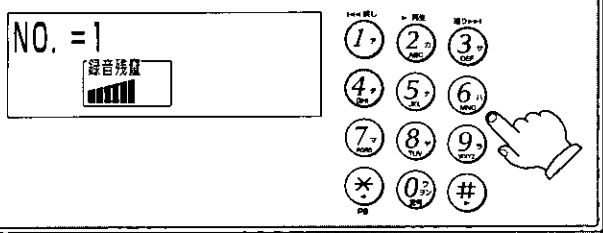
ファクスを送る

1 ビデオキャプチャユニットとファクス本体を接続します。

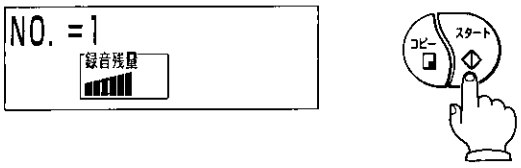
接続のしかたは、ビデオキャプチャユニットの取扱説明書を参照してください。
ビデオキャプチャユニットに取り込んだ画面を全部送信する場合は、手順6に進みます。

2 登録ボタンを押します。

3 メモリ番号（1）～（4）をダイヤルボタンで押します。

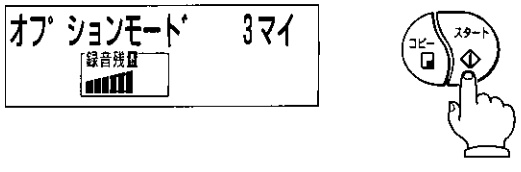


4 スタートボタンを押します。



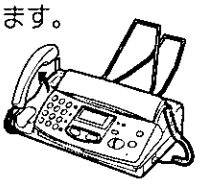
複数のページをファクス送信する場合は、手順3と手順4を繰り返します。

5 スタートボタンを押します。



6 ハンドセットを取りあげます。

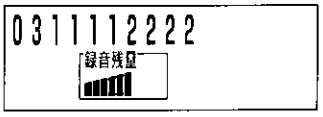
「ツー」という発信音が聞こえます。



またはハンドセットを置いたままディジタルハンドフリーボタンを押します。

7 相手先のファクス番号をダイヤルボタンで押します。

ファクス番号が表示されます。



8 「ピー」という音が聞こえたら、スタートボタンを押し、ハンドセットを置きます。

ファクスを送信します。
送信が終了すると、終了音が鳴ります。

ワンポイント

●相手の方から「ピー」という音が聞こえたときは

相手の方から「ピー」という音が聞こえたら、スタートボタンを押さなくても自動的に「ファクスを送信します。受話器を戻してください。」という音声ガイダンスが流れて送信を開始します（おまかせ送信）。音声ガイダンスが流れ始めるとすぐハンドセットを戻しても送信できます。
なお、回線の状態や相手のファクスの状態などでファクス（おまかせ送信）に切り替わらないことがあります。そのときは「ピー」という音が聞こえたらスタートボタンを押してからハンドセットを戻します。

お知らせ

●ビデオキャプチャユニットの電源を「切」にしないかぎり、取り込んだ画像メモリは消えませんので、何度でもファクス送信することができます。また、ファクスと接続しているときは、ビデオキャプチャの電源を「切」にしても取り込んだ画像メモリは消えません。

STOP お願い

●ファクス送信中に、ビデオ入力端子、モニタ出力端子のケーブルを抜いたり差したり触ったりすると、ファクス画像にノイズが入ることがあります。

ビデオなどの画面と原稿を合成してファクスを送るには（絵はがきFAX）

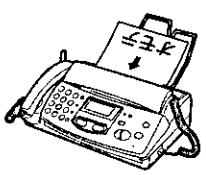
別売のビデオキャプチャユニットを使って、ビデオカメラなどで取り込んだ画像を、あらかじめメモリに読み込んでおいた原稿と合成できます。絵はがきのようなファクスを送ることができます。

1 ビデオキャプチャユニットにテレビやビデオなどの画像を取り込みます。

画像を取り込む手順については、P147をご覧ください。

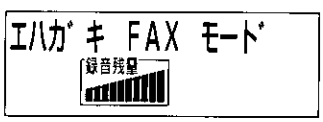
2 原稿ガイドに沿って、原稿を表向きにセットします。（☛P38）

A4サイズ1枚分までの原稿がセットできます。

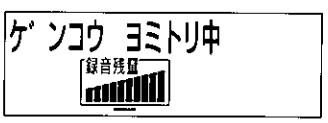


3 スタンプボタンを2回押します。

4 スタートボタンを押します。

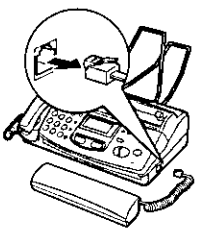


5 スタートボタンを押します。



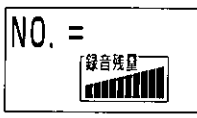
原稿をメモリに記憶します。

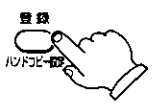
6 ハンドコピーカールコードをハンドコピー／画像入力端子から外します。



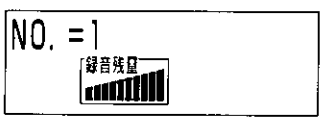
7 ビデオキャプチャユニットの接続コネクタをハンドコピー／画像入力端子に差し込みます。

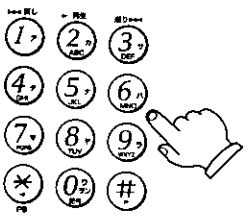
8 登録ボタンを押します。





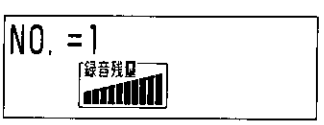
9 使用する画像のメモリ番号（1～4）をダイヤルボタンで押します。

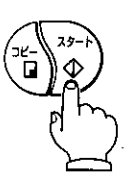




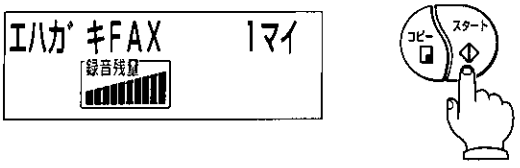
1番古いデータがメモリ番号1です。

10 スタートボタンを押します。





11 スタートボタンを押します。

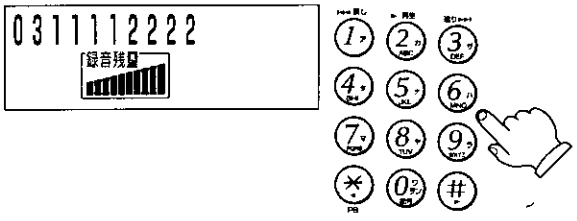


12 ハンドセットを取りあげます。

「ツー」という発信音が聞こえます。
またはハンドセットを置いたまま ディジタルハンズフリー ボタンを押します。

13 相手先のファクス番号をダイヤルボタンで押します。

ファクス番号が表示されます。



相手の方が電話に出たときはスタートボタンを押してもらいます。

14 「ピー」という音が聞こえたら、スタートボタンを押し、ハンドセットを置きます。

ファクスを送信します。
送信が終了すると、終了音が鳴ります。

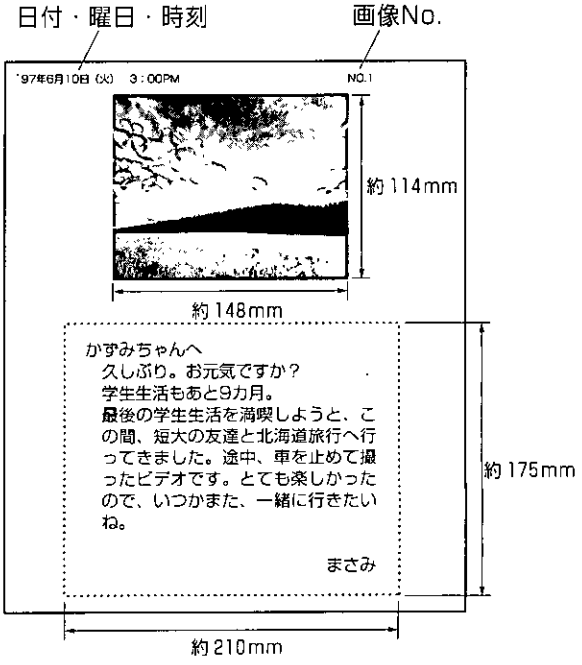
ワンポイント

●相手の方から「ピー」という音が聞こえたときは

相手の方から「ピー」という音が聞こえたら、スタートボタンを押さなくても自動的に「ファクスを送信します。受話器を戻してください。」という音声ガイダンスが流れて送信を開始します（おまかせ送信）。音声ガイダンスが流れ始めるとすぐハンドセットを戻しても送信できます。

なお、回線の状態や相手のファクスの状態などでファクス（おまかせ送信）に切り替わらないことがあります。そのときは「ピー」という音が聞こえたらスタートボタンを押してからハンドセットを戻します。

●絵はがきFAXの印刷例（イメージ）



お知らせ

- 手順9でメモリ番号を指定しても、1枚目だけに合成されます。2枚目からは、画像のみ送信されます。
- 手順9で番号を指定せずにスタートボタンを押すと、1枚目だけに原稿が画面合成され、2枚目以降の画面には合成されません。
- 手順11でスタートボタンを押したあとにコピーボタンを押すと、取り込んだ内容がプリントされます。
- 相手先のファクス番号をダイヤルしたあと、電話がつながる前にすぐにスタートボタンを押して送信することもできます。この場合、相手の方には「ポー・ポー・ポー…」という音が聞こえ、相手の方が受信の操作をすると送信します。
- 原稿読み取り長について詳しくはP39をご覧ください。
- ダイヤルボタンは数字の上を正確に押し、キータッチ音を確認するようにしてください。
- 原稿の先端から長さ約175mmまでの部分をメモリに記憶します。

ファクス本体から離れた場所でハンドコピーするには（ハンドスキャナキャリーパック）

別売のハンドスキャナキャリーパックを使って、ファクス本体と離れた場所でハンドコピーすることができます。
ファクス本体に接続すると、ハンドコピーした内容を印刷したりファクス送信することができます。
詳しくは、ハンドスキャナキャリーパックの取扱説明書をご覧ください。

原稿を読み取る

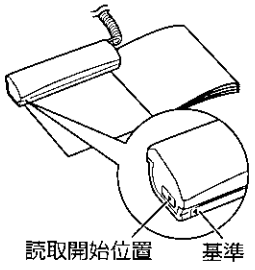
1 ハンドコピーとハンドスキャナキャリーパックを接続します。

詳しくは、ハンドスキャナキャリーパックの取扱説明書をご覧ください。

2 ハンドスキャナキャリーパックの電源を入れて、読取画質・読取濃度・読取幅を設定します。

詳しくは、ハンドスキャナキャリーパックの取扱説明書をご覧ください。

3 読み取る原稿の左上端に基準位置を合わせます。

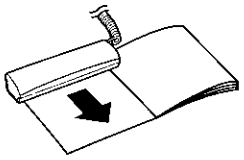


4 ハンドスキャナキャリーパックのスタートボタンを押します。

読取中ランプが緑色に点灯します。

5 ハンドコピーを原稿に押し当てて、ゆっくり手前に引きます。

ハンドコピーを動かしている間は、読取中ランプが緑色に点滅します。



6 ハンドスキャナキャリーパックのストップボタンを押します。

読み取りを終了します。

ワンポイント

●**ハンドスキャナキャリーパックで、読取画質・読取濃度・読取幅を設定するには**

・読取画質　文字：文字の原稿のときに選びます。
　　写真：濃淡のある原稿（カラーの原稿）のときに選びます。
・読取濃度　濃く：原稿が薄くて見えにくいときに選びます。
　　標準：はっきり見える原稿のときに選びます。
・読取幅　B4／A4／B5の中から読み取る原稿のサイズに合わせて選びます。

●**きれいに読み取るには**

原稿の上に透明の下敷きやクリアケースをのせ、その上をハンドコピーでなぞるようにするときれいに読み取ることができます。
ハンドコピーをまっすぐに動かしにくいときは、厚手の定規などをハンドコピーの左端に添わせて動かすと曲がりにくくなります。

お知らせ

●手順4で、スタートボタンを押したあと、約6秒間ハンドコピーを動かさないと、読取中ランプが消えます。もう一度スタートボタンを押します。
●ハンドコピーを動かしているとき、読み取るスピードが早すぎると、「ピー」という音が聞こえ、読取中ランプが赤色に点灯します。
●手順6のあと、続けて読み取る場合は、スタートボタンを押します。終了するときは、電源を「切」にします。
●ハンドコピーカールコードをファクス本体のハンドコピー／画像入力端子に接続した状態では操作できません。

STOP お願い

●**ハンドスキャナキャリーパックをご使用にならないときは必ず電源スイッチを「切」にしておいてください。電源を「入」にしておくと、ご使用にならない場合でも電池を消耗してしまいます。**

⚠ 注意

●ハンドコピーは、落としたりぶつけたりしないでください。ガラスやミラーが割れてけがの原因となります。

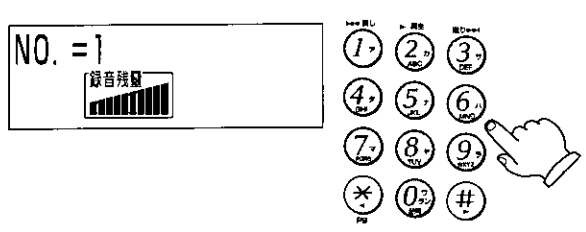
メモリ番号を指定してプリントする

1 ファクス本体とハンドスキャナキャリーパックを接続します。

詳しくは、ハンドスキャナキャリーパックの取扱説明書をご覧ください。

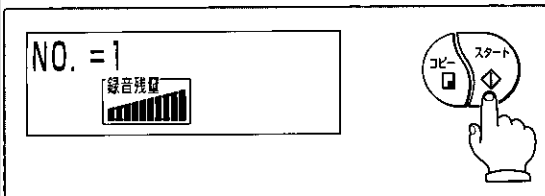
2 登録ボタンを押します。

3 プリントするメモリ番号をダイヤルボタンで押します。

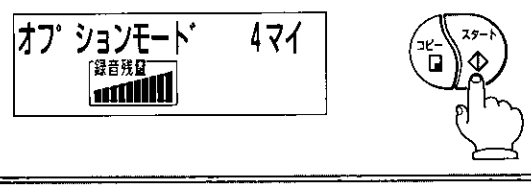


最大62件まで指定することができます。

4 スタートボタンを押します。

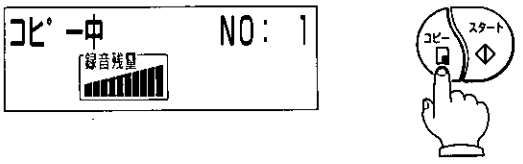


5 スタートボタンを押します。



6 コピーボタンを押します。

内容がプリントされます。



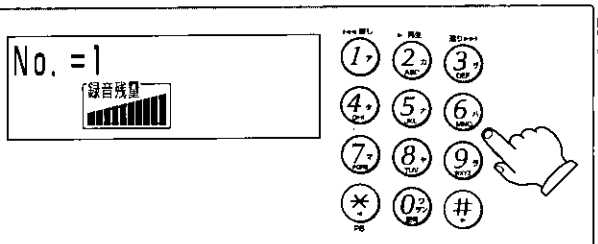
メモリ番号を指定してファクスを送る

1 ファクス本体とハンドスキャナキャリーパックを接続します。

詳しくは、ハンドスキャナキャリーパックの取扱説明書をご覧ください。

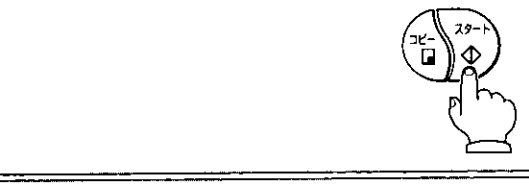
2 登録ボタンを押します。

3 ファクス送信するメモリ番号をダイヤルボタンで押します。



最大62件まで指定することができます。

4 スタートボタンを押します。

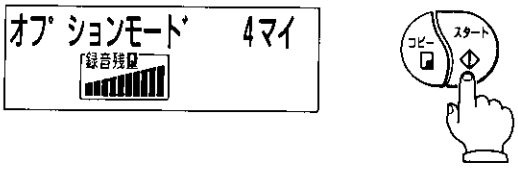


次ページに続きます。

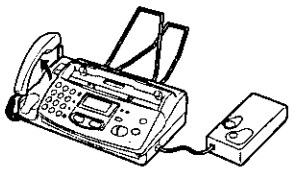
ファクス本体から離れた場所でハンドコピーするには（ハンドスキャナキャリーパック）

前ページからの続きです。

5 スタートボタンを押します。

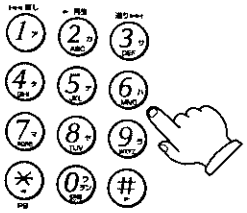


6 ハンドセットを取りあげます。



またはハンドセットを置いたまま、ディジタルハンズフリーボタンを押します。

7 相手先のファクス番号をダイヤルボタンで押します。



相手の方が電話に出たときは、スタートボタンを押してもらいます。

8 「ピー」という音が聞こえたら、スタートボタンを押し、ハンドセットを置きます。

ファクスを送信します。
送信が終了すると、終了音が鳴ります。

ワンポイント

- **すべてのメモリをコピーするには**
  手順1の操作のあと、手順6に進みます。
- **すべてのメモリをファクスで送るには**
  手順1の操作のあと、手順6に進みます。
- **相手の方から「ピー」という音が聞こえたときは**
  相手の方から「ピー」という音が聞こえたら、スタートボタンを押さなくても自動的に「ファクスを送信します。受話器を戻してください。」という音声メッセージが流れて送信を開始します（おまかせ送信）。音声メッセージが流れ始めるとすぐハンドセットを置いても送信できます。
  なお、回線の状態や相手の方のファクシミリの状態などでファクス（おまかせ送信）に切り替わらないことがあります。そのときは「ピー」という音が聞こえたらスタートボタンを押してからハンドセットを置きます。

お知らせ

- メモリ番号を指定するとき、1番古いデータがメモリ番号1になります。1～9の場合は1桁で、10～62は2桁で指定します。
- 同時に複数のプリントやファクス送信をするときは、手順3と手順4の操作を繰り返します。
- 相手先のファクス番号をダイヤルしたあと（電話がつながる前に）、すぐにスタートボタンを押して送信することもできます。この場合、相手の方に「ポー・ポー・ポー…」という音が聞こえ、相手の方が受信の操作をすると送信されます。

STOP お願い

- **ダイヤルボタンは数字の上を正確に押し、キータッチ音を確認するようにしてください。**
- **プリント中やファクス送信中に、ハンドコピーを抜いたり差したり、ハンドコピー／画像入力端子を触ると、画像にノイズが入り線が入った状態になることがあります。**
- **プリント中やファクス送信中に、電源アダプタをコンセントから抜いたり、乾電池を取り外すとプリントが中断されます。その場合ははじめからやり直してください。**

読み取った原稿を消去する

1 **ハンドスキャナキャリーパックの電源を「入」にします。**

2 **ハンドスキャナキャリーパックの消去選択ボタンで、消去するデータを選びます。**

押した回数によりメモリランプが点滅します。

3 **ハンドスキャナキャリーパックのスタートボタンを押します。**

データが消去されます。

4 **ハンドスキャナキャリーパックの電源を「切」にします。**

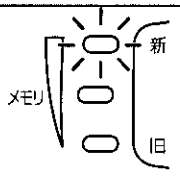
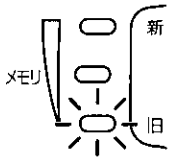
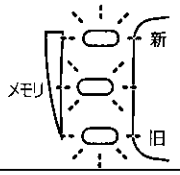
お知らせ

- 電源を「切」にしてもデータは消去しません。
- ファクス本体と接続中は消去できません。

ワンポイント

●消去するデータを選ぶには

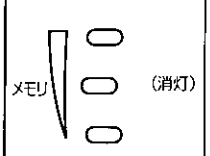
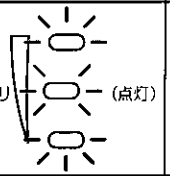
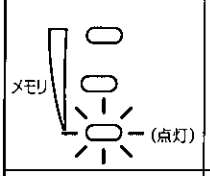
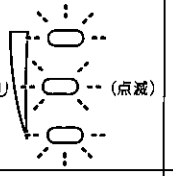
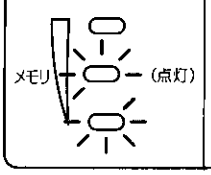
消去選択ボタンを押す回数により、データを指定します。またメモリランプの点滅のしかたも押す回数により変わります。

ボタンを押した回数	メモリランプ	消去されるデータ
1 回		最新のデータ
2 回		一番古いデータ
3 回		すべてのデータ (消去時間が約10秒程度かかります。)
4 回	メモリ容量に合わせた表示を点灯	待機状態へ戻る

- 最新データと一番古いデータの間にある中間データは消去できません。
- 一番古いデータがメモリ番号1になります。また、メモリ番号1～10のデータがある場合、一番古いデータを消去すると、メモリ番号は1～9になります。

●読み取ったデータ容量の目安は

メモリランプの点灯／点滅のしかたで目安がわかります。

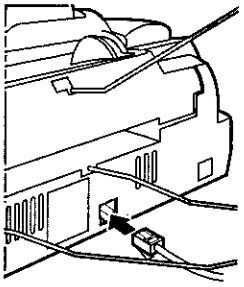
メモリランプ	データ容量	メモリランプ	データ容量
	データ無し		～99%
	～33%		100%
	～66%		

パソコンに接続してプリンタやスキャナとして使うには（プリンタ・スキャナ機能）

ファクスモデム付きパソコンや電子手帳などに接続してファクス送受信をして、プリンタやスキャナの代わりに使うことができます。

ファクス本体に接続する

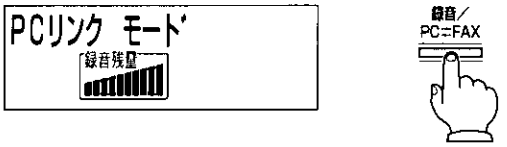
1 パソコンまたは電子手帳などに接続されている電話機コードを、ファクス本体のモデム入出力端子に「カチッ」という音がするまで差し込みます。



プリンタやスキャナとして使う

プリンタとして使う

1 ハンドセットを置いたまま、原稿をセットしないでPC⇄FAXボタンを押します。



2 パソコンまたは電子手帳側で手動送信の操作をします。

ダイヤル番号を入れるときは「11」と入力してください。

詳しくは、パソコンまたは電子手帳などのファクスソフトの取扱説明書をご覧ください。

ワンポイント

●途中で操作を止めるには

ストップボタンを押します。

●プリント中に電話がかかってきたときは

ハンドセットを取りあげてお話しします（ファクス本体の着信音だけが鳴ります）。

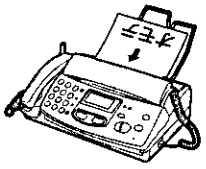
ただし、ハンズフリー通話したり、保留／転送などの機能や、ファクスの送受信はできません。また、ダイヤルイン機能を使用しているときは、ハンドセットを取りあげてもお話しできません。

お知らせ

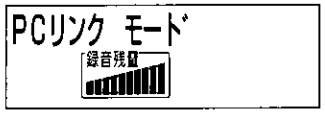
- 1回のプリントが終わるとパソコンモードは解除されます。
- ファクスソフトによっては、ダイヤルトーンを検出しないと電話をかけられないものもあります。そのときはユーザセレクトの設定で、パソコンモード時のダイヤルトーンを、3秒、6秒、10秒のいずれかに設定します。（☛P162）
- B4サイズの原稿はプリントできないことがあります。詳しくはファクスソフトの取扱説明書を参照してください。
- ユーザセレクトの設定で、音声操作ガイダンスが「あり」になっていても、音声は流れません。（☛P160）
- ファクス本体に原稿をセットしない状態で操作して下さい。
- 接続できるパソコンや電子手帳は、G3規格対応のファクスモデムを搭載している機種です。
- パソコンとの通信中に内線通話、コードレス電話機の発信／着信はできません。

スキャナとして使う

1 ハンドセットを置いたまま、原稿ガイドに沿って、原稿を表向きにセットします。(☛P38)



2 PC⇄FAXボタンを押します。



3 パソコンまたは電子手帳側で手動受信の操作をします。

詳しくは、パソコンまたは電子手帳などのファクスソフトの取扱説明書をご覧ください。

ワンポイント

●ハンドコピーで読み取った原稿をパソコンに入力するときは
手順1で原稿をセットする代わりに、ハンドコピーでメモリコピーします。(☛P124)

●ハンドスキャナキャリーバックで読み取った原稿をパソコンに入力するときは
手順1で原稿をセットする代わりに、ハンドスキャナキャリーバックを接続して入力したい原稿を選びます。(☛P152)

●ビデオキャプチャユニットで読み取った画像をパソコンに入力するときは
手順1で原稿をセットする代わりに、ビデオキャプチャユニットをつないで入力したい画像を選びます(☛P147)。入力される画像は白黒です。

●画質を選択するには
手順1のあとに画質選択ボタンを押して適切な画質を選びます。
原稿の画質を選ぶには(☛P40)

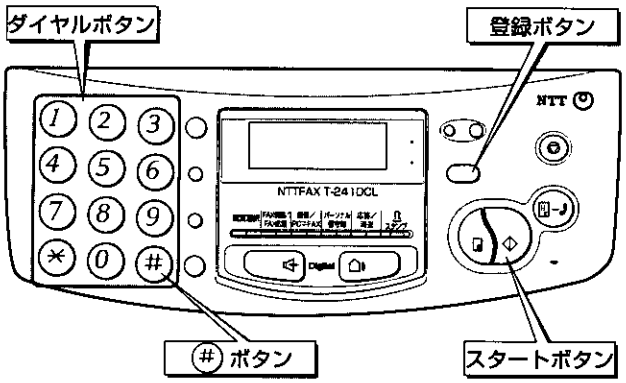
●スキャナとして使っているときに電話がかかってきたときは
ハンドセットを取りあげてお話しします。ファクス本体の着信音だけが鳴ります。
ただし、ハンズフリー通話をしたり、保留／転送などの機能や、ファクスの送受信はできません。また、ダイヤルイン機能を使用しているときは、ハンドセットを取りあげてもお話しできません。

●途中で操作を止めるには
ストップボタンを押します。

お知らせ

●ファクス本体と接続した状態でも、パソコンまたは電子手帳などから外線へ電話してパソコン通信したり、ファクスを送信することもできます。

いろいろな機能を登録・設定するには （ユーザセレクト）



お買い求め時は［　　］に設定されています。

設定項目	操作手順
＜在宅モード時のコール回数＞ ファクス受信に切り替わるまでの着信コール回数を設定することができます。着信コール回数を1～25回までで設定する方法と無制限に着信音を鳴らす方法があります。	登録 ハンドコピー設定 → #（5回押す） → スタート → 01：ザ イタクシ゛ コールスウ → スタート
＜在宅モード／ノンコールモード時の相手への応答メッセージ＞ 電話に出なかったときに、固定応答メッセージを流してファクス受信に切り替えます。	登録 ハンドコピー設定 → #（5回押す） → スタート → # → 02：オウトウメッセージ → スタート
＜オートカッター＞ ファクス受信やコピーが終わると自動的に記録紙をカットします。	登録 ハンドコピー設定 → #（5回押す） → スタート → #（4回押す） → 05：オートカッター → スタート
＜画質優先選択＞ 送信時に画質選択ボタンを押さなくても、自動的に設定した画質で送信されます。	登録 ハンドコピー設定 → #（5回押す） → スタート → #（5回押す） → 06：ガ゛シツ ユウセン → スタート
＜セレクト受信＞ 登録した番号からのファクスだけを受信することができます。	登録 ハンドコピー設定 → #（5回押す） → スタート → #（6回押す） → 07：セレクト ジ゛ュシン → スタート
＜迷惑FAX防止＞ ファクスを受けたくない相手の電話番号を5件まで登録して、その相手の方からのファクスが受信できないようにします。	登録 ハンドコピー設定 → #（5回押す） → スタート → #（7回押す） → 08：メイワクFAXホ゛ウシ → スタート #で選ぶ → 1：相手先リスト → スタート #で選ぶ → 2：機能設定 → スタート
＜ペーパーセーブ受信＞ 感熱記録紙を節約するために、縦方向に50%縮小してファクスを受信します。 ペーパーセーブ受信ができるのは、相手の方が画質選択を「標準」で送信してきた場合に限ります。	登録 ハンドコピー設定 → #（5回押す） → スタート → #（8回押す） → 09：ペ゛ーパ゛ーセーブ゛ → スタート

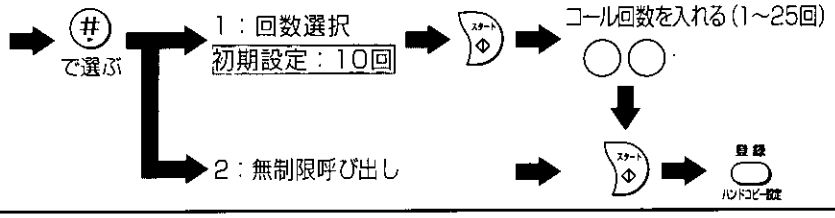
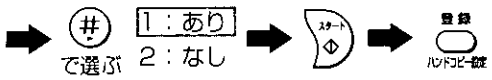
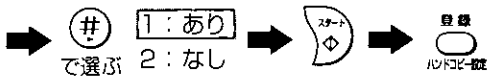
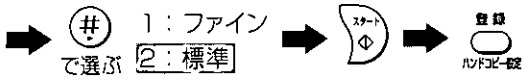
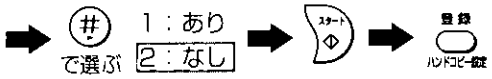
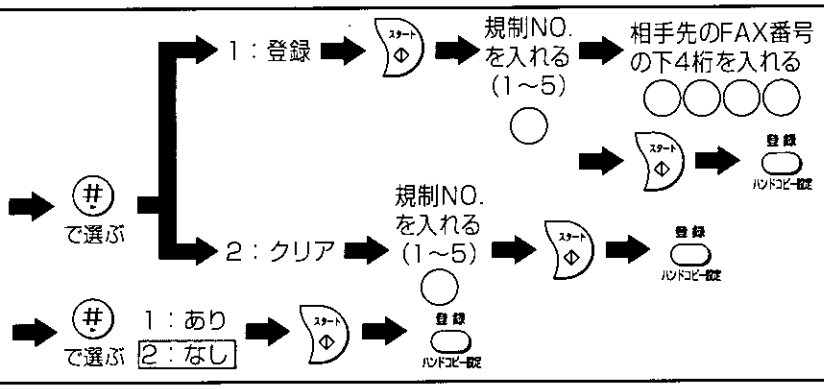
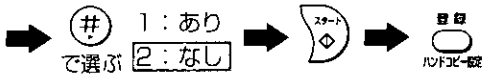
ワンポイント

●入力を間違えたときは

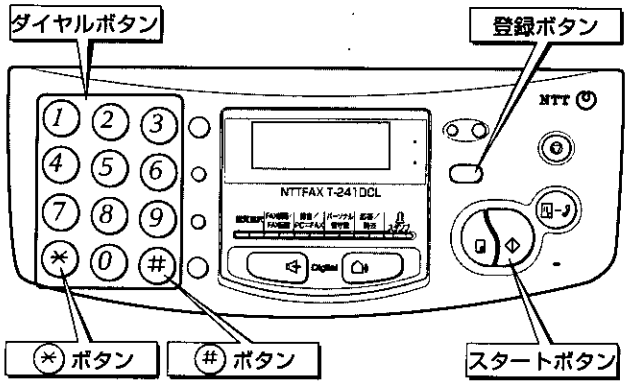
ストップボタンを押して入力し直します。

●登録した内容を確認するには

プリントモードの登録設定リストを印刷します。(☛P122)

	はたらき
	お買い求め時は10回に設定されています。 回数選択　：着信音の回数を1回から25回の間で設定します。設定回数の着信音が鳴り終わったら、相手に応答メッセージを流します。 無制限呼び出し：着信音が鳴り続けます。
	あり：留守セットしなくても、着信音のあとに応答メッセージを流します。(☛P53,139) なし：着信音のあとにファクス受信に切り替わります（在宅時の留守録がなしのとき）。
	あり：ファクス受信やコピーが終わると自動的に記録紙をカットします。 なし：記録紙をカットしません。
	ファイン：「ファイン」を自動的に選びます。 標準　：「標準」を自動的に選びます。
	あり：電話帳の登録者からのファクスだけを受信します（自動受信時のみ）。 なし：すべてのファクスを受信します。
	**相手先リスト** 登録　：ファクスを受信したくない相手の方の電話番号の下4桁を登録します。 クリア：登録した番号を消去します。 **機能設定** あり：相手先リストに登録したファクス番号を受信しません。 なし：すべてのファクスを受信します。
	あり：縦方向に50%縮小してファクスを受信します。 なし：縮小しません。

いろいろな機能を登録・設定するには　（ユーザセレクト）



お買い求め時は［　　］に設定されています。

設定項目	操作手順
<通信結果表印字> 通信結果表を印刷する条件を設定します。	登録 ハンドコピー設定 → (#) 5回押す → スタート → (#) 9回押す → 10:ツウシン ケッカヒョウ
<ノンコール着信> 着信音を鳴らさずにファクスを受信することができます。(在宅モード時)	登録 ハンドコピー設定 → (#) 5回押す → スタート → (#) 10回押す → 11:ノンコール チャクシン
<ノンコールモード時のコール回数> ノンコール着信を設定したときの電話の着信コール回数を設定します。 お買い求め時は、「7回」に設定されています。	登録 ハンドコピー設定 → (#) 5回押す → スタート → (#) 11回押す → 12:ノンコールシ゛ コールスウ
<リモート受信番号> コードレス電話機の操作でファクスを受信するときの番号を設定します。 0～2、4～8の1桁が入力できます。 お買い求め時は、「受信番号5」に設定されています。	登録 ハンドコピー設定 → (#) 5回押す → スタート → (#) 12回押す → 13:リモート バ゛ンゴ゛ウ
<着信音選択> 着信音の種類を、「電話ベル音」「鳥の声」「電子音」の中から選びます。	登録 ハンドコピー設定 → (#) 5回押す → スタート → (*) 12回押す → 14:ヨビ゛ダ゛ シオン
<通信／コピー終了音選択> ファクス送受信やコピーを終了したときの音を、「鳥の声」「音声」「アラーム音」「なし」から選びます。	登録 ハンドコピー設定 → (#) 5回押す → スタート → (*) 11回押す → 15:シュウリョウオン
<音声ガイダンス> ファクスの送受信の操作方法を音声でお知らせします。	登録 ハンドコピー設定 → (#) 5回押す → スタート → (*) 10回押す → 16:オンセイ ガ イダ゛ンス

ワンポイント

●入力を間違えたときは

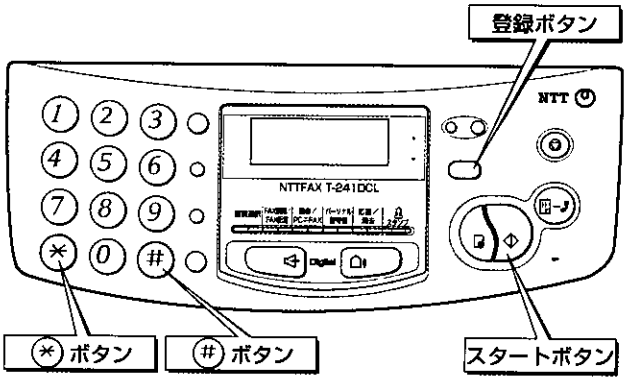
ストップボタンを押して入力し直します。

●登録した内容を確認するには

プリントモードの登録設定リストを印刷します。(☛P122)

	はたらき
→ スタート → (#) で選ぶ 1：なし 2：送信時のみ [3：エラー時のみ] 4：全通信 → スタート → 登録 ハンドコピー/設定	なし：通信結果表を印刷しません。 送信時のみ：ファクス送信時のみ印刷します。 エラー時のみ：送受信時にエラーが発生したときのみ印刷します。 全通信：送信、または受信するたびに印刷します。
→ スタート → (#) で選ぶ 1：あり [2：なし] → スタート → 登録 ハンドコピー/設定	あり：相手が自動送信でファクスを送ってきたとき、着信音を鳴らさずに受信します。 なし：着信音が鳴ります。
→ スタート → コール回数を入れる(4～25回) ○○ → スタート → 登録 ハンドコピー/設定	ノンコール着信にしたとき、相手が電話のときは、設定した回数の着信音が鳴ります。4回から25回の間で設定します。
→ スタート → 受信番号を入れる (0～2、4～8) ○ → 登録 ハンドコピー/設定	――
→ スタート → (#) で選ぶ [1：電話ベル音] 2：鳥の声 3：電子音 → スタート → 登録 ハンドコピー/設定	電話ベル音：ベル音でお知らせします。 鳥の声：鳥の声でお知らせします。 電子音：電子音でお知らせします。 ノンコール着信のときは、「電話ベル音」になります。
→ スタート → (#) で選ぶ [1：鳥の声] 2：音声 3：アラーム音 4：なし → スタート → 登録 ハンドコピー/設定	鳥の声：鳥の声でお知らせします。 音声：音声でお知らせします。ただしコピー終了時は鳥の声になります。 アラーム音：「ピー」という音でお知らせします。 なし：終了音を鳴らしません。 ノンコール着信のときは終了音を鳴らしません。また、通信エラーがあったときは、「鳥の声」や「アラーム音」に設定しても「音声」でお知らせします。
→ スタート → (#) で選ぶ [1：あり] 2：なし → スタート → 登録 ハンドコピー/設定	あり：操作を音声でお知らせします。 なし：操作を音声で流しません。

いろいろな機能を登録・設定するには （ユーザセレクト）



お買い求め時は［　　］に設定されています。

設定項目	操作手順
＜おまかせ受信（ファクス本体／コードレス電話機）＞ 自動送信で送られてきたファクスを、自動的にファクス受信に切り替えることができます。	登録 ハンドコピー設定 ➡ (#) 5回押す ➡ スタート ➡ (*) 9回押す ➡ 17:オマカセ ジュシン
＜ディスプレイ操作表示切替時間＞ 操作しているときに、液晶ディスプレイ表示を何秒間隔で切り替えるかを設定します。	登録 ハンドコピー設定 ➡ (#) 5回押す ➡ スタート ➡ (*) 8回押す ➡ 18:ヒョウジ キリカエ
＜パソコンモード時のダイヤルトーン送出時間＞ パソコンと接続して使うときに、ダイヤルトーンを送出します。	登録 ハンドコピー設定 ➡ (#) 5回押す ➡ スタート ➡ (*) 6回押す ➡ 20:PCリンクジ トーン
＜子機インフォメーション＞ コードレス電話機からのファクス受信時（リモート操作）に、終了やエラーの音声ガイダンスを流します。	登録 ハンドコピー設定 ➡ (#) 5回押す ➡ スタート ➡ (*) 3回押す ➡ 23:コキ インフォメーション
＜ユーザセレクト初期化＞ ユーザセレクトの設定を、すべてお買い求め時の状態に戻します。	登録 ハンドコピー設定 ➡ (#) 5回押す ➡ スタート ➡ (*) 2回押す ➡ 24:ユーザ ーセレクトショキカ
＜登録内容クリア＞ 登録した名前や電話番号などを一度にすべてを消去します。	登録 ハンドコピー設定 ➡ (#) 5回押す ➡ スタート ➡ (*) ➡ 25:トウロクナイヨウ クリア

ワンポイント

●入力を間違えたときは

ストップボタンを押して入力し直します。

●登録した内容を確認するには

プリントモードの登録設定リストを印刷します。(☛P122)

●ファクス専用にするには

次の4つの設定でファクス専用としてお使いになれます。

・「ノンコール着信」を「なし」にします。(☛P160)
・「在宅モード時のコール回数」を「1回」にします。(☛P158)
・「在宅時の応答メッセージ」を「なし」にします。(☛P158)
・「在宅時の留守録」を「なし」にします。(☛P112)

この設定を行うと、電話がかかってきたとき、すぐにファクス受信となりますので、相手の方とお話しができなくなります。

	はたらき
→ スタート → (#) で選ぶ 1：あり / 2：なし → スタート → 登録 ハンドコピー設定	あり：「ポー・ポー・ポー・」という音（ファクスの自動送信音）が鳴ると、ファクス受信します。 なし：「ポー・ポー・ポー・」という音や「ピー」という音が鳴っても、ファクスに切り替わりません。
→ スタート → (#) で選ぶ 1：2秒 / 2：3秒 / 3：5秒 → スタート → 登録 ハンドコピー設定	2秒：表示が2秒間隔で切り替わります。 3秒：表示が3秒間隔で切り替わります。 5秒：表示が5秒間隔で切り替わります。
→ スタート → (#) で選ぶ 1：3秒 / 2：6秒 / 3：10秒 / 4：送出なし → スタート → 登録 ハンドコピー設定	3秒　：ダイヤルトーンを約3秒間送出します。 6秒　：ダイヤルトーンを約6秒間送出します。 10秒　：ダイヤルトーンを約10秒間送出します。 送出なし：ダイヤルトーンを送出しません。
→ スタート → (#) で選ぶ 1：あり / 2：なし / 3：エラー時のみ → スタート → 登録 ハンドコピー設定	1：あり　：終了やエラーの音声ガイダンスを流します。 2：なし　：終了やエラーの音声ガイダンスを流しません。 3：エラー時のみ：エラーがあったときだけ音声ガイダンスを流します。
→ スタート → (#) で選ぶ 1：しない / 2：する → スタート → 登録 ハンドコピー設定	しない：設定した状態のままにします。 する　：ユーザセレクトの設定、留守録モードの設定（暗証番号を除く）をお買い求め時の状態に戻します。ただし、迷惑FAX防止の設定はそのままです。
→ スタート → (#) で選ぶ 1：しない / 2：する → スタート → 登録 ハンドコピー設定	しない：設定した状態のままにします。 する　：登録した発信元名、発信元番号、電話帳、録音、FAX伝言、FAX情報、スタンプ、迷惑FAXの相手先リスト、留守録モードの暗証番号、ダイヤルインの設定などを消去します。

外の方とのお話しを録音するには（通話録音）

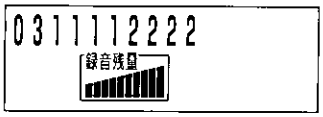
ハンドセットを取りあげて通話している場合、その内容を録音することができます。大事な内容のときなど、あわててメモ帳を用意しなくても通話後、聞くことができます。録音できる時間は約14分、30件まで（用件、オリジナル応答メッセージの録音時間も含む）です。録音された内容は、用件録音と同じ1件と数えられます。

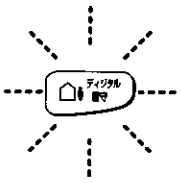
1 ハンドセットでお話し中に、録音ボタンを押します。

電話の相手と話している内容が録音されます。

2 録音を止めるときは、ストップボタンを押します。

ディジタル留守ランプが点滅します。





ハンドセットを置いて録音を止めることもできます。

ワンポイント

●録音した内容を聞くには

お話しを終えたあと、ハンドセットを置いたまま、(2 ABC) （再生）を押します。

●通話録音できるのは

ハンドセットで通話しているときのみ通話録音できます。ハンズフリー通話やコードレス電話機では通話録音できません。

お知らせ

●内線通話中、ドアホン通話中は、通話録音できません。

●通話録音中に保留ボタンを押すと、録音が止まります。ハンドセットを置いて通話を終えると録音は自動的に止まります。録音が終わったら、日付／時刻／件数が自動的に録音されます（日時スタンプ機能）。

●録音中に録音時間がいっぱいになると、録音を停止し、液晶ディスプレイに「メモリ　ガ　イッパイデス」と表示されます。

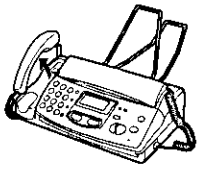
伝言を録音するには　（伝言メモ）

メッセージを録音して、家族への伝言として利用することができます。録音できる時間は約14分、30件まで（用件、オリジナル応答メッセージの録音時間も含む）です。録音された内容は、用件録音と同じく1件と数えられます。

ファクス本体から伝言を録音する

1 ハンドセットを取りあげます。

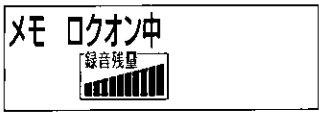
ディスプレイが点灯し、「ツー」という発信音が聞こえます。



2 録音ボタンを押します。

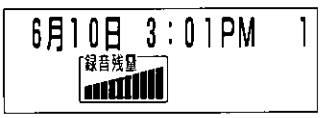
録音が開始されます。

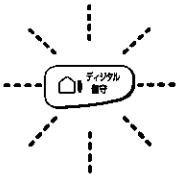
3 伝言メッセージを話します。



4 録音を止めるときは、ストップボタンを押します。

ディジタル留守ランプが点滅し、日付・時刻表示に戻ります。





5 ハンドセットを置きます。

ワンポイント

●**ファクス本体で用件を聞くには**

ハンドセットを置いたまま、(2 ABC) （再生）を押して用件を聞きます。

●**用件再生中にできる操作は**

再生速度を変える　(2 ABC) （再生）を押す
早聞き→遅聞き→元に戻る→早聞き→遅聞き・・・・

次の用件に移る　(3 DEF) （送り）を押す

今聞いている用件を聞き直す　(1) （戻し）を押す

前の用件に戻る　(1) （戻し）を2回押す

●**再生を中止するには**

ストップボタンを押します。

●**用件再生中に電話がかかってきたら**

再生が止まり、着信音が鳴りますので、ハンドセットを取りあげてお話しできます。

お知らせ

●録音が終わったら、日付、時刻、件数が自動的に録音されます（タイムスタンプ）。

●録音中に録音時間がいっぱいになると、録音を停止し、液晶ディスプレイに「メモリ　ガ　イッパイデス」と表示されます。

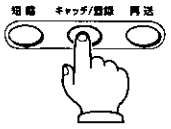
伝言を録音するには　（伝言メモ）

コードレス電話機から伝言を録音する

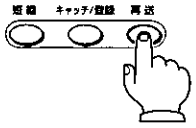
1 充電器から取りあげて、(切)ボタンを押します。

充電器から外しているときは(切)ボタンを押します。

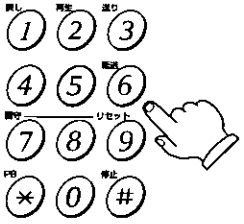
2 登録ボタンを押します。



3 再送ボタンを押します。

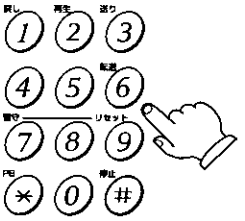


4 (5)を押します。



5 伝言メッセージを話します。

6 録音を止めるときは、(#)ボタンを押します。



7 充電器に置きます。

充電器に置かないときは、(切)ボタンを押します。

ワンポイント

●録音した内容を聞くには

①充電器から取りあげて(切)ボタンを押す
②登録ボタンを押す
③再送ボタンを押す
④(2)を押す（止めるときは(#)ボタンを押す）
⑤充電器に置く

●用件再生中にできる操作は

次の用件に移る	(3)（送り）を押す
今聞いている用件を聞き直す	(1)（戻し）を押す
前の用件に戻る	(1)（戻し）を2回押す

●再生を中止するには

(#)（停止）ボタンを押します。

●用件再生中に電話がかかってきたら

再生を停止して着信音が鳴りますので、(通話)ボタンを押すとお話しできます。

お知らせ

●録音中に録音時間がいっぱいになると、録音を停止します。
●録音が終わったら、日付、時刻、件数が自動的に録音されます（タイムスタンプ）。
●録音された内容は、用件録音と同じく1件として数えられます。
●コードレス電話機からの伝言録音は、そのコードレス電話機が内線操作BOX設定（☛P168）で設定しているパーソナルBOX番号に録音されます。例えばコードレス電話機（内線2）からBOX2を操作できるように設定している場合は、コードレス電話機(内線2)から再生の操作をするとBOX2が再生され、録音の操作をするとBOX2に録音されます。お買い求めの時は一般録音の設定になっています。

自分専用の留守録として使うには（パーソナル留守録／音声伝言板）

家族ひとりひとりが留守番BOX番号2～5（BOX1は一般録音）を持ち、自分専用の留守録やメッセージを録音して家族や友達への伝言として使うことができます。また、一般録音と同じように用件を転送することができます。
パーソナルBOXの用件は暗証番号を入れないと聞くことができないので、プライバシーを守ることができます。

パーソナルBOXとは

パーソナルBOXにはBOX番号2～5までの4つのBOXがあり、一般録音と同じように伝言や用件を録音することができます。（☛P171、172）
パーソナルBOXを利用するにはBOXごとに暗証番号の登録が必要です。（☛P116）

こんなときにつかいます

家族でパーソナルBOXを利用する

家族ひとりひとりが留守番BOX番号2～5を持ち、自分専用の留守録や伝言板として使うことができます。
パーソナルBOXの用件は暗証番号を入れないと聞くことができないので、プライバシーを守ることができます。（☛P168）

伝言や用件を整理して録音する

伝言や用件の種類によってBOXを区別して録音すると、伝言や用件を整理することができます。
たとえば、BOX番号2をビジネスで利用してBOX番号3をプライベートな用件に利用するといった使い方ができます。

留守セットします。
↓
外出します。
↓
留守中に電話がかかると、応答メッセージが流れます。
↓
パーソナルBOXのBOX番号（2～5）を指定してもらいます。
↓
用件が録音されます。
↓
帰宅したら暗証番号を入力して、パーソナルBOXの用件を聞きます。

ワンポイント

●ファクス本体でパーソナルBOXの用件を聞くには
パーソナルBOXのBOX番号と暗証番号を入力して聞きます。（☛P173）

●コードレス電話機でパーソナルBOXの用件を聞くには
内線操作BOXの設定で設定したコードレス電話機でのみ聞くことができます。（☛P173）
その場合、パーソナルBOXのBOX番号と暗証番号を入力する必要はありません。

●パーソナルBOXのすべての用件を消すには
①パーソナル留守録ボタンを押す
②BOX番号を押す
③消去ボタンを押す
④ スタート ボタンを押す

●用件を指定して消すには
消したい用件を再生中に消去ボタンを2回押します。

お知らせ

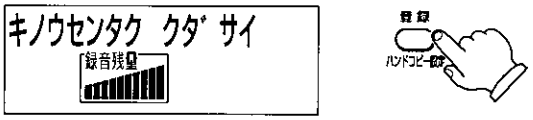
●パーソナル留守録の録音内容を聞くには、パーソナル留守録用の暗証番号を登録しておくことが必要です。（☛P116）
●パーソナル留守録用の暗証番号をクリアすると録音内容も消去されますので、ご注意ください。

自分専用の留守録として使うには（パーソナル留守録／音声伝言板）

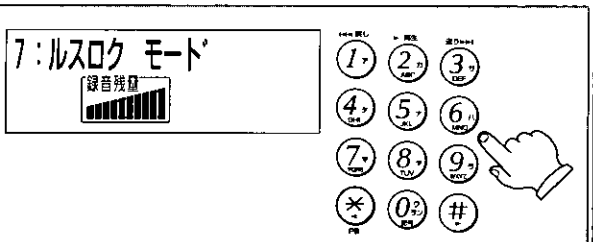
コードレス電話機から操作できるBOXを設定する

それぞれのコードレス電話機で再生、録音、転送セット／解除をするときに操作するBOXを設定します。
お買い求め時は、一般録音に設定されています。

1 ハンドセットを置いたまま、登録ボタンを押します。

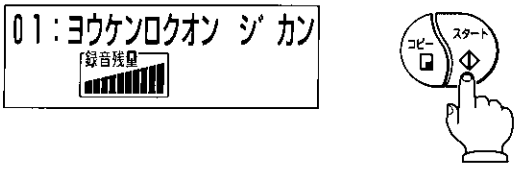


2 ＊ボタンを4回押します。

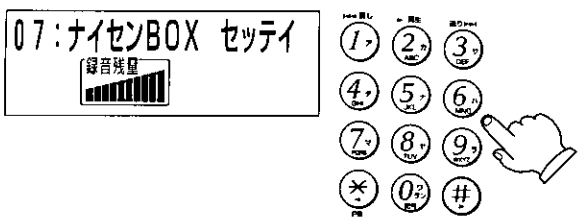


3 スタートボタンを押します。

留守録モードに設定されます。

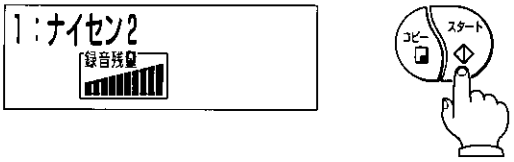


4 ＃ボタンを6回押します。

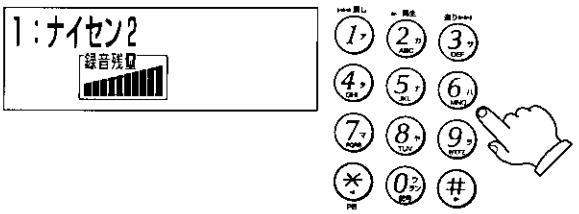


5 スタートボタンを押します。

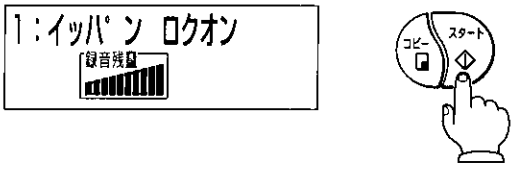
内線操作BOX設定モードに設定されます。



6 コードレス電話機を、＊ボタン／＃ボタンを押して選びます。



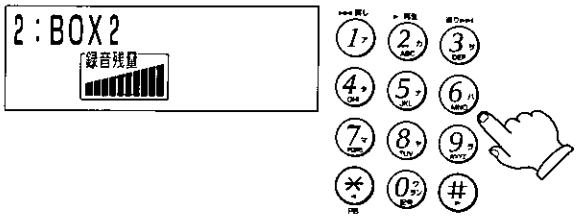
7 スタートボタンを押します。



8 選択したコードレス電話機の操作対象となるBOXを、＊ボタン／＃ボタンを押して選びます。

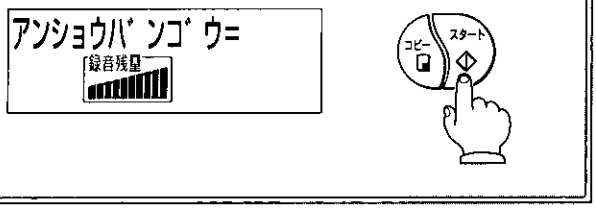
一般録音（BOX1）、BOX2～5を選択することができます。

例：BOX2を選んだとき

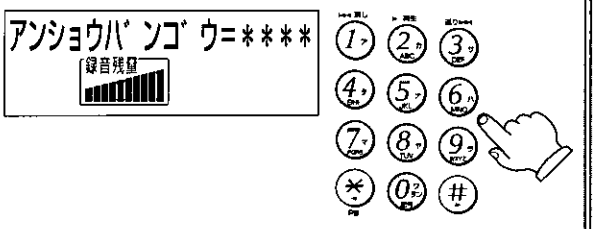


一般録音（BOX1）を選んだときは、手順10に進みます。

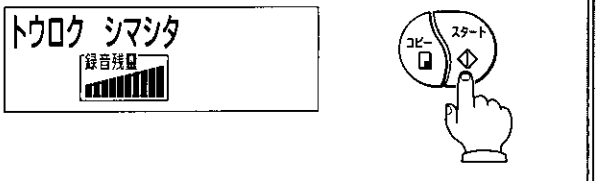
9 スタートボタンを押します。



10 選択したBOXに設定されている暗証番号（4桁の数字）を、ダイヤルボタンで押します。



11 スタートボタンを押します。



12 登録ボタンを押します。

日付・時刻表示に戻ります。

ワンポイント

●番号を間違えたときには

ストップボタンを押すたびに後ろから1文字ずつ消えます。正しい番号を入力します。

●内線操作BOXの設定を変更するには

もう一度設定（上書き）します。

お知らせ

●暗証番号を登録していないと、コードレス電話機から操作できるBOXを設定することはできません。あらかじめ暗証番号を登録してください。（☛P116）

●パーソナル留守録用の暗証番号をクリアすると録音内容も消去されますので、ご注意ください。

自分専用の留守録として使うには（パーソナル留守録／音声伝言板）

転送のしかた

転送とはパーソナルBOXに用件が録音されたことを、自動的に電話をかけて知らせる機能です。転送を行うには、パーソナルBOXに暗証番号を設定し、内線操作BOXの設定でパーソナルBOXに対応するコードレス電話機を登録しておくことが必要です。

用件転送機能のセット

パーソナルBOXに暗証番号を登録します。(☛116ページ)

↓

転送先の電話番号を登録します。(☛106ページ)
ポケットベルに転送する場合は、転送内容を登録します。(☛108ページ)

↓

内線操作BOX設定をします。(☛168ページ)

外出時

パーソナルBOXに対応したコードレス電話機から用件転送をセットします。(☛104ページ)

↓

留守セットします。

↓

外出します。

外出中

パーソナルBOXに用件が録音されます。

↓

録音終了後約10秒後に転送を開始します。

↓

転送先で電話を受けます。
「録音を転送します。(#)ボタンを押してください。」という音声ガイダンスが聞こえます。
ポケットベルに転送したときは呼び出しがあったら自宅に電話をかけてリモコン操作をします。

↓

外線リモコンで用件を聞きます。

帰宅時

転送を解除します。

ワンポイント

●転送するには

コードレス電話機の
①(切)ボタンを押す
②対応するコードレス電話機で登録ボタンを押す
③再送ボタンを押す
④(6)（転送）を押す
⑤(1)を押す

●転送を解除するには

コードレス電話機の
①(切)ボタンを押す
②対応するコードレス電話機で登録ボタンを押す
③再送ボタンを押す
④(6)（転送）を押す
⑤(2)を押す

お知らせ

●各パーソナルBOXへの転送設定はコードレス電話機で行ってください。

●コードレス電話機で転送をセットして外出したときは、帰宅時に、必ず転送を解除してください。転送設定が、されているかわからない時は、転送解除の操作を行って下さい。

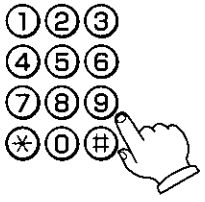
自分専用の留守録として使うには（パーソナル留守録／音声伝言板）

外の相手の方からパーソナルBOXに録音してもらう

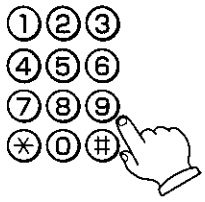
1 相手の方に電話をかけてもらいます。

2 応答メッセージが聞こえている間に、㊔ボタンを押してもらいます。

相手の方に「BOX番号に続けてシャープを押してください。」と音声ガイダンスが聞こえます。

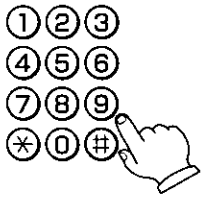


3 BOX番号（②～⑤）を、ダイヤルボタンで押してもらいます。



4 ㊕ボタンを押してもらいます。

「BOX△です。録音をどうぞ。」という音声ガイダンスが流れます。



5 用件を話してもらいます。

ワンポイント

●パーソナル留守録のリモコン操作方法を確認するには
プリントモードのパーソナル留守録リモコン方法を印刷します。（☛P122）

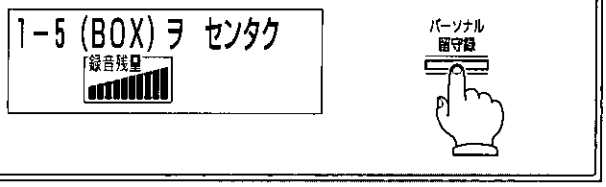
お知らせ

●録音された内容は、用件録音と同じく1件と数えられます。
●手順3でBOX番号1を指定すると、一般留守録に録音されます。

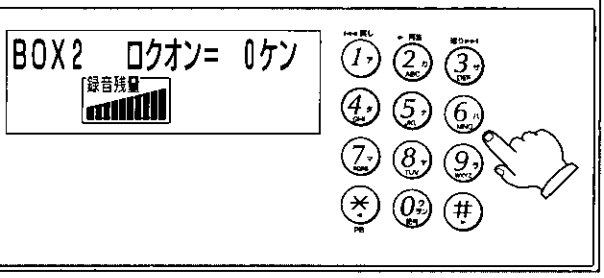
自分専用の留守録として使うには（パーソナル留守録／音声伝言板）

パーソナルBOXにファクス本体で伝言を録音する

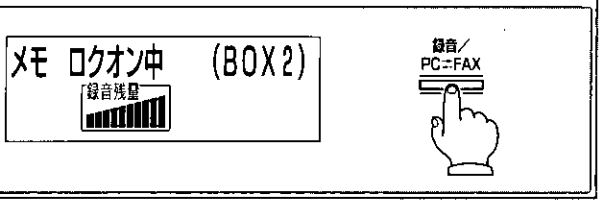
1 ハンドセットを取りあげて、パーソナル留守録ボタンを押します。



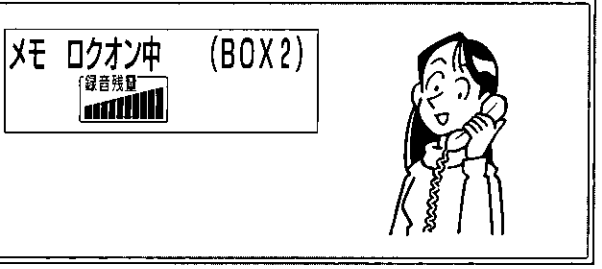
2 BOX番号（2〜5）を、ダイヤルボタンで押します。



3 録音ボタンを押します。

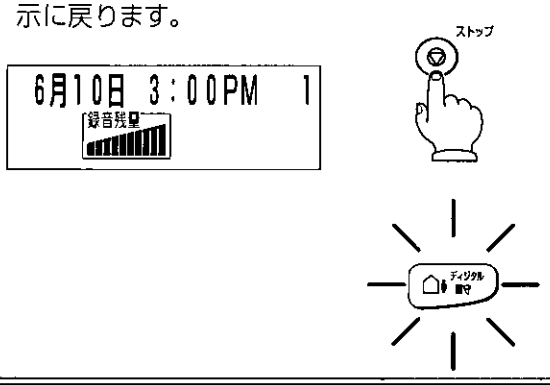


4 伝言メッセージを話します。



5 録音を止めるときは、ストップボタンを押します。

ディジタル留守ランプが点滅し、日付・時刻表示に戻ります。



6 ハンドセットを置きます。

ワンポイント

●**パーソナルBOXに通話録音するときは**

①通話中にパーソナル留守録ボタンを押す
②BOX番号（2〜5）を押す
③録音ボタンを押す（止めるときはストップボタンを押す）

●**録音した内容を聞くには**

①伝言を録音したあと、ハンドセットを置いたまま、パーソナル留守録ボタンを押す
②BOX番号（2〜5）を押す
③2を押す
④暗証番号を入力する（止めるときはストップボタンを押す）

●**コードレス電話機でパーソナルBOXに伝言を録音するには**

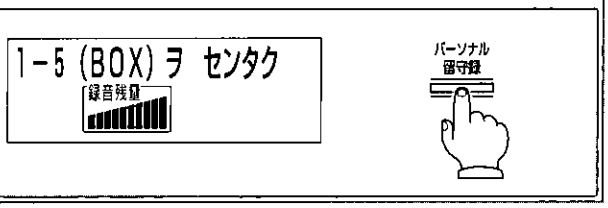
コードレス電話機からの伝言録音は、そのコードレス電話機か内線操作BOX設定で設定しているBOXに録音されます。お買い求め時は一般録音に録音される設定になっています。

お知らせ

●録音された内容は、用件録音と同じく1件と数えられます。
●録音が終わったら、日付／時刻／件数が自動的に録音されます（日時スタンプ機能）。
●留守にセットして操作を行わないと、外から音声伝言板の内容を聞くときに「新しい録音はありません。」という音声ガイダンスが流れます。
●録音中に録音時間がいっぱいになると、録音を停止し、液晶ディスプレイに「メモリ ガ イッパイデス」と表示されます。不要な録音内容を消去してください。

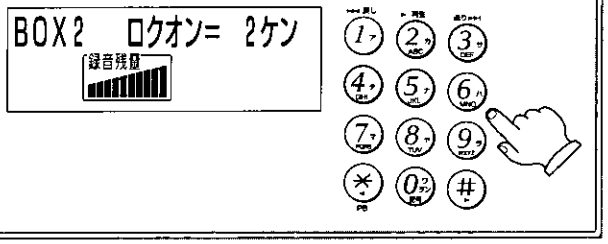
ファクス本体でパーソナルBOXの録音内容を聞く

1 ハンドセットを置いたまま、パーソナル留守録ボタンを押します。

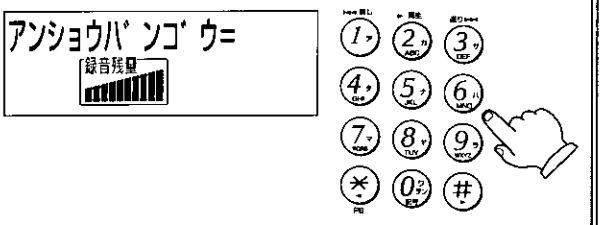


2 BOX番号（2〜5）をダイヤルボタンで押します。

例：BOX2を選んだとき

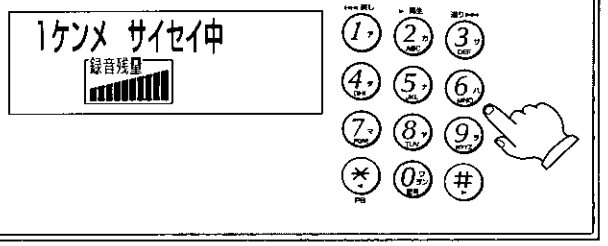


3 2（再生）を押します。



4 選んだBOXの暗証番号（4桁の数字）をダイヤルボタンで押します。

用件が再生されたあと、録音された日付と時刻を知らせます。用件が全部再生されると自動的に終了します。



ワンポイント

●パーソナルBOXに録音された用件を再生もしくは消去する為には、パーソナルBOXの暗証番号の登録が必要です。（☛P116）

●再生を中止するには

ストップボタンを押します。

●パーソナルBOXのすべての用件を消すには

①手順1〜2の操作をする

②消去ボタンを押す

③ スタート ボタンを押す

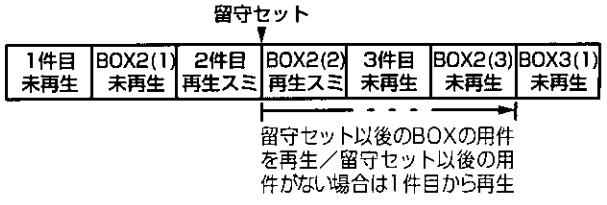
●用件を指定して消すには

消したい用件を再生中に消去ボタンを2回押します。

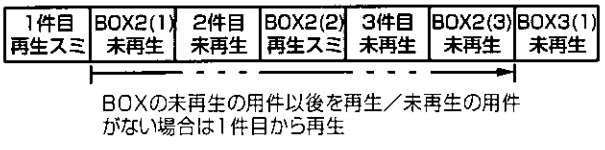
●パーソナル留守録の内容を聞くときは

本体が留守セットされているときに再生すると、留守セット以降に入った録音を一番古いものから順番に再生します。また、留守セットされていないときは、未再生の一番古い録音から、それ以降の録音を順番に再生します。

・留守セットしているとき



・留守セットしていないとき



●コードレス電話機でパーソナルBOXの録音内容を聞くには

コードレス電話機からの用件再生は、そのコードレス電話機が内線操作BOX設定で設定しているBOXに録音された用件が再生されます。お買い求め時は一般録音が再生される設定になっています。

お知らせ

●各BOXの暗証番号を消去すると各BOXすべてのメッセージが消えてしまいます。録音状態を録音リスト（☛P122）で確認してから消してください。

外出先からパーソナルBOXの用件や伝言を聞くには（リモコン操作）

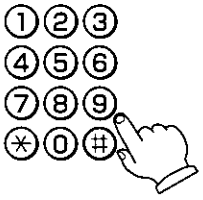
外出先から暗証番号を使って、留守中に録音されているパーソナルBOXの用件を聞きます。続けて、用件を消去するなどのリモコン操作もできます。

1 自宅に電話をかけます。

電話がつながると応答メッセージが聞こえます。

2 応答メッセージが聞こえている間に ⑭ ボタンを押します。

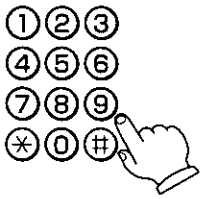
応答メッセージが止まるまで長めに押します。



「暗証番号とシャープを押してください。」という音声ガイダンスが聞こえます。

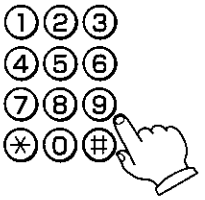
3 音声ガイダンスが終わったら、BOX番号（②～⑤）をダイヤルボタンで押します。

4 選んだBOXの暗証番号（4桁の数字）をダイヤルボタンで押します。

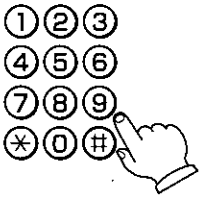


5 ⑭ ボタンを押します。

音声ガイダンスが聞こえます。



6 音声ガイダンスが終わったら、②、⑭ ボタンを押します。



続けてリモコン操作を行うことができます。

7 リモコン操作が終わったら電話を切ります。

ワンポイント

●一般用件とBOX2～5を切り替えるには

停止中に　⑦、②、＃ボタンを押す

●用件を聞いたあと、続けて返事を録音するには

停止中に　⑤、＃ボタンを押す

●用件再生中にできる操作は

再生を止める　⓪、＃ボタンを押す

再生速度を変える　②、＃ボタンを押す

早聞き→遅聞き→元に戻る→早聞き→遅聞き‥‥

次の用件に移る　③、＃ボタンを押す

今聞いている用件を聞き直す　①、＃ボタンを押す

前の用件に戻る　①、＃、①、＃ボタンを押す

●そのほかにリモコン操作でできること

転送をセットする　⑥、①、＃ボタンを押す

転送を解除する　⑥、②、＃ボタンを押す

留守をセットする　⑦、＃ボタンを押す

留守を解除する　⑨、＃ボタンを押す

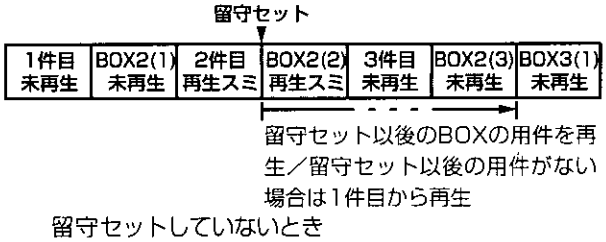
用件録音をする　⑤、＃ボタンを押す

全用件を消去する（停止中に）　⑧、①、＃ボタンを押す

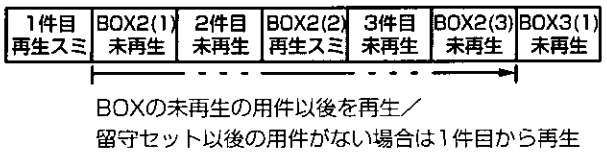
●パーソナル録音の内容を聞くときは

本体が留守セットされているときに再生すると、留守セット以降に録音された用件を一番古いものから順番に再生します。また、留守セットされていないときは、未再生の一番古い用件から、それ以降の用件を順番に再生します。

留守セットしているとき



留守セットしていないとき



お知らせ

- 暗証番号を押すときに約10秒以上間をあけると「ピピピピ」という音が聞こえます。手順3からやり直してください。
- トールセイバを設定していると、留守セット時に着信音が2回鳴ってもつながらないときは、新しく録音されていないことがわかります。このとき3回目の着信音が鳴ったらすぐに電話を切ると通話料金がかかりません。（☛P112）
- ファクス受信に切り替わったあとではリモコン操作はできません。

STOP お願い

●暗証番号を知らない人でも、偶然番号が合い盗聴されることがあります。機密の連絡用としてではなく、便利な伝言板としてお使いになることをおすすめします。

●操作は1分未満に行ってください（約1分以上間をあけると電話が切れます）。

ダイヤルインサービスを利用するには

NTTのダイヤルインサービス（有料）を契約すると、１つの電話回線でファクス番号１つと電話番号5つの合計6つの番号を設定することができます。相手にファクス専用の番号を知らせておくと、相手からファクスが送られてきたときは、ファクス専用の着信音を鳴らしたり、電話専用番号の種類によって着信音を鳴らす内線電話機を変えたりすることができます。ダイヤルインサービスはNTTとの契約が必要です。また、受けられない局番（地域）もありますので、詳しくはNTT窓口にお問い合わせください。

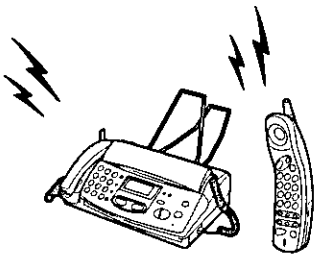
ダイヤルインサービスとは

ファクス番号　03-1111-2222
電話番号　　03-1111-2223　のとき

相手側

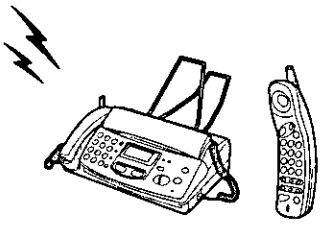
相手が（03-1111-2223へ）
電話をかけている

こちら側



相手と話したあとファクスに切り替えることもできます。
コードレス電話機の着信音は鳴ります。

相手が（03-1111-2222へ）
ファクスを送ろうとしている



ファクス受信に切り替わります。
着信音は電話のときの着信音と変えることができます。また鳴らさないようにすることもできます。（☛P184）
コードレス電話機の着信音は鳴りません。

STOP お願い

- 他の電話機などとブランチ式（並列）接続すると、正常に動作しなくなりますので、接続しないでください。
- ダイヤルイン機能を利用する場合は、NTTサービスのうちキャッチホン、転送電話、二重番号、トリオホンがご利用になれません。Ｆネットを契約される場合にも一部制約を受けることがあります（詳しくは、お近くのNTTにお問い合わせください）。
- １つの電話回線ですからファクス送受信と同時に電話をかけたり受けたりすることはできません。
- NTTのISDNネットをご利用の場合は、このファクスのダイヤルイン機能は使用できません。ご利用にあたっては、ISDNアダプタの仕様に従ってください（詳しくはISDNアダプタメーカにお問い合わせください）。

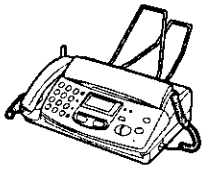
ワンポイント

- **電話番号（主契約番号）を電話のみで使用するには**
  ユーザセレクトの在宅モード時のコール回数を25回にすると便利です。（ダイヤルインサービスをご利用の場合は、無制限呼び出しは働きません。）（☛P158）

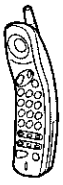
ダイヤルイン留守録とは

ダイヤルイン番号の設定（☛P178）と内線操作BOXの設定（☛P168）を行うと、ダイヤルイン留守録を利用できるようになります。ダイヤルイン留守録では、ダイヤルイン番号に電話をかけてきた方が直接パーソナルBOXに用件を録音することができます。

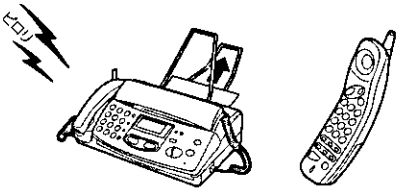
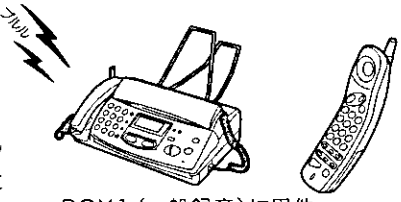
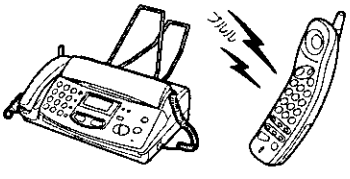
例）3つの番号を設定する



ファックス番号
(FAX) 03-1111-2222
電話番号
(TEL1) 03-1111-2223



電話番号（TEL2）03-1111-2224

相手側		こちら側	
相手が（03-1111-2222へ）ファックスを送ろうとしている			ファックス受信に切り替わります。着信音は電話のときの着信音と変えることができます。また鳴らさないようにすることもできます。（☛P184）コードレス電話機の着信音は鳴りません。
相手が（03-1111-2223へ）電話をかけている	留守にセットしておくと（転送もセットできます）	 BOX1（一般録音）に用件が録音されます。（転送がセットされているとその後転送されます。）	帰宅後 → 留守／転送を解除します。留守中の録音を再生します。（ファックス本体でBOX2の録音内容を暗証番号を入力して再生することもできます。） 転送後 → 録音された用件を外出先で再生できます。（その他の外線リモコンの操作もできます。）
相手が（03-1111-2224へ）電話をかけている 内線操作BOXの設定で、内線2のBOX番号をBOX2に設定しておきます。（暗証番号を入力せずに、コードレス電話機でBOX2の録音内容を再生できます。）	留守にセットしておくと（コードレス電話機で転送もセットできます）	 BOX2に用件が録音されます。（転送がセットされているとその後転送されます。）	帰宅後 → 留守／転送を解除します。留守中の録音をコードレス電話機で再生します。 転送後 → 録音された内容を外出先で再生できます。（その後、各BOXの外線リモコン操作や一般録音の内容を再生することもできます。）

ワンポイント

- **ダイヤルイン留守録を利用するには**
  ダイヤルイン番号の設定（☛P178）と、内線操作BOXの設定（☛P168）が必要です。
- **相手の方に用件を録音してもらうには**
  ダイヤルイン番号に電話をかけてもらい、音声ガイダンスが流れたら相手の方に用件を話してもらいます。
- **用件を聞くには**
  パーソナルBOXの用件を聞く方法と同じです。（☛P173）

お知らせ

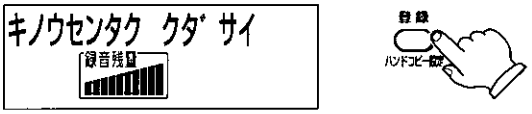
- パーソナルBOXとダイヤルイン番号の対応は下記のとおりです。対応を変えることはできません。
  TEL1：一般電話
  TEL2：BOX2
  TEL3：BOX3
  TEL4：BOX4
  TEL5：BOX5
  FAX　：FAX
- 内線操作BOXの設定でパーソナルBOXとコードレス電話機を登録しておくと、対応するコードレス電話機から暗証番号を入力せずに用件を聞くことができます。

ダイヤルインサービスを利用するには

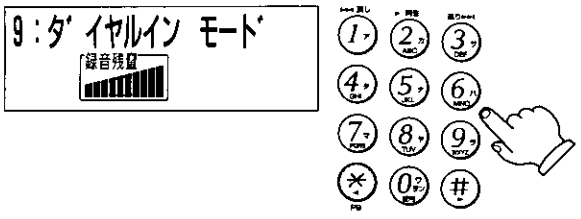
ダイヤルイン番号を登録する

ダイヤルインで使用する電話番号（TEL1～TEL5）とファクス番号を設定します。
ダイヤルイン機能を利用するには、ダイヤルイン番号の登録でファクス番号および電話番号を設定したあとダイヤルイン機能の設定（☛P180）で「使用する」を選択する必要があります。

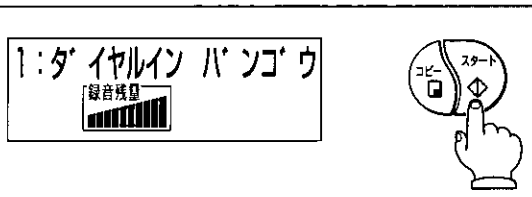
1 ハンドセットを置いたまま、登録ボタンを押します。



2 ＊ボタンを2回押します。

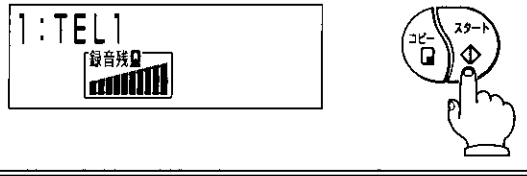


3 スタートボタンを押します。



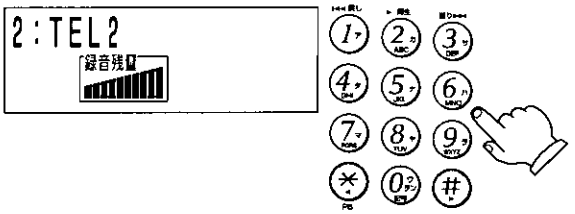
4 スタートボタンを押します。

ダイヤルインモードに設定されます。

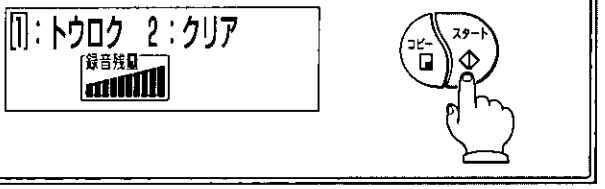


5 TEL1～TEL5とFAXを、＊ボタン／＃ボタンを押して選びます。

例：「TEL2」を選んだとき

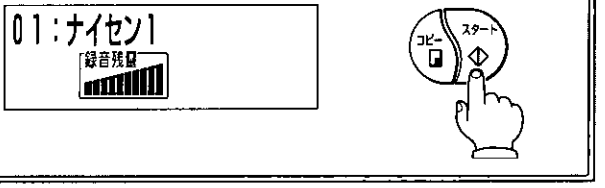


6 スタートボタンを押します。



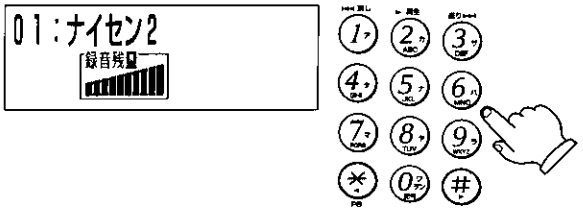
7 スタートボタンを押します。

ダイヤルイン番号の登録モードに設定されます。



8 選択したダイヤルインの対象となる電話を、＊ボタン／＃ボタンを押して選びます。

例：「内線2」を選んだとき

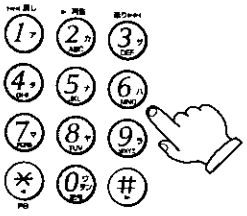


9 スタートボタンを押します。

TEL2 =　　(4ケタ)
録音残量

10 ダイヤルイン番号（下4桁）を、ダイヤルボタンで押します。

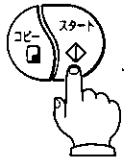
TEL2 =1234 (4ケタ)
録音残量



ダイヤルイン番号の間にスペースを入れることはできません。

11 スタートボタンを押します。

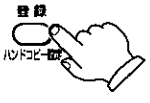
トウロク シマシタ
録音残量



12 登録ボタンを押します。

日付・時刻表示に戻ります。

6月10日 3:00PM
録音残量



ワンポイント

●入力を間違えたときには

ストップボタンを押すたびに後ろから1文字ずつ消えます。正しい番号を入力します。

●登録したダイヤルイン番号を消すには

①手順1～6の操作をする
②(#)ボタンを押して「クリア」を選ぶ
③スタートボタンを2回押す
④登録ボタンを押す

●ダイヤルイン番号を変更するには

登録した番号を一度消してからもう一度登録します。

●ファクスのダイヤルイン番号を登録するには

手順6の操作のあと、手順9に進みます。

お知らせ

●手順8でダイヤルイン対象となる電話機は下記の組み合わせより選択します。
その場合、選択された電話機でのみ呼出音が鳴り、電話に出ることができます。

01：ナイセン1（内線1のファクス本体）
02：ナイセン2（内線2のコードレス電話機）
03：ナイセン3（内線3のコードレス電話機）
04：ナイセン4（内線4のコードレス電話機）
05：ナイセン5（内線5のコードレス電話機）
06：ナイセン1～5
07：ナイセン2～5
08：ナイセン1、2
（ファクス本体と内線2のコードレス電話機）
09：ナイセン1、3
（ファクス本体と内線3のコードレス電話機）
10：ナイセン1、4
（ファクス本体と内線4のコードレス電話機）
11：ナイセン1、5
（ファクス本体と内線5のコードレス電話機）

STOP お願い

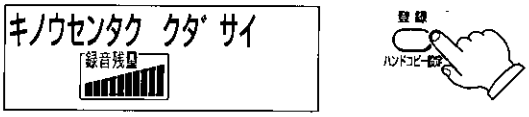
●ダイヤルイン番号を登録されている場合、主契約番号と副番号については、NTTにお問い合わせください。

ダイヤルインサービスを利用するには

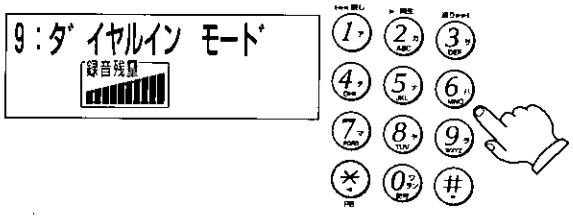
ダイヤルインサービスを利用する

ダイヤルイン機能を使用するかどうかを設定します。ダイヤルイン機能を利用するには、ダイヤルイン番号の登録（☛P178）でファクス番号および電話番号を設定した後、ダイヤルイン機能の設定で「使用する」を選択する必要があります。

1 ハンドセットを置いたまま、登録ボタンを押します。

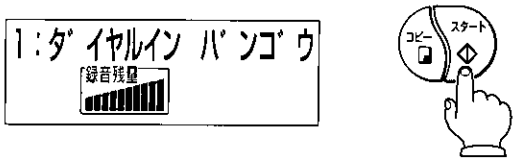


2 ✳ボタンを2回押します。

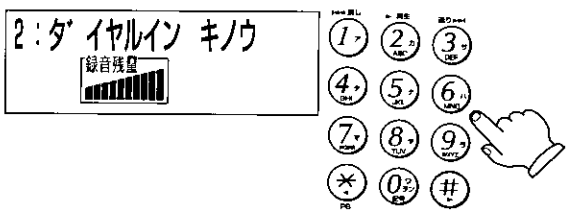


3 スタートボタンを押します。

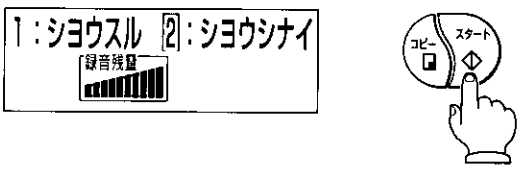
ダイヤルインモードに設定されます。



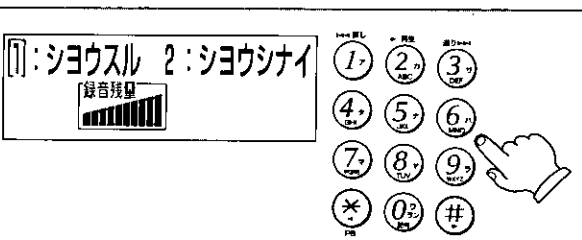
4 #ボタンを押します。



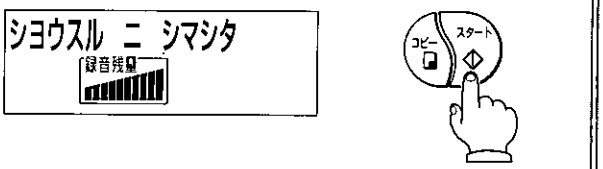
5 スタートボタンを押します。



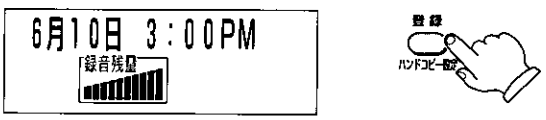
6 「ショウスル」を✳ボタン／#ボタンを押して選びます。



7 スタートボタンを押します。



8 登録ボタンを押します。



ワンポイント

●NTTとの契約がダイヤルインサービスになっているか確認するには

ダイヤルイン機能を「使用しない」に設定します。

↓

電話がかかってきたときに着信音が2回（約6秒以内）でハンドセットを取りあげます。

ダイヤルインサービスになっている場合は「ピッポッパッポッ」という音が鳴ります（ダイヤルインサービスになっていない場合は音が聞こえませんので、そのまま通話します）。

↓

続けて通話したいときは、ハンドセットを戻し、約1～2秒してもう一度ハンドセットを取りあげます。

↓

ダイヤルインサービスになっている場合はダイヤルイン機能を「使用する」に設定します。お買い求め時は、「使用しない」に設定されています。

お知らせ

●ダイヤルイン番号の登録をしないと、ダイヤルインを「使用する」に設定できません。

●ダイヤルインを「使用する」に設定すると、コードレス電話機の着信規制（☛P196）を設定することはできません。

STOP お願い

●ダイヤルインサービスを契約しないで、ダイヤルインを「使用する」に設定しないでください。電話が受けられなくなります。

ダイヤルインサービスを利用するには

ダイヤルイン留守録をする

ダイヤルインの登録をします。

ダイヤルイン番号を登録する方法（☛P178）

⇩

ダイヤルイン機能を設定します。

ダイヤルイン機能を「使用する」に設定します。（☛P180）

⇩

留守セットします。

外出するとき、ファクス本体またはコードレス電話機で留守セットします。（☛P98）

⇩

用件が録音されます。

外の方からTEL1に登録したダイヤルイン番号に電話がかかったときは一般録音に、TEL2～5に登録したダイヤルイン番号にかかってきたときはパーソナルBOX2～5に録音されます。

⇩

帰宅して用件を聞きます。

外出中に用件が録音されていると、ディジタル留守ランプが点滅しています。

一般録音に録音された用件を聞くには（☛P100）

パーソナルBOXの録音内容を聞くには（☛P173）

用件転送する

パーソナルBOXに暗証番号を設定します。(☛P116)

⇩

ダイヤルインの登録をします。

ダイヤルイン番号を登録する方法（☛P178）

⇩

内線操作BOXの設定をします。(☛P168)

⇩

用件転送をセットします。

外出するとき、ファクス本体やコードレス電話機で、転送セットします。

⇩

留守セットします。

外出するとき、ファクス本体またはコードレス電話機で留守セットします。

⇩

用件が録音されます。

外の方からTEL1に登録したダイヤルイン番号に電話がかかったときは一般録音に、TEL2～5に登録したダイヤルイン番号にかかってきたときはパーソナルBOX2～5に録音されます。

⇩

転送されます。

転送先で電話を受けて、外線リモコンで用件を聞きます。
ポケットベルに転送したときは、呼び出しがあったら自宅に電話をかけてリモコン操作をします。

ワンポイント

●留守中に録音された用件を再生するには

パーソナルBOXの用件を聞く手順と同じです。（☛P173）

●転送のセットは

一般録音のときはファクス本体の転送機能でセットされます。また、一般録音を操作できるようにセットされた（お買い求め時）コードレス電話機からもセットできます。パーソナルBOX2～5は各々の内線操作BOXの設定でセットされたコードレス電話機からのみ転送をセットできます。

●用件転送するには

内線操作BOXの設定で設定されたパーソナルBOXと対応するコードレス電話機の登録を行います。

●用件転送をセットするには

①内線操作BOXの設定で登録したコードレス電話機を充電器から取りあげて (切) ボタンを押す
②登録ボタンを押す
③再送ボタンを押す
④ (6) を押す
⑤ (1) を押す
⑥コードレス電話機を充電器に置く

●用件転送を解除するには

①内線操作BOXの設定で登録したコードレス電話機を充電器から取りあげて (切) ボタンを押す
②登録ボタンを押す
③再送ボタンを押す
④ (6) を押す
⑤ (2) を押す
⑥コードレス電話機を充電器に置く

●ポケットベルに転送するには

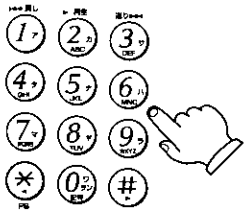
ポケットベルに送るデータの登録が必要です。（☛P108）

ダイヤルインサービスを利用するには

ファクスに切り替わるまでのコール回数を選ぶ

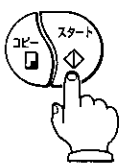
1 ハンドセットを置いたまま、登録ボタンを押します。

2 ＊ボタンを2回押します。

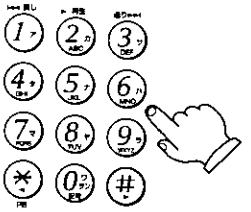


3 スタートボタンを押します。

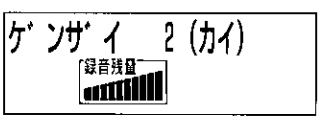
ダイヤルインモードに設定されます。



4 ＃ボタンを2回押します。

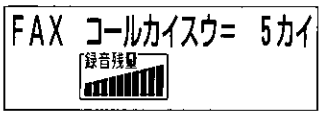


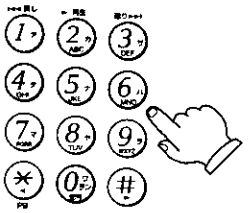
5 スタートボタンを押します。



6 呼出回数（0～6の1桁の数字）を、ダイヤルボタンで押します。

例：5回を選んだとき



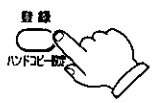


お買い求め時は2回に設定されています。

7 スタートボタンを押します。

8 登録ボタンを押します。

日付・時刻表示に戻ります。



ワンポイント

●**停電のときに電話を受けるには**

電話がかかってきたときに着信音が2回（約6秒以内）でハンドセットを取りあげると、ダイヤルインサービスになっている場合は「ピッポッパッポッ」という音が鳴ります。ダイヤルインサービスになっていない場合は、音が聞こえませんので、そのまま通話できます。

続けて通話したいときは、ハンドセットを戻し、約1～2秒してもう一度ハンドセットを取りあげます。

●**ダイヤルインの設定内容を確認するには**

登録設定リストを印刷します。（☛P122）

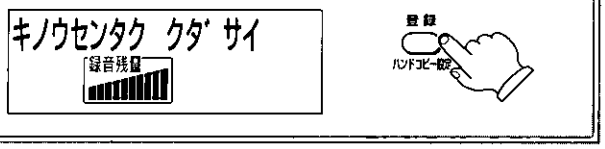
お知らせ

●コール回数を0回に設定するとファクス番号にかかってきたときは、着信音は鳴りません。

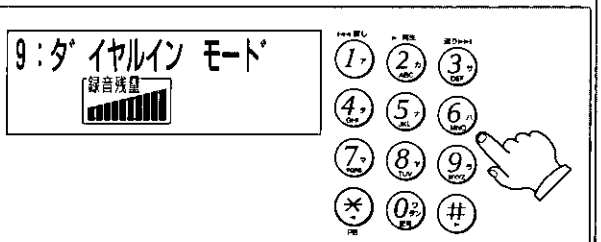
●ダイヤルイン番号が登録されていない場合はダイヤルイン機能は使えません。

ファクス番号にかかってきたときの着信音を選ぶ

1 ハンドセットを置いたまま、登録ボタンを押します。

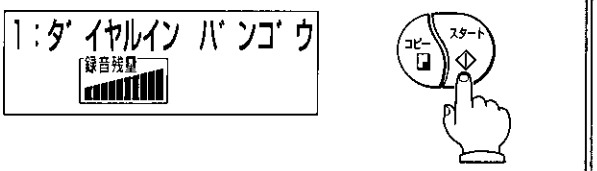


2 ＊ボタンを2回押します。

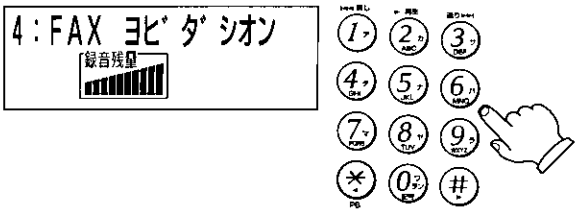


3 スタートボタンを押します。

ダイヤルインモードに設定されます。



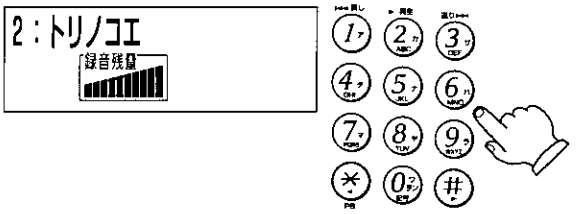
4 ＊ボタンを押します。



5 スタートボタンを押します。

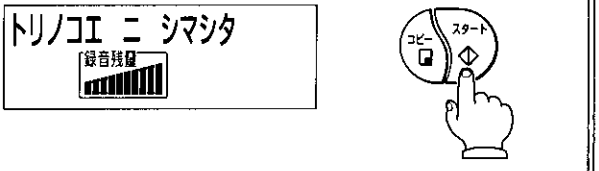
6 ＊ボタン／＃ボタンを押して、着信音を選びます。

例：「トリノコエ」を選んだとき



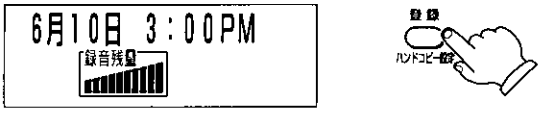
着信音は「電話ベル音」、「鳥の声」、「電子音」の3種類から選べます。お買い求め時は「電子音」に設定されています。

7 スタートボタンを押します。



8 登録ボタンを押します。

日付・時刻表示に戻ります。



ワンポイント

●ダイヤルインの設定内容を確認するには

プリントモードの登録設定リストを印刷します。(☛P122)

お知らせ

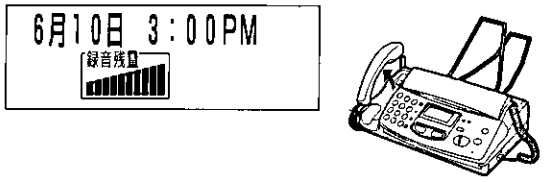
●ダイヤルイン番号が登録されていない場合はダイヤルイン機能は使えません。

プッシュホンのサービスを利用するには

ダイヤル回線をご使用の場合でも、相手を呼び出した後に(*)（PB）ボタンを押すことによりプッシュホンサービスをご利用になれます。

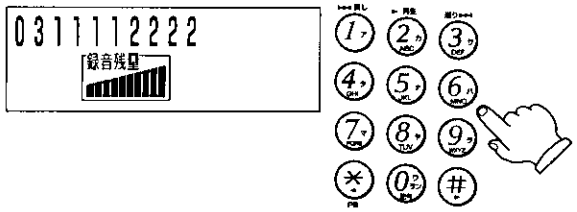
1 ハンドセットを取りあげます。

「ツー」という発信音が聞こえます。

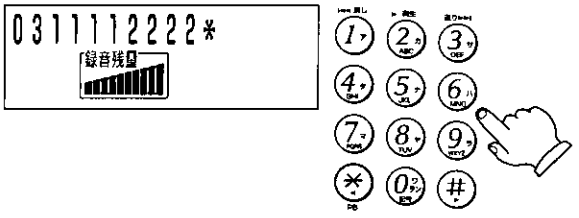


ハンドセットを取りあげないときは、ディジタルハンズフリー ボタンを押します。

2 電話をかけます。



3 電話がつながったら、(*)（PB）ボタンを押します。



プッシュ回線をご利用の場合は、(*)（PB）ボタンを押す必要はありません。

4 必要なダイヤルボタンを押します。

ワンポイント

●**プッシュホンサービスの種類**

・クレジット通信サービス
・ポケットベルサービス
・銀行ANSERサービス
・ホームテレホンによるテレコントロール
・留守番電話へのリモコン操作　など

●**コードレス電話機でプッシュホンサービスを利用するには**

ダイヤル回線の場合は、ファクス本体と同様に、お話しの途中で(*)（PB）ボタンを押します。
プッシュ回線をご利用の場合は、(*)（PB）ボタンを押す必要はありません。

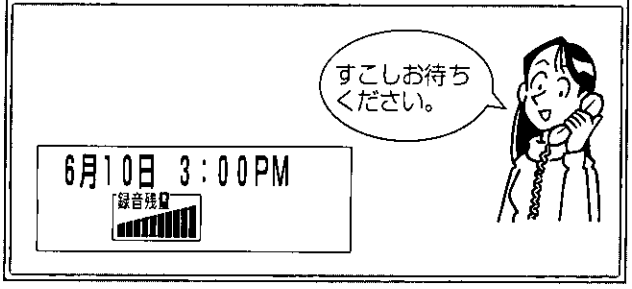
お知らせ

●ファクス本体の(*)（PB）ボタンまたはコードレス電話機の(*)（PB）ボタンを使ってもサービスを受けられない場合があります。詳しくは、各サービス機関にお問い合わせください。

キャッチホンサービスを利用するには

キャッチホンサービス（通話中着信サービス）はNTTが行っているサービスのひとつで、電話で話をしているときでも、別の人からかかってきた電話をとることができるサービスのことです。
キャッチホンを利用するには、NTTとの契約が必要です。ご希望の方は、NTT支店または営業所へお申し込みください。

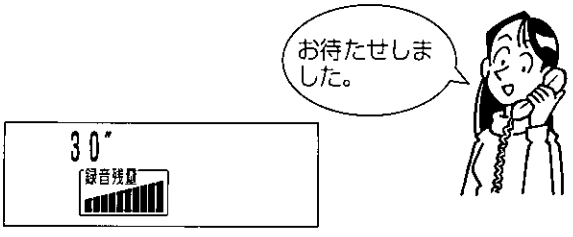
1 キャッチホンの信号が聞こえたら、相手の方に待っていただくように伝えます。



2 キャッチボタンを押します。

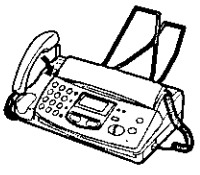
あとからかけてきた人と話しができます。

3 前に話していた人と話しをするには、もう一度キャッチボタンを押します。



前に話していた人と話しができます。あとからの方との電話は、保留になります（保留メロディは流れません）。

4 お話しが終わったら、ハンドセットを置きます。



コードレス電話機の場合は充電器に置くか、(切)ボタンを押します。

ワンポイント

●**コードレス電話機でキャッチホンサービスを利用するには**
ファクス本体と同様に、お話しの途中でキャッチボタンを押します。

●**通話中にキャッチホンでファクスを受信するときは**
(スタート)ボタンを押してハンドセットを戻さずにお待ちください。ハンドセットを戻して受信すると電話が切れて、もとの相手の方との通話に戻れなくなります。
なお、キャッチボタンを利用されたときは、おまかせ受信（「ポー・ポー・ポー…」という音が聞こえたとき自動的に受信する）ははたらきません。ファクスを受信するときは(スタート)ボタンを押して受信してください。

お知らせ

●ファクスの送信中か受信中にキャッチホンが入ると、ファクスの画像が乱れたり、通信が中断することがあります。この場合、電話がかかってきたことはこちらではわかりません。キャッチホンサービスの異常ではありませんのでご了承願います。

●キャッチホンⅡサービスをご利用になり、割り込み回数を「0」回に設定していただくと通信中にキャッチホンが入っても異常なく通信できます。なお、詳しくはNTTにお問い合わせください。

●コードレス電話機で通話中にキャッチホンでファクスを受信すると電話が切れて、もとの相手の方との通話に戻れなくなります。

●ダイヤルインサービスとキャッチホンサービスの併用はできません。

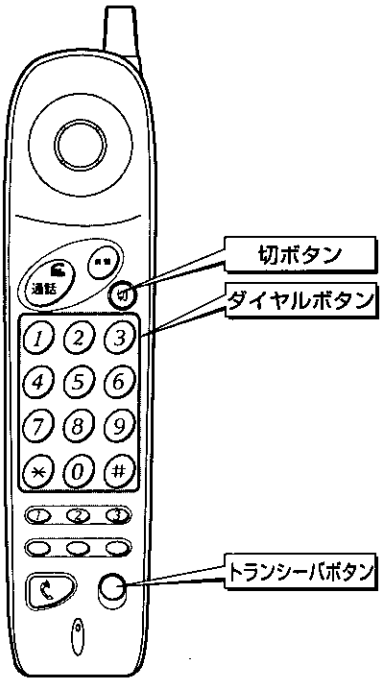
STOP お願い

●**キャッチホンサービスをご利用にならないときに、お話し中にキャッチボタンを押すと、電話が切れてしまいますのでご注意ください。**

●**ユーザセレクトのコードレス電話機着信規制を「あり」に設定すると、コードレス電話機でキャッチホンを受けられなくなります。**

コードレス電話機をトランシーバとして使うには（トランシーバ通話）

ファクス本体のないところでもコードレス電話機同士でお話しできるトランシーバ通話ができます。トランシーバ通話をするときは、コードレス電話機のモードをトランシーバモードに切り替えます（T-241DCLの場合は、コードレス電話機を増設してご利用になれます）。（☛P215）
トランシーバとして通話できる距離は、見通し距離で約100m以内です。



トランシーバモードに設定する

1 充電器から取りあげて㊐ボタンを押します。

充電器から外しているときは㊐ボタンを押します。

2 トランシーバボタンを2秒以上押します。

「ピー」という音が鳴り、トランシーバランプが点灯し、トランシーバモードになります。

呼び出す方

1 内線ボタンを押します。

2 約10秒以内に、呼び出したいコードレス電話機の内線番号（②～⑤）をダイヤルボタンで押します。

3 相手の方が出たら、お話しください。

4 お話しが終わったら、㊐ボタンを押します。

ワンポイント

●**呼び出しを中止するには**
㊐ボタンを押します。

●**トランシーバ通話の内線番号とは**
コードレス電話機の内線番号と同じです。また、ふだんお使いの内線番号のほかに、トランシーバ通話専用の番号を登録することもできます。（☛P190）

●**トランシーバ通話をするときは**
呼び出す方、呼び出される方両方のコードレス電話機をトランシーバモードに切り替えてください。

お知らせ

●トランシーバモードでは、外の方へ電話をかけることや受けること、内線通話、ドアホン通話などはできません。

●トランシーバ通話でお話ししていると、約3分ごとに自動的にいったん通話が切れますが、約3秒間「プップップッ」という音が受話口から聞こえたあと、もう一度自動的につながります。

●呼び出す相手が電波の届かない場所にいるときは、約20秒後に自動的に呼び出しを中止します。

呼び出される方

1 呼出音が鳴ります。通話ボタンまたは内線ボタンを押してお話しください。

通話ランプが点灯します。

2 お話しが終わったら、切ボタンを押します。

トランシーバの内線番号を登録するには

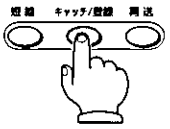
トランシーバ登録を行うと、ふだんお使いの内線番号のほかに、トランシーバ通話専用の番号を登録できます。トランシーバ登録は、トランシーバ通話をする他のコードレス電話機を近くに置いて、互いに暗証番号を入力し、送受信する必要があります。登録方法は増設したコードレス電話機により異なります。

受信側の設定

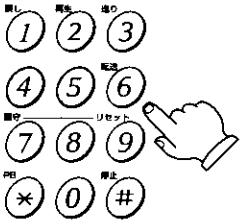
1 充電器から取りあげて(切)ボタンを押します。

充電器から外しているときは、通話ランプが点灯していないことを確認します。

2 登録ボタンを押します。

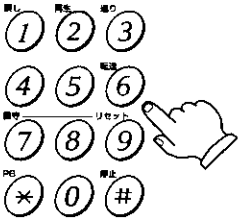


3 ④、⑤を押します。

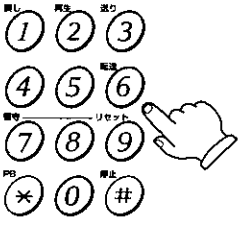


または、トランシーバボタンを押します。

4 ②を押します。

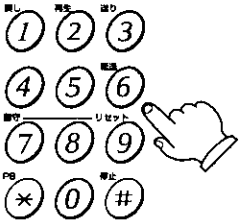


5 送信側の手順5と同じ暗証番号（4桁の数字）をダイヤルボタンで押します。



6 登録ボタンを押します。

7 内線番号（1～7999）をダイヤルボタンで押します。



8 登録ボタンを押します。

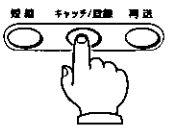
送信側の手順8の操作のあと、約60秒以内に受信側の手順1～8を行わないと登録は無効になります。

送信側の設定

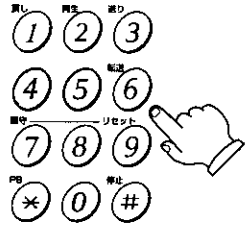
1 充電器から取りあげて(切)ボタンを押します。

充電器から外しているときは、通話ランプが点灯していないことを確認します。

2 登録ボタンを押します。

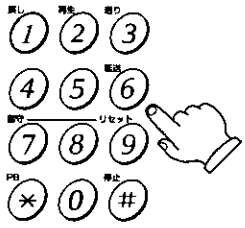


3 ④、⑤を押します。

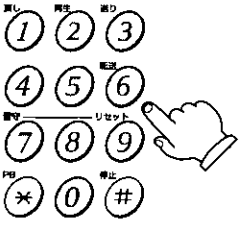


または、トランシーバボタンを押します。

4 ①を押します。

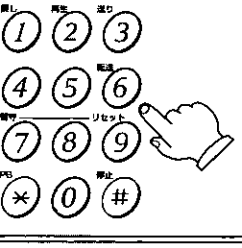


5 受信側の手順5と同じ暗証番号（4桁の数字）をダイヤルボタンで押します。



6 登録ボタンを押します。

7 新しい内線番号（1～7999）をダイヤルボタンで押します。



8 登録ボタンを押します。

受信側の手順8の操作のあと、約60秒以内に送信側の手順1～8を行わないと登録は無効になります。

ワンポイント

- **登録を中止するには**
  （切）ボタンを押します。
- **内線番号を再度登録するには**
  最初から登録し直します。
- **暗証番号や内線番号を間違えたときは**
  （切）ボタンを押して、最初からやり直します。
- **登録を消去するには**
  ①充電器から取りあげて（切）ボタンを押す
  ②登録ボタンを押す
  ③④⑤を押す（またはトランシーバボタンを押す）
  ④③を押す
  ⑤登録ボタンを押す

お知らせ

- トランシーバ通話の内線番号を登録するときに使用する暗証番号はファクス本体には登録されません。
- 受信側と送信側の内線番号は同じ番号で登録しないでください。
- 受信側に内線番号が登録されなかったとき受信側では「ピッピッピッピッ」という音が鳴りますが、送信側では「ピー」という音が鳴ってそのまま終了します。必ず受信側で「ピー」という音が鳴り、正しく登録されたことを確認してください。
- 複数の主電話機などに登録したときは、トランシーバ通話の内線番号を登録しないと、トランシーバ通話ができない場合があります。

コードレス電話機の機能を設定するには

コードレス電話機のクイック通話やエコーサプレスの設定、着信音量、着信音パターンの切り替えを設定します。

クイック通話

通話ボタンを押さなくても充電器から取りあげるだけで、電話をかけたり、受けたりすることができます。お買い求め時はクイック通話に設定されています。

クイック通話の設定

充電器から取りあげて(切)ボタンを押します。

↓

登録ボタンを押します。

↓

(7)を押します。

↓

(5)を押します。

↓

(1)を押します。

↓

登録ボタンを押します。

クイック通話の解除

充電器から取りあげて(切)ボタンを押します。

↓

登録ボタンを押します。

↓

(7)を押します。

↓

(5)を押します。

↓

(0)を押します。

↓

登録ボタンを押します。

エコーサプレス

通話中に受話口から自分の声が少し遅れて聞こえ、お話しづらくなるときがあります。このようなとき、お話しする前にエコーサプレスを設定することができます。

エコーサプレスの設定

充電器から取りあげて(切)ボタンを押します。

↓

登録ボタンを押します。

↓

(7)を押します。

↓

(3)を押します。

↓

(1)を押します。

↓

登録ボタンを押します。

エコーサプレスの解除

充電器から取りあげて(切)ボタンを押します。

↓

登録ボタンを押します。

↓

(7)を押します。

↓

(3)を押します。

↓

(0)を押します。

↓

登録ボタンを押します。

着信音量を切り替える

充電器から取りあげて(切)ボタンを押します。

↓

登録ボタンを押します。

↓

音量ボタンを押します。

↓

(1)を押します。

現在設定されている音量で着信音が鳴ります。このあと、(1)を押すたびに着信音量が切り替わり、着信音が鳴ります。

↓

登録ボタンを押します。

着信音パターンを切り替える

着信音の鳴りかたを3つの中から選ぶことができます。お買い求め時は電話ベル音にセットされています。

充電器から取りあげて(切)ボタンを押します。

↓

登録ボタンを押します。

↓

音量ボタンを押します。

↓

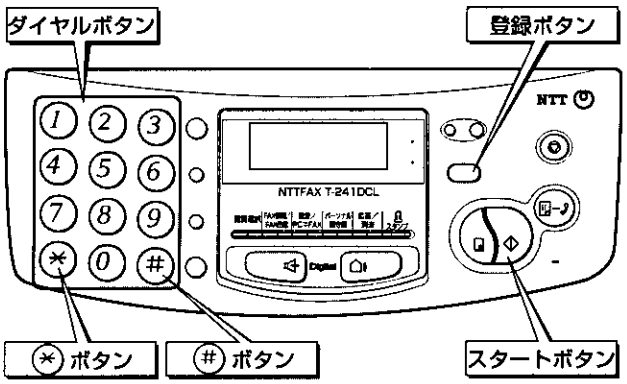
(2)を押します。

現在設定されている着信パターンで着信音が鳴ります。このあと、(2)を押すたびに着信パターンが切り替わり、着信音が鳴ります。

↓

登録ボタンを押します。

いろいろな機能を登録・設定するには　（ユーザセレクト）



お買い求め時は［　　］に設定されています。

設定項目	操作手順
＜在宅モード時のコール回数＞ ファクス受信に切り替わるまでの着信コール回数を設定することができます。着信コール回数を1～25回までで設定する方法と無制限に着信音を鳴らす方法があります。 お買い求め時は10回に設定されています。	登録 ハンドコピー設定 ➡ #（5回押す） ➡ スタート ➡ 01:ザ イタクシ゛ コールスウ ➡ スタート
＜在宅モード／ノンコールモード時の相手への応答メッセージ＞ 電話に出なかったときに、固定応答メッセージを流してファクス受信に切り替えます。	登録 ハンドコピー設定 ➡ #（5回押す） ➡ スタート ➡ # ➡ 02:オウトウメッセージ゛ ➡ スタート
＜受話音量切替＞ ハンドセットから聞こえる音量を選びます。相手の方と通話中でも操作できます。	登録 ハンドコピー設定 ➡ #（5回押す） ➡ スタート ➡ #（2回押す） ➡ 03:ジ゛ュワ オンリョウ ➡ スタート
＜保留メロディ＞ 保留中に流れるメロディを、「ます」、「ジュ・トゥ・ヴ」の中から選びます。	登録 ハンドコピー設定 ➡ #（5回押す） ➡ スタート ➡ #（3回押す） ➡ 04:ホリュウ メロデ゛ィ ➡ スタート
＜着信音選択＞ 着信音の種類を、「電話ベル音」「鳥の声」「電子音」の中から選びます。	登録 ハンドコピー設定 ➡ #（5回押す） ➡ スタート ➡ ✱（12回押す） ➡ 14:ヨビ゛ダ゛シオン ➡ スタート
＜通信／コピー終了音選択＞ ファクス送受信やコピーを終了したときの音を、「鳥の声」「音声」「アラーム音」「なし」から選びます。	登録 ハンドコピー設定 ➡ #（5回押す） ➡ スタート ➡ ✱（11回押す） ➡ 15:シュウリョウオン ➡ スタート
＜ディスプレイ操作表示切替時間＞ 操作しているときに、液晶ディスプレイ表示を何秒間隔で切り替えるかを設定します。	登録 ハンドコピー設定 ➡ #（5回押す） ➡ スタート ➡ ✱（8回押す） ➡ 18:ヒョウジ゛ キリカエ ➡ スタート

ワンポイント

●入力を間違えたときは

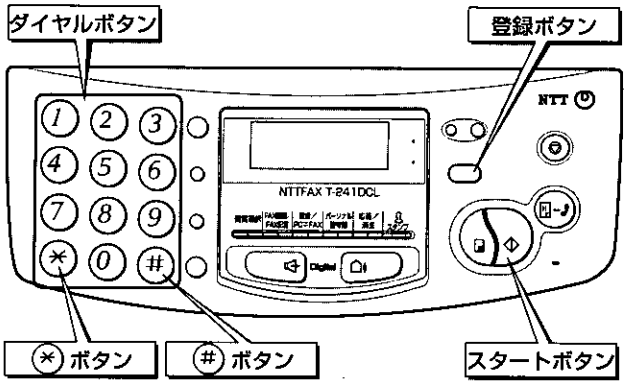
ストップボタンを押して入力し直します。

●登録した内容を確認するには

プリントモードの登録設定リストを印刷します。
(☛P122)

	はたらき
→ (#) で選ぶ → 1：回数選択 [初期設定：10回] → スタート → コール回数を入れる(1～25回) ○○ → スタート → 登録 ハンドコピー設定 2：無制限呼び出し → スタート → 登録 ハンドコピー設定	回数選択　：着信音の回数を1回から25回の間で設定します。設定回数の着信音が鳴り終わったら、相手に応答メッセージを流します。 無制限呼び出し：着信音が鳴り続けます。
→ (#) で選ぶ [1：あり] 2：なし → スタート → 登録 ハンドコピー設定	あり：留守セットしなくても、着信音のあとに応答メッセージを流します。(☛P53,138) なし：着信音の後にファクス受信に切り替わります（在宅時の留守録がなしのとき）。
→ (#) で選ぶ [1：小] 2：中 3：大 → スタート → 登録 ハンドコピー設定	小：通常の音量です 中：音量が大きくなります。 大：音量がさらに大きくなります。
→ (#) で選ぶ [1：ます] 2：ジュ・トゥ・ヴ → スタート → 登録 ハンドコピー設定	ます　　：保留中に「ます」が流れます。 ジュ・トゥ・ヴ：保留中に「ジュ・トゥ・ヴ」が流れます。
→ (#) で選ぶ [1：電話ベル音] 2：鳥の声 3：電子音 → スタート → 登録 ハンドコピー設定	電話ベル音：ベル音でお知らせします。 鳥の声　　：鳥の声でお知らせします。 電子音　　：電子音でお知らせします。 ノンコール着信のときは、「電話ベル音」になります。
→ (#) で選ぶ [1：鳥の声] 2：音声 3：アラーム音 4：なし → スタート → 登録 ハンドコピー設定	鳥の声　　：鳥の声でお知らせします。 音声　　：音声でお知らせします。ただし、コピー終了時は鳥の声になります。 アラーム音：「ピー」という音でお知らせします。 なし　　：終了音を鳴らしません。 ノンコール着信のときは終了音を鳴らしません。また、通信エラーがあったときは、「鳥の声」や「アラーム音」に設定しても「音声」でお知らせします。
→ (#) で選ぶ 1：2秒 [2：3秒] 3：5秒 → スタート → 登録 ハンドコピー設定	2秒：表示が2秒間隔で切り替わります。 3秒：表示が3秒間隔で切り替わります。 5秒：表示が5秒間隔で切り替わります。

いろいろな機能を登録・設定するには　（ユーザセレクト）



お買い求め時は［　　］に設定されています。

設定項目	操作手順
＜電話の自動再ダイヤル選択＞ お買い求め時は、「なし」に設定されています。	登録 ハンドコピー設定 ➡ (#) 5回押す ➡ スタート ➡ (*) 7回押す ➡ 19:TEL サイダ゛イヤル ➡
＜パソコンモード時のダイヤルトーン送出時間＞ パソコンと接続して使うときに、ダイヤルトーンを送出します。	登録 ハンドコピー設定 ➡ (#) 5回押す ➡ スタート ➡ (*) 6回押す ➡ 20:PCリンクシ゛ トーン ➡
＜コードレス電話機発信規制＞ コードレス電話機での発信を規制します。	登録 ハンドコピー設定 ➡ (#) 5回押す ➡ スタート ➡ (*) 5回押す ➡ 21:ハッシンキセイ ➡ 3を選んだとき ➡ スタート ➡
＜コードレス電話機着信規制＞ コードレス電話機への着信を規制します。	登録 ハンドコピー設定 ➡ (#) 5回押す ➡ スタート ➡ (*) 4回押す ➡ 22:チャクシンキセイ ➡
＜ユーザセレクト初期化＞ ユーザセレクトの設定を、すべてお買い求め時の状態に戻します。	登録 ハンドコピー設定 ➡ (#) 5回押す ➡ スタート ➡ (*) 2回押す ➡ 24:ユーザ゛ーセレクトショキカ ➡
＜登録内容クリア＞ 登録した名前や電話番号などを一度に全部消します。	登録 ハンドコピー設定 ➡ (#) 5回押す ➡ スタート ➡ (*) ➡ 25:トウロクナイヨウ クリア ➡

ワンポイント

●**入力を間違えたときは**
ストップボタンを押して、入力し直します。

●**オリジナル発信規制の番号を変えるときは**
一度登録した番号を消してから、もう一度登録します。

●**登録した内容を確定するには**
プリントモードの登録設定リストを印刷します（☛P122）。

お願い

●**自動再ダイヤル中は電話のそばを離れないでください。相手の方が出たときに、こちらが話さなければご迷惑をおかけすることになります。（相手の方が出たあと、約1分以上こちらがハンドセットを取らなければ、自動再ダイヤルを中止します。）**

●**自動再ダイヤルでかけたときは、相手の方が出たら必ずハンドセットを取ってください。ハンドセットを取らないでいると、いったん電話を切り自動的に再ダイヤルすることがあります。**

	はたらき
スタート ➡ # で選ぶ 1：あり 2：なし ➡ スタート ➡ 登録 ハンドコピー設定	あり：電話の再ダイヤル時に約1分間隔で10回まで自動的に再呼び出しします（自動再ダイヤル）。 なし：電話の再ダイヤル時に自動再ダイヤルしません。
スタート ➡ # で選ぶ 1：3秒 2：6秒 3：10秒 4：送出なし ➡ スタート ➡ 登録 ハンドコピー設定	3秒　：ダイヤルトーンを約3秒間送出します。 6秒　：ダイヤルトーンを約6秒間送出します。 10秒　：ダイヤルトーンを約10秒間送出します。 送出なし：ダイヤルトーンを送出しません。
スタート ➡ # で選ぶ 1：全規制 2：0発信規制 3：オリジナル規制 4：規制なし 1、2、4を選んだとき ➡ スタート ➡ 登録 ハンドコピー設定 登録するとき ➡ スタート ➡ オリジナル番号(1～3)を入れる ➡ 発信規制する番号を入れる ➡ スタート ➡ 登録 ハンドコピー設定 クリアするとき ➡ # ➡ スタート ➡ オリジナル番号(1～3)を入れる ➡ スタート ➡ 登録 ハンドコピー設定	全規制　：コードレス電話機から電話をかけられないようにします。 0発信規制　：「0」から始まる番号の電話はかけることができません。 オリジナル規制：特定の番号から始まる相手先には、電話をかけることができません（3つまで登録できます。各16桁までの番号です）。 規制なし　：電話を自由にかけられます。
スタート ➡ # で選ぶ 1：あり 2：なし ➡ スタート ➡ 登録 ハンドコピー設定	あり：コードレス電話機への着信を規制します。 なし：コードレス電話機への着信を規制しません。
スタート ➡ # で選ぶ 1：しない 2：する ➡ スタート ➡ 登録 ハンドコピー設定	しない：設定した状態のままにします。 する　：ユーザセレクトの設定、留守録モードの設定（暗証番号を除く）をお買い求め時の状態に戻します。ただし、迷惑FAX防止の設定はそのままです。
スタート ➡ # で選ぶ 1：しない 2：する ➡ スタート ➡ 登録 ハンドコピー設定	しない：設定した状態のままにします。 する　：登録した発信元名、発信元番号、電話帳、録音、FAX伝言、FAX情報、スタンプ、迷惑FAXの相手先リスト、留守録モードの暗証番号、ダイヤルインの設定などを消去します。

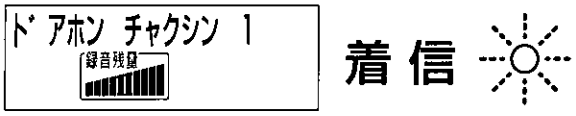
ドアホンを接続して使うには

オプションのドアホンボックス、およびドアホン制御ユニットとドアホンを利用すると、ドアホンからの呼び出しにファクス本体からもコードレス電話機からも応答することができます。また、ドアホンを呼び出すこともできます。ドアホンは2台まで接続することができます。ドアホンの取り付け工事について、詳しくは当社のサービス取扱所へお問い合わせください。

ファクス本体でドアホンの呼び出しに応答する

1 ドアホンからの呼び出しがあると、ドアホンの呼出音が鳴ります。

着信ランプが点滅します。
例：ドアホン１から呼び出しがあった場合



ドアホン1とドアホン2では呼出音が違います。
ドアホン1…「ピーンポーン」
ドアホン2…「ピンポンピンポン」

2 ハンドセットを取りあげてお話しください。

3 お話しが終わったら、ハンドセットを置きます。

ワンポイント

●外の方と電話でお話し中にドアホンからの呼び出しに応答するには
ドアホンの呼出音が聞こえたら、約30秒以内にドアホンボタンを押します。
ドアホンとのお話しが終わったら、ハンドセットを戻して、再度ハンドセットを取りあげると外の方とのお話しに戻ります。

●内線通話中にドアホンに応答するには
ドアホンの呼出音が聞こえたら約30秒以内にハンドセットを戻します。再度ハンドセットを取りあげると、ドアホンに応答することができます。

●ドアホンとのお話し中に外からの電話に応答するには
着信音が聞こえます。ハンドセットを戻して、再度ハンドセットを取りあげると電話の相手の方とお話しすることができます。このとき、ドアホンとのお話しは切れます。

●ドアホンの呼出音が聞こえてから30秒以後に応答するには
①ハンドセットを置いたまま、内線ボタンを押す
（ダイヤルインサービスをご利用の場合は、ハンドセットを取りあげてから内線ボタンを押します。）
②ドアホン1を呼び出すときは(8)、
ドアホン2を呼び出すときは(9)をダイヤルボタンで押す。

お知らせ

●ドアホンは、NTT標準ドアホンに対応しています。
●「ピンポーン」という音が鳴り終わったあとも、着信ランプが約30秒点滅しています。その間にハンドセットを取りあげるとドアホンに応答することができます。
●ドアホン通話をしているときは、保留ボタンを押しても保留メロディは流れません。
●ファクス送受信中は、ドアホンからの呼び出しがあってもコードレス電話機の呼出音は鳴りません。この場合、コードレス電話機で通話することもできません。また、ファクス送受信中でもファクス本体の呼出音は鳴りますが、ハンドセットを取りあげても通話はできません。
●留守をセットしていても、ドアホンからの用件録音はできません。
●ドアホン1でお話し中はドアホン2の、ドアホン2でお話し中はドアホン1の呼出音は鳴りません。

コードレス電話機でドアホンの呼び出しに応答する

1 ドアホンからの呼び出しがあると、ドアホンの呼出音が鳴ります。

外線ランプが点滅します。

ドアホン1とドアホン2では呼出音が違います。
ドアホン1…「ピロピロピロピロ」
ドアホン2…「ピロピロ」

2 充電器から取りあげてお話しください。

通話ランプが点灯します。

充電器から外しているときは、通話 ボタンを押します。

3 お話しが終わったら、充電器に置きます。

充電器に置かないときは、切 ボタンを押します。

ワンポイント

●外の方と電話でお話し中にドアホンからの呼び出しに応答するには

ドアホンの呼出音が聞こえたら約30秒以内に保留 ボタンを押します。

ドアホンとのお話しが終わったら保留 ボタンを押して、再度保留 ボタンを押すと、外の方とのお話しに戻ります。

●内線通話中にドアホンに応答するには

ドアホンの呼出音が聞こえたら約30秒以内に切 ボタンを押します。

通話 ボタンを押すと、ドアホンに応答することができます。

●ドアホンとのお話し中に外からの電話に応答するには

着信音が聞こえます。切 ボタンを押すとドアホンとのお話しは切れます。このあと通話 ボタンを押すと電話の相手の方とお話しすることができます。

●ドアホンの呼出音が聞こえてから、30秒以後に応答するには

①充電器から取りあげて内線ボタンを押す

②ドアホン番号をダイヤルボタンで押す

ドアホン1を呼び出すときは 8 、

ドアホン2を呼び出すときは 9 をダイヤルボタンで押す。

お知らせ

- ドアホンの呼出音が鳴り終わったあとも、外線ランプが約30秒点滅しています。その間に充電器から取りあげればドアホンに応答することができます。
- ドアホン通話をしているときは、保留 ボタンを押しても保留メロディは流れません。
- ファクス送受信中は、ドアホンからの呼び出しがあってもコードレス電話機の呼出音は鳴りません。この場合、コードレス電話機で通話することもできません。また、ファクス送受信中でもファクス本体の呼出音は鳴りますが、ハンドセットを取りあげても通話はできません。
- ドアホン1でお話し中はドアホン2の、ドアホン2でお話し中はドアホン1の呼出音は鳴りません。

付属品をご利用になるには

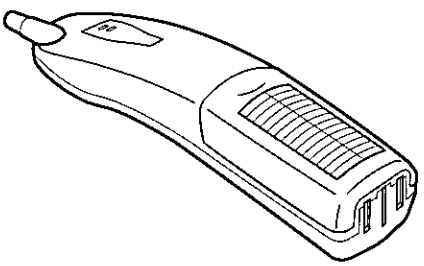
付属品のワンタッチ／短縮ダイヤルラベルをコードレス電話機や充電器に貼って使います。また、充電器は壁に掛けて使うこともできます。

■コードレス電話機用ワンタッチ／短縮ダイヤルラベルを使う

① 相手先名を記入します。

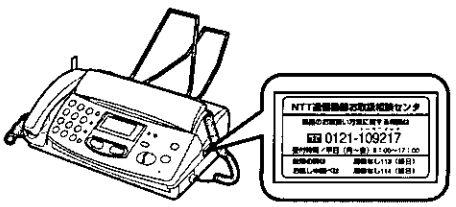
短縮 1		短縮 1	
短縮 2		短縮 2	
短縮 3		短縮 3	
短縮 4		短縮 4	
短縮 5		短縮 5	
短縮 6		短縮 6	
短縮 7		短縮 7	
短縮 8		短縮 8	
短縮 9		短縮 9	
短縮 0		短縮 0	
ワンタッチ1		ワンタッチ1	
ワンタッチ2		ワンタッチ2	
ワンタッチ3		ワンタッチ3	

② ワンタッチ／短縮ダイヤルラベルをコードレス電話機や充電器に貼ります。



■お取扱相談センタシールを使う

① ファクス本体の側面など見えやすいところに貼ります。



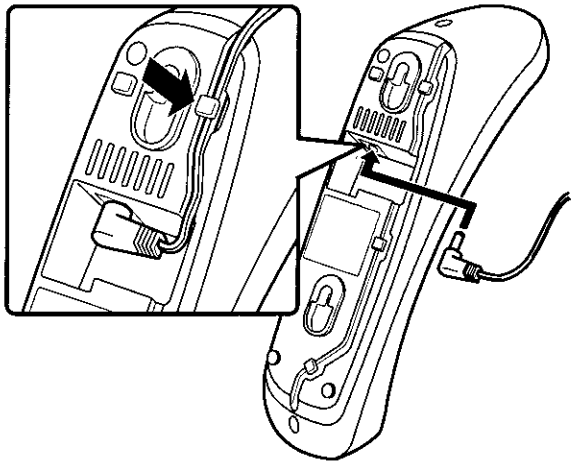
STOP お願い

●シールはスピーカやマイク部分には貼らないでください。

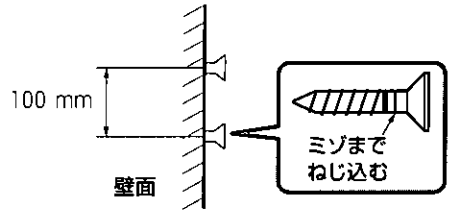
コードレス電話機を壁に掛けて使うには

■充電器を壁に取り付ける

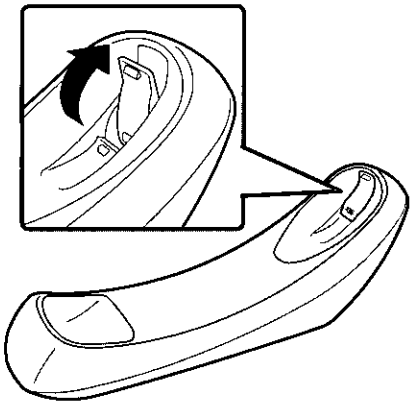
① **コードを溝に入れます。**
上下どちらでもコードを引き出すことができます。



② **壁に充電器壁掛け用ネジを取り付けます。**
ネジを溝までねじ込みます。



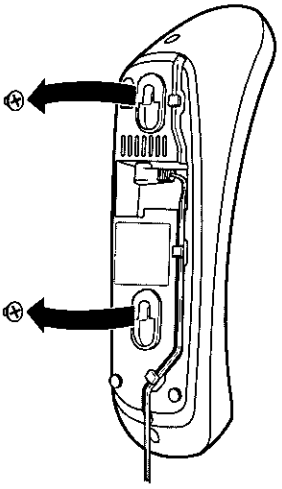
③ **壁掛け用のツメを反転させます。**



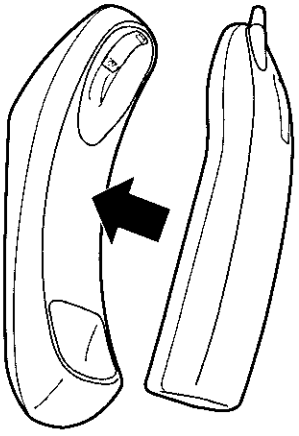
充電器を壁に取り付ける際、この矢印の間隔にネジを取り付けてください。
（100 mm）

向きは縦向きです。ご注意ください。

④ **充電器を壁に取り付け、電源アダプタをコンセントに差し込みます。**
充電器の壁掛け用穴をネジに合わせます。



⑤ **充電器にコードレス電話機を置きます。**
「カチッ」と音がするまでコードレス電話機を差し込んでください。



⚠ 注意

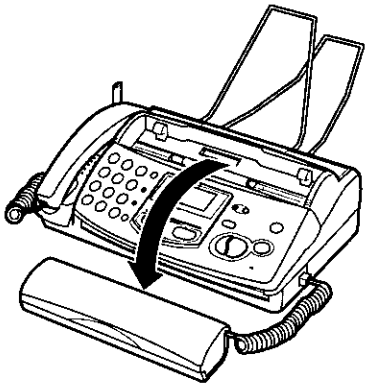
●コードレス電話機壁掛け用ネジは必ず同梱のものを使用し、確実に固定してください。コードレス電話機が落ちてしまうことがありますので、ベニヤ板など薄い板壁やボード板（石膏板）には取り付けないでください。また、充電器はドア付近の壁に取り付けると振動でコードレス電話機が落下する場合がありますので、取り付けないでください。

お手入れするには

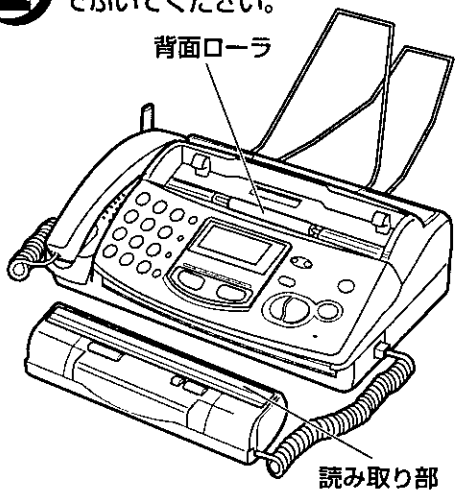
相手の方が受信した記録紙、またはコピーをした感熱記録紙が黒く汚れたり、黒い線が入ったりするときには、背面ローラと読み取り部をお手入れする必要があります。

■背面ローラと読み取り部のお手入れ

① ハンドコピーを取り外します。

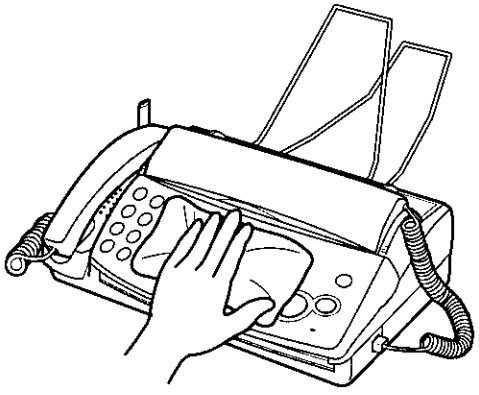


② 背面ローラと読み取り部を乾いた柔らかい布でふいてください。



■ファクス本体の清掃

ファクス本体は、乾いた布でからぶきしてください。



お知らせ

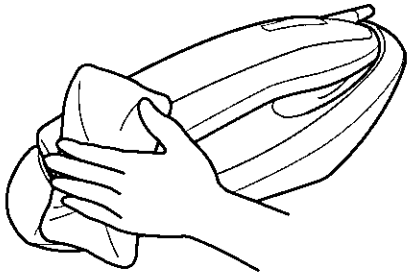
- からぶきでも汚れが落ちない場合は、水を含ませ、きつく絞った布でふいてください。さらに汚れがひどい場合は、薄めた中性洗剤を含ませ、きつく絞った布でふいてください。
- 受信文書の汚れが消えないときは、相手側が汚れている場合があります。
- コピーしてまだ汚れているときは、もう一度やり直してください。

お願い

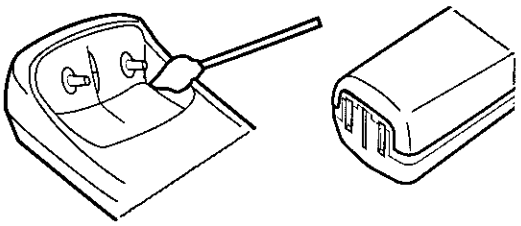
- アルコール、ベンジン、シンナーなど揮発性のものは使わないでください（変色、変形、変質や故障の原因になります）。

■コードレス電話機／充電器の清掃

コードレス電話機は、乾いた布でからぶきしてください。



充電端子が汚れていると、充電時間が長くかかったり、充電ができないことがあります。綿棒や乾いた布でからぶきしてください。

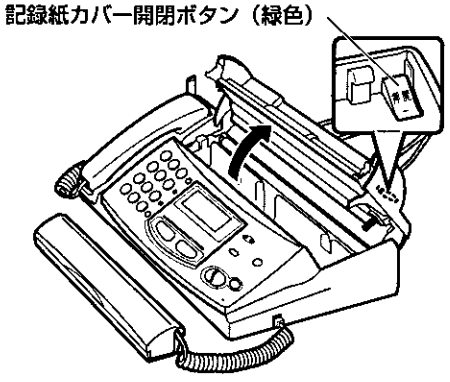


⚠ 警告

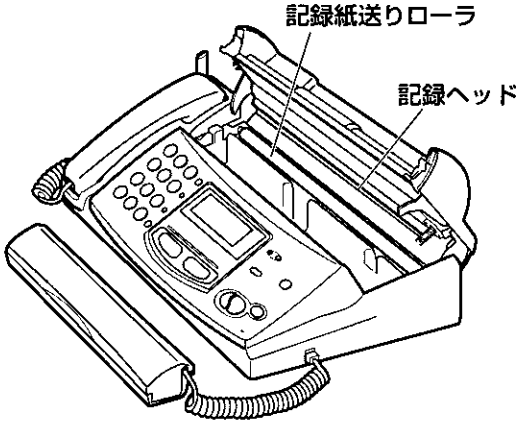
分解や改造はしないでください。また、濡れた手では触れないでください（感電や故障の原因になります）。

■記録紙送りローラと記録ヘッドのお手入れ

① ハンドコピーを取り外し、記録紙カバー開閉ボタンを押します。



② 記録紙送りローラと記録ヘッドを乾いた柔らかい布でふいてください。



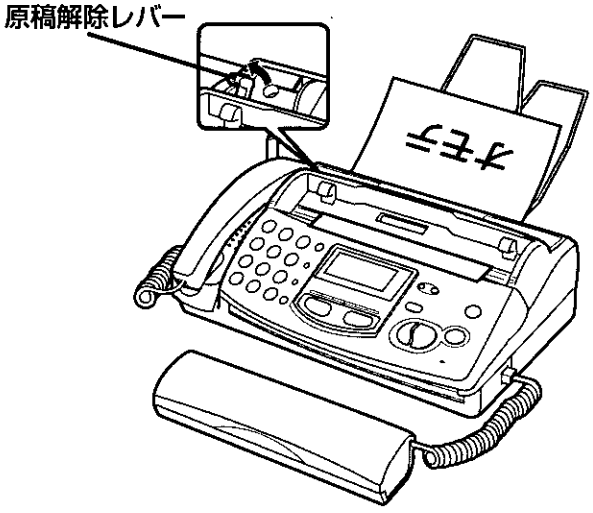
⚠ 注意

- ●感熱記録紙排出口に指などを入れないように注意してください。カッターの刃で、ケガをする恐れがあります。
- ●記録ヘッドは発熱していることがありますので、手が直接記録ヘッドに触れないように拭くときは注意してください。
- ●点検・清掃（お手入れ）は、必ず電源コードの電源プラグをコンセントから抜いて、（記録ヘッドなど熱くなるものは冷えてから）始めてください。感電やけが（やけど）の原因となることがあります。

原稿がつまったら

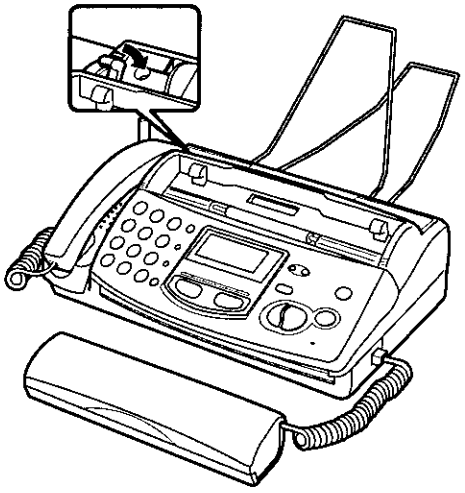
原稿がつまったときは、スタートボタンまたはコピーボタンを押して原稿を排出してください。排出されないときは、次の手順で取り除いてください。

① **ハンドコピーを取り外し、原稿解除レバーを手前側に引きます。**
原稿を取り除くまで原稿解除レバーから手を離さないでください。



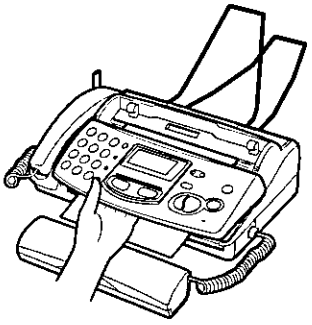
② **つまった原稿を取り除きます。**
つまった原稿が途中で破れないよう注意して、取り除いてください。

③ **原稿が取り除けたら、原稿解除レバーから手を離します。**



ワンポイント

●**原稿解除レバーを手前側に引いても原稿が取り出せないときは**
ハンドコピーを取り外し、操作パネルの中央部を持ち上げて、取り出してください。



お願い

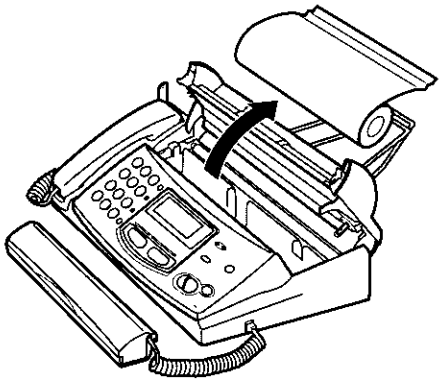
●操作パネルを開けるときは、必ずハンドコピーを取り外してから操作パネルの中央部を持ちあげてください。
●原稿は無理に引っぱると破れることがあります。また、故障の原因になります。

感熱記録紙がつまったら

感熱記録紙がつまったときは次のようにして取り除きます。

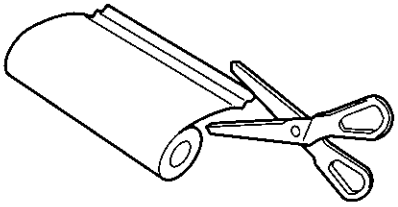
① ハンドコピーを取り外し、記録紙カバー開閉ボタンを押します。

② 記録紙カバーを開けてつまった感熱記録紙を取り出します。



③ つまってシワになった部分を切り取り、感熱記録紙をセットします。

感熱記録紙は、ハサミなどで切り取ってください。



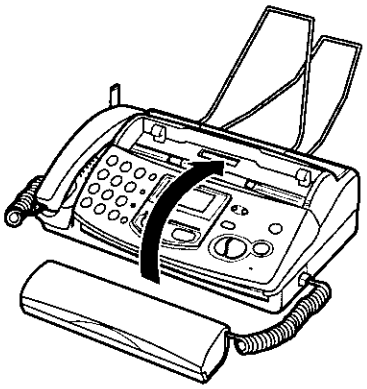
STOP お願い

- 感熱記録紙が破れたときは、紙片がファクシミリの中に残らないよう、完全に取り除いてください。
- オートカッターの動作中や紙送り中に記録紙カバーを開けないでください。

⚠ 注意

カッターの刃に指が直接触れないように注意してください。カッターの刃で、ケガをする恐れがあります。

④ 感熱記録紙を少し後ろ方向へ引き出して、記録紙カバーを閉め、ハンドコピーを取り付けます。

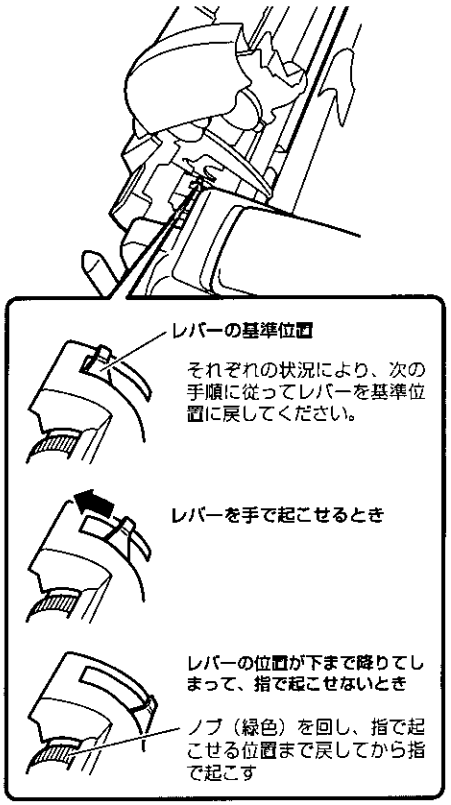


⑤ しばらくして自動的に感熱記録紙がカットされます。

ワンポイント

- **感熱記録紙の先端が出てこないときや、セットできないときは**

感熱記録紙の先端が出てこないときや、感熱記録紙がセットできないとき（カッターが途中で止まっているとき）などは、レバーの位置がずれている場合があります。
その場合、状況に合わせてレバーを基準位置に戻してください。



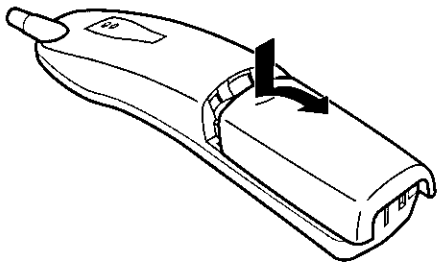
コードレス電話機の電池パックの取り扱い

電池パックは消耗品です。コードレス電話機の使用頻度にもよりますが、約1年程度ご使用になれます。長時間充電してもすぐ充電ランプが点滅する場合は、新しい電池パックに交換してください。ご購入についてはNTT窓口等へお問い合わせください。

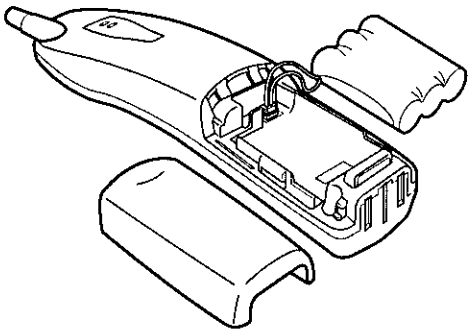
■電池パックの交換

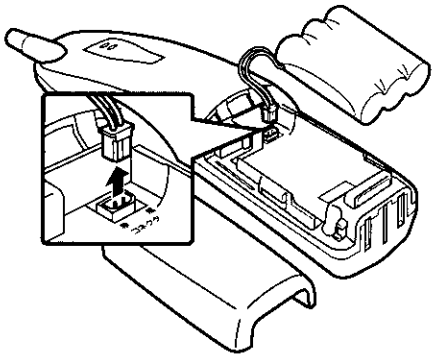
① (切) ボタンを2秒以上押します。
「ピー」という音が鳴って電源が「OFF」になります。
電池パックが完全に消耗している場合は、手順2の操作から行ってください。

② 電池カバーを開けます。

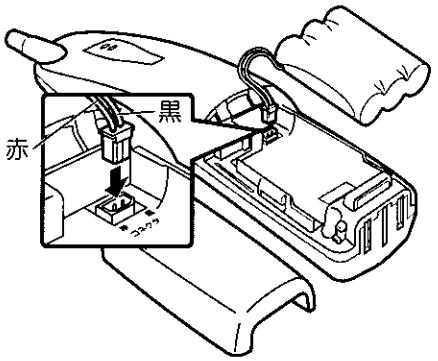


③ 電池パックを取り出します。
コネクタは根元を持って引き抜きます。

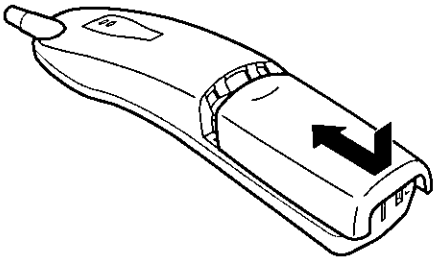




④ 新しい電池パックを入れます。
赤いコードが左になるようにコネクタを差し込み、電池パックを入れます。電池カバーを取り付けたとき、コードが電池カバーにあたらないように、コードをケース内へしっかり押し込んでください。



⑤ 電池カバーを取り付けます。
コードをはさまないように注意して、「パチッ」と音がするまでしっかりと押してください。



⑥ (切) ボタンを2秒以上押します。
「ピッ」という音が鳴り、電源が「ON」になります。

⑦ 充電器に置き、5時間以上充電します。

ワンポイント

●電池パックを長持ちさせるには

こまめに充電してください。コードレス電話機は使い終わったら、充電器に戻すことをおすすめします。長時間使わないときは、(切) ボタンを2秒以上押して「OFF」にしてください。

お知らせ

- 通話中に電池がなくなると「ピー」という音が鳴ります。通話を終えるか、ファクス本体や他のコードレス電話機に転送して下さい。約1分後に電話が切れます。
- 電池パックは使わないで放置しておいても自己放電します。
- 新しい電池パックでもはじめから容量が少なくなっていたり、まったくないことがあります。これは、電池パックの不良ではありません。
- 電池パックをはじめて使うときや、長時間使わなかったときは、必ず充電してください。
- 電池パックが自己放電したときは、充電しても通常の使用時間より短いことがあります。このようなときは、充電と通話（充電・放電）を何回か繰り返すと通常の状態に戻ります。

STOP お願い

- **電池パックの交換は、必ず(切)ボタンを約2秒以上押して「OFF」にしてから行ってください。**
- **電池パックのコードを無理にひっぱったり、差し込んだりしないでください。**

■電池パック回収のお願い

不要となった電池パックは、NTT窓口へご持参いただくか、NTTの販売担当者にお渡しいただければ廃棄します。なお、電池を分別廃棄している市町村がありますので、その場合は市町村の条例に基づいて廃棄してください。

⚠ 危険

●電池パックについて
電池パックの取り扱いは、次の点にご注意ください。
- **必ず専用のものをお使いください。**
- **取り出して充電しないでください。**
- **火の中に投入したり、分解、加熱しないでください。**
- **充電には、専用の充電器をお使いください。**
- **端子を短絡させないでください。**

停電になったときは

停電中はコードレス電話機は使えませんが、ファクス本体で電話をかけたり受けたりすることはできます。ただし、ファクスの送受信はできなくなり、ワンタッチダイヤルや短縮ダイヤルも利用できません。

●停電時には次のことに注意してください

停電になったとき	ファクス本体	相手の方とお話し中	そのままお話しできます。
		保留中	保留解除 ハンドセットを外しているときはそのままお話しできます。 ハンドセットを置いているときは電話が切れます。
		ファクス送信中	通信が切れ、原稿は途中で停止します。停電復旧後原稿を取り出して再送信してください。
		ファクス受信中	通信が切れ、途中まで受信します。停電復旧後もう一度相手に送信を依頼してください。
		感熱記録紙カット中	記録紙カットの動作が止まります。また、停電中でも感熱記録紙がつまったとき（☛P205）と同様の操作で感熱記録紙を取り出すこともできます。このときは復旧後、もう一度感熱記録紙をセットし直してください。
	コードレス電話機	相手の方とお話し中	電話が切れます。
		保留中	保留解除、電話が切れます。
停電中	ファクス本体	電話をかける	ハンドセットを取りあげてかけられます。ただし、電話帳や再ダイヤルを使って、電話をかけることはできません。
		電話を受ける	ハンドセットを取りあげるとお話しできます。
		ファクス送信	送ることはできません。
		ファクス受信	受けることはできません。
		コピー	通常のコピー、ハンドコピーとも使用できません。復旧後あらためてコピーしてください。
	コードレス電話機	電話をかける	かけられません。
		電話を受ける	着信音が鳴らず受けられません。

ワンポイント

●ファクス本体のワンタッチダイヤル／短縮ダイヤル／暗証番号／各種機能設定の内容は

電話帳や短縮ダイヤル、ワンタッチダイヤル、自局登録内容、ポケットベル／転送先電話番号、暗証番号、機能設定の内容は消えません。

お知らせ

●呼出音量の設定が「切」になっていても呼出音が鳴ります。ただし着信ランプは点滅しません。
●ハンズフリー通話はできません。
●ダイヤルイン機能は働きません。
●留守番電話動作中に停電したときは、電話が切れて録音も止まります。
●外出先からリモコン操作中に停電したときは、電話が切れて動作も止まります。
●停電中は、ドアホンを使用することはできません。ドアホン通話中に停電したときは、通話が切れてしまいます。
●内蔵のリチウム電池について
・電話帳・発信元名・電話番号・日付・時刻など、登録／設定した内容は、本体内蔵のリチウム電池で保持されています。
・このリチウム電池は、ファクス本体の電源コードが差し込まれているときはほとんど消耗しませんが、停電時や電源コードが差し込まれていない状態のときに消耗します（何も登録／設定されていなくても消耗します）。電池が消耗すると、登録／設定した内容が消えてしまいますので、必ず登録／設定した内容は控えておいてください。
・リチウム電池の寿命は、連続的に停電や電源コードを抜いた状態で約5年間です。
・リチウム電池の交換は、NTT窓口等へご依頼ください（有料）。

こんな表示や音がしたら

本商品をご使用中に液晶ディスプレイに以下の表示やアラーム音がしたら、次のように処置して下さい。

	液晶ディスプレイ／アラーム音	チェック	処　置	参照ページ
ファクス本体	ｷﾛｸｼ ｶﾞ アリマセン	感熱記録紙がなくなっていませんか？	感熱記録紙を交換してください。	☛P28
		感熱記録紙が正しくセットされていますか？	感熱記録紙を正しくセットしてください。	☛P28
	ｹﾞﾝｺｳ ｶﾞ ツマッテイマス	原稿が途中で止まっています	・スタート/ボタンまたはコピーボタンを押します。 ・ハンドコピーを外し、原稿解除レバーを引いて原稿を取り出します。	☛P204
	ツウシンエラー ｶﾞ アリマシタ	回線の状態などで送信や受信ができていないことがあります	相手に確認の上、もう一度送信するか受信してください。	—
	ﾍｯﾄﾞ ｶﾞ コウオンﾃﾞｽ	長時間連続して受信やコピーをしていませんか？ 真っ黒に印刷されていませんか？	記録部の過熱保護機能が働いて動作しなくなります。 しばらくお待ちください。	—
	ｽﾋﾟｰﾄﾞ ｶﾞ ハヤｽｷﾞ マス	ハンドコピーの動かし方が速すぎます	ゆっくり動かします。	☛P44
	ﾊﾝﾄﾞ ｺﾋﾟｰ ヲ サイセット	ハンドコピーが正しくセットされていません	正しくセットします。	☛P44
	ﾊﾝﾄﾞ ｺﾋﾟｰﾊｽﾞ レテイマス 「ピピピピ」	ハンドコピーが外れたまま原稿をセットしていませんか？	正しくセットします。	☛P44
	ナイセンシヨウ中	コードレス電話機を使用中です		—
	ガイセンシヨウ中	コードレス電話機で回線を使用中です またはダイヤルイン着信処理中です		—
	ｺｰﾄﾞ ｶﾞ ﾊｽﾞ レテイマス	ハンドコピーカールコードが外れていませんか？	ハンドコピー／画像入力端子にハンドコピーカールコードを正しく接続します。	☛P20
	ｷﾛｸｼ ｶﾞ ツマッテイマス ｷﾛｸｼ ヲ サイセット	感熱記録紙がつまっていませんか？	感熱記録紙づまりを取り除きます。	☛P205
		記録紙カバーを開閉しませんでしたか？	感熱記録紙を再セットします。	☛P28

ここで記載されている以外のエラー内容が表示され、機能に支障が生じたときは、局番なしの113番にご連絡ください。

こんな表示や音がしたら

	アラーム音	チェック	処　置	参照ページ
コードレス電話機	「ピーピー」	ファクス本体や他のコードレス電話機が使用中ではありませんか？	ファクス本体や他のコードレス電話機でのお話しが終わってから使用します。	
		ファクス本体から離れすぎていませんか？	電波が届く範囲で使います。	☛P61
		ファクス本体の電源コードが外れていませんか？	電源コードを接続します。	☛P26
	「ピピピピ」	登録中に登録できないボタンを押していませんか？	もう一度操作手順を確認してください。	☛P89
		登録中に10秒以上間をあけていませんか？	もう一度はじめから登録して、10秒未満で操作します。	☛P89
	「ピッピッピッ･･･」	コードレス電話機の電池の容量が少なくなっていませんか？	充電器にコードレス電話機を置いて充電します。	☛P31 P61
	「ピーピーピー･･･」（約10秒）	コードレス電話機が使用範囲を外れていませんか？	約10秒後に電話は切れますので速やかに使用範囲内に戻ってください。	☛P61

ここで記載されている以外のエラー内容が表示され、機能に支障が生じたときは、局番なしの113番にご連絡ください。

通信結果表が印刷されたら

送信や受信のときに異常が起こったときは、自動的に通信結果表を印刷します。下の表を見て対処してください。また、印刷する条件をファクスを送信したときだけや、送受信したときすべて、または印刷しないようにすることもできます。(☛P160)

通信結果	原　因	対処	参照ページ
OK	送受信が正常に終わった。		—
通信エラー	回線の状態などで送受信が正常に終わらなかった。	ファクスが届いたかどうかを相手の方にご確認の上、届いていない場合は、もう一度送信します。通信エラーの番号は弊社のサービスマンが確認するためのものです。頻繁に起こるときは当社のサービス取扱所までご連絡ください。	—
キャンセル	ストップボタンを押してダイヤルをとりやめた。	———	—
記録紙無し	受信中に感熱記録紙が無くなった。	感熱記録紙をセットして、もう一度送信しなおしてもらいます。	☛P28
送信長オーバー	1m以上の長さの原稿を送信しようとした。	原稿の長さを1m未満にしてもう一度送信します。	☛P39
受信長オーバー	1.5m以上の長さの原稿を受信しようとした。	原稿の長さを1.5m未満にしてもう一度送信してもらいます。	☛P39
オーバーヒート	記録部の過熱保護機能が働いた。	しばらく待ってからコピー、または送信してもらいます。	—
ビジー	電話帳や再ダイヤルで送信しようとしたが、相手が通信中などで送信できなかった。	しばらく待ってから送信します。	—
停電	送受信中に停電がおこった。	回復してから送信、または受信してもらいます(停電中でも電話をかけることはできます)。	☛P208
セレクト受信	セレクト受信が働いて、登録していない相手からの送信を受けられなかった。	セレクト受信を「なし」にするか、ハンドセットを取りあげ、スタート ボタンを押して受信します。	☛P158
記録紙づまり	受信中に感熱記録紙がつまった。	つまった感熱記録紙を取り出したあと、感熱記録紙をセットし、もう一度送信してもらいます。	☛P205

●通信結果表の印刷例

通信結果表

'97年6月10日（火）3：58PM

日付	開始時刻	相手先	通信時間	枚数	通信内容	通信結果
6月10日	3：57PM	0335095538	44"	1	送信	通信エラー2

お知らせ

●送受信時すべてに通信結果表を印刷する設定では、ファクス送信が終了したと同時にドアホン着信があり、このあとドアホン通話中に外線着信でファクス受信に切り替えたときは、前の通信結果を印刷しません。
感熱記録紙切れなどで次の通信までに通信結果表を印刷できなかったときも、前の通信結果の内容は印刷しません。

●お話し中調べは局番なしの114番へご連絡ください。

故障かな？と思ったら

故障かなと思ったときは、お問い合わせや修理をご依頼する前に次の点をご確認ください。

■ファクス本体をお使いのとき

	こんなとき	チェック	処　置	参照ページ
一般	動作しない	電話機コードが電話用コンセントから外れていませんか？	電話機コードをしっかりと接続します。 ファクス本体の電源プラグをいったん抜いて、もう一度入れ直してください。それでも動作しないときは、NTT窓口へご相談ください。	☛P26
	通信や通話ができない	ファクス本体の電話機コードが外れていませんか？	ファクス本体の電話機コードをしっかりと接続します。	☛P26
		ファクス本体の電話機コードを差し間違えていませんか？	ファクス本体の電話機コードを正しい位置に接続します。	☛P26
	留守セットや登録操作、原稿のセットができない	ハンドコピーは正しくセットされていますか？	ハンドコピーを正しくセットします。	☛P44
ファクス	終了音が鳴らない	終了音を「なし」にしていませんか？	終了音を「鳥の声」「音声」または「アラーム音」にします。	☛P160
	送信できない	ハンドコピーが外れていませんか？	ハンドコピーを取り付けます。	☛P20
		受信側の感熱記録紙がなくなっていませんか？	相手側に確認します。	☛P48 P50
		ファクス本体の電話機コードを差し間違えていませんか？	ファクス本体のコードを正しい位置に接続します。	☛P26
	送信した画像が悪い	背面ローラや読み取り部が汚れていませんか？	汚れを拭き取ります。	☛P202
	海外へ送信した画像が悪い	通信状態の良くない地域があります。	海外通信モードで送信します。	☛P144
	受信できない	エラー表示が出ていませんか？	液晶ディスプレイを確認します。	☛P209
		セレクト受信を設定していませんか？	セレクト受信を「なし」にします。	☛P158
		記録紙カバーが開いていませんか？	記録紙カバーを閉めます。	☛P20
		ファクス本体の電話機コードを差し間違えていませんか？	ファクス本体のコードを正しい位置に接続します。	☛P26
	受信、コピーした画像が悪い	静電気や雷などで電話回線の状態が悪くありませんか？	相手側へもう一度送信を依頼します。	☛P187
		キャッチホンを利用していませんか？（受信中に電話がかかると画像が乱れます）	もう一度送信を依頼します。	☛P187
		指定の感熱記録紙を使っていますか？	指定の感熱記録紙を使用します。	☛P28 P215
		記録ヘッド、背面／記録紙送りローラや読み取り部は汚れていませんか？	汚れをふき取ります。	☛P202
		記録紙カバーが開いていませんか？	記録紙カバーを閉めます。	☛P20
	白紙が出てくる	感熱記録紙の向きは正しく合っていますか？	感熱記録紙を正しくセットします。	☛P28
		相手側が原稿の向きを逆にセットしている場合があります。	相手側に確認します。	—
	呼出音が鳴らず応答メッセージが流れる	ノンコール着信を設定していませんか？	ユーザセレクトの設定を確認します。	☛P160

	こんなとき	チェック	処　置	参照ページ
コピー	白紙が出てくる	コピー原稿が裏向きにセットされていませんか？	表向きにセットします。	☛P38
	コピーが逆さまに写る	ハンドコピーの読み取り方向が逆になっていませんか？	ハンドコピーに表示されている矢印の方向に動かします。	☛P44
	感熱記録紙に赤線が出てきた	感熱記録紙の残量が少なくなっています。	新しい感熱記録紙を準備します。	☛P28
電話	電話がかけられない	電話回線種別切替スイッチが正しく合っていますか？	正しく設定します。	☛P27
		電話機コードを差し間違えていませんか？	電話機コードを正しい位置に接続します。	☛P26
	スピーカ音が鳴らない聞こえにくい	音量の設定が小さくなっていませんか？	適度な大きさに調節します。	☛P70
	こちらからの声が相手に届かない	ハンドセットの下の送話口を手でふさいでいませんか？	ふさがないように正しく持ちます。	☛P20
	着信音が鳴らない	音量の設定を「切」にしていませんか？	適度な大きさに調節します。	☛P70
	通信中または相手が保留中にファクス受信に切り替わってしまう	———	ファクス本体のユーザセレクトの設定で、おまかせ受信を「なし」にします（ファクスを受けるときは スタート ボタンを押します）。	☛P162
留守録	応答メッセージが流れない	感熱記録紙や録音容量がなくなっていませんか？	感熱記録紙を交換します。 録音内容を消します。	☛P28 P100
	留守を解除しても用件を再生してもディジタル留守ランプが2回点滅している	未再生の録音はありませんか？	留守録を再生します。	☛P100 P101
	留守セットができない	ハンドコピーは正しくセットされていますか？	正しくセットします。	☛P44
	自分で作った応答メッセージが流れない	応答メッセージの設定が「固定」になっていませんか？	応答メッセージの設定を確認します。	☛P110
	ポケットベル転送ができない	転送先の電話やディスプレイポケットベルに送るデータを登録したときに、ポーズや＃を登録しましたか？ (NTTDoCoMo以外のポケットベルへ転送するときは、操作が異なることがありますので、くわしくは転送するポケットベルの取扱説明書をご覧ください)	もう一度登録し直します。	☛P103 P108

故障かな？と思ったら

■コードレス電話機をお使いのとき

	こんなとき	チェック	処　置	参照ページ
コードレス電話機	動作しない	充電池の容量が少なくなっていませんか？	充電器にコードレス電話機をセットして充電します。	☛P31
		充電池のコネクタが外れていませんか？	正しく接続します。	☛P30
		電源がOFFになっていませんか？	電源を入れます。	☛P30
	着信音が鳴らない	充電池のコネクタが外れていませんか？	正しく接続します。	☛P30
		電源がOFFになっていませんか	電源を入れます。	☛P30
		充電池の容量が少なくなっていませんか？	コードレス電話機を充電します。	☛P31
		ファクス本体の電源プラグが外れていませんか？	電源プラグを接続します。	☛P26
		トランシーバモードになっていませんか？	トランシーバモードを解除します。	☛P188
		着信規制が「あり」になっていませんか？	ファクス本体で着信規制を「なし」にします。	☛P196
	電話がかけられない	充電池のコネクタが外れていませんか？	正しく接続します。	☛P30
		発信規制が働いていませんか？	ファクス本体で発信規制を「なし」にします。	☛P196
		充電池の容量が少なくなっていませんか？	コードレス電話機を充電します。	☛P31
		ファクス本体から離れすぎていませんか？	電波が届く範囲で使います。	☛P60
	充電できない	電源アダプターが電源コンセントから外れていませんか？	正しく接続します。	☛P31
		充電端子が汚れていませんか？	充電端子を清掃します。	☛P202
	通話中または相手が保留中にファクス受信に切り替わってしまう	―――	ファクス本体のユーザセレクトの設定で、おまかせ受信を「なし」にします	☛P162

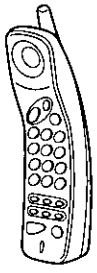
別売品・消耗品について

別売のコードレス電話機を増設することができます。別売品、感熱記録紙や電池パックなどの消耗品についてはNTTの窓口等にお申しつけください。

別売品

■ 増設用コードレス電話機

NTTFAX T-241DCLwは、コードレス電話機を2台まで、T-241DCLは3台まで増設することができます。
増設できる電話機はファクシミリ用T241コードレス電話機及びPHS対応のディジタルコードレスホンです。
〈FAX-T241TEL〉



●増設用コードレス電話機については、NTT窓口等へお問い合わせください。

■ 充電器および電源アダプタ

・ファクシミリ用T241コードレス電話機用充電器〈FAX T-241TEL-ジュウデンキ〉
・コードレスホン充電器用電源アダプタ〈CT-デンゲンアダプタP-057〉

■ ハンドスキャナキャリーパック「1」

FAX-ハンドコピー用コード〈2〉「S1」

■ ビデオキャプチャユニット「1」

■ FAX-ハンドコピー用コード〈2〉「S1」

■ ドアホンボックス

・ドアホンボックスII
・電源アダプタ〈CT-デンゲンアダプタ-034〉
ドアホンボックスを利用する場合は、〈CT-デンゲンアダプタ-034〉が必要です

■ ドアホン制御ユニット

・ドアホンボックスを利用する場合は、ドアホン制御ユニットが必要です。

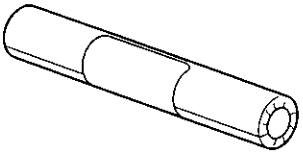
■ ドアホン

消耗品

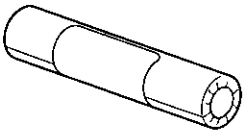
■ 感熱記録紙

B4サイズ、A4サイズのいずれかをセットすることができます。

B4サイズ（257mm×30m）



A4サイズ（210mm×30m）



■キャリアシート

A4 サイズとB4サイズの2種類があります。

B4サイズ

A4サイズ

■ 電池パック

コードレスホン電池パック-062
〈CT-デンチパック-062〉

別売品、消耗品のお求めについては、NTT窓口等にお訪ねください。感熱記録紙は記録品質への悪影響および故障の原因となることがありますので、当社指定のNTT FAX T-241DCLw/T-241DCL用記録紙以外はご使用にならないでください。

索　引

アルファベット

FAX情報／FAX伝言ボタン……21
FAX伝言
　FAX伝言内容リスト……122
　伝言文の登録……131
　伝言を送る……130
　電話／FAX番号の登録……129
Fネット……19、140、146
ISDN……176

五十音

【ア行】

アース端子……20
あとからトーク……126、128
あとからトークボタン……21
アラームランプ……22
アンテナ……20、24
居留守応答（留守モニタ）……112
液晶ディスプレイ……20、23
エコーサプレス……192
絵はがきFAX……150
応答／消去ボタン……21
応答メッセージの録音……110
応答メッセージ／発信音の間隔……112
屋内モード……32
送りボタン……21、24
お手入れ……202
オリジナルスタンプ
　印刷位置を選ぶ……136
　作る……135
オリジナルスタンプ確認リスト……122
音量ボタン……21、24

【カ行】

海外へファクスを送る……144
外出先からの留守セット……120
外出先から用件を聞く……118
回線差込口……20
回線種別切替スイッチ……20、27
画質選択ボタン……21
感熱記録紙
　A4感熱記録紙を使う……28
　感熱記録紙がつまったら……205
　感熱記録紙をセットする……28
感熱記録紙排出口……20
帰宅したとき
　用件再生……100、101
　用件消去……100
　留守解除……100
キャッチ／登録ボタン……24
キャッチホンサービス……187
切ボタン……24
記録紙サイズ……29
記録紙トレイ……20
クイック通話……192
原稿
　画質と濃淡……40
　原稿がつまったら……204
　セットする……38
原稿解除レバー……20
原稿ガイド……20
原稿挿入口……20
原稿排出口……20
原稿ホッパー……20
故障かな?と思ったら
　コードレス電話機……214
　ファクス本体……212
コードレス電話機
　壁に掛けて使う……201
　再ダイヤル……63
　充電器を接続する……31
　充電する……31
　受話音量を変える……70
　使用可能時間……32
　準備する……30
　短縮ダイヤルで電話をかける……93
　短縮ダイヤルに登録する……89
　着信音量を変える……71、193
　着信パターンを変える……193
　通話できる範囲……19、32
　伝言の再生……165、166
　伝言の録音……165、166
　電池残量……32
　電池パックの取り扱い……206
　電話を受ける……66
　電話をかける……60
　トランシーバ通話……188
　内線通話……72、74、76
　内線リモコン操作……101
　発信·着信規制の設定……196

ファクスを受ける ……56
保留 ……69
保留転送 ……80、82
モードの設定 ……32
用件転送のセット……104
用件の再生……101
留守解除……101
留守セット ……99
ワンタッチダイヤルで電話をかける ……92
ワンタッチダイヤルに登録する ……88
コピーする……42
コピーボタン……21

【サ行】

再生ボタン ……21、24
再送ボタン……24
再送／ポーズボタン……21
再ダイヤル送信 ……62、63
自動再ダイヤル ……62、196
自動送信……50
シャープボタン ……21、24
充電／外線ランプ……25
充電器 ……31、201
手動送信……48
受話音量……70
受話口 ……20、24
消耗品・別売品 ……215
スター(PB)ボタン……21、24
スタートボタン……21
スタートランプ……22
スタンプボタン……21
ストップボタン……21
スピーカ……20
スピーカ音量……70
設定
居留守応答……112
応答メッセージ／発信音の間隔……112
オートカッター……158
おまかせ受信……162
音声ガイダンス……160
画質優先選択……158
記録紙サイズ ……29
子機インフォメーション……162
コードレス電話機発信規制……196
在宅時の留守録……112
在宅モード／ノンコールモード時の相手への
応答メッセージ ……158、194
在宅モード時のコール回数 ……158、194
再転送条件……112
受話音量切替……194
セレクト受信……158
着信音選択 ……160、194
通信／コピー終了音選択 ……160、194
通信結果表印字……160
ディスプレイ操作表示切替時間 ……162、194
電話の自動再ダイヤル選択……196
登録内容クリア ……162、196
ノンコール着信……160
ノンコールモード時のコール回数……160
パソコンモード時のダイヤルトーン
送出時間 ……162、196
ペーパーセーブ受信……158
保留メロディ……194
無音検出時間……112
迷惑FAX防止 ……158
ユーザセレクト初期化 ……162、196
用件録音時間……112
リモート受信番号……160
留守セット時のコール回数……112
セレクト受信……19
操作パネル……20
送話口 ……20、24

【タ行】

ダイヤルインサービス ……19、176、180
ダイヤルインの利用……180
ダイヤルイン番号の登録……178
ファクスコール回数……184
ファクス着信音……185
留守転送……183
留守録……182
ダイヤルボタン ……21、24
短縮ダイヤル
電話をかける ……93
登録 ……89
短縮ボタン……24
着信音量 ……71、193
着信音パターン ……193
着信ランプ……22
通信結果表 ……211
通風孔……20
通話ボタン……24
通話ランプ……25
通話録音 ……164

索　引

ディジタルハンズフリーボタン……21
ディジタルハンズフリーランプ……22
ディジタル留守ボタン……21
ディジタル留守ランプ……22
停止ボタン……24
停電……208
伝言メモ……165、166
転送
　保留転送……78、80、82
　留守転送……102、104、108
転送ボタン……24
電池カバー……24、206
電池の残量……32
電池パック……30、206
電話回線の種別……27
電話帳／キャッチボタン……21
電話帳
　電話をかける……91
　登録する……86
　ファクスを送る……90
電話番号リスト……122
電話を受ける
　コードレス電話機で受ける……66
　ファクス本体で受ける……64、65
電話をかける
　コードレス電話機で電話をかける……60
　再ダイヤル……62、63
　短縮ダイヤル……93
　電話帳……91
　ファクス本体で電話をかける……58、59
　ワンタッチダイヤル……92
ドアホン
　コードレス電話機で応答する……199
　ファクス本体で応答する……198
登録
　暗証番号……116
　自分の名前……35
　ダイヤルイン番号……178
　短縮ダイヤル……89
　電話帳……86
　トランシーバ通話の内線番号……190、191
　ファクス番号……36
　留守転送……105
　ワンタッチダイヤル……88
登録設定リスト……122
登録／ハンドコピー設定ボタン……21
登録メニュー……123
トランシーバ通話
　通話する……188
　内線番号の消去……191
　内線番号の登録……191
トランシーバボタン……24
トランシーバモード……188
トランシーバランプ……25
トールセイバ……96、112

【ナ行】

内線操作BOXの設定……168
内線通話……72、74、76
内線／ドアホンボタン……21
内線リモコン……101
ノンコール着信……138

【ハ行】

パーソナルBOX……167
　暗証番号の登録……116
　外出先から用件や伝言を聞く……174
　内線操作BOXの設定……168
　ファクス本体で伝言を録音する……172
　ファクス本体で録音内容を聞く……173
　用件転送……183
　用件を録音する……172
パーソナル留守録……19、167
パーソナル留守録ボタン……21
パーソナル留守録リモコン方法……122
発信・着信規制の設定……196
ハンズフリー受信……65
ハンズフリー通話……59
ハンドコピー……20
　パソコンのスキャナとして使う……157
　パソコンのプリンタとして使う……156
　ハンドコピーする……44
ハンドコピー／画像入力端子……20
ハンドコピーカールコード……20
ハンドコピーメモリ送信……124
ハンドスキャナキャリーバック
　原稿を読み取る……152
　消去する……155
　ファクスで送る……153
　プリントする……153
ハンドセット（受話器）……20
ハンドセットコード……20

ハンドセットコード（受話器）差込口……20
日付・時刻を合わせる……33
ビデオキャプチャ
画像を取り込む……147
ファクスを送る……149
プリントする……148
ファクシミリ情報サービス……140
Fネット方式……141
ガイダンス方式……141
登録する……140
取り出す……142
ポーリング方式……141
ファクス番号……36
ファクス本体
再ダイヤル……62
再ダイヤルでファクスを送る……51
受話音量を変える……70
スピーカ音量を変える……70
接続する……26
着信音量を変える……71
通話録音……164
伝言の再生……165
伝言の消去……100
伝言の録音……165
電話帳で電話をかける……91
電話帳でファクスを送る……90
電話帳に登録する……86
電話を受ける……64
電話をかける……58、59
内線通話……72、74、76
ファクスを受ける……54
ファクスを送る……48、50
保留……68
保留転送……78
用件転送のセット……105
用件の再生……100
用件の消去……100
留守解除……100
留守セット……98
ファクスを受ける……52
コードレス電話機で受ける……56
ファクス本体で受ける……54
ポーリング受信……143
留守受信……96、98
ファクスを送る
再ダイヤル送信……51
自動送信……50
手動送信……48
スタンプを押して送る……132、133
電話帳……90
付属品……200
フックスイッチ……20
プッシュホンサービス……186
プリンタ・スキャナ
スキャナとして使う……157
ファクス本体に接続する……156
プリンタとして使う……156
プリントモード……122
FAX伝言内容リスト……122
オリジナルスタンプ確認リスト……122
電話番号リスト……122
登録設定リスト……122
パーソナル留守録リモコン方法……122
文字入力リスト……122
録音リスト……122
保留
コードレス電話機……69
ファクス本体……68
保留転送……19、78、80、82
保留／内線ボタン……24
保留ボタン……21

【マ行】

マイク……21
無音検出時間……112
文字の入力……84
文字入力リスト……122
モデム入出力端子……20
戻しボタン……21、24

【ヤ行】

ユーザセレクト
オートカッター……158
おまかせ受信……162
音声ガイダンス……160
画質優先選択……158
子機インフォメーション……162
コードレス電話機着信規制……196
在宅モード／ノンコールモード時の
相手への応答メッセージ……158、194
在宅モード時のコール回数……158、194
受話音量切替……194
セレクト受信……158
着信音選択……160、194

索　引

通信／コピー終了音選択 ……160、194
通信結果表印字……160
ディスプレイ操作表示切替時間 ……162、194
電話の自動再ダイヤル選択……196
登録内容クリア ……162、196
ノンコール着信……160
ノンコールモード時のコール回数……160
パソコンモード時のダイヤルトーン送出時間 ……162、196
ペーパーセーブ受信……158
保留メロディ……194
迷惑FAX防止 ……158
ユーザセレクト初期化 ……162、196
リモート受信番号……160

用件
再生 ……100、101
消去……100
転送先で受ける ……102、103
録音時間……112

用件転送
セット ……104、105
転送先電話番号の登録……106
転送データの登録……108

【ラ行】

リセットボタン……24
リモコン操作 ……114
暗証番号の登録……116
操作手順カード ……巻末
パーソナルBOXの用件や伝言を聞く ……174

留守解除
コードレス電話機……101
ファクス本体……100

留守セット時コール回数 ……112

留守セット
コードレス電話機 ……99
ファクス本体 ……98

留守番電話 ……19、94
一般留守録 ……94
外出先からのリモコン操作 ……97
外出するとき ……96
外出中 ……96
帰宅したら ……97
コードレス電話機で留守セット ……99
コードレス電話機での留守解除……101
在宅時……112
ダイヤルイン留守録 ……95
パーソナル留守録 ……94
ファクス本体で留守解除……100
ファクス本体で留守セット ……98
用件再生 ……100、101
用件消去……100
用件録音時間の変更……112
留守転送 ……102、104、105

留守ボタン……21

留守録モード
居留守応答（留守モニタ）……112
留守セット時コール回数……112
応答メッセージ／発信音の間隔……112
在宅時の留守録……112
再転送条件……112
無音検出時間……112
用件録音時間……112

録音
コードレス電話機での伝言の録音……166
ファクス本体での通話録音……164
ファクス本体での伝言の録音……165
応答メッセージ……110
用件録音時間の変更……112

録音／PC⇄FAXボタン……21
録音メッセージ付きFAX……111
録音リスト ……122

【ワ行】

ワンタッチダイヤル
電話をかける ……92
登録 ……88

ワンタッチダイヤルボタン……24

主な仕様

外観・仕様などは改良のため予告なしに変更することがあります。

認定機器名	G3－〈32〉〈T241M〉－FAX

形　名		NTT FAX T-241DCLw/NTT FAX T-241DCL　送受信兼用卓上型
使用回線		一般加入電話回線、ファクシミリ通信網（Fネット）*1、NCC回線
電　源	ファクス本体	AC 100± 10 V　50／60 Hz
	コードレス電話機	DC 9.5 V　専用ニッケル水素電池、3.6 V
消費電力（100 V AC）		待機時　：約5.1 W（平均値） ピーク時：約120 W
使用可能時間(コードレス電話機)		待ち受け：約240時間　　連続通話：約5時間
満充電完了時間		約5 時間
圧縮方式		MH・新独自圧縮
通信モード		G3*2
伝送速度		9 600/7 200/4 800/2 400 bit/s（自動フォールバック付）
電送時間		約15秒*4
中間調伝送		あり（64階調）
走査線密度		主8 本／mm（標準、ファイン、スーパーファイン、ハーフトーン） 副15.4本/mm（スーパーファイン）　7.7本/mm（ファイン・ハーフトーン） 3.85本／mm（標準）*3
走査方式		CCDイメージセンサによる固体平面走査
原稿サイズ		最大：幅257 mm×長さ1 000 mm　最小：幅148 mm×長さ148 mm
有効読み取り幅		252 mm（B4）
有効記録幅		感熱記録紙の各辺から4 mmを除いた範囲（252 mm）
最大送信原稿		257 mm
記録方式		感熱記録方式
記録紙サイズ		B4：257 mm×30 m、A4：210 mm×30 m
留守録音	録音時間	14分
	録音件数	30件
	応答メッセージ	オリジナル応答メッセージ 3件
外形寸法（突起部を除く）	ファクス本体	351（幅）×255（奥行）×138（高さ）mm
	コードレス電話機	48（幅）×43（奥行）×202（高さ）mm
質　量	ファクス本体	約3.8 kg
	コードレス電話機	164 g（電池パック含む）
使用環境		温度：5 ℃～35 ℃
直流抵抗値		286 Ω
時間精度		平均月差　約±60秒（20 ℃のとき）

＊1　本商品は1 300 Hz対応機です。
＊2　本商品で送受信できるのは、相手機もG3規格のファクシミリに限られます。
＊3　ITU-T（国際規格）準拠
＊4　A4サイズ700字程度の原稿を標準画質（8×3.85本／mmで高速モード（9 600 bit/s）、新独自圧縮で送ったときの速さです。
これは画像情報のみの伝送速度で、通信の制御時間は含まれておりません。
なお、実際の通信時間は、原稿の内容、相手機種、回線状態によって異なります。

保守サービスのご案内

● 保証について

保証期間（1年間）中の故障につきましては無償で修理いたしますので、「保証書」は大切に保管してください。
(詳しくは「保証書」の無料修理規定をご覧ください。)

● 保守サービスについて

保証期間後においても、引き続き安心してご利用いただける「定額保守サービス」と、故障修理のつど料金をいただく「実費保守サービス」があります。
NTTでは、安心してご利用いただける定額保守サービスをお勧めしています。

保守サービスの種類は

定額保守サービス	●毎月決められた料金をお支払いいただくことで、定期点検、故障時の修理、定期交換部品の交換※など、性能維持に必要な保守サービスを行いますので、本商品を安心してご利用いただけます。 ●定額保守サービスには、以下のような種別があります。 ・Aサービス：毎月の定額料金のみで、すべての保守サービスを提供いたします。
実費保守サービス	●定期交換部品の交換、故障時の修理等に要した費用をその都度いただきます。 ・お客様宅へお伺いするための費用および修理に要する技術費用・部品代をいただきます。 ・故障内容によっては、高額になる場合もありますのでご承知願います。 ●NTT窓口等まで本商品をお持ちの場合は、お客様宅へお伺いするための費用が不要になります。

※本商品には、ローラなど定期的に交換を必要とする部品（定期交換部品）があります。定期保守Aサービスをご契約いただければ、当社が責任をもって定められた交換時期に必要な部品の交換を行います。本商品を安心してお使いいただくために、是非とも定期保守Aサービスのご契約を結ばれるようにお願いいたします。

● 故障の場合は

局番なしの113番へご連絡ください。

● お話し中調べは

局番なしの114番へご連絡ください。

● その他

定額保守サービスの料金については、NTT通信機器お取扱相談センタへお気軽にご相談ください。

〈NTT通信機器お取扱相談センタ：0120-109217（トークニイーナ）〉

● 補修用部品の保有期間について

本商品の補修用性能部品（商品の性能を維持するために必要な部品）を、製造打ち切り後、最低7年間保有しています。

NTTFAX T-241DCLw/T-241DCL 操作ガイド NTT

記号説明：ハンドセットを取り上げます → ハンドセットを置きます → 原稿をセットします → 各機能ボタンを押します → ダイヤルボタンを押します → お話しします → マイクに向かってお話しします

◆コピーする

※詳しくは取扱説明書をご覧ください。

項目	操作	参照
本体でコピーする	原稿セット → 画質選択 → コピー	☞P42
ハンドコピーする	ハンドコピーを取り外す → 画質選択 → 登録（ハンドコピー設定）で設定する項目を選ぶ → スタート を押す →（倍率 → メモリコピー → 白黒反転 → 読み取り幅 の順に選ぶ） 読み取りの基準位置を合わせる → コピー → 原稿に押しあてて、ゆっくり手前に引く → コピーが終わったら ストップ → ハンドコピーを本体に戻す	☞P44

◆ファクスを送る

再ダイヤルで送る	原稿セット → 画質選択 → 再送/ポーズ → スタート	☞P51
電話帳で送る	原稿セット → 画質選択 → 電話帳/キャッチ → 相手の名前を確認する → スタート	☞P90
ハンドコピーした内容を送る（ハンドコピーメモリ送信）	メモリコピーを「スル」にしてハンドコピーで読み取る → コピーが終わったら ストップ → （ファクス番号） → 「ピー」という音が聞こえたら スタート →	☞P124

◆ファクスを受ける

相手が手動送信のとき	着信音が鳴る → （または） → 呼びかけて応答のないことを確認する → スタート → （または）	☞P54
相手が自動送信のとき	着信音が鳴る → （または） → 「ポー・ポー・ポー…」という音が聞こえる → スタート → （または）	

◆電話をかける／受ける

電話をかける	（または） → （電話番号） → （または） → （または）	☞P58 ☞P59

項目	操作	参照
再ダイヤルでかける	（または） → 再送/ポーズ → （または） → （または）	☞P62
電話帳でかける	（または） → 電話帳/キャッチ → 相手先の名前を確認する → スタート → （または） → （または）	☞P91
電話を受ける	着信音が鳴ったら → （または） → （または） → （または）	☞P64 ☞P65
保留する	相手の方に待っていただくように伝える → 保留 → 再び通話するときは	☞P68

◆留守番電話として使う

留守をセットする	ハンドセットを置いたまま → 応答/消去（留守ランプ点灯）	☞P99
留守を解除する	ハンドセットを置いたまま → 応答/消去（留守ランプ消灯）	☞P100
用件をすべて消す	ハンドセットを置いたまま → 応答/消去 → スタート	☞P100
個別に用件を消去する	消したい用件を再生中に 応答/消去 を2回押す	☞P100

◆用件を転送する

留守録の用件転送のセット／解除	ハンドセットを置いたまま → 登録（ハンドコピー設定） → ＊ を4回押す → スタート → # を4回押す → スタート ＊／# 選択「アリ」（セット）「ナシ」（解除） → スタート → 登録（ハンドコピー設定） ※暗証番号、転送先の電話番号の登録、ポケットベルへ転送するデータの登録は取扱説明書をご覧ください。	☞P105

◆自分の声で応答メッセージを録音する

録音する	ハンドセットを置いたまま → 応答/消去 を2回押す → 1 ～ 3 応答メッセージ番号を選ぶ → → ハンドセットで応答メッセージを話す → 録音を止めるときは ストップ（またはハンドセットを置く）	☞P110
応答メッセージを選ぶ	ハンドセットを置いたまま → 応答/消去（点灯） → 1（戻し）／3（送り）ボタンで選択	☞P110

項　目	操　作	参照
応答メッセージの内容を聞く	ハンドセットを置いたまま 応答/消去 を4回押す → スタート → 再生を止めるときは ストップ	☞P110
録音内容を消去する	ハンドセットを置いたまま 応答/消去 を3回押す → 1 ～ 3 消去する応答メッセージを選ぶ → スタート	☞P110

◆用件を聞く

用件を聞く	ハンドセットを置いたまま 2 → 再生を止めるとき ストップ	次の用件に移る	再生中に 3 → 再生を止めるとき ストップ	☞P100
再生速度を変える	再生中に 2 (早聞き) → 2 (遅聞き) → 2 (元に戻る) → 再生を止めるとき ストップ			☞P100
今聞いている用件を聞き直す	再生中に 1 → 再生を止めるときは ストップ	前の用件に戻る	再生中に 1 を2回押す → 再生を止めるとき ストップ	☞P100
録音メッセージ付きファクスの用件を聞く	ハンドセットを置いたまま ＊ → ファクスの下に印刷された2桁の番号			☞P111

◆ファクスを送ったあと／受けたあと話す（あとからトーク）

ファクスを送ったあと話す	通話中に 原稿セット → 画質選択 → あとからトーク → 相手の声がスピーカから聞こえたら	☞P126
ファクスを受けたあと話す	ファクス受信に切り替えることを相手に伝えて あとからトーク → 相手の声がスピーカから聞こえたら	☞P128

◆FAX伝言

伝言メモを送る	→ (ファクス番号) → 留守応答メッセージや「ピー」という音が聞こえたら → FAX開始/FAX伝言 (自分で登録したFAX伝言を送るときはもう一度 FAX開始/FAX伝言) → スタート →	☞P130

◆スタンプ送信

スタンプを押してファクスを送る	原稿セット → スタンプ → スタート → スタンプ → オリジナルスタンプ / メッセージスタンプ（1回押す） / オキマリスタンプ（2回押す） → スタート → ＊／＃ で選ぶ → スタート → → (ファクス番号) → 相手が電話に出たときは、スタートボタンを押してもらう → スタート →	☞P133

◆自分専用の留守録として使う（パーソナル留守録／音声伝言板）

項　目	操　作	参照
通話を録音する	通話中に 録音/PC⇄FAX → 録音を止めるときは ストップ	☞P164
伝言を録音する	→ 録音/PC⇄FAX → 伝言を話す → 録音を止めるときは ストップ	☞P165
BOXに伝言を録音する	→ パーソナル留守録 → 2 ～ 5 BOX番号を押す → 録音/PC⇄FAX → 伝言を話す → 録音を止めるとき ストップ	☞P172
BOXに通話を録音する	通話中に パーソナル留守録 → 2 ～ 5 BOX番号を押す → 録音/PC⇄FAX → 録音を止めるときは ストップ	☞P172
BOXの録音内容を聞く	ハンドセットを置いたまま パーソナル留守録 → 2 ～ 5 BOX番号を押す → 2 → (暗証番号) → 再生を止めるとき ストップ	☞P173
BOXのすべての用件を消す	ハンドセットを置いたまま パーソナル留守録 → 2 ～ 5 BOX番号を押す → 応答/消去 → スタート	☞P173
BOXの用件を指定して消す	消したい用件を再生中に 応答/消去 を2回押す	☞P173

◆内線電話として使う（T-241DCLwの場合）

コードレス電話機を呼び出す（内線通話）	ハンドセットを置いたまま 内線/ドアホン → 2 ／ 3 コードレス電話機の番号を押す → （増設コードレス電話機を呼び出すときは 4 ～ 5 ／ 一斉に呼び出すときは ＃） → 相手の方が電話に出たら話す → 通話が終わったら ディジタルハンズフリー切	☞72
かかってきた電話を取りつぐ（保留転送）	相手の方に待っていただくように伝える 内線/ドアホン → 2 ／ 3 コードレス電話機の番号を押す → （増設コードレス電話機を呼び出すときは 4 ～ 5 ／ 一斉に呼び出すときは ＃） → 電話を取りつぐことを伝えて	☞78

◆日付と時刻を合わせる

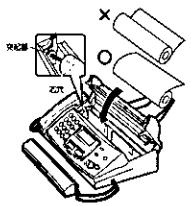
日付と時刻を合わせる	ハンドセットを置いたまま 登録/ハンドコピー設定 → ＃ → スタート を2回押す → 年月日を入力する（西暦） → 時刻を入力する（24時間制） → スタート → 登録/ハンドコピー設定	☞33

◆ 感熱記録紙をセットする

① ハンドコピーを取り外します。
ハンドコピーの後ろを少し持ち上げてから取り外します。

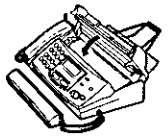
② **記録紙カバー開閉ボタンを押して、記録紙カバーを開けます。**

③ **感熱記録紙を入れます。**
たるみをなくし、感熱記録紙の巻き方向に注意してください。感熱記録紙は向かって左側の芯穴をファクス本体の突起部にはめ込み、左側に感熱記録紙を押しながら同様に右側にはめ込みます。
感熱記録紙を交換するときは、残っている感熱記録紙を取り出します。



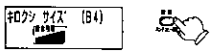
④ **感熱記録紙の先端を記録紙挿入口(金具の下)に差し込みます。先端を約5cm程度、外に引き出してください。**
A4サイズの感熱記録紙の場合、矢印◀の幅に沿って感熱記録紙をまっすぐに引き出してください。

⑤ **記録紙カバーの両端を押して、「カチッ」と音がするまで閉めます。**
感熱記録紙が自動的に切り取られます。



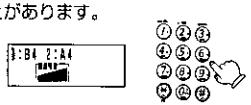
⑥ **ハンドコピーを元の位置に戻します。**

⑦ **記録紙サイズを設定するために登録ボタンを押します。**
登録ボタンを押すと今までの感熱記録紙の使用量がクリアされます。



⑧ **登録ボタンを押します。**

⑨ **#ボタンまたは＊ボタンを押してサイズを選びます。**
正しく設定されていないと両端が印刷されないことがあります。

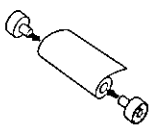


⑩ **スタートボタンを押します。**

■ A4感熱記録紙を使うとき

感熱記録紙にA4記録紙ガイドを取り付けます。

A4記録紙ガイド2個を感熱記録紙の左右に取り付けます。



⚠ 注意

- **記録紙カバーを閉めるときには、指などをはさまないように注意してください。**
- **感熱記録紙の交換や原稿づまりなどで記録紙カバーを開けるときには、突起物にご注意ください。引っかけてけがの原因となることがあります。**
- **感熱記録紙を交換するときは、記録ヘッドが発熱している場合がありますのでご注意ください。**

T-241DCLw/T-241DCL 操作ガイド (コードレス電話機) NTT

記号説明	充電器から取りあげます	充電器に置きます	各機能ボタンを押します	ダイヤルボタンを押します	お話しします

◆電話をかける／受ける

※詳しくは取扱説明書をご覧ください。

項　目	操　作	参照
電話をかける	(または 通話) → (電話番号) → 通話が終わったら	☛P60 ☛P61
ワンタッチダイヤル	(または 通話) → 1～3 (ワンタッチダイヤル) → 通話が終わったら	☛P92
短縮ダイヤル	(または 通話) → 短縮 → 0～9 (短縮番号) → 通話が終わったら	☛P93
再ダイヤル	(または 通話) → 再送 → 通話が終わったら	☛P63
電話を受ける	着信音が鳴ったら → (または 通話) → 通話が終わったら	☛P66
保留する	相手の方に待っていただくように伝える → 保留 → 再び通話するときは 保留 →	☛P69

◆ファクスを受ける

ファクスを受ける	着信音が鳴ったら → (または 通話) → ファクスに切り替えることを伝えて 5 ＊	☛P56

◆内線電話として使う

他の電話機を呼び出す(内線通話)	→ 内線 保留 → 1～5 (内線番号) → 通話が終わったら	☛P74
かかってきた電話を他の電話機に転送する(とりつぎ転送)	相手の方に待っていただくように伝える → 内線 保留 → 1～5 (内線番号) → 電話を転送することを伝えて (または 切)	☛P80

◆留守番電話として使う

留守をセットする	切 → キャッチ/登録 → 再送 → 留守 7 → (または 切)	☛P99
留守を解除する	切 → キャッチ/登録 → 再送 → リセット 9 → (または 切)	☛P101

◆用件を聞く

項　目	操　作	参照
用件を聞く	切 → キャッチ/登録 → 再送 → 2（再生） → 止めるときは #（停止） → 再生を終わるときは 切	☞P101
次の用件に移る	再生中に 3 → 止めるときは #（停止） → 再生を終わるときは 切	☞P101
今聞いている用件を聞き直す	再生中に 1 → 止めるときは #（停止） → 再生を終わるときは 切	☞P101
一つ前の用件に戻す	再生中に 1（2回続けて押す） → 止めるときは #（停止） → 再生を終わるときは 切	☞P101

◆パーソナルBOXの用件を転送する

転送をセットする	切 → キャッチ/登録 → 再送 → 6 → 1 → 切	☞P104
転送を解除する	切 → キャッチ/登録 → 再送 → 6 → 2 → 切	☞P104

◆いろいろな機能を登録・設定する

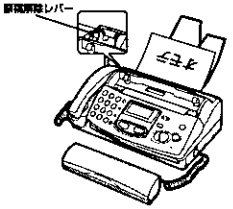
お買い求め時は○に設定されています。

受話音量を調節する	お話し中に 音量	☞P70
着信音の大きさをかえる	切 → キャッチ/登録 → 音量 → 1（繰り返し） → キャッチ/登録	☞P71
着信音パターンを切り替える	切 → キャッチ/登録 → 音量 → 2（繰り返し） → キャッチ/登録 → 受話器を置く	☞P193
ワンタッチダイヤルを登録する	切 → キャッチ/登録 → ワンタッチダイヤル 1～3 のいずれか → 相手先の電話番号 → キャッチ/登録 → 受話器を置く	☞P88
短縮ダイヤルを登録する	切 → キャッチ/登録 → 短縮 → 相手先の電話番号（1桁） → 相手先の電話番号 → キャッチ/登録 → 受話器を置く	☞P89
クイック通話を設定する	切 → キャッチ/登録 → 7 → 5 → 1：設定 / 0：解除 → キャッチ/登録	☞P192
エコーサプレスを設定する	切 → キャッチ/登録 → 7 → 3 → 1：設定 / 0：解除 → キャッチ/登録	☞P192

ディスプレイ表示	対処のしかた	ディスプレイ表示	対処のしかた
キロクシ ガ アリマセン	記録紙を交換する	ヘッド ガ コウオンデ ス	しばらく待ってから操作する
ゲンコウ ガ ツマッテイマス	対処のしかた	スピード ガ ハヤスギ マス	ハンドコピーをゆっくり動かす
ツウシンエラー ガ アリマシタ	もう一度送信（受信）する（頻繁に起こるときは、当社のサービス取扱所までご相談ください。	ハンド コピー ヲ サイセット または ハンド コピー ハズ レテイマス	ハンドコピーをセットしなおす

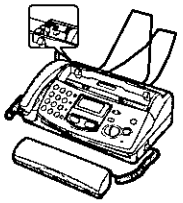
◆ 原稿がつまったら

1. ハンドコピーを取り外し、原稿解除レバーを手前側に引きます。
   原稿を取り除くまで原稿解除レバーから手を離さないでください。



2. つまった原稿を取り除きます。
   つまった原稿が途中で破れないよう注意して、取り除いてください。

3. 原稿が取り除けたら、原稿解除レバーから手を離します。

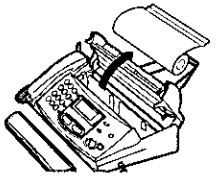


●原稿解除レバーを手前側に引いても原稿が取り出せないときはハンドコピーを取り外し、操作パネルの中央部を持ち上げて、取り出してください。

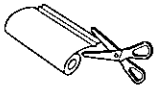
◆ 記録紙がつまったら

1. ハンドコピーを取り外し、記録紙カバー開閉ボタンを押します。

2. 感熱記録紙カバーを開けてつまった感熱記録紙を取り出します。



3. つまってシワになった部分を切り取り、感熱記録紙をセットします。
   感熱記録紙は、ハサミなどで切り取ってください。



4. 感熱記録紙を少し後ろ方向へ引き出して、記録紙カバーを閉め、ハンドコピーを取り付けます。

⚠ 注意

カッターの刃に指が直接触れないように注意してください。カッターの刃で、ケガをする恐れがあります。

リモコン操作手順カード

■パーソナル留守録に外から録音するには
1.電話をかける
2.応答メッセージが聞こえている間に→ ✳ を押す
3.操作案内が聞こえたら→ □(BOX番号2~5)と # を押す
4.「BOX□です。録音をどうぞ。」と聞こえたら→メッセージを話す

■外出先からパーソナル留守録をリモコン操作するには
1.電話をかける
2.応答メッセージが聞こえたら→ # を押す
3.音声ガイダンスが止まったら
→□(BOX番号2~5)と□□□□(暗証番号)を押したあと # を押す
→音声ガイダンスにつづいてリモコン操作番号を押す

〈暗証番号記入欄〉
○○○○

●リモコン操作には暗証番号を使います。
●リモコン操作は、プッシュホンまたはトーン信号の出せる電話機から行います。（ダイヤル回線でトーン信号の出せる電話機の場合は電話をかけてからトーン信号に切り替えます。）
●詳しい操作方法は、取扱説明書をご覧ください。

NTT

リモコン操作手順カード

■パーソナル留守録に外から録音するには
1.電話をかける
2.応答メッセージが聞こえている間に→ ✳ を押す
3.操作案内が聞こえたら→ □(BOX番号2~5)と # を押す
4.「BOX□です。録音をどうぞ。」と聞こえたら→メッセージを話す

■外出先からパーソナル留守録をリモコン操作するには
1.電話をかける
2.応答メッセージが聞こえたら→ # を押す
3.音声ガイダンスが止まったら
→□(BOX番号2~5)と□□□□(暗証番号)を押したあと # を押す
→音声ガイダンスにつづいてリモコン操作番号を押す

〈暗証番号記入欄〉
○○○○

●リモコン操作には暗証番号を使います。
●リモコン操作は、プッシュホンまたはトーン信号の出せる電話機から行います。（ダイヤル回線でトーン信号の出せる電話機の場合は電話をかけてからトーン信号に切り替えます。）
●詳しい操作方法は、取扱説明書をご覧ください。

NTT

リモコン操作手順カード

■パーソナル留守録に外から録音するには
1.電話をかける
2.応答メッセージが聞こえている間に→ ✳ を押す
3.操作案内が聞こえたら→ □(BOX番号2~5)と # を押す
4.「BOX□です。録音をどうぞ。」と聞こえたら→メッセージを話す

■外出先からパーソナル留守録をリモコン操作するには
1.電話をかける
2.応答メッセージが聞こえたら→ # を押す
3.音声ガイダンスが止まったら
→□(BOX番号2~5)と□□□□(暗証番号)を押したあと # を押す
→音声ガイダンスにつづいてリモコン操作番号を押す

〈暗証番号記入欄〉
○○○○

●リモコン操作には暗証番号を使います。
●リモコン操作は、プッシュホンまたはトーン信号の出せる電話機から行います。（ダイヤル回線でトーン信号の出せる電話機の場合は電話をかけてからトーン信号に切り替えます。）
●詳しい操作方法は、取扱説明書をご覧ください。

NTT

リモコン操作手順カード

■パーソナル留守録に外から録音するには
1.電話をかける
2.応答メッセージが聞こえている間に→ ✳ を押す
3.操作案内が聞こえたら→ □(BOX番号2~5)と # を押す
4.「BOX□です。録音をどうぞ。」と聞こえたら→メッセージを話す

■外出先からパーソナル留守録をリモコン操作するには
1.電話をかける
2.応答メッセージが聞こえたら→ # を押す
3.音声ガイダンスが止まったら
→□(BOX番号2~5)と□□□□(暗証番号)を押したあと # を押す
→音声ガイダンスにつづいてリモコン操作番号を押す

〈暗証番号記入欄〉
○○○○

●リモコン操作には暗証番号を使います。
●リモコン操作は、プッシュホンまたはトーン信号の出せる電話機から行います。（ダイヤル回線でトーン信号の出せる電話機の場合は電話をかけてからトーン信号に切り替えます。）
●詳しい操作方法は、取扱説明書をご覧ください。

NTT

■外出先から一般録音をリモコン操作するには
1.電話をかける
2.応答メッセージが聞こえたら→ [#] を押す
3.音声ガイダンスが止まったら
→ □□□□ (暗証番号)と [#] を押す
4.音声ガイダンスにつづいてリモコン操作番号を押す

リモコン操作番号

用件を聞くには	[2][#]
早聞きや遅聞きをするには	再生中に [2][#] (早聞き)→ [2][#] (遅聞き)→ [2][#] (元に戻る)

再生を止めるには	再生中に [0]、[#]ボタンを押す
次の用件に移るには	再生中に [3]、[#]ボタンを押す
今聞いている用件を聞き直すには	再生中に [1]、[#]ボタンを押す
前の用件に戻るには	再生中に [1]、[#]、[1]、[#]ボタンを押す
転送をセットするには	[6]、[1]、[#]ボタンを押す
転送を解除するには	[6]、[2]、[#]ボタンを押す
留守をセットするには	[7]、[#]ボタンを押す
留守を解除するには	[9]、[#]ボタンを押す
パーソナルBOXのリモコン操作へ切り替えるには (一般録音とBOXの切り替え操作もできる)	[7]、[2]、[#]ボタンを押す
用件録音をするには	[5]、[#]ボタンを押す
全用件を消去するには	停止中に [8]、[1]、[#]ボタンを押す

■外出先から一般録音をリモコン操作するには
1.電話をかける
2.応答メッセージが聞こえたら→ [#] を押す
3.音声ガイダンスが止まったら
→ □□□□ (暗証番号)と [#] を押す
4.音声ガイダンスにつづいてリモコン操作番号を押す

リモコン操作番号

用件を聞くには	[2][#]
早聞きや遅聞きをするには	再生中に [2][#] (早聞き)→ [2][#] (遅聞き)→ [2][#] (元に戻る)

再生を止めるには	再生中に [0]、[#]ボタンを押す
次の用件に移るには	再生中に [3]、[#]ボタンを押す
今聞いている用件を聞き直すには	再生中に [1]、[#]ボタンを押す
前の用件に戻るには	再生中に [1]、[#]、[1]、[#]ボタンを押す
転送をセットするには	[6]、[1]、[#]ボタンを押す
転送を解除するには	[6]、[2]、[#]ボタンを押す
留守をセットするには	[7]、[#]ボタンを押す
留守を解除するには	[9]、[#]ボタンを押す
パーソナルBOXのリモコン操作へ切り替えるには (一般録音とBOXの切り替え操作もできる)	[7]、[2]、[#]ボタンを押す
用件録音をするには	[5]、[#]ボタンを押す
全用件を消去するには	停止中に [8]、[1]、[#]ボタンを押す

■外出先から一般録音をリモコン操作するには
1.電話をかける
2.応答メッセージが聞こえたら→ [#] を押す
3.音声ガイダンスが止まったら
→ □□□□ (暗証番号)と [#] を押す
4.音声ガイダンスにつづいてリモコン操作番号を押す

リモコン操作番号

用件を聞くには	[2][#]
早聞きや遅聞きをするには	再生中に [2][#] (早聞き)→ [2][#] (遅聞き)→ [2][#] (元に戻る)

再生を止めるには	再生中に [0]、[#]ボタンを押す
次の用件に移るには	再生中に [3]、[#]ボタンを押す
今聞いている用件を聞き直すには	再生中に [1]、[#]ボタンを押す
前の用件に戻るには	再生中に [1]、[#]、[1]、[#]ボタンを押す
転送をセットするには	[6]、[1]、[#]ボタンを押す
転送を解除するには	[6]、[2]、[#]ボタンを押す
留守をセットするには	[7]、[#]ボタンを押す
留守を解除するには	[9]、[#]ボタンを押す
パーソナルBOXのリモコン操作へ切り替えるには (一般録音とBOXの切り替え操作もできる)	[7]、[2]、[#]ボタンを押す
用件録音をするには	[5]、[#]ボタンを押す
全用件を消去するには	停止中に [8]、[1]、[#]ボタンを押す

■外出先から一般録音をリモコン操作するには
1.電話をかける
2.応答メッセージが聞こえたら→ [#] を押す
3.音声ガイダンスが止まったら
→ □□□□ (暗証番号)と [#] を押す
4.音声ガイダンスにつづいてリモコン操作番号を押す

リモコン操作番号

用件を聞くには	[2][#]
早聞きや遅聞きをするには	再生中に [2][#] (早聞き)→ [2][#] (遅聞き)→ [2][#] (元に戻る)

再生を止めるには	再生中に [0]、[#]ボタンを押す
次の用件に移るには	再生中に [3]、[#]ボタンを押す
今聞いている用件を聞き直すには	再生中に [1]、[#]ボタンを押す
前の用件に戻るには	再生中に [1]、[#]、[1]、[#]ボタンを押す
転送をセットするには	[6]、[1]、[#]ボタンを押す
転送を解除するには	[6]、[2]、[#]ボタンを押す
留守をセットするには	[7]、[#]ボタンを押す
留守を解除するには	[9]、[#]ボタンを押す
パーソナルBOXのリモコン操作へ切り替えるには (一般録音とBOXの切り替え操作もできる)	[7]、[2]、[#]ボタンを押す
用件録音をするには	[5]、[#]ボタンを押す
全用件を消去するには	停止中に [8]、[1]、[#]ボタンを押す

記入した面を表向きにして、矢印の向きにセットしてください

オリジナルスタンプ登録用紙

下のワクの中に記入してください

記入のしかた

点線のワクより2mm内側が書き込みできる範囲です。この中に記入してください。

書き込みできる範囲

周囲より各2mm内側

お願い
- ワクより2mm内側に記入してください。はみ出した部分は読み取れませんのでご注意ください。
- 記入は黒色のペン、または鉛筆で濃く記入してください。
- ワープロ・パソコンで作成した原稿を貼り付けした登録用紙は、キャリアシートにはさんで読み込ませるようにしてください。

記入した面を表向きにして、矢印の向きにセットしてください

オリジナルスタンプ登録用紙

下のワクの中に記入してください

記入のしかた

点線のワクより2mm内側が書き込みできる範囲です。この中に記入してください。

書き込みできる範囲

周囲より各2mm内側

お願い
- ワクより2mm内側に記入してください。はみ出した部分は読み取れませんのでご注意ください。
- 記入は黒色のペン、または鉛筆で濃く記入してください。
- ワープロ・パソコンで作成した原稿を貼り付けした登録用紙は、キャリアシートにはさんで読み込ませるようにしてください。

記入した面を表向きにして、矢印の向きにセットしてください

オリジナルスタンプ登録用紙

下のワクの中に記入してください

記入のしかた

点線のワクより2mm内側が書き込みできる範囲です。この中に記入してください。

書き込みできる範囲

周囲より各2mm内側

お願い
- ワクより2mm内側に記入してください。はみ出した部分は読み取れませんのでご注意ください。
- 記入は黒色のペン、または鉛筆で濃く記入してください。
- ワープロ・パソコンで作成した原稿を貼り付けした登録用紙は、キャリアシートにはさんで読み込ませるようにしてください。

記入した面を表向きにして、矢印の向きにセットしてください

オリジナルスタンプ登録用紙

下のワクの中に記入してください

記入のしかた

点線のワクより2mm内側が書き込みできる範囲です。この中に記入してください。

書き込みできる範囲

周囲より各2mm内側

お願い
- ワクより2mm内側に記入してください。はみ出した部分は読み取れませんのでご注意ください。
- 記入は黒色のペン、または鉛筆で濃く記入してください。
- ワープロ・パソコンで作成した原稿を貼り付けした登録用紙は、キャリアシートにはさんで読み込ませるようにしてください。

複写機でコピーしてお使いください

コピーしたあと破線の部分を切り取ってお使いください。
コピー濃度が薄いと正しく登録できないことがあります。
拡大や縮小コピーはしないでください。

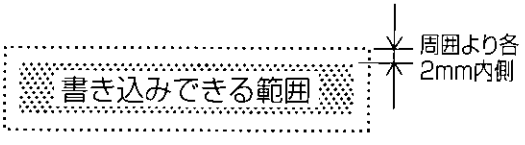
記入した面を表向きにして、矢印の向きにセットしてください

オリジナルスタンプ登録用紙

下のワクの中に記入してください

記入のしかた

点線のワクより2mm内側が書き込みできる範囲です。この中に記入してください。



お願い
- ワクより2mm内側に記入してください。はみ出した部分は読み取れませんのでご注意ください。
- 記入は黒色のペン、または鉛筆で濃く記入してください。
- ワープロ・パソコンで作成した原稿を貼り付けした登録用紙は、キャリアシートにはさんで読み込ませるようにしてください。

注　意
本製品は、外国為替および外国貿易管理法が定める戦略物資に該当いたします。
本製品は、国内でのご利用を前提としたものでありますので、日本国外へ持ち出す場合は、同法に基づく輸出許可等必要な手続きをお取りください。

NOTICE
This product, which is intended for use in Japan, is a strategic product regulated under the Japanese Foreign Exchange and Foreign Trade Control Law. When you plan to export or take this product out of Japan, please obtain a permission, as required by the Law and related regulations from the Japanese Government.

ちきゅうにやさしい
みどりをまもる

この取扱説明書は、エコマーク認定の再生紙を使用しています。

使い方等でご不明の点がございましたら、NTT通信機器お取扱相談センタへお気軽にご相談ください。
〈NTT通信機器お取扱相談センタ：0120−109217（トークニイーナ）〉

©1997 NTT

NTT
NIPPON TELEGRAPH AND TELEPHONE CORPORATION

日本電信電話株式会社
〒163-19 東京都新宿区西新宿3-19-2

本1702-1(97.5)
T-241DCLw/T-241DCLトリセツ
7G4.0Y-TINSJ3707SCZZ④